

安城市  
高齢者介護に関するアンケート調査  
調査結果報告書

令和5年3月  
安城市



# 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1 調査の目的 .....	1
2 調査の設計 .....	1
3 回収の結果 .....	2
4 報告書の見方 .....	2
<b>II 調査の結果</b> .....	<b>3</b>
1 一般高齢者調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査） .....	3
（1）対象者の属性 .....	3
（2）家族や生活状況について .....	4
（3）からだを動かすことについて .....	8
（4）食べることについて .....	18
（5）毎日の生活について .....	20
（6）地域での活動について .....	22
（7）たすけあいについて .....	29
（8）健康について .....	38
（9）認知症について .....	43
（10）介護保険制度および高齢者福祉施策について .....	44
2 在宅介護者調査（在宅介護実態調査） .....	55
（1）対象者の属性 .....	55
（2）家族や生活状況について .....	56
（3）介護保険サービス等の利用について .....	62
（4）高齢者福祉施策等について .....	75
（5）主な介護者について .....	85
3 若年者調査 .....	96
（1）対象者の属性等 .....	96
（2）介護保険について .....	100
（3）健康について .....	104
（4）生活環境について .....	113
（5）看取りについて .....	117
（6）生きがい・社会参加について .....	122
4 在宅生活改善調査 .....	126
（1）事業所調査 .....	126

(2) 利用者調査 .....	128
5   居所変更実態調査 .....	140
(1) 施設等の概要 .....	140
(2) 過去1年間の新規の入所・入居者について .....	144
(3) 過去1年間の退去者について .....	146
6   介護人材実態調査 .....	150
(1) 施設系・通所系事業所調査 .....	150
(2) 訪問系事業所調査【事業所票】 .....	158
(3) 訪問系事業所調査【職員票／介護職員】 .....	160
(4) 訪問系事業所調査【職員票／訪問介護員】 .....	164
<b>Ⅲ 資料（調査票） .....</b>	<b>166</b>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、市民の生活や高齢者介護の状況、福祉への意向、事業者における課題等を把握し、「あんジョイプラン10（第9次安城市高齢者福祉計画・第9期安城市介護保険事業計画）」策定のための基礎資料とするため、実施しました。

## 2 調査の設計

調査種別	対象者	抽出方法・ 標本サイズ	実施時期	調査方法
一般高齢者調査 (介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査)	要介護認定を受けていない65歳以上の市民(要支援認定者を含む)	無作為抽出 2,700人	令和4年 12月1日～ 12月19日	郵送配布、 郵送回収・ Web回収
在宅介護者調査 (在宅介護実態調査)	市内の要介護認定者(要支援認定者、施設入所者を除く)	無作為抽出 1,800人		
若年者調査	要支援・要介護認定を受けていない40歳から64歳までの市民	無作為抽出 2,000人		
在宅生活改善調査	市内の居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型介護事業所及び所属介護支援専門員	全数 34事業所 110人		
居所変更実態調査	市内の施設・居住系サービス事業所	全数 41事業所		
介護人材実態調査	市内の施設・居住系サービス、通所系・短期系サービス、訪問系を含むサービス各事業所及び所属訪問系職員	全数 138事業所 523人		

### 3 回収の結果

調査種別		標本 サイズ	回収数 (うち Web 回収)	有効回収数※ (うち Web 回収)	有効回収率
一般高齢者調査		2,700	1,972 (81)	1,972 (81)	73.0%
在宅介護者調査		1,800	1,127 (90)	1,083 (88)	60.2%
若年者調査		2,000	1,005 (280)	1,005 (280)	50.3%
在宅生活 改善調査	事業所	34	21 (2)	21 (2)	61.8%
	介護支援専門員	110	69 (2)	69 (2)	62.7%
居所変更実態調査		41	27 (5)	27 (5)	65.9%
介護人材 実態調査	施設・通所系事業所	99	67 (12)	67 (12)	67.7%
	訪問系事業所	39	16 (4)	16 (4)	41.0%
	訪問系職員	523	170 (13)	170 (13)	32.5%

※有効回収数は、白票、紙と Web の重複回答票、施設入所者（在宅介護者調査）を除いたもの

### 4 報告書の見方

- (1) 比率を求める際の基数となるべき実数は、「件数（n）」として掲載しました。したがって比率は件数を 100%として算出しています。
- (2) 比率はすべて%で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。そのため比率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- (3) 複数回答が可能な設問の場合は、その項目を選んだ人が回答者全体のうち何%なのかという見方をします。そのため、各項目の比率の合計は通常 100%を超えています。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文における回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に一部を省略して掲載している場合があります。
- (5) 集計表内の件数以外の数値の単位は%です。また、色付きセルの部分は、その層における比率の最大値であることを示しています。
- (6) 集計表の分析軸（左側の列）となる各設問については、無回答欄を省略しています。

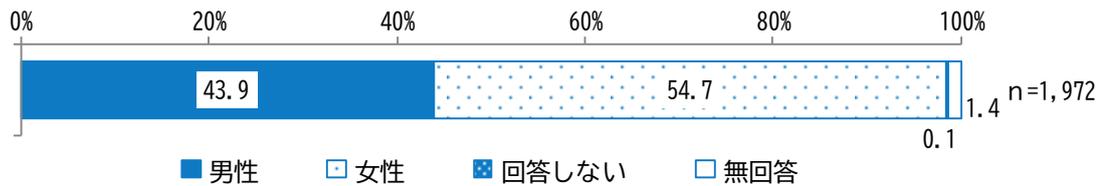
## Ⅱ 調査の結果

### 1 一般高齢者調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）

#### （1）対象者の属性

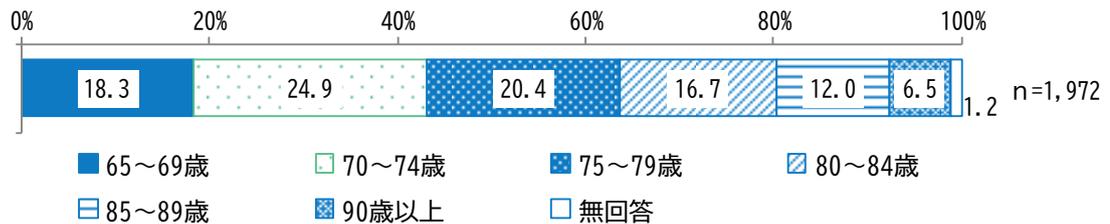
##### 1-1 性別

対象者の性別は、「男性」が43.9%、「女性」が54.7%となっています。



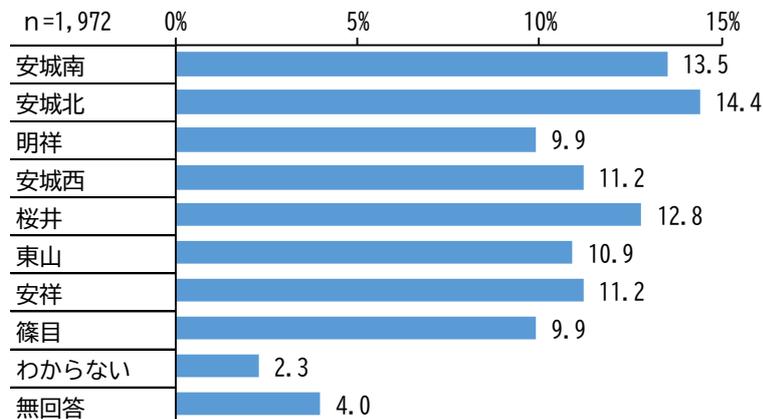
##### 1-2 年齢

「70～74歳」が24.9%と最も高く、次いで「75～79歳」（20.4%）、「65～69歳」（18.3%）となっています。



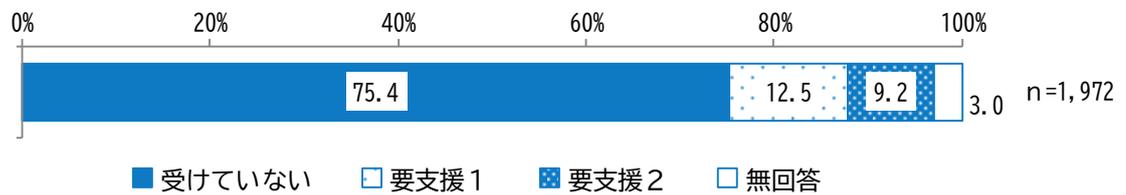
##### 1-3 中学校区

「安城北」（14.4%）が最も高く、「明祥」「篠目」（ともに9.9%）が最も低くなっています。



1-4 要支援の認定状況

「要支援1」が12.5%、「要支援2」が9.2%、「受けていない」が75.4%となっています。

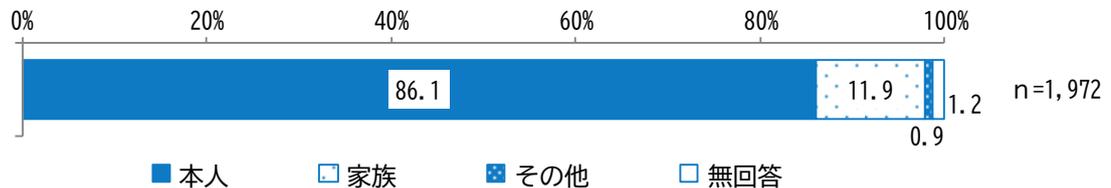


(2) 家族や生活状況について

2-1 回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(○は1つ)

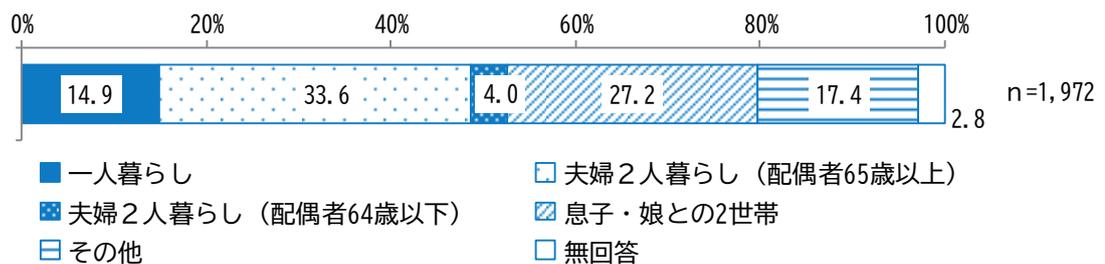
回答者は、「本人」が86.1%、「家族」が11.9%となっています。



2-2 家族構成

問2 家族構成をお教えてください。(○は1つ)

「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(33.6%)が最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」(27.2%)、「その他」(17.4%)、「一人暮らし」(14.9%)となっています。

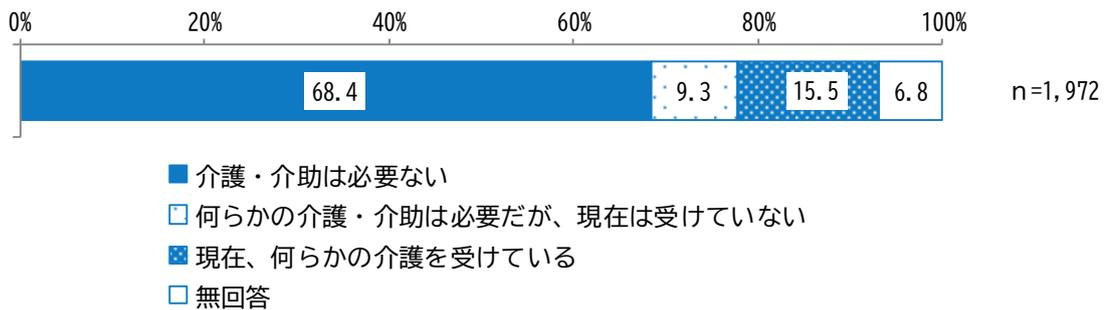


2-3 介護・介助の必要性

問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)

「介護・介助は必要ない」が68.4%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が9.3%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が15.5%となっています。

年齢別でみると、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」はいずれも年齢があがるにつれて割合が高くなっており、90歳以上ではそれぞれ21.7%、41.9%となっています。



	件数	な い 介 護 ・ 介 助 は 必 要	在 助 何 は は ら か の 介 護 ・ 介 助 は 必 要 だ が 、 現 在 は 受 け て い な い	護 を 受 け て い る 、 何 ら か の 介 護 を 受 け て い る	無 回 答
全 体	1,972	1,349 68.4	183 9.3	306 15.5	134 6.8
65～69歳	360	317 88.1	11 3.1	18 5.0	14 3.9
70～74歳	492	407 82.7	20 4.1	37 7.5	28 5.7
75～79歳	403	309 76.7	36 8.9	34 8.4	24 6.0
80～84歳	329	189 57.4	37 11.2	76 23.1	27 8.2
85～89歳	236	83 35.2	49 20.8	85 36.0	19 8.1
90歳以上	129	36 27.9	28 21.7	54 41.9	11 8.5

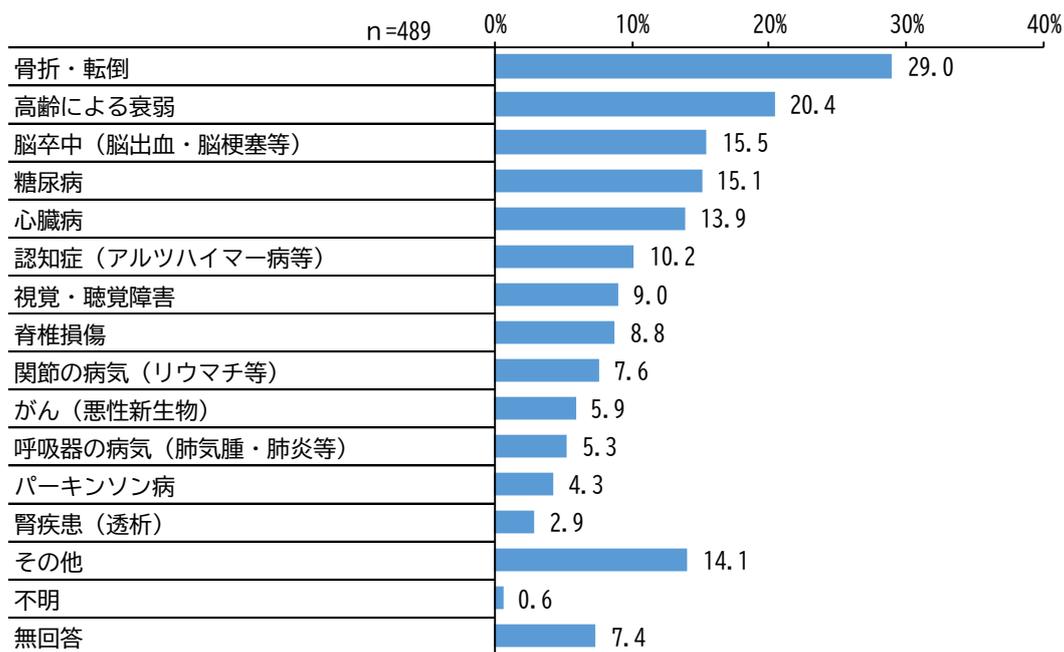
2-4 介護・介助が必要になった原因

問3で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」とお答えの方

問3-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。（〇はいくつでも）

「骨折・転倒」（29.0%）が最も高く、次いで「高齢による衰弱」（20.4%）、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」（15.5%）、「糖尿病」（15.1%）となっています。

性別でみると、男性では「高齢による衰弱」が最も高く、次いで「糖尿病」が高くなっています。女性では「骨折・転倒」が最も高くなっています。

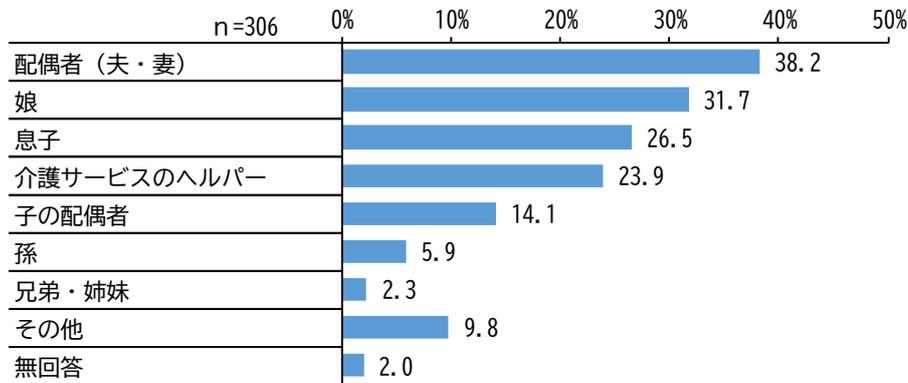


	件数	骨折・転倒	衰弱 高齢による	脳卒中	糖尿病	心臓病	認知症	障害 視覚・聴覚	脊椎損傷	関節の病気	がん	気呼吸器の病	ンパーキンソ	腎疾患	その他	不明	無回答
全体	489 100.0	142 29.0	100 20.4	76 15.5	74 15.1	68 13.9	50 10.2	44 9.0	43 8.8	37 7.6	29 5.9	26 5.3	21 4.3	14 2.9	69 14.1	3 0.6	36 7.4
男性	189 100.0	37 19.6	42 22.2	37 19.6	38 20.1	32 16.9	24 12.7	19 10.1	13 6.9	13 6.9	13 6.9	16 8.5	9 4.8	7 3.7	21 11.1	1 0.5	12 6.3
女性	291 100.0	103 35.4	56 19.2	39 13.4	35 12.0	33 11.3	25 8.6	25 8.6	29 10.0	24 8.2	15 5.2	9 3.1	12 4.1	7 2.4	46 15.8	2 0.7	22 7.6

2-5 主な介護・介助者

問3-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(○はいくつでも)

「配偶者(夫・妻)」(38.2%)が最も高く、次いで「娘」(31.7%)、「息子」(26.5%)、「介護サービスのヘルパー」(23.9%)となっています。



2-5 経済的にみた現在の暮らしの状況

問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

「ふつう」(57.3%)が最も高く、次いで「やや苦しい」(23.7%)、「大変苦しい」(7.4%)、「ややゆとりがある」(6.8%)となっています。

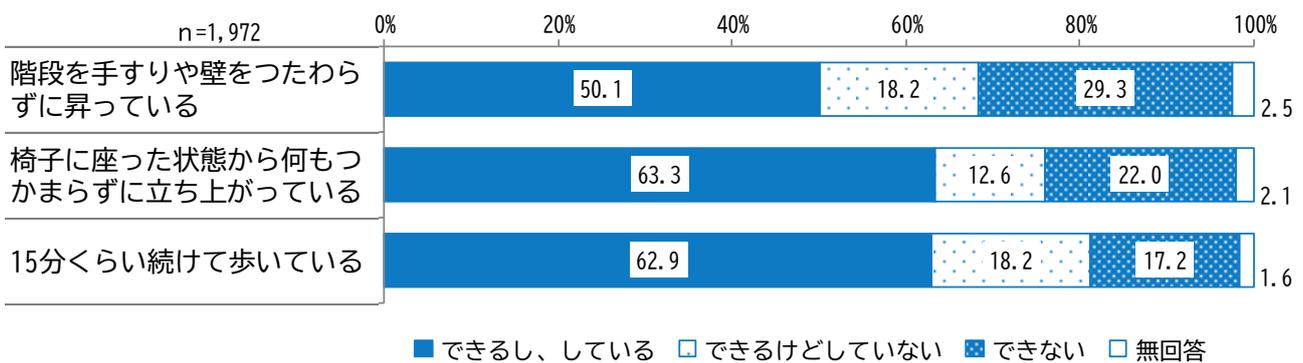


### (3) からだを動かすことについて

#### 3-1 階段の昇降や立ち上がり、歩行について

問5 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(○は1つ)  
 問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(○は1つ)  
 問7 15分くらい続けて歩いていますか。(○は1つ)

からだを動かすことについて「できない」と回答した人は、「階段を手すりや壁をつたわずに昇っている」で29.3%、「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている」で22.0%、「15分くらい続けて歩いている」で17.2%となっています。

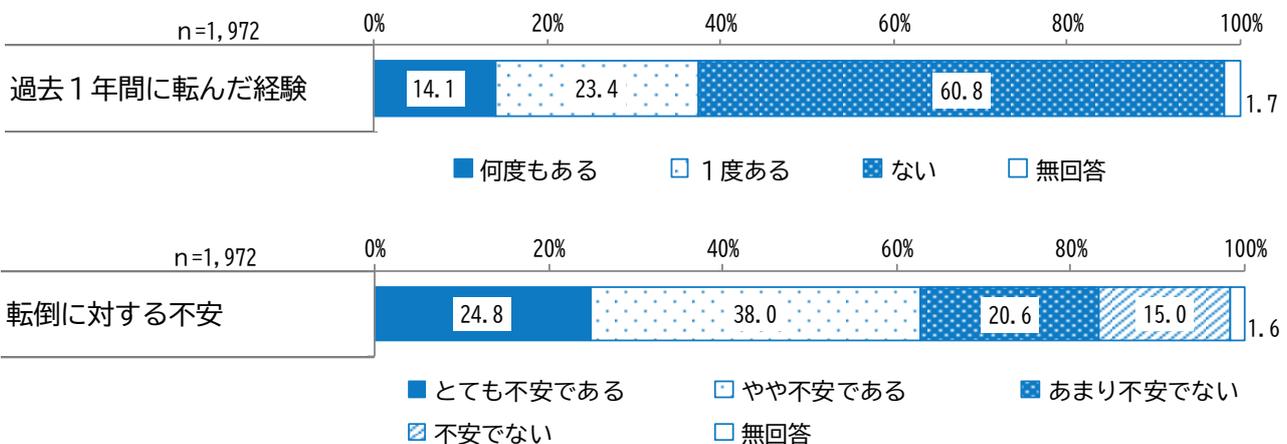


#### 3-2 転倒について

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。(○は1つ)  
 問9 転倒に対する不安は大きいですか。(○は1つ)

過去1年間に転んだ経験が「何度もある」人は14.1%となっています。『ある』（「何度もある」「1度ある」の計）は37.5%となっています。

転倒に対する不安は、「やや不安である」（38.0%）が最も高く、『不安である』（「とても不安である」「やや不安である」の計）は62.8%となっています。



問5から問9の5つの設問について、要支援認定者を除いた対象者のうち下表に示す5項目のうち3項目以上に該当する人を、運動器のリスク該当者と判定しました。運動器のリスク該当者の割合は12.2%となっています。

中学校区別でみると、運動器のリスク該当者の割合は、安城西（15.8%）で最も高く、安祥（8.7%）で最も低くなっています。

設問		回答
問5	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	「できない」
問6	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	「できない」
問7	15分くらい続けて歩いていますか。	「できない」
問8	過去1年間に転んだ経験がありますか。	「何度もある」 「1度ある」
問9	転倒に対する不安は大きいですか。	「とても不安である」 「やや不安である」

	件数	5項目該当	4項目該当	3項目該当	2項目該当	1項目該当	ない いずれも該当し	無回答	上 当 運 動 器 （ 3 項 目 以 上 ） 該 当
全 体	1,486 100.0	40 2.7	50 3.4	90 6.1	275 18.5	476 32.0	548 36.9	7 0.5	12.2
安城南	194 100.0	4 2.1	9 4.6	11 5.7	38 19.6	65 33.5	66 34.0	1 0.5	12.4
安城北	201 100.0	4 2.0	6 3.0	18 9.0	40 19.9	56 27.9	76 37.8	1 0.5	14.0
明祥	160 100.0	5 3.1	5 3.1	10 6.3	26 16.3	59 36.9	54 33.8	1 0.6	12.5
安城西	171 100.0	5 2.9	8 4.7	14 8.2	28 16.4	54 31.6	62 36.3	-	15.8
桜井	188 100.0	5 2.7	6 3.2	6 3.2	34 18.1	64 34.0	72 38.3	1 0.5	9.1
東山	166 100.0	6 3.6	7 4.2	6 3.6	31 18.7	45 27.1	71 42.8	-	11.4
安祥	172 100.0	4 2.3	1 0.6	10 5.8	32 18.6	57 33.1	67 39.0	1 0.6	8.7
篠目	160 100.0	3 1.9	7 4.4	6 3.8	35 21.9	50 31.3	58 36.3	1 0.6	10.1

Ⅱ 調査の結果 1 一般高齢者調査

3-3 外出の頻度

問10 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

一週間の外出の頻度は、「週2～4回」(40.6%)が最も高く、次いで「週5回以上」(35.8%)となっています。また、「ほとんど外出しない」は7.9%となっています。

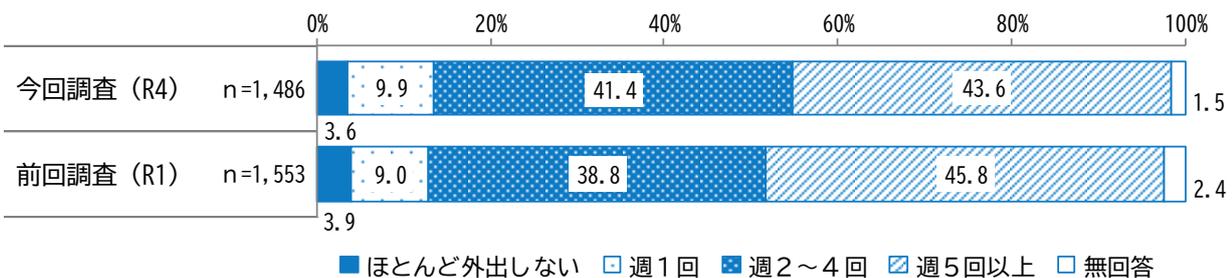
性別でみると、「週5回以上」は男性で高くなっています。

年齢別でみると、「ほとんど外出しない」は年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、85～89歳で18.2%、90歳以上で27.1%となっています。

前回調査(令和元年度実施)と今回調査(要支援認定者を除く)を比べると、「週5回以上」は2.2ポイント低下しています。



		件数	ほとんど外出しない	週1回	週2～4回	週5回以上	無回答
全体		1,972	155	270	801	705	41
		100.0	7.9	13.7	40.6	35.8	2.1
性別	男性	865	79	71	312	388	15
		100.0	9.1	8.2	36.1	44.9	1.7
女性	1,078	73	198	475	309	23	
	100.0	6.8	18.4	44.1	28.7	2.1	
年齢	65～69歳	360	6	21	136	196	1
		100.0	1.7	5.8	37.8	54.4	0.3
	70～74歳	492	20	39	227	198	8
		100.0	4.1	7.9	46.1	40.2	1.6
	75～79歳	403	18	53	170	156	6
		100.0	4.5	13.2	42.2	38.7	1.5
80～84歳	329	31	54	135	99	10	
	100.0	9.4	16.4	41.0	30.1	3.0	
85～89歳	236	43	69	80	35	9	
	100.0	18.2	29.2	33.9	14.8	3.8	
90歳以上	129	35	31	42	15	6	
	100.0	27.1	24.0	32.6	11.6	4.7	



問 10 について、要支援認定者を除いた対象者のうち下表に該当する人を、閉じこもりのリスク該当者と判定しました。閉じこもりのリスク該当者の割合は 13.5%となっています。

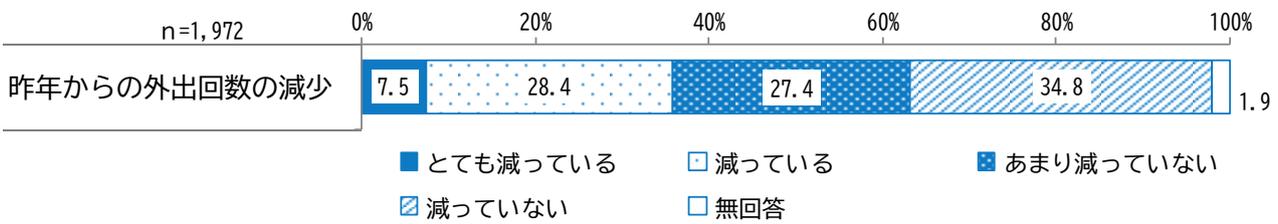
中学校区別でみると、閉じこもりのリスク該当者の割合は、安城北（16.4%）で最も高く、篠目（8.1%）で最も低くなっています。

設問		回答
問 10	週に1回以上は外出していますか。	「ほとんど外出しない」 「週1回」

	件数	なほ い と ん ど 外 出 し	週 1 回	週 2 〜 4 回	週 5 回 以上	無 回 答	回 ク 閉 以 該 下 当 こ も り 者 （ 週 リ ス ク
全 体	1,486 100.0	54 3.6	147 9.9	615 41.4	648 43.6	22 1.5	13.5
安城南	194 100.0	4 2.1	20 10.3	65 33.5	98 50.5	7 3.6	12.4
安城北	201 100.0	10 5.0	23 11.4	82 40.8	85 42.3	1 0.5	16.4
明祥	160 100.0	6 3.8	18 11.3	76 47.5	58 36.3	2 1.3	15.1
安城西	171 100.0	6 3.5	16 9.4	81 47.4	67 39.2	1 0.6	12.9
桜井	188 100.0	6 3.2	18 9.6	76 40.4	85 45.2	3 1.6	12.8
東山	166 100.0	7 4.2	16 9.6	75 45.2	67 40.4	1 0.6	13.8
安祥	172 100.0	7 4.1	17 9.9	66 38.4	79 45.9	3 1.7	14.0
篠目	160 100.0	4 2.5	9 5.6	69 43.1	75 46.9	3 1.9	8.1

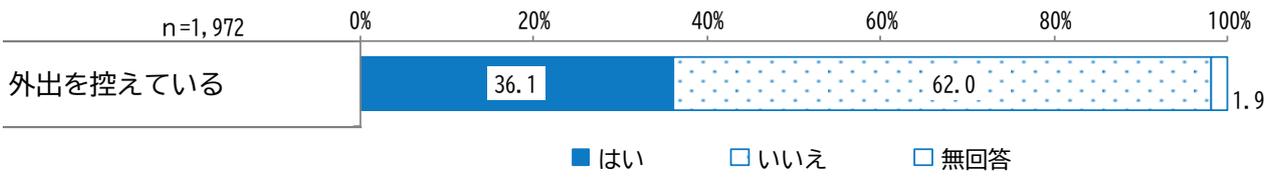
問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(○は1つ)

昨年と比べて外出の回数は、「減っていない」(34.8%)が最も高く、『減っていない』(「減っていない」「あまり減っていない」の計)は62.2%となっています。一方、『減っている』(「とても減っている」「減っている」の計)は35.9%となっています。



問12 外出を控えていますか。(○は1つ)

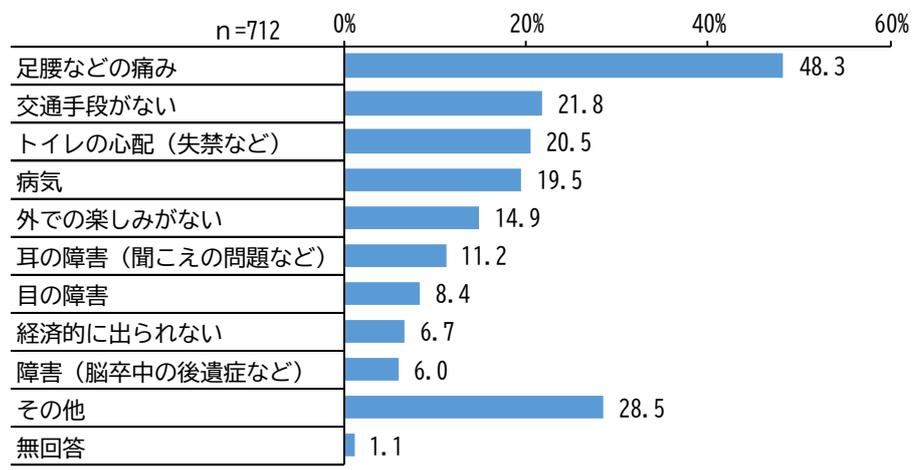
「はい」(外出を控えている)は36.1%となっています。



問12で「1.はい」とお答えの方

問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

「足腰などの痛み」(48.3%)が最も高く、次いで「交通手段がない」(21.8%)、「トイレの心配(失禁など)」(20.5%)、「病気」(19.5%)、「外での楽しみがない」(14.9%)となっています。また、「その他」は28.5%となっています。



性別でみると、「足腰などの痛み」は女性で高くなっています。

年齢別でみると、「足腰などの痛み」「交通手段がない」「トイレの心配（失禁など）」「耳の障害（聞こえの問題など）」「目の障害」は年齢が上がるにつれて概ね割合が高くなっています。

家族構成別でみると、「交通手段がない」は一人暮らしで高くなっています。

認定状況別でみると、「足腰などの痛み」は要支援1、要支援2で高く、「トイレの心配」は要支援2で高くなっています。

中学校区別でみると、「足腰などの痛み」は安城南で約6割と高くなっています。

	件数	足腰などの痛み	交通手段がない	(トイレの心配 失禁など)	病気	外での楽しみがない	えの耳の問題など(聞こえ)	目の障害	ない経済的に出られない	後遺症(脳卒中など)	その他	無回答	
全体	712 100.0	344 48.3	155 21.8	146 20.5	139 19.5	106 14.9	80 11.2	60 8.4	48 6.7	43 6.0	203 28.5	8 1.1	
性別	男性	258 100.0	109 42.2	48 18.6	61 23.6	60 23.3	47 18.2	32 12.4	23 8.9	22 8.5	19 7.4	71 27.5	2 0.8
	女性	440 100.0	227 51.6	104 23.6	81 18.4	78 17.7	55 12.5	48 10.9	36 8.2	24 5.5	24 5.5	129 29.3	6 1.4
年齢	65～69歳	84 100.0	19 22.6	8 9.5	8 9.5	11 13.1	14 16.7	2 2.4	2 2.4	9 10.7	6 7.1	47 56.0	-
	70～74歳	138 100.0	48 34.8	15 10.9	19 13.8	26 18.8	19 13.8	5 3.6	7 5.1	17 12.3	7 5.1	58 42.0	4 2.9
	75～79歳	123 100.0	41 33.3	23 18.7	21 17.1	23 18.7	19 15.4	8 6.5	6 4.9	13 10.6	10 8.1	42 34.1	2 1.6
	80～84歳	136 100.0	79 58.1	36 26.5	28 20.6	30 22.1	20 14.7	16 11.8	14 10.3	3 2.2	10 7.4	29 21.3	1 0.7
	85～89歳	137 100.0	94 68.6	48 35.0	42 30.7	35 25.5	21 15.3	24 17.5	18 13.1	6 4.4	8 5.8	14 10.2	1 0.7
	90歳以上	81 100.0	53 65.4	22 27.2	25 30.9	13 16.0	11 13.6	25 30.9	11 13.6	-	2 2.5	11 13.6	-
家族構成	一人暮らし	133 100.0	74 55.6	44 33.1	22 16.5	30 22.6	22 16.5	20 15.0	18 13.5	11 8.3	12 9.0	26 19.5	2 1.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	211 100.0	92 43.6	38 18.0	42 19.9	41 19.4	30 14.2	22 10.4	8 3.8	13 6.2	10 4.7	73 34.6	3 1.4
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	26 100.0	8 30.8	4 15.4	8 30.8	6 23.1	7 26.9	-	2 7.7	6 23.1	4 15.4	11 42.3	-
	息子・娘との2世帯	194 100.0	103 53.1	35 18.0	39 20.1	38 19.6	24 12.4	25 12.9	13 6.7	8 4.1	7 3.6	46 23.7	2 1.0
	その他	127 100.0	55 43.3	29 22.8	30 23.6	19 15.0	22 17.3	13 10.2	16 12.6	8 6.3	8 6.3	43 33.9	1 0.8
認定状況	受けていない	383 100.0	122 31.9	56 14.6	55 14.4	52 13.6	63 16.4	27 7.0	21 5.5	34 8.9	10 2.6	157 41.0	6 1.6
	要支援1	169 100.0	122 72.2	52 30.8	41 24.3	46 27.2	26 15.4	31 18.3	15 8.9	6 3.6	15 8.9	24 14.2	1 0.6
	要支援2	130 100.0	84 64.6	40 30.8	45 34.6	34 26.2	14 10.8	17 13.1	18 13.8	8 6.2	16 12.3	17 13.1	-
中学校区	安城南	101 100.0	59 58.4	24 23.8	22 21.8	20 19.8	11 10.9	13 12.9	9 8.9	7 6.9	6 5.9	23 22.8	3 3.0
	安城北	111 100.0	52 46.8	25 22.5	25 22.5	29 26.1	18 16.2	15 13.5	8 7.2	5 4.5	12 10.8	25 22.5	1 0.9
	明祥	71 100.0	27 38.0	20 28.2	18 25.4	14 19.7	13 18.3	8 11.3	3 4.2	9 12.7	-	21 29.6	1 1.4
	安城西	84 100.0	37 44.0	22 26.2	18 21.4	14 16.7	14 16.7	9 10.7	7 8.3	4 4.8	5 6.0	25 29.8	1 1.2
	桜井	94 100.0	42 44.7	12 12.8	18 19.1	18 19.1	16 17.0	9 9.6	7 7.4	4 4.3	5 5.3	30 31.9	-
	東山	60 100.0	25 41.7	11 18.3	14 23.3	15 25.0	11 18.3	6 10.0	2 3.3	7 11.7	3 5.0	18 30.0	-
	安祥	79 100.0	42 53.2	11 13.9	11 13.9	11 13.9	12 15.2	8 10.1	11 13.9	4 5.1	3 3.8	27 34.2	-
	篠目	58 100.0	27 46.6	12 20.7	9 15.5	10 17.2	3 5.2	4 6.9	6 10.3	2 3.4	6 10.3	26 44.8	-

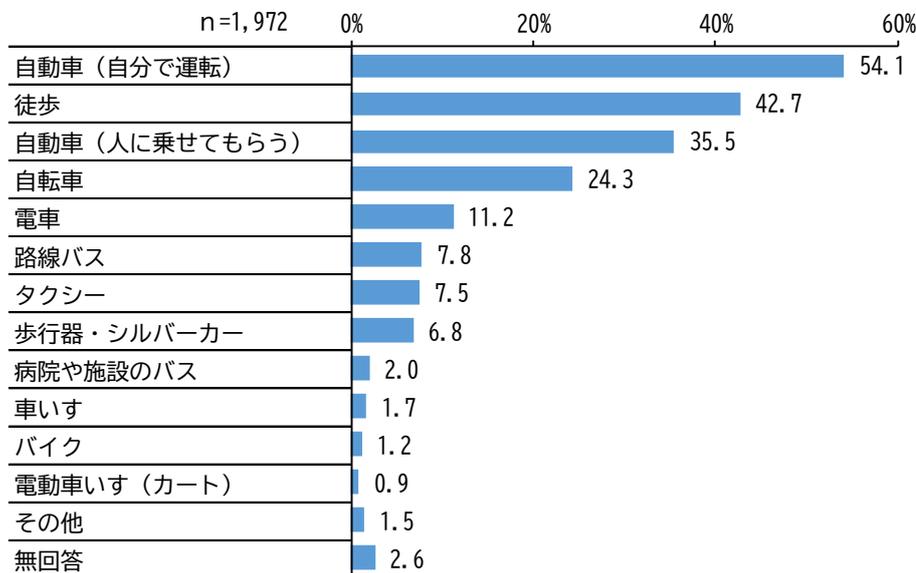
3-4 外出する際の移動手段

問13 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

「自動車（自分で運転）」(54.1%) が最も高く、次いで「徒歩」(42.7%)、「自動車（人に乗せてもらう）」(35.5%)、「自転車」(24.3%)、「電車」(11.2%) となっています。

性別でみると、男性では「自動車（自分で運転）」、女性では「自動車（人に乗せてもらう）」がそれぞれ最も高くなっています。

年齢別でみると、「自動車（自分で運転）」は年齢が上がるにつれて割合が低く、85～89歳では16.1%、90歳以上では4.7%となっています。一方、年齢が上がるにつれて概ね割合が高くなっている移動手段は、「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」「歩行器・シルバーカー」「病院や施設のバス」等となっています。



	件数	自動車（自分で運転）	徒歩	自動車（人に乗せてもらう）	自転車	電車	路線バス	タクシー	歩行器・シルバーカー	病院や施設のバス	車いす	バイク	電動車いす（カート）	その他	無回答	
全体	1,972	1,066	843	701	480	221	154	148	134	40	34	23	17	30	51	
	100.0	54.1	42.7	35.5	24.3	11.2	7.8	7.5	6.8	2.0	1.7	1.2	0.9	1.5	2.6	
性別	男性	865	603	423	194	252	112	55	47	27	16	11	15	8	7	26
		100.0	69.7	48.9	22.4	29.1	12.9	6.4	5.4	3.1	1.8	1.3	1.7	0.9	0.8	3.0
	女性	1,078	449	413	496	222	108	97	99	104	24	22	8	9	23	25
		100.0	41.7	38.3	46.0	20.6	10.0	9.0	9.2	9.6	2.2	2.0	0.7	0.8	2.1	2.3
年齢	65～69歳	360	290	171	77	85	58	21	11	3	1	9	1	2	12	
		100.0	80.6	47.5	21.4	23.6	16.1	5.8	3.1	0.8	0.3	0.3	2.5	0.3	0.6	3.3
	70～74歳	492	348	223	139	128	57	26	19	12	5	7	1	1	12	
		100.0	70.7	45.3	28.3	26.0	11.6	5.3	3.9	2.4	1.0	1.0	1.4	0.2	0.2	2.4
	75～79歳	403	238	178	124	131	53	40	21	13	7	4	5	2	4	7
		100.0	59.1	44.2	30.8	32.5	13.2	9.9	5.2	3.2	1.7	1.0	1.2	0.5	1.0	1.7
80～84歳	329	135	147	136	93	32	33	36	28	4	9		2	7	9	
	100.0	41.0	44.7	41.3	28.3	9.7	10.0	10.9	8.5	1.2	2.7		0.6	2.1	2.7	
85～89歳	236	38	79	141	32	16	25	42	35	14	10	1	7	12	7	
	100.0	16.1	33.5	59.7	13.6	6.8	10.6	17.8	14.8	5.9	4.2	0.4	3.0	5.1	3.0	
90歳以上	129	6	40	75	7	5	8	18	38	9	4		4	4	4	
	100.0	4.7	31.0	58.1	5.4	3.9	6.2	14.0	29.5	7.0	3.1		3.1	3.1	3.1	

家族構成別でみると、「自動車（自分で運転）」はいずれの家族構成でも最も高く、「自動車（人に乗せてもらう）」は息子・娘との2世帯で、「タクシー」は一人暮らしで、それぞれ割合が高くなっています。

認定状況別でみると、「自動車（人に乗せてもらう）」「タクシー」「歩行器・シルバーカー」は要支援1・要支援2で高くなっています。

中学校区別でみると、「自動車（自分で運転）」はいずれの中学校区でも最も高く、「徒歩」は篠目で高くなっています。

	件数	運自動車（自分で）	徒歩	せ自動車（人に乗）	自転車	電車	路線バス	タクシー	歩行器・シルバーカー	病院や施設のバス	車いす	バイク	（カートの）電動車いす	その他	無回答	
全 体	1,972 100.0	1,066 54.1	843 42.7	701 35.5	480 24.3	221 11.2	154 7.8	148 7.5	134 6.8	40 2.0	34 1.7	23 1.2	17 0.9	30 1.5	51 2.6	
家 族 構 成	一人暮らし	294 100.0	131 44.6	122 41.5	79 26.9	60 20.4	39 13.3	38 12.9	47 16.0	30 10.2	6 2.0	4 1.4	2 0.7	5 1.7	8 2.7	
	夫婦2人暮らし （配偶者65歳以上）	663 100.0	415 62.6	309 46.6	227 34.2	182 27.5	87 13.1	52 7.8	29 4.4	21 3.2	8 1.2	6 0.9	9 1.4	7 1.1	8 1.2	
	夫婦2人暮らし （配偶者64歳以下）	78 100.0	60 76.9	30 38.5	20 25.6	19 24.4	7 9.0	2 2.6	2 2.6	-	1 1.3	2 2.6	-	2 2.6	1 1.3	
	息子・娘との2世帯	537 100.0	252 46.9	222 41.3	241 44.9	130 24.2	56 10.4	38 7.1	41 7.6	49 9.1	14 2.6	15 2.8	6 1.1	3 0.6	6 1.1	16 3.0
	その他	344 100.0	180 52.3	146 42.4	119 34.6	73 21.2	29 8.4	21 6.1	25 7.3	27 7.8	9 2.6	6 1.7	4 1.2	2 0.6	6 1.7	11 3.2
	認 定 状 況	受けていない	1,486 100.0	999 67.2	685 46.1	404 27.2	444 29.9	202 13.6	116 7.8	53 3.6	19 1.3	9 0.6	4 0.3	20 1.3	1 0.1	8 0.5
要支援1	246 100.0	26 10.6	89 36.2	156 63.4	20 8.1	13 5.3	25 10.2	57 23.2	58 23.6	18 7.3	7 2.8	2 0.8	9 3.7	14 5.7	6 2.4	
要支援2	181 100.0	18 9.9	46 25.4	118 65.2	5 2.8	3 1.7	10 5.5	32 17.7	49 27.1	12 6.6	20 11.0	-	5 2.8	6 3.3	8 4.4	
中 学 校 区	安城南	267 100.0	145 54.3	124 46.4	96 36.0	57 21.3	39 14.6	33 12.4	28 10.5	21 7.9	3 1.1	5 1.9	4 1.5	1 0.4	3 1.1	
	安城北	283 100.0	132 46.6	126 44.5	107 37.8	71 25.1	33 11.7	19 6.7	32 11.3	23 8.1	3 1.1	7 2.5	2 0.7	2 0.7	4 1.4	
	明祥	195 100.0	139 71.3	60 30.8	52 26.7	38 19.5	7 3.6	5 2.6	5 2.6	7 3.6	4 2.1	2 1.0	3 1.5	-	8 4.1	
	安城西	220 100.0	121 55.0	85 38.6	87 39.5	49 22.3	18 8.2	15 6.8	13 5.9	17 7.7	7 3.2	4 1.8	4 1.8	3 1.4	-	
	桜井	253 100.0	143 56.5	100 39.5	90 35.6	68 26.9	31 12.3	15 5.9	10 4.0	19 7.5	6 2.4	4 1.6	4 1.6	1 0.4	5 2.0	
	東山	214 100.0	118 55.1	98 45.8	74 34.6	58 27.1	27 12.6	16 7.5	20 9.3	10 4.7	5 2.3	3 1.4	-	2 0.9	5 2.3	
	安祥	221 100.0	119 53.8	95 43.0	72 32.6	55 24.9	23 10.4	20 9.0	13 5.9	18 8.1	3 1.4	2 0.9	1 0.5	2 0.9	8 3.6	
	篠目	195 100.0	105 53.8	103 52.8	74 37.9	56 28.7	32 16.4	19 9.7	11 5.6	5 2.6	3 1.5	7 3.6	4 2.1	-	3 1.5	

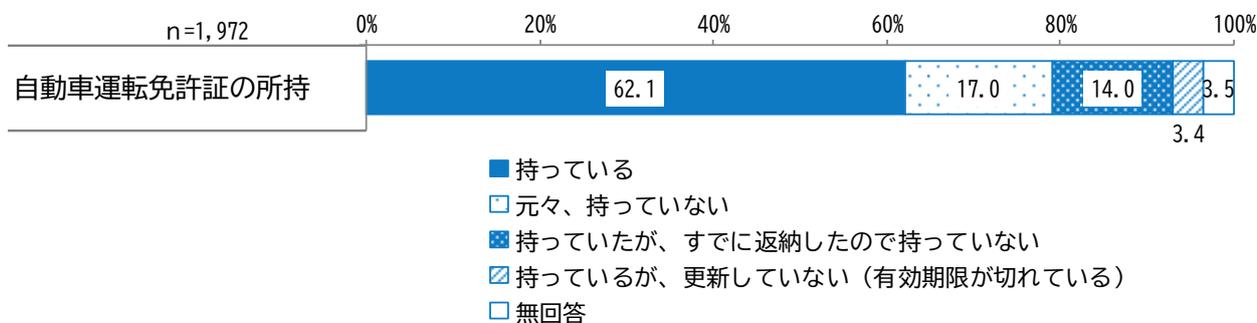
3-5 自動車運転免許証の所持状況

問14 現在、自動車の運転免許証を持っていますか。(○は1つ)

自動車運転免許証の所持については、「持っている」(62.1%)が最も高く、次いで「元々、持っていない」(17.0%)となっています。また、「持っていたが、すでに返納したので持っていない」は14.0%となっています。

性別でみると、「持っている」は男性で高く、「元々、持っていない」は女性で高くなっています。

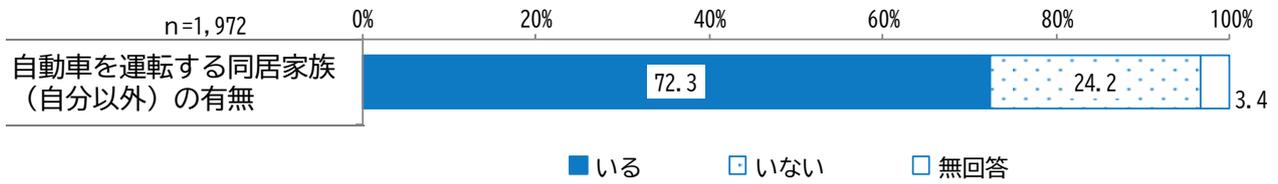
年齢別でみると、「持っている」は年齢が上がるにつれて割合が低く、「元々、持っていない」「持っていたが、すでに返納したので持っていない」「持っているが、更新していない(有効期限が切れている)」はいずれも年齢が上がるにつれて概ね割合が高くなっています。



		件数	持っている	元々、持っていない	持っていたが、すでに返納したので持っていない	持っているが、更新していない(有効期限が切れている)	無回答
全体		1,972 100.0	1,224 62.1	335 17.0	277 14.0	67 3.4	69 3.5
性別	男性	865 100.0	680 78.6	28 3.2	98 11.3	36 4.2	23 2.7
	女性	1,078 100.0	529 49.1	302 28.0	174 16.1	30 2.8	43 4.0
年齢	65~69歳	360 100.0	322 89.4	11 3.1	10 2.8	5 1.4	12 3.3
	70~74歳	492 100.0	395 80.3	49 10.0	25 5.1	11 2.2	12 2.4
	75~79歳	403 100.0	275 68.2	56 13.9	54 13.4	7 1.7	11 2.7
	80~84歳	329 100.0	157 47.7	75 22.8	65 19.8	15 4.6	17 5.2
	85~89歳	236 100.0	55 23.3	77 32.6	77 32.6	16 6.8	11 4.7
	90歳以上	129 100.0	7 5.4	61 47.3	42 32.6	13 10.1	6 4.7

問15 ご自身以外で自動車を運転する同居家族はいますか。(○は1つ)

自分以外で自動車を運転する同居家族が「いる」人は72.3%となっています。  
 年齢別でみると、「いない」は80～84歳で高くなっています。



		件数	いる	いない	無回答
全 体		1,972 100.0	1,426 72.3	478 24.2	68 3.4
性 別	男性	865 100.0	630 72.8	206 23.8	29 3.4
	女性	1,078 100.0	776 72.0	265 24.6	37 3.4
年 齢	65～69歳	360 100.0	286 79.4	62 17.2	12 3.3
	70～74歳	492 100.0	373 75.8	103 20.9	16 3.3
	75～79歳	403 100.0	301 74.7	92 22.8	10 2.5
	80～84歳	329 100.0	212 64.4	106 32.2	11 3.3
	85～89歳	236 100.0	151 64.0	73 30.9	12 5.1
	90歳以上	129 100.0	86 66.7	36 27.9	7 5.4

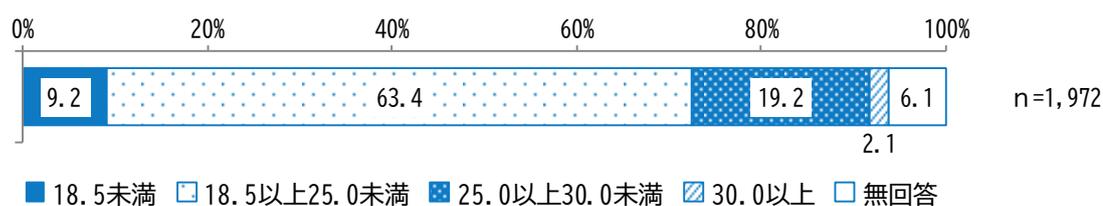
## (4) 食べることについて

### 4-1 BMI 値の状況

問16 身長と体重をお書きください。

身長と体重から BMI 値※を計算すると、「やせ」の状態である BMI=18.5 未満の人は 9.2%となっています。また、「肥満」の状態である BMI=25.0 以上の人は 21.3%で、そのうち BMI=30.0 以上の人は 2.1%となっています。

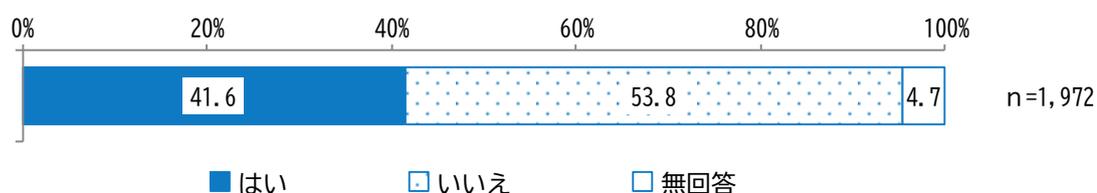
※BMI (Body Mass Index) は、体重 kg / (身長×身長) m で計算される指数による肥満度の判定方法であり、日本肥満学会では 18.5 未満をやせすぎ、25.0 以上を肥満としています。



### 4-2 口腔機能について

問17 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

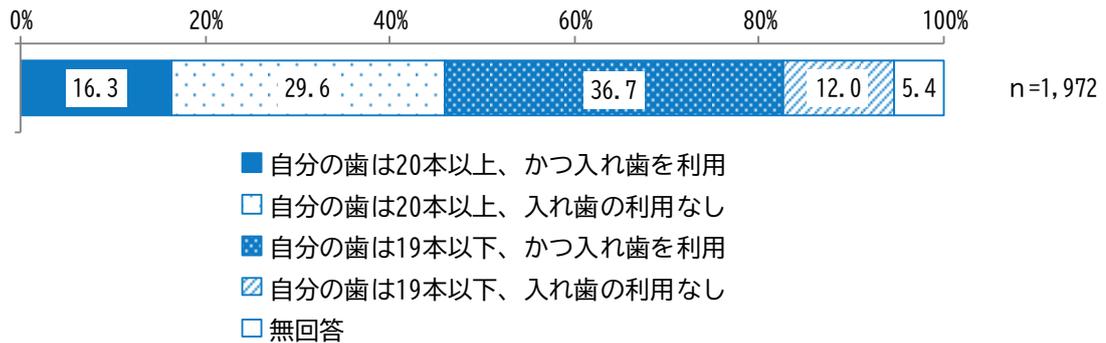
「はい」(半年前に比べて固いものが食べにくくなった)は 41.6%となっています。



### 4-3 歯の本数と入れ歯の利用状況

問18 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(○は1つ) (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)

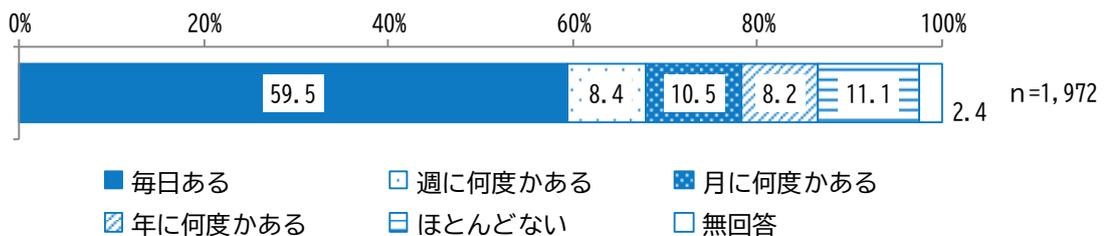
「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」(36.7%) が最も高く、次いで「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」(29.6%)、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」(16.3%)、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」(12.0%) となっています。



### 4-4 共食の状況

問19 どなたかと食事をとる機会がありますか。(○は1つ)

「毎日ある」(59.5%) が最も高く、「ほとんどない」は 11.1% となっています。

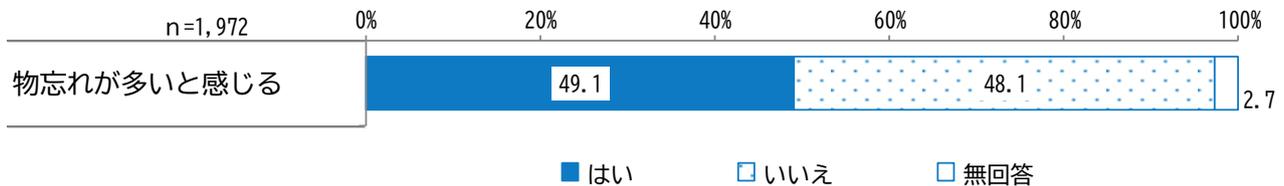


## (5) 毎日の生活について

### 5-1 物忘れについて

問20 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

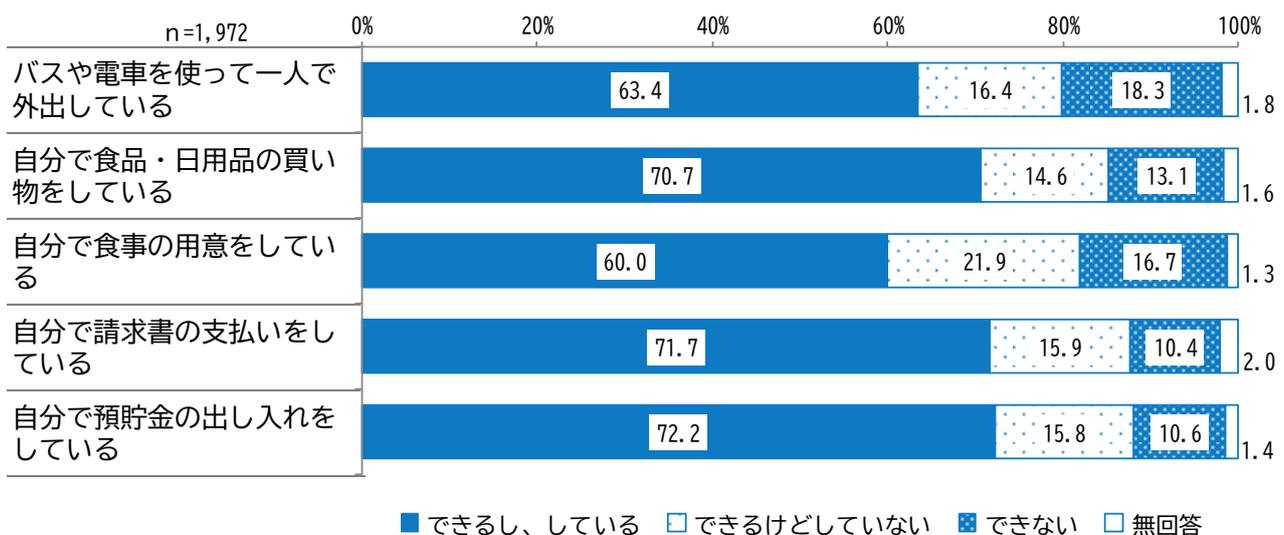
「はい」(物忘れが多いと感じる)は49.1%となっています。



### 5-2 日常生活について

問21 バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)  
 問22 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(○は1つ)  
 問23 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)  
 問24 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)  
 問25 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

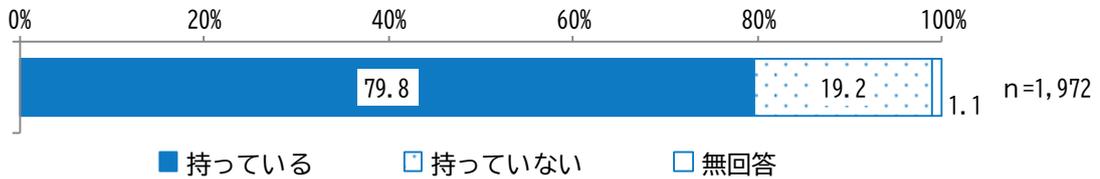
日常生活についてたずねたところ、『していない』(「できない」「できるけどしていない」の計)は、「自分で食事の用意をしている」で38.6%と高く、次いで「バスや電車を使って一人で外出している」で34.7%となっています。



5-3 携帯電話等の所持状況

問26 携帯電話やスマートフォンを持っていますか。(○は1つ)

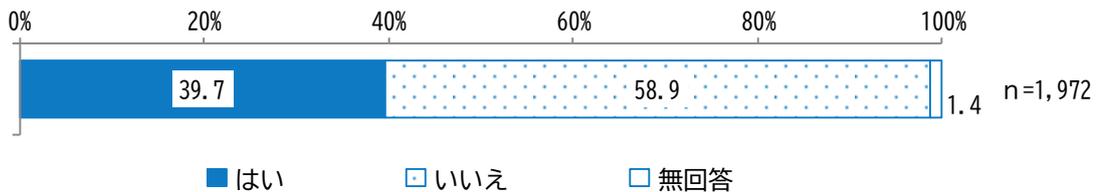
「持っている」は79.8%となっています。



5-4 会話等の聞こえの状況

問27 会話やテレビの音などが、うまく聞き取れないと感じますか。(○は1つ)

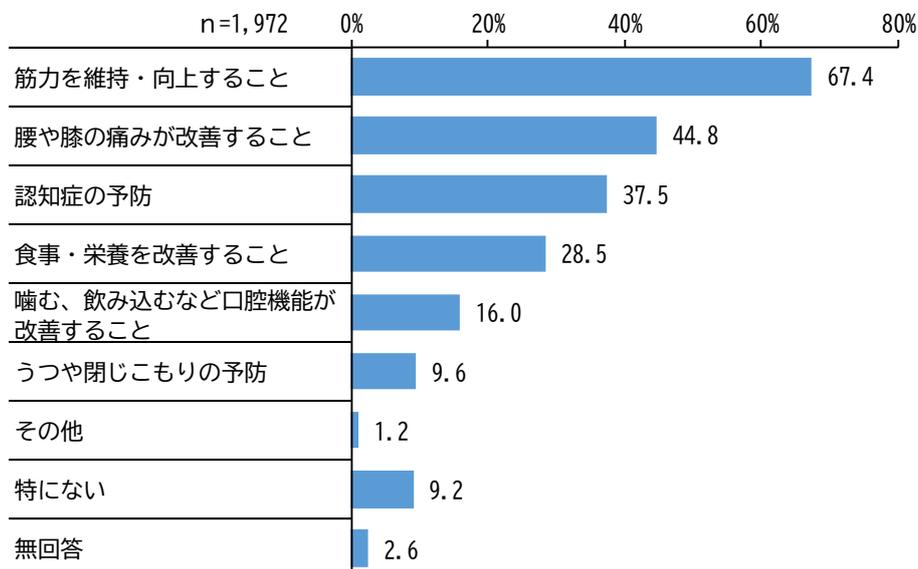
「はい」(うまく聞き取れないと感じる)は39.7%となっています。



5-5 介護予防のために取り組みたいこと

問28 あなたは介護予防のためにどのようなことに取り組みたいですか。(○は3つまで)

「筋力を維持・向上すること」(67.4%)が最も高く、次いで「腰や膝の痛みが改善すること」(44.8%)、「認知症の予防」(37.5%)、「食事・栄養を改善すること」(28.5%)となっています。



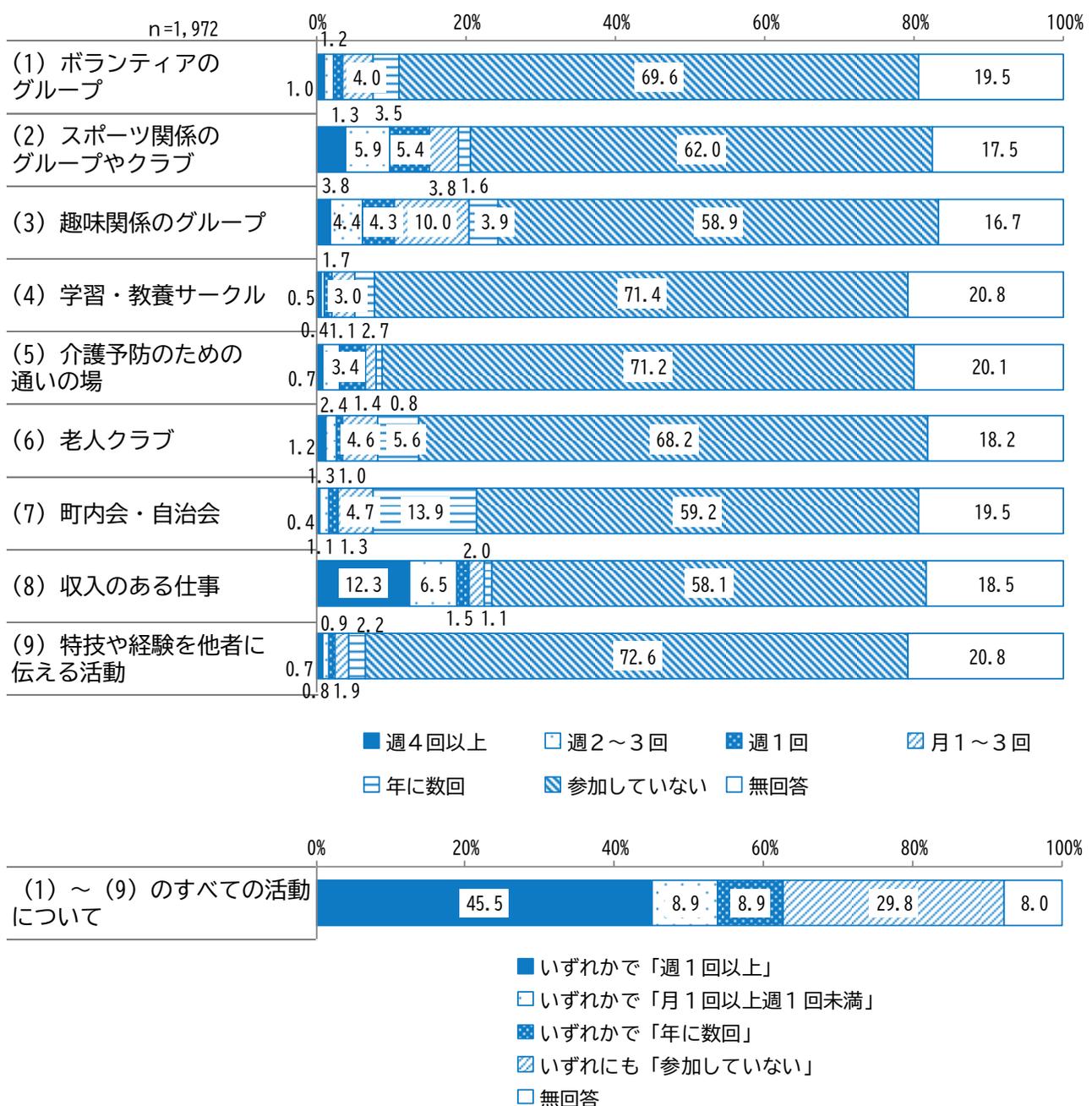
## (6) 地域での活動について

### 6-1 地域活動への参加頻度

問29 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

地域活動への参加頻度についてみると、『参加している』（「週4回以上」～「年に数回」の計）は「趣味関係のグループ」（24.3%）で最も高く、次いで「収入のある仕事」（23.4%）、「町内会・自治会」（21.4%）、「スポーツ関係のグループやクラブ」（20.5%）となっています。一方、「介護予防のための通いの場」に『参加している』は8.7%となっています。

なお、地域活動のいずれにも「参加していない」人は 587 人（29.8%）となっています。



性別でみると、男性では「収入のある仕事」が、女性では「趣味関係のグループ」への参加率が最も高くなっています。

年齢別でみると、65～69歳、70～74歳では「収入のある仕事」が、75～79歳、80～84歳、85～89歳では「趣味関係のグループ」が、90歳以上では「介護予防のための通いの場」への参加率が最も高くなっています。

家族構成別でみると、一人暮らし、夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）では「趣味関係のグループ」が、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）、息子・娘との2世帯、その他では「収入のある仕事」への参加率が最も高くなっています。

中学校区別でみると、明祥、篠目では「収入のある仕事」が、安祥では「町内会・自治会」が、その他の中学校区では「趣味関係のグループ」への参加率が最も高くなっています。

	件数	(1) ボランティアのグループ		(2) スポーツ関係のグループやクラブ		(3) 趣味関係のグループ		(4) 学習・教養サークル		(5) 介護予防のための通いの場		(6) 老人クラブ		(7) 町内会・自治会		(8) 収入のある仕事		(9) 特技や経験を他者に伝える活動		
		てい参加し	いな加し	てい参加し	いな加し	てい参加し	いな加し	てい参加し	いな加し	てい参加し	いな加し	てい参加し	いな加し	てい参加し	いな加し	てい参加し	いな加し	てい参加し	いな加し	
全体	1,972 100.0	215 10.9	1,373 69.6	405 20.5	1,222 62.0	480 24.3	1,162 58.9	154 7.8	1,408 71.4	171 8.7	1,405 71.2	269 13.6	1,345 68.2	420 21.3	1,168 59.2	463 23.5	1,145 58.1	129 6.5	1,432 72.6	
性別	男性	865 100.0	125 14.5	614 71.0	196 22.7	554 64.0	212 24.5	544 62.9	51 5.9	678 78.4	54 6.2	677 78.3	126 14.6	619 71.6	240 27.7	503 58.2	263 30.4	494 57.1	81 9.4	653 75.5
	女性	1,078 100.0	87 8.1	745 69.1	205 19.0	657 60.9	262 24.3	607 56.3	101 9.4	718 66.6	114 10.6	716 66.4	141 13.1	712 66.0	177 16.4	653 60.6	197 18.3	639 59.3	48 4.5	765 71.0
年齢	65～69歳	360 100.0	41 11.4	291 80.8	69 19.2	265 73.6	86 23.9	247 68.6	37 10.3	294 81.7	12 3.3	316 87.8	14 3.9	313 86.9	87 24.2	242 67.2	183 50.8	157 43.6	25 6.9	302 83.9
	70～74歳	492 100.0	63 12.8	365 74.2	125 25.4	314 63.8	133 27.0	302 61.4	35 7.1	388 78.9	15 3.0	405 82.3	40 8.1	384 78.0	117 23.8	311 63.2	156 31.7	282 57.3	35 7.1	388 78.9
	75～79歳	403 100.0	55 13.6	260 64.5	107 26.6	222 55.1	110 27.3	220 54.6	41 10.2	268 66.5	37 9.2	272 67.5	71 17.6	247 61.3	100 24.8	215 53.3	86 21.3	236 58.6	47 11.7	262 65.0
	80～84歳	329 100.0	35 10.6	210 63.8	78 23.7	181 55.0	85 25.8	175 53.2	26 7.9	216 65.7	38 11.6	207 62.9	80 24.3	177 53.8	71 21.6	177 53.8	22 6.7	222 67.5	18 5.5	225 68.4
	85～89歳	236 100.0	13 5.5	145 61.4	18 7.6	138 58.5	48 20.3	123 52.1	10 4.2	143 60.6	41 17.4	120 50.8	47 19.9	124 52.5	32 13.6	125 53.0	14 5.9	141 59.7	3 1.3	148 62.7
	90歳以上	129 100.0	4 3.1	91 70.5	5 3.9	91 70.5	11 8.5	85 65.9	2 1.6	88 68.2	25 19.4	73 56.6	13 10.1	86 66.7	9 7.0	87 67.4	1 0.8	94 72.9	1 0.8	93 72.1
家族構成	一人暮らし	294 100.0	33 11.2	180 61.2	48 16.3	167 56.8	62 21.1	159 54.1	22 7.5	188 63.9	38 12.9	181 61.6	36 12.2	185 62.9	58 19.7	161 54.8	40 13.6	174 59.2	12 4.1	196 66.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663 100.0	83 12.5	468 70.6	178 26.8	389 58.7	196 29.6	379 57.2	60 9.0	490 73.9	55 8.3	492 74.2	90 13.6	462 69.7	167 25.2	387 58.4	158 23.8	408 61.5	53 8.0	496 74.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78 100.0	9 11.5	52 66.7	12 15.4	51 65.4	13 16.7	48 61.5	6 7.7	55 70.5	2 2.6	60 76.9	5 6.4	57 73.1	18 23.1	46 59.0	35 44.9	30 38.5	3 3.8	59 75.6
	息子・娘との2世帯	537 100.0	49 9.1	381 70.9	97 18.1	344 64.1	117 21.8	324 60.3	37 6.9	378 70.4	42 7.8	375 69.8	81 15.1	355 66.1	91 16.9	330 61.5	118 22.0	309 57.5	37 6.9	383 71.3
	その他	344 100.0	37 10.8	260 75.6	61 17.7	241 70.1	79 23.0	226 65.7	24 7.0	266 77.3	32 9.3	264 76.7	52 15.1	254 73.8	81 23.5	215 62.5	103 29.9	198 57.6	21 6.1	267 77.6
中学校区	安城南	267 100.0	27 10.1	195 73.0	57 21.3	170 63.7	59 22.1	166 62.2	26 9.7	194 72.7	29 10.9	190 71.2	27 10.1	192 71.9	50 18.7	169 63.3	69 25.8	153 57.3	22 8.2	194 72.7
	安城北	283 100.0	37 13.1	191 67.5	49 17.3	182 64.3	68 24.0	167 59.0	25 8.8	197 69.6	34 12.0	195 68.9	42 14.8	186 65.7	57 20.1	168 59.4	63 22.3	166 58.7	21 7.4	201 71.0
	明祥	195 100.0	16 8.2	145 74.4	43 22.1	121 62.1	47 24.1	117 60.0	14 7.2	147 75.4	10 5.1	150 76.9	26 13.3	138 70.8	47 24.1	115 59.0	50 25.6	118 60.5	5 2.6	154 79.0
	安城西	220 100.0	24 10.9	159 72.3	29 13.2	154 70.0	54 24.5	137 62.3	17 7.7	159 72.3	19 8.6	159 72.3	27 12.3	159 72.3	37 16.8	144 65.5	52 23.6	134 60.9	13 5.9	165 75.0
	桜井	253 100.0	35 13.8	164 64.8	52 20.6	149 58.9	75 29.6	130 51.4	18 7.1	175 69.2	27 10.7	171 67.6	55 21.7	148 58.5	73 28.9	127 50.2	67 26.5	135 53.4	26 10.3	172 68.0
	東山	214 100.0	33 15.4	138 64.5	64 29.9	116 54.2	62 29.0	120 56.1	16 7.5	154 72.0	12 5.6	158 73.8	33 15.4	148 69.2	52 24.3	122 57.0	46 21.5	124 57.9	14 6.5	158 73.8
	安祥	221 100.0	19 8.6	162 73.3	43 19.5	141 63.8	44 19.9	137 62.0	18 8.1	159 71.9	20 9.0	157 71.0	30 13.6	149 67.4	53 24.0	128 57.9	52 23.5	131 59.3	15 6.8	161 72.9
	篠目	195 100.0	20 10.3	141 72.3	53 27.2	119 61.0	48 24.6	123 63.1	17 8.7	144 73.8	13 6.7	150 76.9	19 9.7	146 74.9	39 20.0	124 63.6	50 25.6	117 60.0	12 6.2	148 75.9

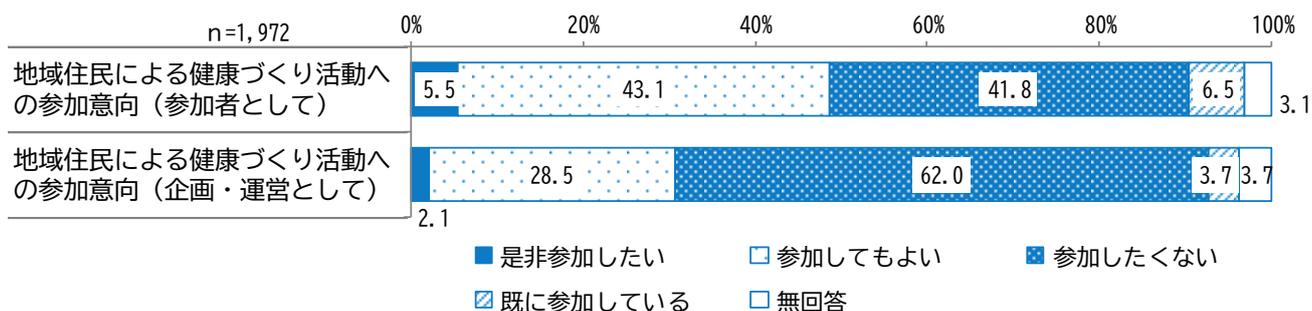
6-2 地域住民による健康づくり活動への参加意向

問30 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

問31 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

地域住民による健康づくり活動への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」(43.1%)が最も高く、『参加意向がある』(「是非参加したい」「参加してもよい」「既に参加している」の計)は55.1%となっています。一方、「参加したくない」は41.8%となっています。

地域住民による健康づくり活動への企画・運営としての参加意向については、『参加意向がある』は34.3%となっており、企画・運営に協力してもよいと考える人が一定数います。



性別でみると、企画・運営としての参加意向は男性で高くなっています。

年齢別でみると、65歳から89歳までの年代では参加者としての参加意向が高く、90歳以上のみ「参加したくない」が高くなっています。企画・運営としての参加意向は、どの年代においても「参加したくない」を下回っています。

家族構成別でみると、全ての類型において参加者としての参加意向が高くなっています。企画・運営としての参加意向は、全ての類型において「参加したくない」を下回っています。

中学校区別でみると、全ての中学校区において参加者としての参加意向が高くなっています。企画・運営としての参加意向は、全ての中学校区において「参加したくない」を下回っています。

	件数	参加者として			企画・運営として			
		が『あ る 参 加 意 向』	な 参 加 し た く	無 回 答	が『あ る 参 加 意 向』	な 参 加 し た く	無 回 答	
全 体	1,972 100.0	1,086 55.1	825 41.8	61 3.1	677 34.3	1,222 62.0	73 3.7	
性 別	男性	865 100.0	469 54.2	377 43.6	19 2.2	325 37.6	524 60.6	16 1.8
	女性	1,078 100.0	605 56.1	437 40.5	36 3.3	343 31.8	685 63.5	50 4.6
年 齢	65～69歳	360 100.0	226 62.8	129 35.8	5 1.4	141 39.2	215 59.7	4 1.1
	70～74歳	492 100.0	261 53.0	225 45.7	6 1.2	161 32.7	322 65.4	9 1.8
	75～79歳	403 100.0	244 60.5	148 36.7	11 2.7	162 40.2	227 56.3	14 3.5
	80～84歳	329 100.0	186 56.5	132 40.1	11 3.3	113 34.3	202 61.4	14 4.3
	85～89歳	236 100.0	120 50.8	99 41.9	17 7.2	67 28.4	149 63.1	20 8.5
	90歳以上	129 100.0	39 30.2	81 62.8	9 7.0	24 18.6	96 74.4	9 7.0
家 族 構 成	一人暮らし	294 100.0	151 51.4	132 44.9	11 3.7	100 34.0	178 60.5	16 5.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663 100.0	401 60.5	246 37.1	16 2.4	248 37.4	401 60.5	14 2.1
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78 100.0	41 52.6	36 46.2	1 1.3	26 33.3	51 65.4	1 1.3
	息子・娘との2世帯	537 100.0	290 54.0	227 42.3	20 3.7	169 31.5	342 63.7	26 4.8
	その他	344 100.0	179 52.0	160 46.5	5 1.5	119 34.6	219 63.7	6 1.7
中 学 校 区	安城南	267 100.0	140 52.4	119 44.6	8 3.0	77 28.8	181 67.8	9 3.4
	安城北	283 100.0	159 56.2	112 39.6	12 4.2	106 37.5	165 58.3	12 4.2
	明祥	195 100.0	106 54.4	83 42.6	6 3.1	75 38.5	115 59.0	5 2.6
	安城西	220 100.0	124 56.4	93 42.3	3 1.4	78 35.5	138 62.7	4 1.8
	桜井	253 100.0	136 53.8	112 44.3	5 2.0	85 33.6	161 63.6	7 2.8
	東山	214 100.0	135 63.1	73 34.1	6 2.8	81 37.9	126 58.9	7 3.3
	安祥	221 100.0	119 53.8	94 42.5	8 3.6	78 35.3	134 60.6	9 4.1
	篠目	195 100.0	109 55.9	83 42.6	3 1.5	63 32.3	126 64.6	6 3.1

6-3 ボランティア活動について

問32 ボランティア活動についておうかがいします。

(1) ボランティア活動を始めた（または始めようと思う）きっかけは何ですか。  
 (○はいくつでも)

(2) 介護施設等でのボランティア活動に対して、ポイントが付与され、ポイントに応じて換金又は寄付できるなどの制度があった場合、参加してみたいと思いますか。  
 (○は1つ)

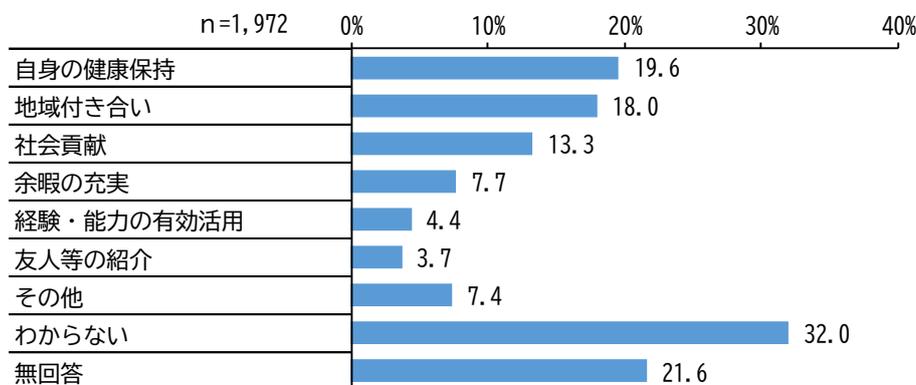
(3) ボランティア活動に対する報酬の考え方について適当だと思うのはどれですか。  
 (○は1つ)

ボランティア活動を始めた（または始めようと思う）きっかけは、「わからない」及び無回答以外では、「自身の健康保持」（19.6%）が最も高く、次いで「地域付き合い」（18.0%）、「社会貢献」（13.3%）、「余暇の充実」（7.7%）となっています。

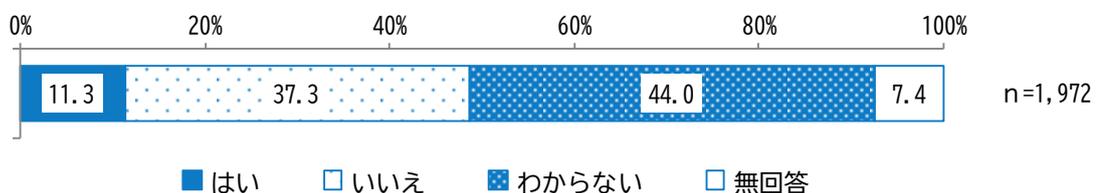
ポイント制度があった場合のボランティア活動への参加意向は、「はい」（参加してみたい）が11.3%、「いいえ」が37.3%、「わからない」が44.0%となっています。

ボランティア活動に対する報酬として適当だと思うものは、「実費（交通費・材料代）程度」（35.6%）が最も高く、次いで「わからない」（32.7%）、「無報酬」（15.4%）となっています。

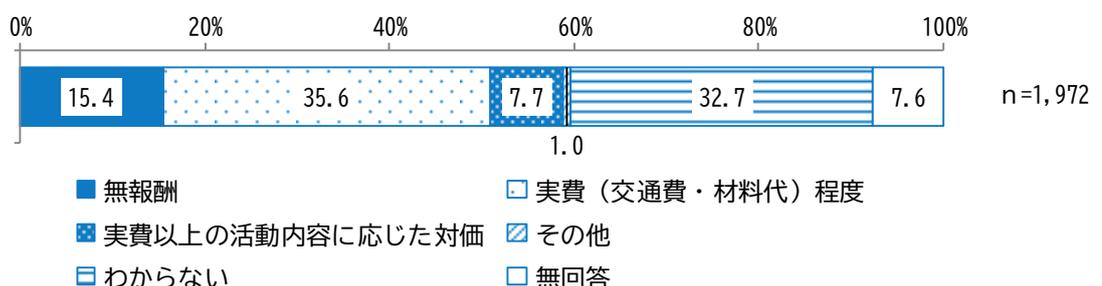
【ボランティア活動を始めたきっかけ】



【ボランティア活動ポイント制度への参加意向】



【ボランティア活動に対する報酬として適当だと思うもの】



6-4 地域との関わりについて

問33 あなたの住んでいる地域についておうかがいします。

- (1) あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか。(○は1つ)
- (2) あなたの地域の人々は、多くの場合、他の人の役に立とうとしますか。(○は1つ)
- (3) あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。(○は1つ)
- (4) あなたの地域は、高齢者が安心して暮らすことのできるまちだと思いますか。(○は1つ)

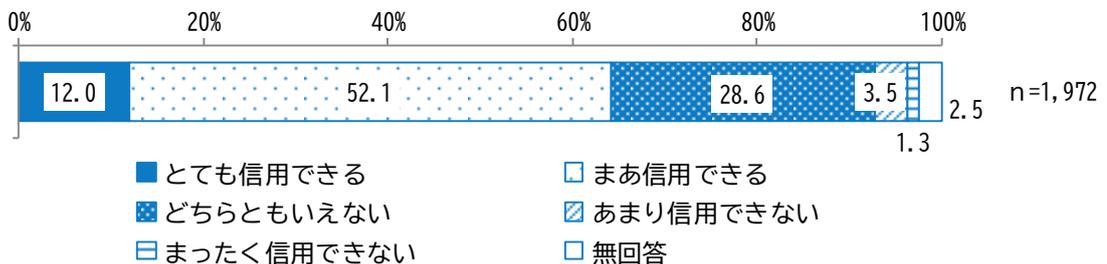
地域の人々が一般的に信用できるかについては、「まあ信用できる」(52.1%)が最も高く、『信用できる』(「とても信用できる」「まあ信用できる」の計)は64.1%となっています。一方、『信用できない』(「まったく信用できない」「あまり信用できない」の計)は4.8%となっています。

地域の人々が他の人の役に立とうと思うかについては、「どちらともいえない」(39.6%)が最も高く、『そう思う』(「とてもそう思う」「まあそう思う」の計)は43.7%、『そう思わない』(「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計)は13.7%となっています。

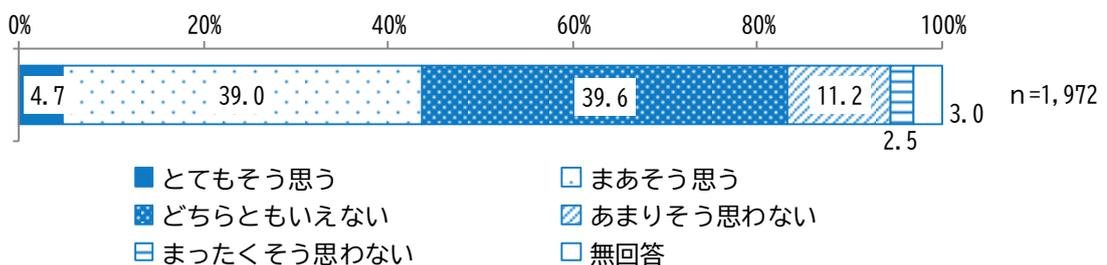
現在住んでいる地域への愛着については、「まあ愛着がある」(51.7%)が最も高く、『愛着がある』(「とても愛着がある」「まあ愛着がある」の計)は73.7%となっています。一方、『愛着がない』(「まったく愛着がない」「あまり愛着がない」の計)は6.4%となっています。

現在住んでいる地域は高齢者が安心して暮らすことのできるまちだと思うかについては、「まあそう思う」(50.9%)が最も高く、『そう思う』は57.8%となっています。一方、『そう思わない』は12.9%となっています。

【地域の人々は一般的に信用できると思うか】

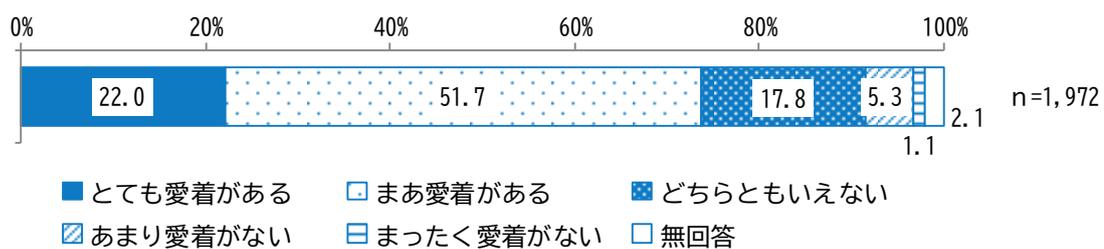


【地域の人々は多くの場合、他の人の役に立とうとと思うか】

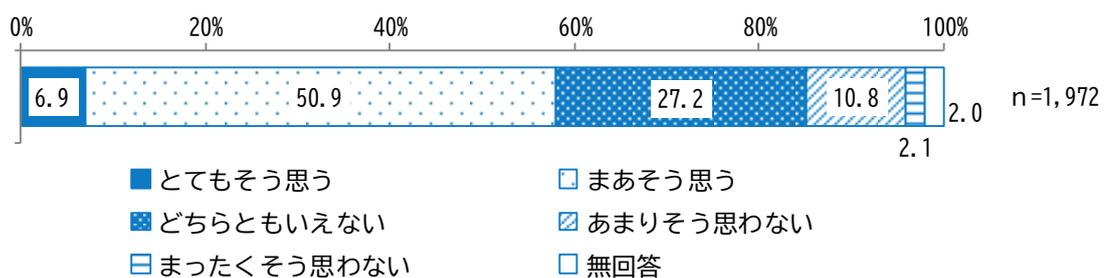


## II 調査の結果 1 一般高齢者調査

### 【現在住んでいる地域への愛着】



### 【現在住んでいる地域は、高齢者が安心して暮らすことのできるまちだと思うか】



## (7) たすけあいについて

### 7-1 情緒的サポートの受領状況

問34 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまる人すべてに○をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(○はいくつでも)

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」(52.3%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(40.1%)、「友人」(34.5%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(32.9%)となっています。

情緒的サポート受領者※割合は92.1%となっています。

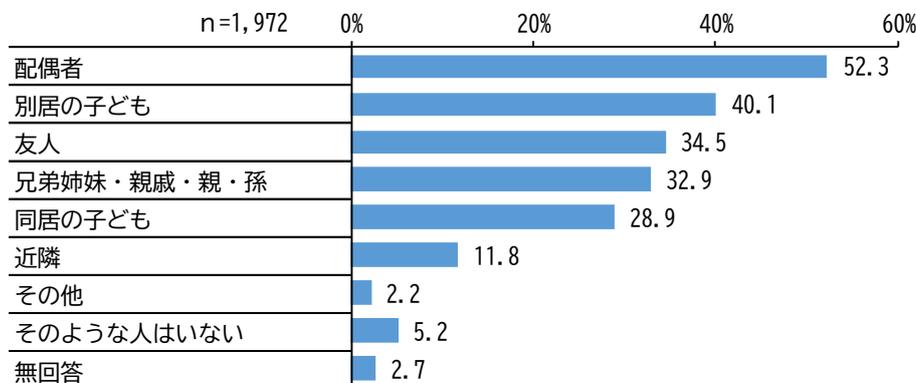
性別でみると、男性は「配偶者」(68.9%)が最も高く、女性は「別居の子ども」(47.4%)が最も高くなっています。

見える化システム内の令和元年度及び2年度調査における全国推計では、「配偶者」に次いで「友人」が高い結果となっています。

※「情緒的サポート」は、ストレス状態にある個人に対し、他者が共感的、受容的に接することで支えていくような態度や行動のことを指します。ここでは「心配事や愚痴を聞いてくれる相手の割合」を「情緒的サポート受領者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	別居の子ども	友人	兄弟姉妹・親戚・親・孫	同居の子ども	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,972	1,031	791	681	649	570	232	43	103	53
	100.0	52.3	40.1	34.5	32.9	28.9	11.8	2.2	5.2	2.7
男性	865	596	270	213	226	190	58	15	62	22
	100.0	68.9	31.2	24.6	26.1	22.0	6.7	1.7	7.2	2.5
女性	1,078	428	511	455	414	371	169	28	40	30
	100.0	39.7	47.4	42.2	38.4	34.4	15.7	2.6	3.7	2.8
全国 (R2)	-	52.5	35.7	40.9	32.7	19.8	11.7	2.4	7.0	-
全国 (R1)	-	52.4	34.6	41.2	31.8	19.9	11.7	2.5	6.1	-

※「全国」は、見える化システムに調査結果を登録した市区町村(令和元年度355、令和2年度157)の母集団平均の推計値。

7-2 情緒的サポートの提供状況

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（〇はいくつでも）

心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」(50.3%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(36.4%)、「友人」(35.9%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(32.5%)となっています。

情緒的サポート提供者※割合は87.3%となっています。

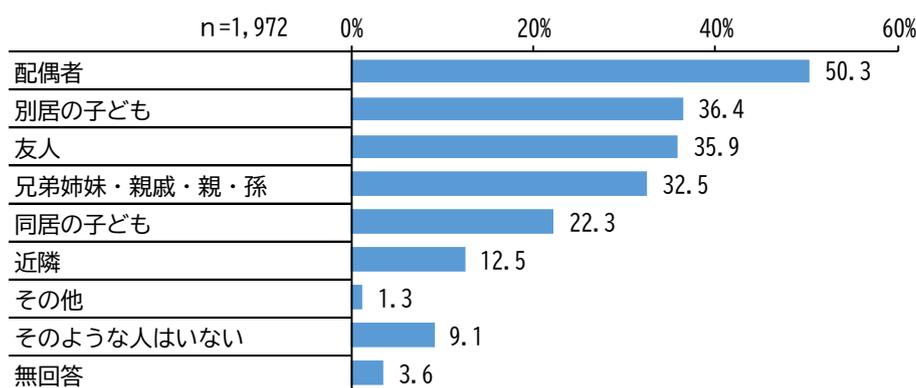
性別でみると、男性は「配偶者」(67.9%)が最も高く、女性は「友人」(43.9%)が最も高くなっています。

見える化システム内の令和元年度及び2年度調査における全国推計では、「配偶者」に次いで「友人」が高い結果となっています。

※「心配事や愚痴を聞いてあげる相手の割合」を「情緒的サポート提供者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	も別居の子ども	友人	孫親兄弟も同居の子ども	親戚・姉妹・兄弟	同居の子ども	近隣	その他	人そはいよない	無回答
全体	1,972	991	718	707	640	439	246	26	179	71	
	100.0	50.3	36.4	35.9	32.5	22.3	12.5	1.3	9.1	3.6	
男性	865	587	273	222	234	160	66	9	78	24	
	100.0	67.9	31.6	25.7	27.1	18.5	7.6	1.0	9.0	2.8	
女性	1,078	395	434	473	397	275	176	15	101	43	
	100.0	36.6	40.3	43.9	36.8	25.5	16.3	1.4	9.4	4.0	
全国 (R2)	-	49.8	33.2	42.2	34.9	17.3	14.8	2.1	9.3	-	
全国 (R1)	-	49.4	31.4	42.3	33.0	17.2	14.9	2.2	9.0	-	

7-3 手段的サポートの受領状況

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

病気で寝込んだときに看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」(58.0%)が最も高く、次いで「別居の子ども」(34.9%)、「同居の子ども」(34.7%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(13.1%)となっています。

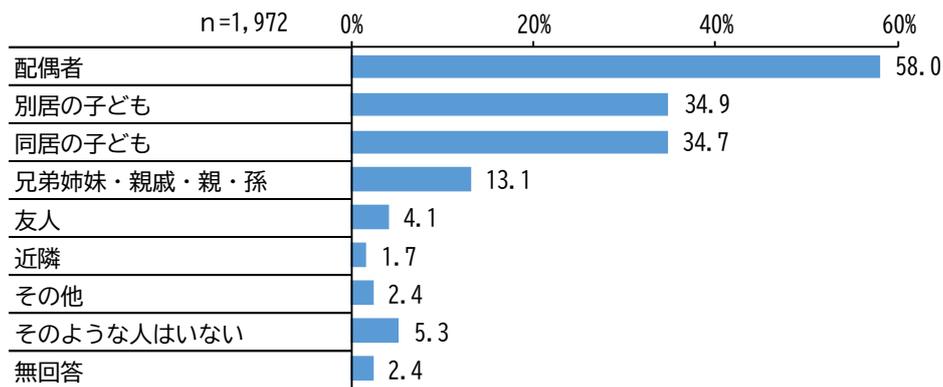
手段的サポート受領者※割合は92.3%となっています。

性別でみると、「配偶者」は男性で75.6%、女性で44.5%と、男性の方が高くなっています。

※「手段的サポート」は、ストレス等の問題解決のために、必要な手段や情報を提供することを指します。ここでは「看病や世話をしてくれる相手の割合」を「手段的サポート受領者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	も別居の子ども	も同居の子ども	孫親兄弟・姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	人そのいよない	無回答
全体	1,972 100.0	1,144 58.0	688 34.9	685 34.7	258 13.1	81 4.1	34 1.7	47 2.4	104 5.3	48 2.4
男性	865 100.0	654 75.6	239 27.6	217 25.1	98 11.3	15 1.7	3 0.3	12 1.4	50 5.8	20 2.3
女性	1,078 100.0	480 44.5	439 40.7	459 42.6	155 14.4	63 5.8	29 2.7	34 3.2	53 4.9	27 2.5

7-4 手段的サポートの提供状況

(4) 反対に、看病や世話をしあける人 (〇はいくつでも)

看病や世話をしあける人については、「配偶者」(58.2%)が最も高く、次いで「同居の子ども」(27.9%)、「別居の子ども」(27.1%)、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」(19.9%)となっています。

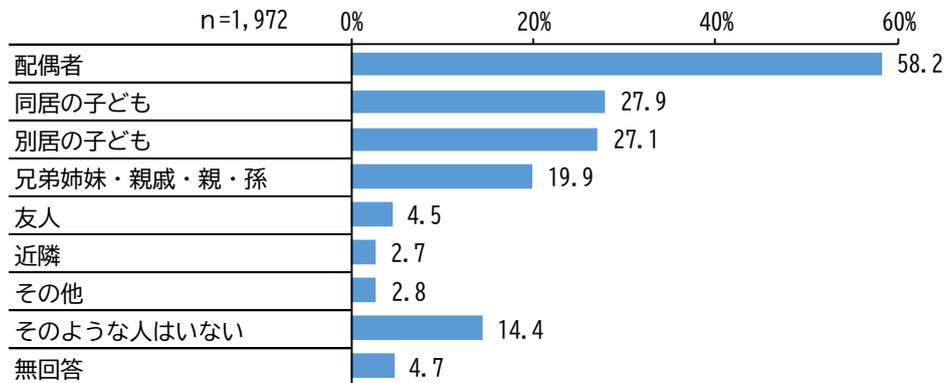
手段的サポート提供者※割合は80.9%となっています。

性別でみると、「配偶者」は男性で71.3%、女性で48.2%と、男性の方が高くなっています。

※「看病や世話をしあける相手の割合」を「手段的サポート提供者割合」と呼び、以下の割合とします。

・次の①～⑦のいずれかがいる人の割合

①配偶者 ②同居の子ども ③別居の子ども ④兄弟姉妹・親戚・親・孫 ⑤近隣 ⑥友人 ⑦その他



	件数	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	友人	近隣	その他	そのような人はいない	無回答
全体	1,972	1,147	551	535	392	89	54	55	283	93
	100.0	58.2	27.9	27.1	19.9	4.5	2.7	2.8	14.4	4.7
男性	865	617	200	184	148	17	8	20	113	30
	100.0	71.3	23.1	21.3	17.1	2.0	0.9	2.3	13.1	3.5
女性	1,078	520	344	344	235	70	44	33	166	62
	100.0	48.2	31.9	31.9	21.8	6.5	4.1	3.1	15.4	5.8

7-5 ソーシャル・キャピタル得点

地域の社会的な特徴について、「ソーシャル・キャピタル<sup>※</sup>得点」を算出して分析しました。

※「ソーシャル・キャピタル」とは、人々の協調行動を活発にすることによって社会の効率性を高めることのできる「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴を指します。ソーシャル・キャピタルが豊かならば、市民活動への参加が促進される可能性があると考えられています（平成17年8月「コミュニティ機能再生とソーシャル・キャピタルに関する研究調査報告書」内閣府）。ここでは<社会参加><連帯感><助け合い>について、それぞれアンケートの異なる設問の回答率を用いて、地区（中学校区）別の得点を算出しています。

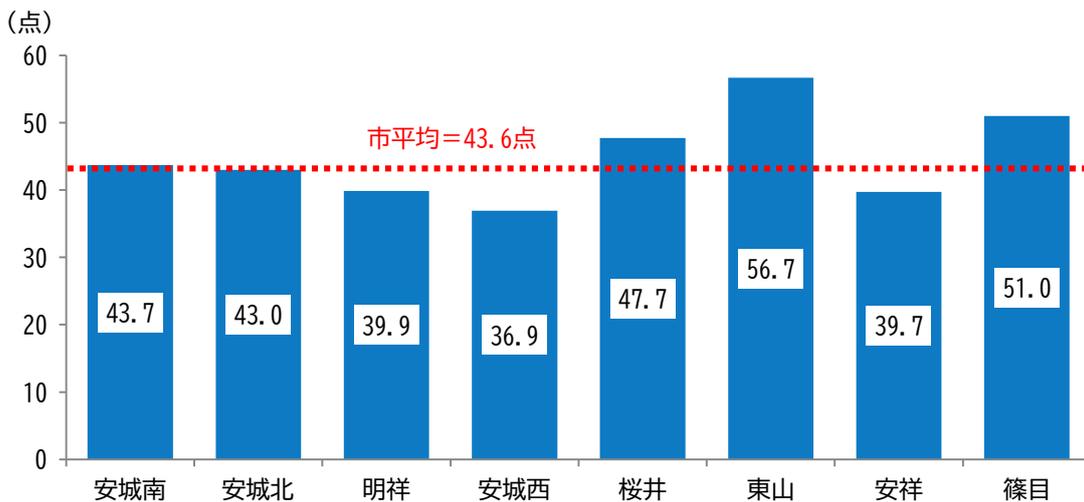
<社会参加>

ソーシャルキャピタル得点<社会参加><sup>※</sup>は、市全体では43.6点となっています。

中学校区別でみると、東山（56.7点）が最も高く、安城西（36.9点）、安祥（39.7点）、明祥（39.9点）、安城北（43.0点）が市の平均より低くなっています。

※以下の①～⑤の割合を用いて次の計算式で得点化したもの

- ①ボランティア割合×0.6+②スポーツ割合×0.8+③趣味割合×0.9+④学習割合×0.7+⑤特技伝達×0.5
- ①ボランティアグループへの参加頻度（月1回以上） <問29（1）>
- ②スポーツグループへの参加頻度（月1回以上） <問29（2）>
- ③趣味関係グループへの参加頻度（月1回以上） <問29（3）>
- ④学習・教養グループへの参加頻度（月1回以上） <問29（4）>
- ⑤特技や経験を他者に伝える活動への参加頻度（月1回以上） <問29（9）>



<連帯感>

ソーシャルキャピタル得点<連帯感>\*は、市全体では 144.2 点となっています。

中学校区別で見ると、東山（160.4 点）が最も高く、篠目（129.0 点）、安祥（135.9 点）、安城南（143.0 点）が市の平均より低くなっています。

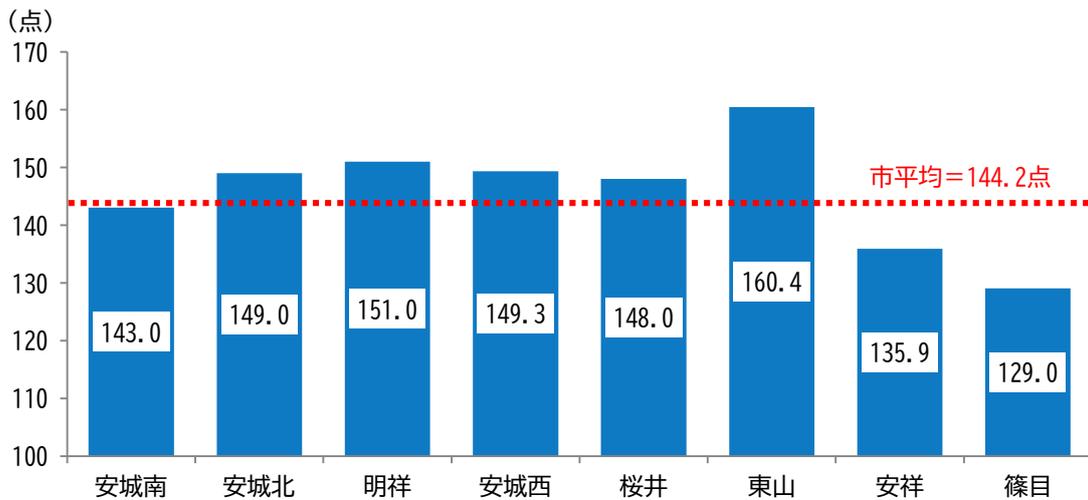
※以下の①～③の割合を用いて、次の計算式で得点化したもの

①信用割合×0.9+②互酬性割合×0.8+③愛着割合×0.7

①地域の人々は一般に信用できる <問 33 (1) >

②地域の人々は他の人の役に立とうとする <問 33 (2) >

③地域に愛着がある <問 33 (3) >



<助け合い>

ソーシャルキャピタル得点<助け合い>\*は、市全体では 190.2 点となっています。

中学校区別で見ると、明祥（198.0 点）が最も高く、安城北（184.2 点）、安祥・篠目（ともに 189.6 点）が市の平均より低くなっています。

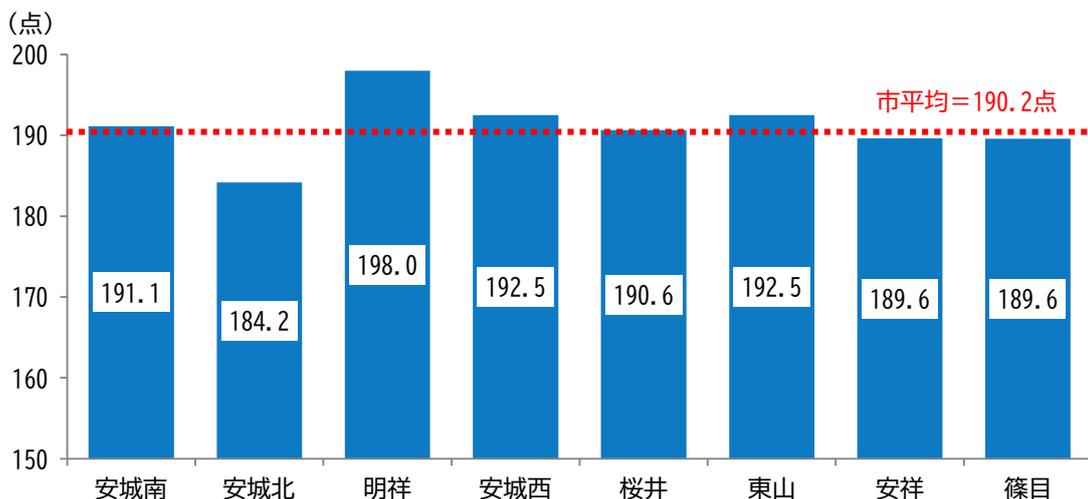
※以下の①～③の割合を用いて、次の計算式で得点化したもの

①情緒的サポート受領者割合×0.8+②情緒的サポート提供者割合×0.7+③手段的サポート受領者割合×0.6

①あなたの心配事や愚痴をきいてくれる人 <問 34 (1) >

②あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人 <問 34 (2) >

③あなたの看病や世話をしてくれる人 <問 34 (3) >

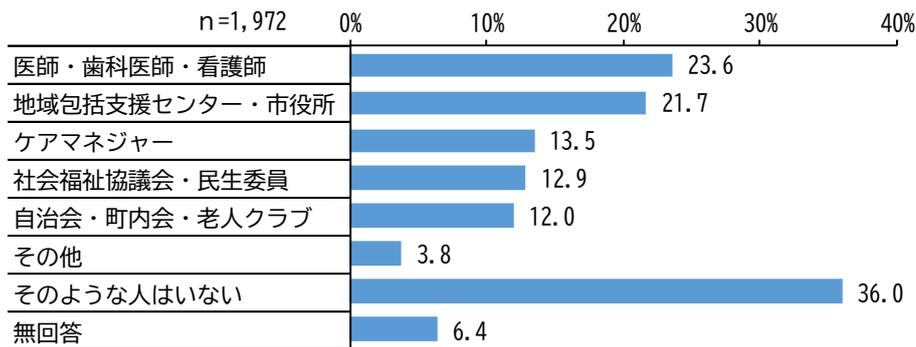


7-6 家族や友人・知人以外の相談相手

問35 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(○はいくつでも)

「そのような人はいない」(36.0%)が最も高くなっています。相談相手としては、「医師・歯科医師・看護師」(23.6%)が最も高く、次いで「地域包括支援センター・市役所」(21.7%)、「ケアマネジャー」(13.5%)となっています。

家族構成別でみると、相談相手としては、一人暮らしでは「社会福祉協議会・民生委員」(24.8%)が最も高くなっています。



	件数	医師・看護師・歯科医師	役所・地域包括支援センター	ケアマネジャー	社会福祉協議会・民生委員	自治会・老人クラブ	その他	そのような人	無回答
全体	1,972 100.0	465 23.6	428 21.7	267 13.5	254 12.9	236 12.0	75 3.8	709 36.0	126 6.4
一人暮らし	294 100.0	70 23.8	66 22.4	44 15.0	73 24.8	26 8.8	9 3.1	91 31.0	19 6.5
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663 100.0	160 24.1	146 22.0	64 9.7	85 12.8	86 13.0	26 3.9	253 38.2	39 5.9
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78 100.0	14 17.9	14 17.9	7 9.0	7 9.0	9 11.5	4 5.1	34 43.6	4 5.1
息子・娘との2世帯	537 100.0	136 25.3	120 22.3	84 15.6	45 8.4	68 12.7	19 3.5	174 32.4	35 6.5
その他	344 100.0	74 21.5	74 21.5	58 16.9	39 11.3	44 12.8	14 4.1	138 40.1	21 6.1

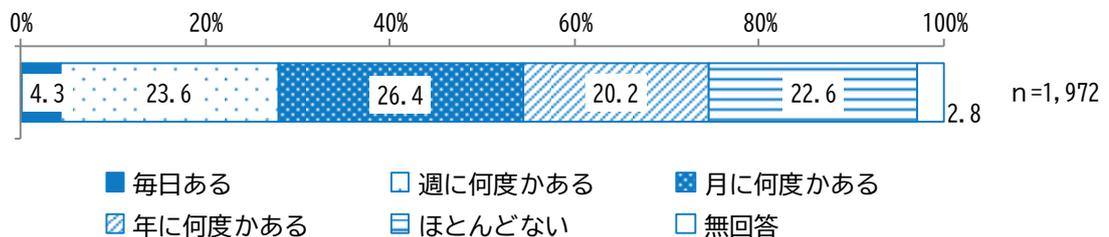
7-7 友人関係について

問36 友人関係についておうかがいします。  
 (1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つ)

友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」(26.4%)が最も高く、次いで「週に何度かある」(23.6%)となっています。一方、「ほとんどない」は22.6%となっています。

家族構成別でみると、一人暮らし及び息子・娘との2世帯では、「週に何度かある」がそれぞれ最も高くなっています。

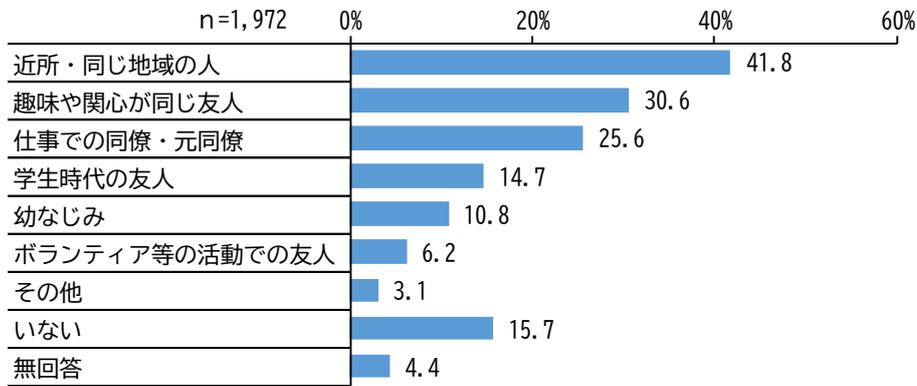
携帯電話等の所持状況(問26)別でみると、携帯電話やスマートフォン等を持っている人の方が友人・知人と会う頻度が高くなっています。



		件数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		1,972	85	465	521	399	446	56
家族構成	一人暮らし	294	9	80	75	58	63	9
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663	17	156	193	139	143	15
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	4	13	22	21	16	2
	息子・娘との2世帯	537	24	137	128	105	126	17
	その他	344	26	73	88	68	79	10
	携帯電話	持っている	1,573	78	394	448	329	291
	持っていない	378	7	67	69	68	150	17

(2) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(〇はいくつでも)

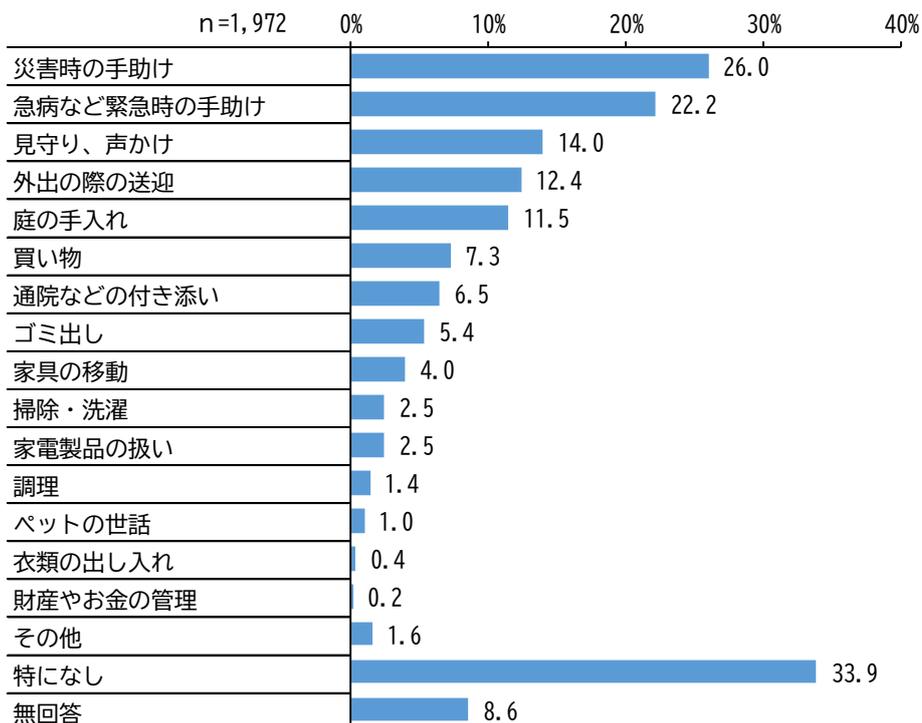
よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」(41.8%)が最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」(30.6%)、「仕事での同僚・元同僚」(25.6%)となっています。



7-8 地域やボランティア活動に手伝ってほしいこと

問37 地域でのたすけあい活動やボランティア活動として、手伝ってもらったらたすかると思うことはありますか。(〇は3つまで)

「特になし」(33.9%)が最も高く、何らかの手伝ってほしいことがある人の割合(全体から「特になし」と無回答を除いた割合)は57.5%となっています。手伝ってほしいこととしては「災害時の手助け」(26.0%)が最も高く、次いで「急病など緊急時の手助け」(22.2%)、「見守り、声かけ」(14.0%)、「外出の際の送迎」(12.4%)、「庭の手入れ」(11.5%)となっています。



## (8) 健康について

### 8-1 現在の健康状態

問38 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

「まあよい」(64.7%)が最も高く、『健康状態がよい』(「とてもよい」「まあよい」の計)は72.4%となっています。一方、『健康状態がよくない』(「よくない」「あまりよくない」の計)は24.4%となっています。

年齢別でみると、『健康状態がよくない』は年齢が上がるにつれて割合が高くなっており、85～89歳で39.4%、90歳以上で41.1%となっています。

外出頻度(問10)別でみると、『健康状態がよくない』は外出頻度が低くなるにつれて割合が高くなっており、週1回で41.1%、ほとんど外出しない人で62.5%となっています。

地域活動への参加頻度(問29)別でみると、『健康状態がよくない』はいずれかの活動に週1回以上参加している人で15.4%、いずれの活動にも参加していない人で35.6%となっています。



		件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体		1,972	151	1,275	386	94	66
		100.0	7.7	64.7	19.6	4.8	3.3
年齢	65～69歳	360	47	259	40	3	11
		100.0	13.1	71.9	11.1	0.8	3.1
	70～74歳	492	43	351	69	20	9
		100.0	8.7	71.3	14.0	4.1	1.8
	75～79歳	403	26	281	69	13	14
		100.0	6.5	69.7	17.1	3.2	3.5
80～84歳		329	23	180	95	18	13
		100.0	7.0	54.7	28.9	5.5	4.0
	85～89歳	236	6	122	70	23	15
	100.0	2.5	51.7	29.7	9.7	6.4	
90歳以上	129	4	68	38	15	4	
	100.0	3.1	52.7	29.5	11.6	3.1	
外出頻度	ほとんど外出しない	155	6	48	65	32	4
		100.0	3.9	31.0	41.9	20.6	2.6
	週1回	270	12	131	92	19	16
		100.0	4.4	48.5	34.1	7.0	5.9
	週2～4回	801	39	570	142	28	22
	100.0	4.9	71.2	17.7	3.5	2.7	
週5回以上	705	92	509	77	9	18	
	100.0	13.0	72.2	10.9	1.3	2.6	
地域活動参加頻度	いずれかで「週1回以上」	897	106	634	118	20	19
		100.0	11.8	70.7	13.2	2.2	2.1
	いずれかで「月1回以上週1回未満」	176	6	128	32	6	4
		100.0	3.4	72.7	18.2	3.4	2.3
	いずれかで「年に数回」	154	5	102	29	9	9
	100.0	3.2	66.2	18.8	5.8	5.8	
いずれにも「参加していない」	587	21	340	164	45	17	
	100.0	3.6	57.9	27.9	7.7	2.9	

8-2 現在の幸福度

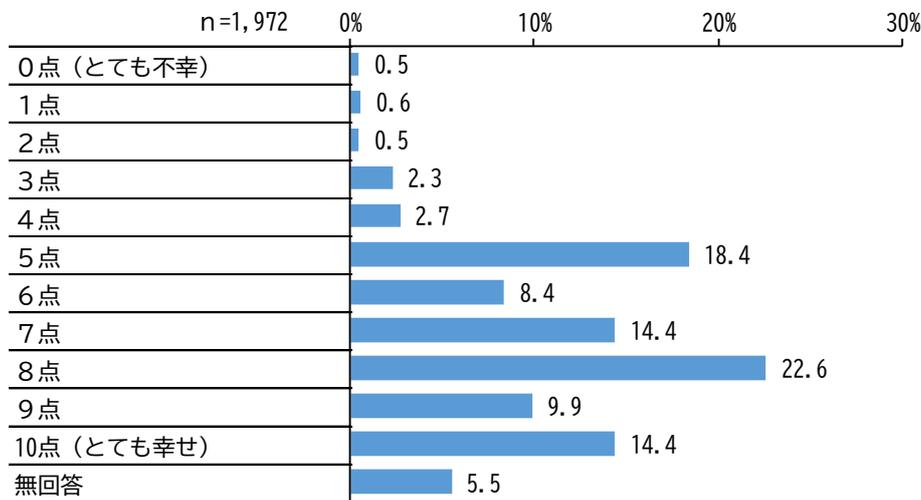
問39 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。（点数に○をつけてください。）

現在の幸福度（0点（とても不幸）から10点（とても幸せ）まで）は、「8点」（22.6%）が最も高く、次いで「5点」（18.4%）となっています。「8点」以上と答えた人は合計46.9%で、全体の平均点は7.1点となっています。

性別でみると、「9～10点」は女性の方が高くなっています。

年齢別でみると、85～89歳では「9～10点」が最も高く、90歳以上では「5～6点」が最も高くなっています。

地域活動への参加頻度別でみると、「9～10点」はいずれかの活動に週1回以上参加している人で28.0%、いずれの活動にも参加していない人で19.4%となっています。



	件数	0	5	7	9	無回答	
		4点	6点	8点	10点		
全体	1,972	129	528	729	478	108	
	100.0	6.5	26.8	37.0	24.2	5.5	
性別	男性	865	73	245	314	187	46
	100.0	8.4	28.3	36.3	21.6	5.3	
性別	女性	1,078	54	276	405	284	59
	100.0	5.0	25.6	37.6	26.3	5.5	
年齢	65～69歳	360	22	92	157	74	15
	100.0	6.1	25.6	43.6	20.6	4.2	
	70～74歳	492	36	124	185	125	22
	100.0	7.3	25.2	37.6	25.4	4.5	
	75～79歳	403	23	98	168	95	19
	100.0	5.7	24.3	41.7	23.6	4.7	
年齢	80～84歳	329	23	93	106	88	19
	100.0	7.0	28.3	32.2	26.7	5.8	
年齢	85～89歳	236	15	67	66	68	20
	100.0	6.4	28.4	28.0	28.8	8.5	
年齢	90歳以上	129	8	46	40	24	11
	100.0	6.2	35.7	31.0	18.6	8.5	
地域活動参加頻度	いずれかで「週1回以上」	897	35	219	363	251	29
	100.0	3.9	24.4	40.5	28.0	3.2	
	いずれかで「月1回以上週1回」	176	11	33	79	45	8
	100.0	6.3	18.8	44.9	25.6	4.5	
地域活動参加頻度	いずれかで「年に数回」	154	9	43	58	34	10
	100.0	5.8	27.9	37.7	22.1	6.5	
地域活動参加頻度	いずれにも「参加していない」	587	63	197	182	114	31
	100.0	10.7	33.6	31.0	19.4	5.3	

II 調査の結果 1 一般高齢者調査

友人・知人と会う頻度（問 36 (1)）別でみると、友人・知人と会う頻度が高いほど幸福度が高く、「毎日ある」では「9～10 点」（38.8%）が約4割と高くなっています。

現在の健康状態（問 38）別でみると、健康状態がよいほど幸福度が高く、「とてもよい」では「9～10 点」（57.0%）が5割以上と高くなっています。

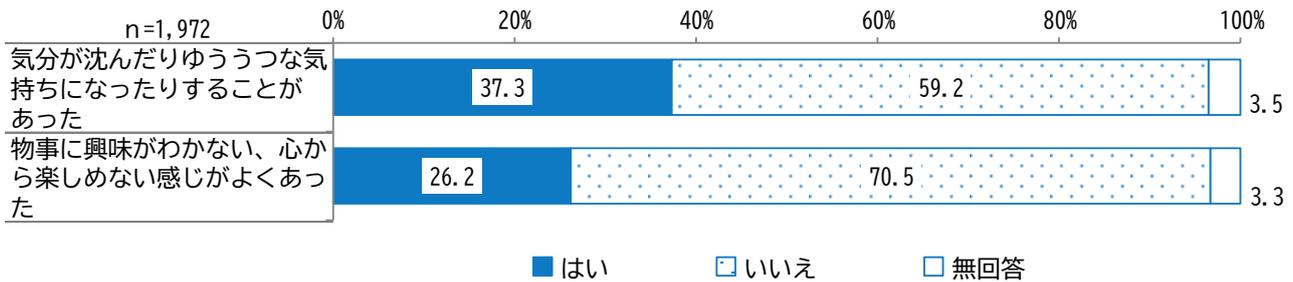
		件数	0 ～ 4 点	5 ～ 6 点	7 ～ 8 点	9 ～ 1 0 点	無 回 答
全 体		1,972 100.0	129 6.5	528 26.8	729 37.0	478 24.2	108 5.5
友 人 等 と 会 う 頻 度	毎日ある	85 100.0	1 1.2	17 20.0	31 36.5	33 38.8	3 3.5
	週に何度かある	465 100.0	20 4.3	110 23.7	182 39.1	140 30.1	13 2.8
	月に何度かある	521 100.0	22 4.2	121 23.2	232 44.5	125 24.0	21 4.0
	年に何度かある	399 100.0	24 6.0	112 28.1	158 39.6	89 22.3	16 4.0
	ほとんどない	446 100.0	60 13.5	162 36.3	122 27.4	83 18.6	19 4.3
現 在 の 健 康 状 態	とてもよい	151 100.0	1 0.7	15 9.9	47 31.1	86 57.0	2 1.3
	まあよい	1,275 100.0	39 3.1	316 24.8	546 42.8	332 26.0	42 3.3
	あまりよくない	386 100.0	51 13.2	161 41.7	110 28.5	45 11.7	19 4.9
	よくない	94 100.0	35 37.2	27 28.7	16 17.0	11 11.7	5 5.3

8-3 心の健康について

問40 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

問41 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

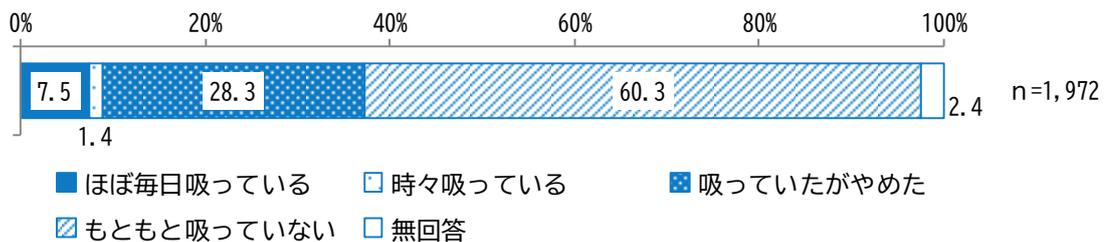
この1か月間で「気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあった」「どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあった」かどうかについては、「はい」がそれぞれ37.3%、26.2%となっています。



8-4 喫煙について

問42 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

「もともと吸っていない」(60.3%)が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(28.3%)となっており、『喫煙している』(「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」の計)は8.9%となっています。



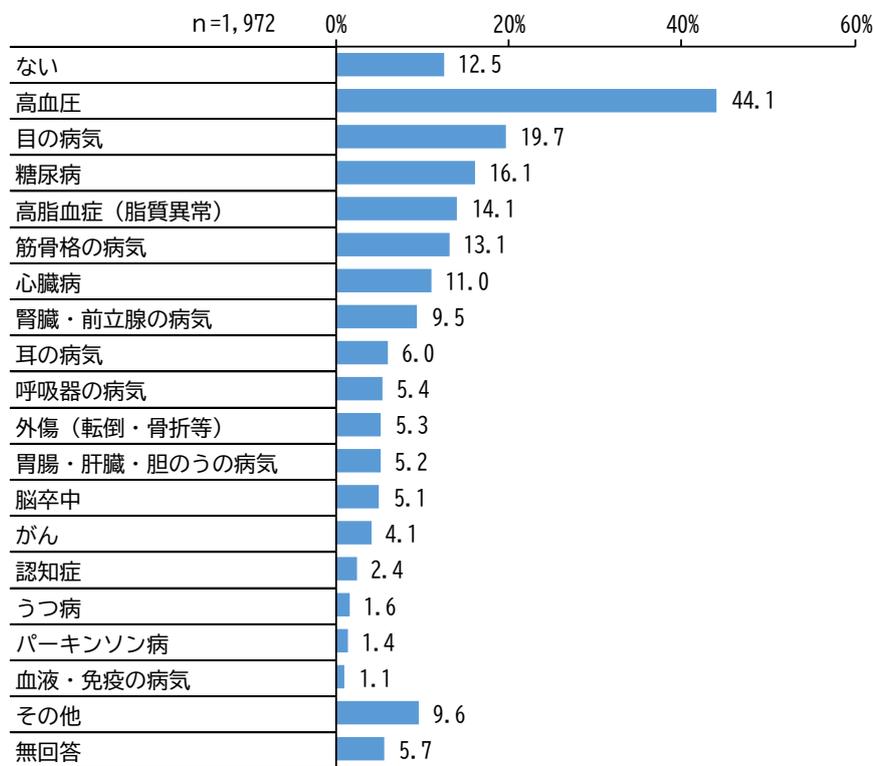
8-5 現在治療中、または後遺症のある病気

問43 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

「高血圧」(44.1%)が最も高く、次いで「目の病気」(19.7%)、「糖尿病」(16.1%)、「高脂血症(脂質異常)」(14.1%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(13.1%)となっています。また、「ない」は12.5%となっています。

性別で見ると、「腎臓・前立腺の病気」は男性で高く、「筋骨格の病気」は女性で高くなっています。

年齢別で見ると、多くの病気は年齢が上がるにつれて割合が高く、「高血圧」「目の病気」「筋骨格の病気」「心臓病」「腎臓・前立腺の病気」「耳の病気」「外傷」「認知症(アルツハイマー病等)」「血液・免疫の病気」は90歳以上で最も高くなっています。



	件数	ない	高血圧	目の病気	糖尿病	高脂血症	筋骨格の病気	心臓病	腎臓・前立腺の病気	耳の病気	呼吸器の病気	外傷	胆胃腸の肝臓病	脳卒中	がん	認知症	うつ病	パーキンソン病	血液・免疫の病気	その他	無回答
全体	1,972	247	869	389	318	279	259	217	187	119	106	105	102	101	81	48	31	28	22	189	112
	100.0	12.5	44.1	19.7	16.1	14.1	13.1	11.0	9.5	6.0	5.4	5.3	5.2	5.1	4.1	2.4	1.6	1.4	1.1	9.6	5.7
性別																					
男性	865	101	371	157	164	93	49	127	152	58	59	33	53	57	40	19	12	12	7	78	44
	100.0	11.7	42.9	18.2	19.0	10.8	5.7	14.7	17.6	6.7	6.8	3.8	6.1	6.6	4.6	2.2	1.4	1.4	0.8	9.0	5.1
女性	1,078	140	486	226	149	180	209	85	30	60	44	71	46	44	41	28	19	16	14	108	64
	100.0	13.0	45.1	21.0	13.8	16.7	19.4	7.9	2.8	5.6	4.1	6.6	4.3	4.1	3.8	2.6	1.8	1.5	1.3	10.0	5.9
年齢																					
65~69歳	360	78	127	47	48	50	24	24	15	11	12	7	14	18	12	1	4	2	4	43	15
	100.0	21.7	35.3	13.1	13.3	13.9	6.7	6.7	4.2	3.1	3.3	1.9	3.9	5.0	3.3	0.3	1.1	0.6	1.1	11.9	4.2
70~74歳	492	84	207	94	84	74	44	47	35	21	17	13	22	21	20	5	6	6	4	44	25
	100.0	17.1	42.1	19.1	17.1	15.0	8.9	9.6	7.1	4.3	3.5	2.6	4.5	4.3	4.1	1.0	1.2	1.2	0.8	8.9	5.1
75~79歳	403	39	191	81	72	65	40	46	49	17	25	19	14	18	16	10	8	9	6	38	26
	100.0	9.7	47.4	20.1	17.9	16.1	9.9	11.4	12.2	4.2	6.2	4.7	3.5	4.5	4.0	2.5	2.0	2.2	1.5	9.4	6.5
80~84歳	329	25	145	75	56	53	63	39	34	31	27	21	24	22	12	12	6	4	4	25	21
	100.0	7.6	44.1	22.8	17.0	16.1	19.1	11.9	10.3	9.4	8.2	6.4	7.3	6.7	3.6	3.6	1.8	1.2	1.2	7.6	6.4
85~89歳	236	11	122	55	41	23	53	34	30	23	15	27	18	16	14	12	5	7	2	22	15
	100.0	4.7	51.7	23.3	17.4	9.7	22.5	14.4	12.7	9.7	6.4	11.4	7.6	6.8	5.9	5.1	2.1	3.0	0.8	9.3	6.4
90歳以上	129	7	67	31	14	9	32	24	20	15	7	17	8	5	7	8	2	-	2	13	6
	100.0	5.4	51.9	24.0	10.9	7.0	24.8	18.6	15.5	11.6	5.4	13.2	6.2	3.9	5.4	6.2	1.6	-	1.6	10.1	4.7

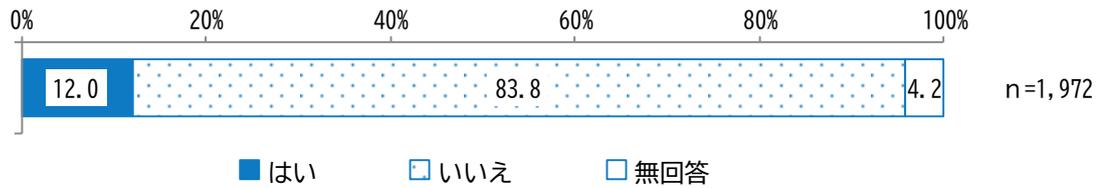
## (9) 認知症について

### 9-1 認知症について

問44 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

自身または家族で認知症の症状がある人がいるかどうかについては、「はい」が12.0%となっています。

認定状況別でみると、「はい」は要支援1で21.1%、要支援2で18.8%と高くなっています。

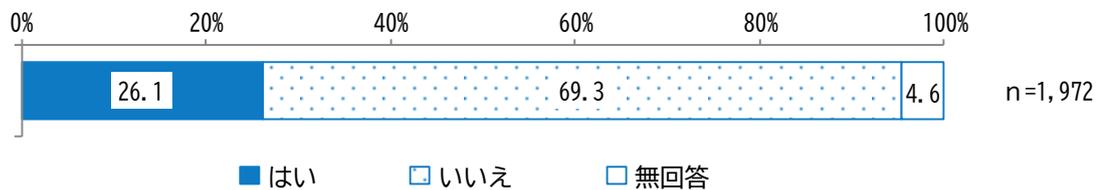


	件数	はい	いいえ	無回答
全体	1,972	236	1,653	83
	100.0	12.0	83.8	4.2
受けていない	1,486	140	1,299	47
	100.0	9.4	87.4	3.2
要支援1	246	52	182	12
	100.0	21.1	74.0	4.9
要支援2	181	34	131	16
	100.0	18.8	72.4	8.8

問45 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

認知症に関する相談窓口の認知度については、「はい」が26.1%となっています。

認定状況別でみると、「はい」は要支援1で32.9%と高くなっています。



	件数	はい	いいえ	無回答
全体	1,972	515	1,367	90
	100.0	26.1	69.3	4.6
受けていない	1,486	373	1,058	55
	100.0	25.1	71.2	3.7
要支援1	246	81	152	13
	100.0	32.9	61.8	5.3
要支援2	181	50	117	14
	100.0	27.6	64.6	7.7

## (10) 介護保険制度および高齢者福祉施策について

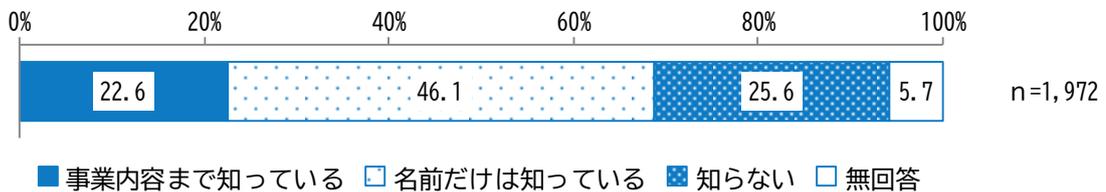
### 10-1 地域包括支援センターの認知度

問46 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。(○は1つ)

「名前だけは知っている」(46.1%)が最も高く、「事業内容まで知っている」は22.6%、『名前を知っている』(「事業内容まで知っている」「名前だけは知っている」の計)は68.7%となっています。一方、「知らない」は25.6%となっています。

家族構成別でみると、『名前を知っている』は一人暮らしで76.9%、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で55.1%となっています。

認定状況別でみると、「事業内容まで知っている」は要支援1で45.5%、要支援2で42.5%となっています。

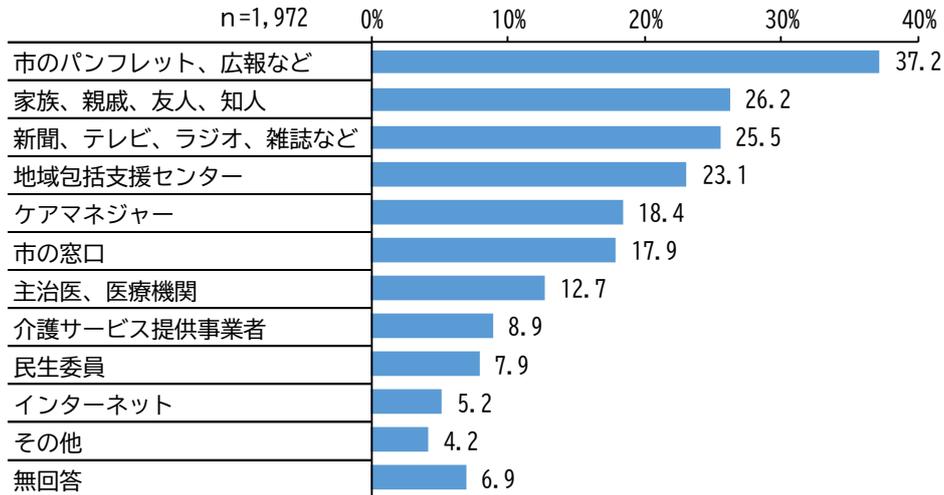


	件数	知事 業 て 内 容 ま で	知 名 つ 前 で だ い け る は	知 ら な い	無 回 答	
全 体	1,972	445	910	504	113	
	100.0	22.6	46.1	25.6	5.7	
家 族 構 成	一人暮らし	294	76	150	47	21
		100.0	25.9	51.0	16.0	7.1
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663	142	292	201	28
		100.0	21.4	44.0	30.3	4.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	15	28	28	7
	100.0	19.2	35.9	35.9	9.0	
息子・娘との2世帯	537	120	260	128	29	
	100.0	22.3	48.4	23.8	5.4	
その他	344	84	153	90	17	
	100.0	24.4	44.5	26.2	4.9	
認 定 状 況	受けていない	1,486	239	703	470	74
		100.0	16.1	47.3	31.6	5.0
	要支援1	246	112	114	6	14
	100.0	45.5	46.3	2.4	5.7	
要支援2	181	77	71	18	15	
	100.0	42.5	39.2	9.9	8.3	

10-2 介護保険制度や高齢者サービスについての情報源

問47 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報をどこから得ていますか。(〇はいくつでも)

「市のパンフレット、広報など」(37.2%)が最も高く、次いで「家族、親戚、友人、知人」(26.2%)、「新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など」(25.5%)、「地域包括支援センター」(23.1%)となっています。

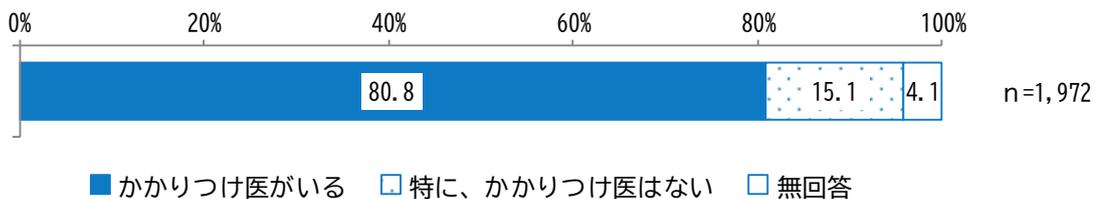


10-3 かかりつけ医の有無

問48 あなたには健康状態や病気のことを相談する身近な「かかりつけ医」がいますか。(〇は1つ)

「かかりつけ医がいる」人は80.8%となっています。

家族構成別でみると、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)では「特に、かかりつけ医はない」が26.9%と高くなっています。

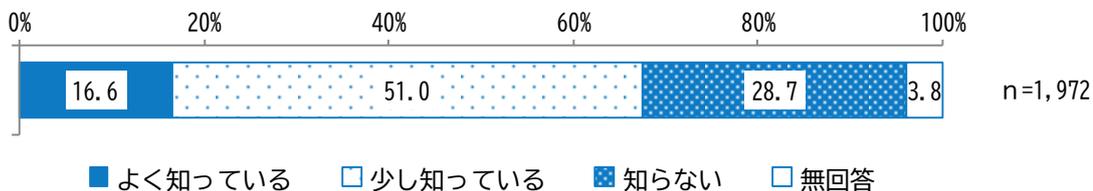


	件数	かかりつけ医	特に、かかりつけ医はない	無回答
全体	1,972	1,594 (80.8)	297 (15.1)	81 (4.1)
一人暮らし	294	233 (79.3)	45 (15.3)	16 (5.4)
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663	530 (79.9)	104 (15.7)	29 (4.4)
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	54 (69.2)	21 (26.9)	3 (3.8)
息子・娘との2世帯	537	464 (86.4)	56 (10.4)	17 (3.2)
その他	344	272 (79.1)	65 (18.9)	7 (2.0)

10-4 訪問診療や訪問看護の認知度

問49 自宅で訪問診療（医師の往診を含む）や訪問看護を受けられることを、知っていますか。（○は1つ）

「少し知っている」（51.0%）が最も高く、『知っている』（「よく知っている」「少し知っている」の計）は67.6%となっています。

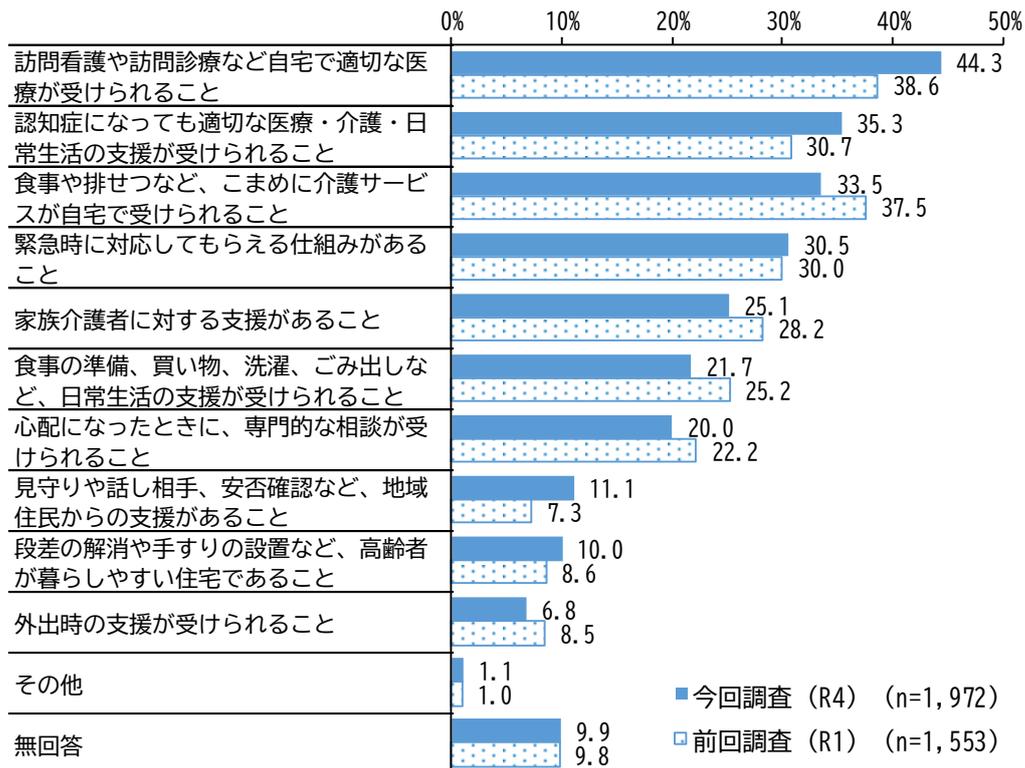


10-5 住み慣れた地域で暮らし続けるために重要なこと

問50 住み慣れた地域で暮らし続けるために、どのようなことが重要だとお考えですか。（○は3つまで）

「訪問看護や訪問診療など自宅で適切な医療が受けられること」（44.3%）が最も高く、次いで「認知症になっても適切な医療・介護・日常生活の支援が受けられること」（35.3%）、「食事や排せつなど、こまめに介護サービスが自宅で受けられること」（33.5%）、「緊急時に対応してもらえる仕組みがあること」（30.5%）、「家族介護者に対する支援があること」（25.1%）となっています。

前回調査と比べると、「認知症になっても適切な医療・介護・日常生活の支援が受けられること」が第3位から第2位へ、「見守りや話し相手、安否確認など、地域住民からの支援があること」が第10位から第8位へ、それぞれ順位を上げています。



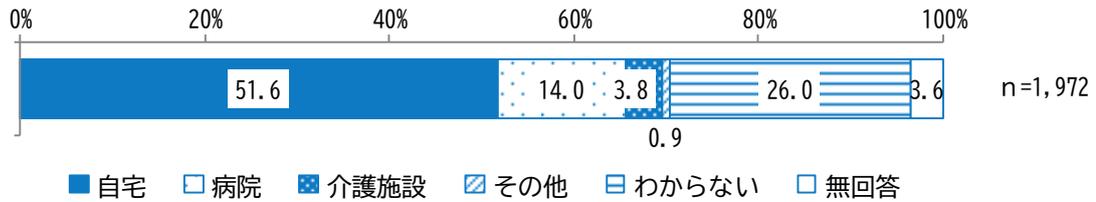
10-6 人生の最期を迎えたい場所

問51 あなたは、人生の最期を、どこで迎えたいですか。(○は1つ)

「自宅」(51.6%)が最も高く、次いで「わからない」(26.0%)、「病院」(14.0%)、「介護施設」(3.8%)となっています。

家族構成別でみると、「自宅」は一人暮らしで38.4%と低くなっています。

認定状況別でみると、「病院」は要支援1で19.5%と高くなっています。



		件数	自宅	病院	介護施設	その他	わからない	無回答
全体		1,972 100.0	1,018 51.6	277 14.0	75 3.8	18 0.9	513 26.0	71 3.6
家族構成	一人暮らし	294 100.0	113 38.4	55 18.7	14 4.8	4 1.4	94 32.0	14 4.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663 100.0	357 53.8	76 11.5	24 3.6	7 1.1	174 26.2	25 3.8
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78 100.0	33 42.3	12 15.4	4 5.1	1 1.3	25 32.1	3 3.8
	息子・娘との2世帯	537 100.0	302 56.2	82 15.3	15 2.8	3 0.6	121 22.5	14 2.6
	その他	344 100.0	185 53.8	44 12.8	16 4.7	3 0.9	89 25.9	7 2.0
認定状況	受けていない	1,486 100.0	765 51.5	189 12.7	57 3.8	16 1.1	417 28.1	42 2.8
	要支援1	246 100.0	124 50.4	48 19.5	13 5.3	2 0.8	46 18.7	13 5.3
	要支援2	181 100.0	100 55.2	31 17.1	2 1.1	-	37 20.4	11 6.1

10-7 看取りについて

問52 看取りに関することについてお聞きします。（それぞれ○は1つ）  
 (1) あなたは、人生の最終段階における医療・介護について、これまでに考えたことがありますか。

人生の最終段階の医療・介護について考えたことが「ある」人は 55.7%となっています。

家族構成別でみると、「ある」は夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下）で 47.4%と低くなっています。

認定状況別でみると、「ある」は要支援1で 65.9%と高くなっています。



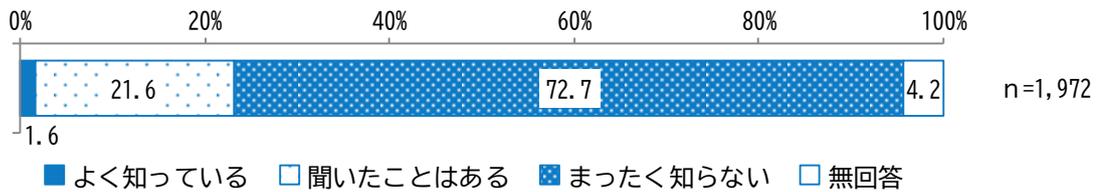
		件数	ある	ない	無回答
全 体		1,972 100.0	1,099 55.7	783 39.7	90 4.6
家 族 構 成	一人暮らし	294 100.0	182 61.9	93 31.6	19 6.5
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663 100.0	374 56.4	263 39.7	26 3.9
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78 100.0	36 46.2	37 47.4	5 6.4
	息子・娘との2世帯	537 100.0	300 55.9	216 40.2	21 3.9
	その他	344 100.0	181 52.6	154 44.8	9 2.6
認 定 状 況	受けていない	1,486 100.0	804 54.1	630 42.4	52 3.5
	要支援1	246 100.0	162 65.9	69 28.0	15 6.1
	要支援2	181 100.0	104 57.5	63 34.8	14 7.7

(2) あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、愛称：人生会議）について知っていますか。（○は1つ）

アドバンス・ケア・プランニングの認知度は、「まったく知らない」（72.7%）が最も高く、『言葉は知っている』（「よく知っている」「聞いたことはある」の計）は23.2%となっています。

家族構成別でみると、『言葉は知っている』は一人暮らしで30.2%と高くなっています。

認定状況別でみると、『言葉は知っている』は要支援2で17.1%と低くなっています。



		件数	よく知っている (%)	聞いたことはある (%)	まったく知らない (%)	無回答 (%)
全体		1,972	1.6	21.6	72.7	4.2
家族構成	一人暮らし	294	3.7	26.5	65.0	4.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663	1.2	19.9	75.3	3.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	5.1	19.2	70.5	5.1
	息子・娘との2世帯	537	0.7	23.6	72.1	3.5
	その他	344	1.2	18.6	77.3	2.9
認定状況	受けていない	1,486	1.3	21.8	73.8	3.2
	要支援1	246	2.8	24.8	65.9	6.5
	要支援2	181	1.1	16.0	76.2	6.6

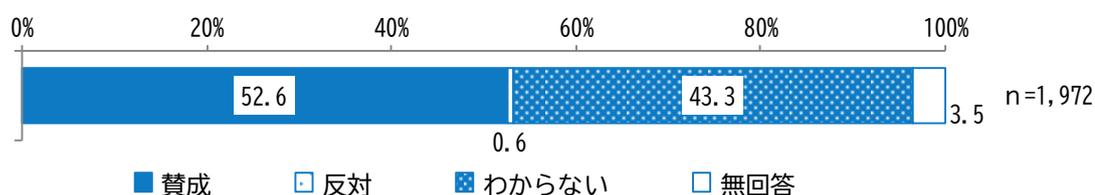
(3) 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療を受けたり療養をするためには、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（アドバンス・ケア・プランニング）が重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。

(○は1つ)

アドバンス・ケア・プランニングに対する賛否の考えは、「賛成」が 52.6%、「反対」が 0.6%、「わからない」が 43.3%となっています。

家族構成別で見ると、どの類型においても「賛成」が高くなっています。

認定状況別で見ると、要支援2で「賛成」が 45.3%と低くなっています。



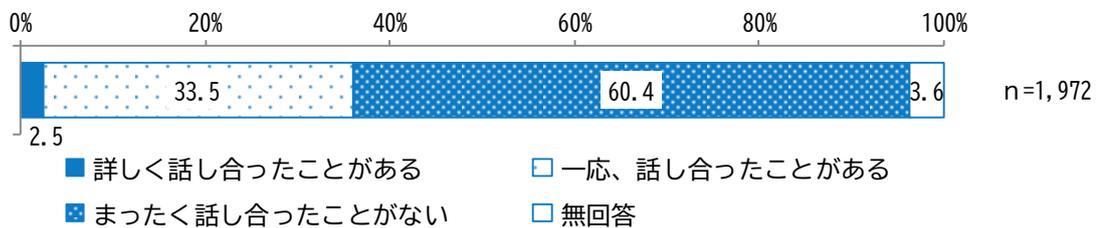
		件数	賛成	反対	わからない	無回答
全 体		1,972	1,038	11	854	69
		100.0	52.6	0.6	43.3	3.5
家 族 構 成	一人暮らし	294	154	2	121	17
		100.0	52.4	0.7	41.2	5.8
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663	375	5	262	21
		100.0	56.6	0.8	39.5	3.2
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	40	-	34	4
	100.0	51.3	-	43.6	5.1	
	息子・娘との2世帯	537	265	2	257	13
	100.0	49.3	0.4	47.9	2.4	
	その他	344	178	2	157	7
	100.0	51.7	0.6	45.6	2.0	
認 定 状 況	受けていない	1,486	796	10	638	42
		100.0	53.6	0.7	42.9	2.8
	要支援1	246	135	-	102	9
	100.0	54.9	-	41.5	3.7	
	要支援2	181	82	1	87	11
	100.0	45.3	0.6	48.1	6.1	

(4) 人生の最終段階において、受たい医療・介護、受たくない医療・介護について、ご家族等や医療介護関係者と話し合ったことはありますか。(○は1つ)

アドバンス・ケア・プランニングの実施の有無は、「まったく話し合ったことがない」(60.4%)が最も高く、『話し合ったことがある』(「詳しく話し合ったことがある」「一応、話し合ったことはある」の計)は36.0%となっています。

家族構成別でみると、『話し合ったことがある』は夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)で26.9%と低くなっています。

認定状況別でみると、『話し合ったことがある』は要支援1で44.7%と高くなっています。

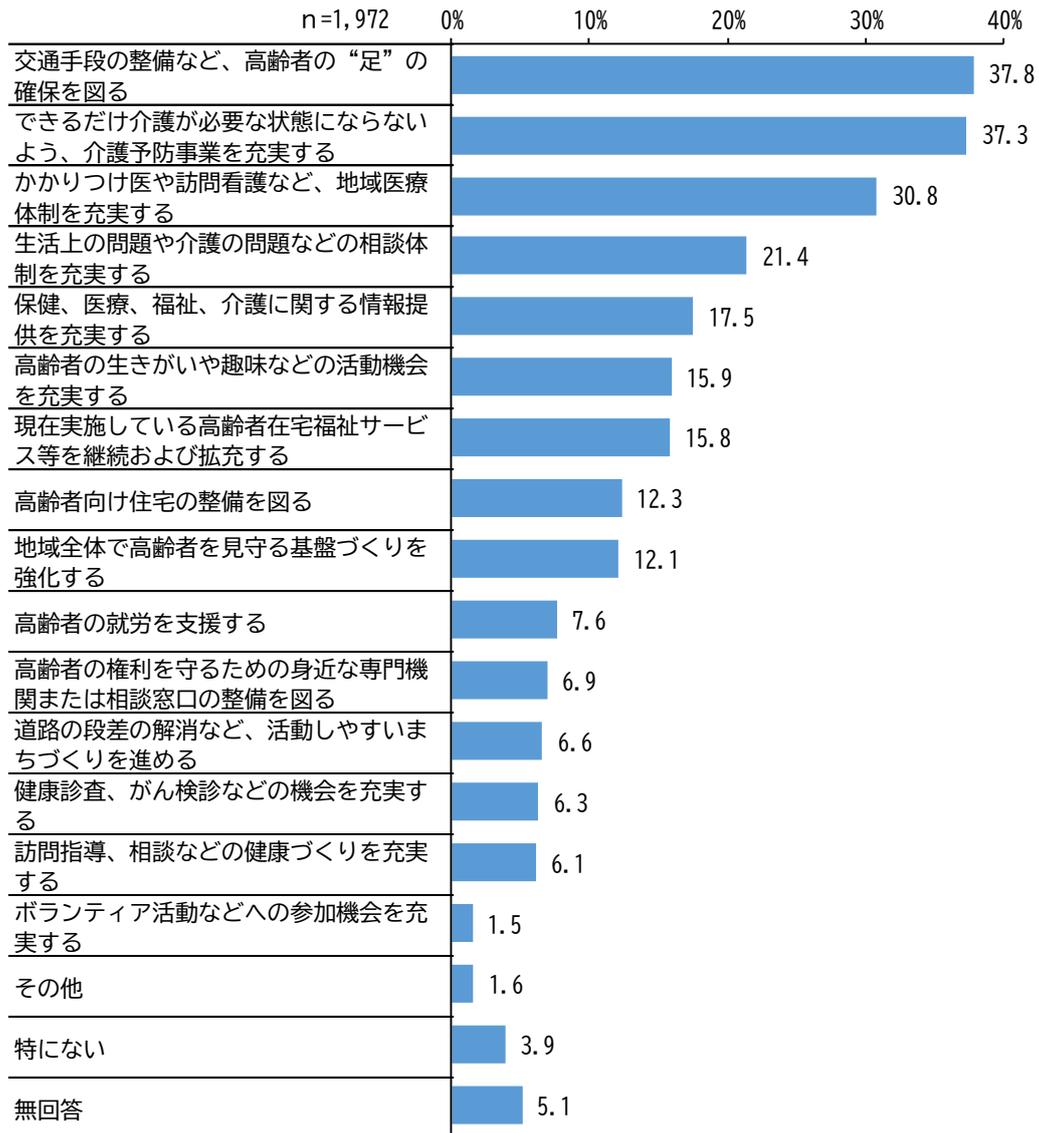


		件数	あ る た こ と が	あ ら た こ と は	あ ら た こ と は	あ ら た こ と は	あ ら た こ と は	無 回 答			
全 体		1,972	49	661	1,191	71	100.0	2.5	33.5	60.4	3.6
家 族 構 成	一人暮らし	294	8	106	167	13	100.0	2.7	36.1	56.8	4.4
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663	18	226	397	22	100.0	2.7	34.1	59.9	3.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78	3	18	54	3	100.0	3.8	23.1	69.2	3.8
	息子・娘との2世帯	537	10	196	314	17	100.0	1.9	36.5	58.5	3.2
	その他	344	8	100	227	9	100.0	2.3	29.1	66.0	2.6
認 定 状 況	受けていない	1,486	25	476	950	35	100.0	1.7	32.0	63.9	2.4
	要支援1	246	11	99	116	20	100.0	4.5	40.2	47.2	8.1
	要支援2	181	8	65	95	13	100.0	4.4	35.9	52.5	7.2

10-8 市の高齢者施策について望むこと

問53 市の高齢者施策に関して、どのようなことを望みますか。(〇は3つまで)

「交通手段の整備など、高齢者の“足”の確保を図る」(37.8%)が最も高く、次いで「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する」(37.3%)、「かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制を充実する」(30.8%)、「生活上の問題や介護の問題などの相談体制を充実する」(21.4%)、「保健、医療、福祉、介護に関する情報提供を充実する」(17.5%)となっています。



年齢別でみると、75歳以上では「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する」が最も高くなっています。

家族構成別でみると、一人暮らし及び息子・娘との2世帯では「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する」が最も高くなっています。

認定状況別でみると、要支援1では「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する」が最も高くなっています。

中学校区別でみると、安城南・桜井・安祥では「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する」、篠目では「できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する」「かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制を充実する」が、それぞれ最も高くなっています。

	件数	年齢者の足踏の確保を高める	介護予防事業を充実する	できるだけ介護が必要な状態にならないよう、介護予防事業を充実する	かかりつけ医や訪問看護など、地域医療体制を充実する	生活の問題や介護の問題などの相談や介護の体制を整える	保健、医療、福祉、介護に関する情報提供を充実する	高齢者の活動機会を充実する	在宅福祉サービス等高齢者向け住宅の整備を図る	地域全体で高齢者を支える基盤づくりを強化する	高齢者の就労を支援する	相談窓口の整備を図る	高齢者の権利を守るための活動の推進を図る	活動の段階的解消など、高齢者の生活の質を高める	健康診査、がん検診などの機会を充実する	訪問指導、相談などの健康づくりを充実する	ボランティア活動などへの参加機会を充実する	その他	特になし	無回答	
全体	1,972 100.0	745 37.8	735 37.3	608 30.8	422 21.4	345 17.5	313 15.9	312 15.8	243 12.3	238 12.1	150 7.6	137 6.9	130 6.6	124 6.3	121 6.1	130 6.6	121 6.1	30 1.5	32 1.6	76 3.9	101 5.1
性別																					
男性	865 100.0	300 34.7	299 34.6	271 31.3	185 21.4	160 18.5	152 17.6	129 14.9	117 13.5	113 13.1	82 9.5	66 7.6	41 4.7	73 8.4	47 5.4	17 2.0	19 2.2	38 4.4	41 4.7		
女性	1,078 100.0	433 40.2	427 39.6	329 30.5	231 21.4	178 16.5	159 14.7	179 16.6	125 11.6	124 11.5	67 6.2	69 6.4	87 8.1	51 4.7	73 6.8	13 1.2	13 1.2	37 3.4	53 4.9		
年齢																					
65～69歳	360 100.0	138 38.3	121 33.6	90 25.0	95 26.4	64 17.8	72 20.0	58 16.1	61 16.9	43 11.9	49 13.6	30 8.3	12 3.3	28 7.8	16 4.4	9 2.5	7 1.9	15 4.2	7 1.9		
70～74歳	492 100.0	209 42.5	167 33.9	142 28.9	106 21.5	93 18.9	75 15.2	74 15.0	84 17.1	56 11.4	54 11.0	29 5.9	27 5.5	29 5.9	26 5.3	8 1.6	9 1.8	20 4.1	16 3.3		
75～79歳	403 100.0	148 36.7	164 40.7	133 33.0	80 19.9	66 16.4	74 18.4	61 15.1	48 11.9	46 11.4	25 6.2	27 6.7	35 8.7	29 7.2	27 6.7	6 1.5	1 0.2	12 3.0	15 3.7		
80～84歳	329 100.0	114 34.7	130 39.5	116 35.3	73 22.2	54 16.4	53 16.1	48 14.6	26 7.9	42 12.8	15 4.6	28 8.5	23 7.0	21 6.4	26 7.9	7 2.1	9 2.7	16 4.9	20 6.1		
85～89歳	236 100.0	89 37.7	99 41.9	81 34.3	37 15.7	41 17.4	21 8.9	42 17.8	14 5.9	33 14.0	3 1.3	14 5.9	24 10.2	8 3.4	15 6.4	-	6 2.5	5 2.1	26 11.0		
90歳以上	129 100.0	37 28.7	48 37.2	38 29.5	24 18.6	21 16.3	15 11.6	26 20.2	8 6.2	14 10.9	3 2.3	9 7.0	8 6.2	8 6.2	10 7.8	-	-	7 5.4	15 11.6		
家族構成																					
一人暮らし	294 100.0	103 35.0	112 38.1	81 27.6	66 22.4	58 19.7	36 12.2	45 15.3	41 13.9	29 9.9	15 5.1	18 6.1	23 7.8	16 5.4	24 8.2	3 1.0	7 2.4	12 4.1	16 5.4		
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	663 100.0	278 41.9	240 36.2	211 31.8	137 20.7	105 15.8	123 18.6	89 13.4	86 13.0	95 14.3	57 8.6	47 7.1	34 5.1	40 6.0	44 6.6	14 2.1	9 1.4	21 3.2	34 5.1		
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	78 100.0	28 35.9	24 30.8	14 17.9	13 16.7	13 16.7	10 12.8	16 20.5	16 20.5	9 11.5	11 14.1	6 7.7	4 5.1	5 6.4	2 2.6	1 1.3	3 3.8	4 5.1	3 3.8		
息子・娘との2世帯	537 100.0	198 36.9	219 40.8	177 33.0	102 19.0	105 19.6	86 16.0	78 14.5	48 8.9	62 11.5	39 7.3	30 5.6	46 8.6	41 7.6	30 5.6	4 1.3	2 0.4	25 4.7	25 4.7		
その他	344 100.0	120 34.9	124 36.0	112 32.6	89 25.9	51 14.8	53 15.4	73 21.2	51 14.8	40 11.6	26 7.6	34 9.9	21 6.1	20 5.8	16 4.7	4 1.2	9 2.6	10 2.9	13 3.8		
認定状況																					
受けていない	1,486 100.0	569 38.3	560 37.7	447 30.1	312 21.0	272 18.3	256 17.2	221 14.9	194 13.1	180 12.1	133 9.0	109 7.3	88 5.9	108 7.3	80 5.4	28 1.9	24 1.6	60 4.0	54 3.6		
要支援1	246 100.0	87 35.4	93 37.8	82 33.3	53 21.5	30 12.2	29 11.8	45 18.3	26 10.6	32 13.0	8 3.3	12 4.9	25 10.2	10 4.1	21 8.5	-	4 1.6	10 4.1	27 11.0		
要支援2	181 100.0	69 38.1	63 34.8	68 37.6	44 24.3	28 15.5	20 11.0	32 17.7	16 8.8	21 11.6	5 2.8	13 7.2	14 7.7	4 2.2	16 8.8	1 0.6	3 1.7	13 7.2			
中学校区																					
安城南	267 100.0	89 33.3	112 41.9	86 32.2	55 20.6	50 18.7	34 12.7	38 14.2	26 9.7	29 10.9	16 6.0	21 7.9	14 5.2	14 5.2	12 4.5	5 1.9	8 3.0	13 4.9	16 6.0		
安城北	283 100.0	102 36.0	98 34.6	80 28.3	64 22.6	46 16.3	53 18.7	41 14.5	45 15.9	40 14.1	29 10.2	26 9.2	20 7.1	23 8.1	17 6.0	9 3.2	2 0.7	8 2.8	15 5.3		
明祥	195 100.0	81 41.5	72 36.9	73 37.4	42 21.5	44 22.6	37 19.0	30 15.4	17 8.7	21 10.8	12 6.2	9 4.6	8 4.1	15 7.7	13 6.7	1 0.5	1 0.5	8 4.1	10 5.1		
安城西	220 100.0	114 51.8	76 34.5	71 32.3	46 20.9	41 18.6	29 13.2	38 17.3	24 10.9	27 12.3	16 7.3	11 5.0	16 7.3	10 4.5	19 8.6	3 1.4	5 2.3	4 1.8	4 1.8		
桜井	253 100.0	95 37.5	107 42.3	81 32.0	49 19.4	29 11.5	48 19.0	40 15.8	21 8.3	29 11.5	16 6.3	18 7.1	23 9.1	14 5.5	15 5.9	4 1.6	5 2.0	10 4.0	11 4.3		
東山	214 100.0	87 40.7	82 38.3	59 27.6	51 23.8	42 19.6	37 17.3	34 15.9	18 8.4	34 15.9	11 5.1	17 7.9	11 5.1	9 4.2	19 8.9	5 2.3	3 1.4	7 3.3	9 4.2		
安祥	221 100.0	80 36.2	84 38.0	67 30.3	56 25.3	32 14.5	28 12.7	45 20.4	37 16.7	26 11.8	16 7.2	16 7.2	16 7.2	14 6.3	14 6.3	2 0.9	4 1.8	7 3.2	12 5.4		
篠目	195 100.0	62 31.8	63 32.3	63 32.3	37 19.0	36 18.5	32 16.4	30 15.4	31 15.9	23 11.8	23 11.8	13 6.7	11 5.6	14 7.2	8 4.1	-	3 1.5	8 4.1	12 6.2		

Ⅱ 調査の結果 1 一般高齢者調査

10-9 高齢者の福祉・介護・医療についての意見・要望

問54 高齢者の福祉・介護・医療について、ご意見・要望がありましたらご自由にお書きください。

高齢者の福祉・介護・医療については、下記のような内容で、333人から388件のご意見・ご要望をいただきました。

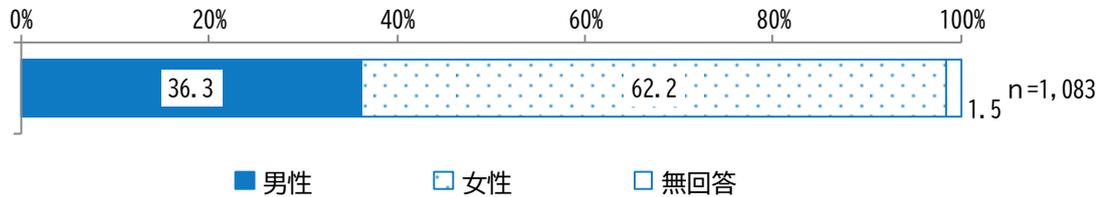
	内 容 (例)	件数
1	移動、交通について	36
2	介護保険制度について	27
3	施設福祉サービスについて	26
4	情報提供、相談、啓発等について	24
5	保健、医療について	23
6	地域活動、ボランティア等について	18
7	在宅福祉サービスについて	15
8	健康、介護予防等について	14
9	生活環境について	14
10	各種割引、税制優遇等について	11
11	サービス事業者、ケアマネジャー等の専門職について	9
12	福祉行政全般について	48
13	自身の現状、将来の不安等	72
14	アンケートに関すること	24
15	その他	27
	合 計	388

## 2 在宅介護者調査（在宅介護実態調査）

### （1）対象者の属性

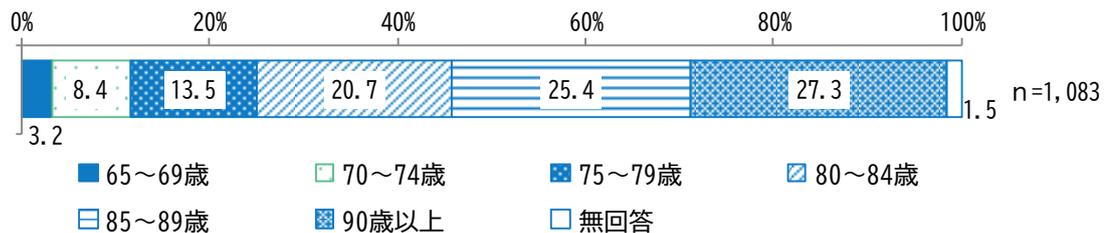
#### 1-1 性別

対象者の性別は、「男性」が36.3%、「女性」が62.2%となっています。



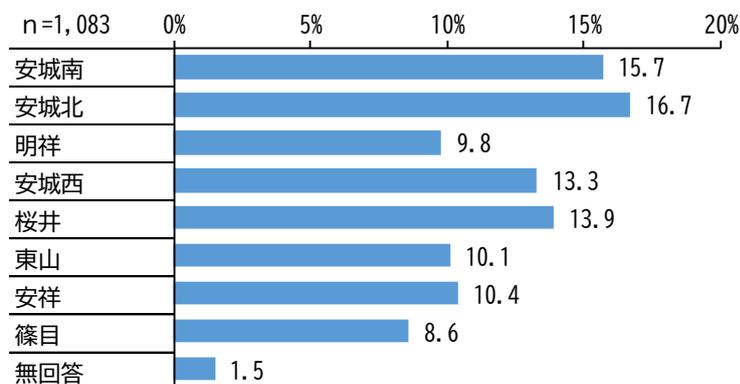
#### 1-2 年齢

「90歳以上」(27.3%)が最も高く、次いで「85～89歳」(25.4%)、「80～84歳」(20.7%)、「75～79歳」(13.5%)となっており、これらを合計した『75歳以上』は86.9%となっています。また、『75歳未満』(「65～69歳」「70～74歳」の計)は11.6%となっています。



#### 1-3 日常生活圏域（中学校区）

「安城北」(16.7%)が最も高く、「篠目」(8.6%)が最も低くなっています。

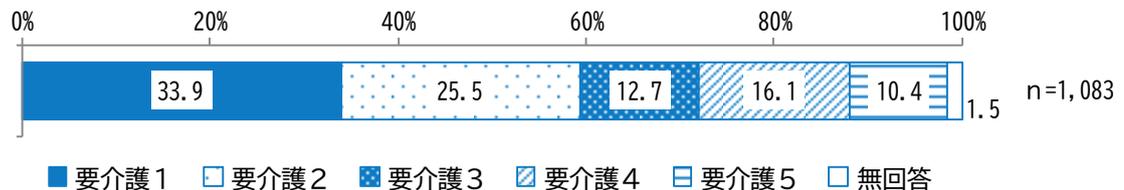


## Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護者調査

### 1-4 要介護度

「要介護1」(33.9%)が最も高く、次いで「要介護2」(25.5%)、「要介護4」(16.1%)となっています。

重度別でみると、『軽度(要介護1・2)要介護者』が59.4%、『中・重度(要介護3~5)要介護者』が39.2%となっています。

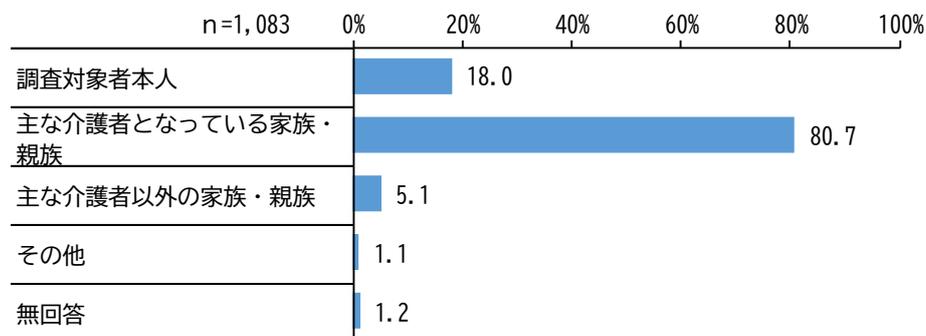


## (2) 家族や生活状況について

### 2-1 回答者

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

回答者は、「主な介護者となっている家族・親族」が80.7%、「調査対象者本人」が18.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が5.1%となっています。

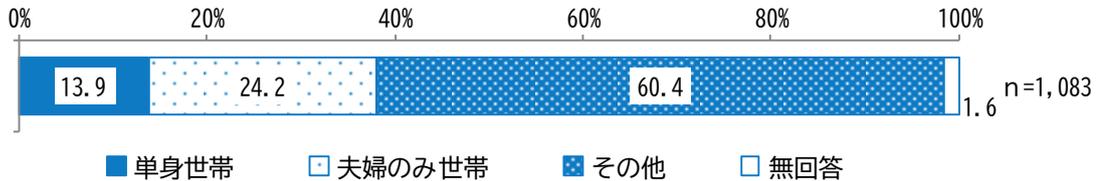


2-2 家族構成

問2 家族構成について、ご回答ください。(○は1つ)

「単身世帯」が13.9%、「夫婦のみ世帯」が24.2%、「その他」が60.4%となっています。

要介護度別でみると、「夫婦のみ世帯」は要介護5で32.7%と高くなっています。

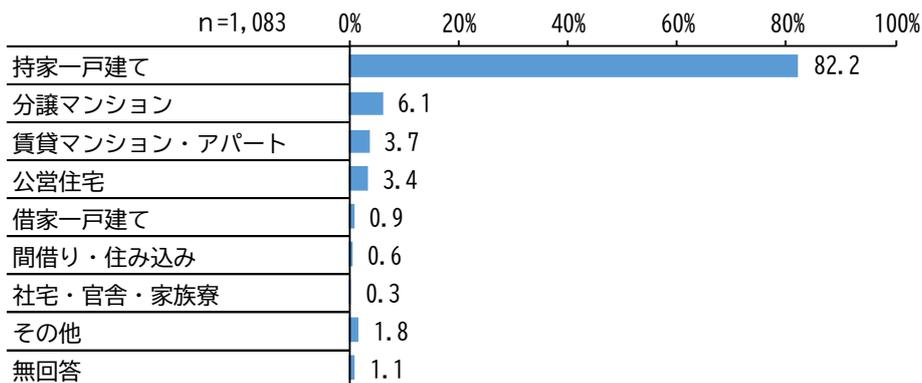


	件数	単身世帯	夫婦のみ世帯	その他	無回答
全体	1,083	150	262	654	17
	100.0	13.9	24.2	60.4	1.6
要介護1	367	59	77	223	8
	100.0	16.1	21.0	60.8	2.2
要介護2	276	32	71	170	3
	100.0	11.6	25.7	61.6	1.1
要介護3	137	20	33	83	1
	100.0	14.6	24.1	60.6	0.7
要介護4	174	23	39	109	3
	100.0	13.2	22.4	62.6	1.7
要介護5	113	16	37	59	1
	100.0	14.2	32.7	52.2	0.9

2-3 住居形態

問3 お住まいの形態について、ご回答ください。(○は1つ)

「持家一戸建て」(82.2%)が最も高く、次いで「分譲マンション」(6.1%)となっています。



Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護者調査

2-4 施設等への入所・入居の検討状況

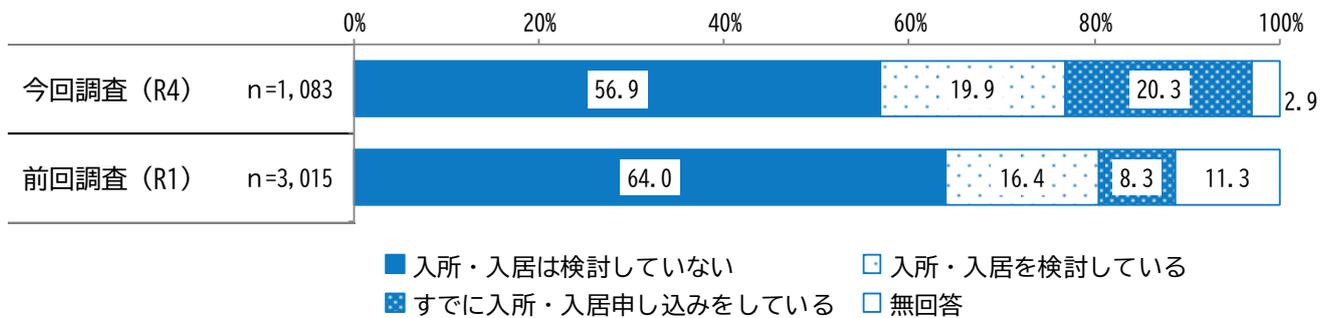
問4 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。  
(○は1つ)

「入所・入居は検討していない」(56.9%)が最も高く、『入所・入居を検討した』(「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」の計)は40.2%となっています。

家族構成別でみると、『入所・入居を検討した』は単身世帯で47.4%と高くなっています。

要介護度別でみると、『入所・入居を検討した』は要介護3・4で5割以上と高くなっています。

前回調査と比べると、『入所・入居を検討した』は24.7%から40.2%へと15.5ポイント上昇しています。



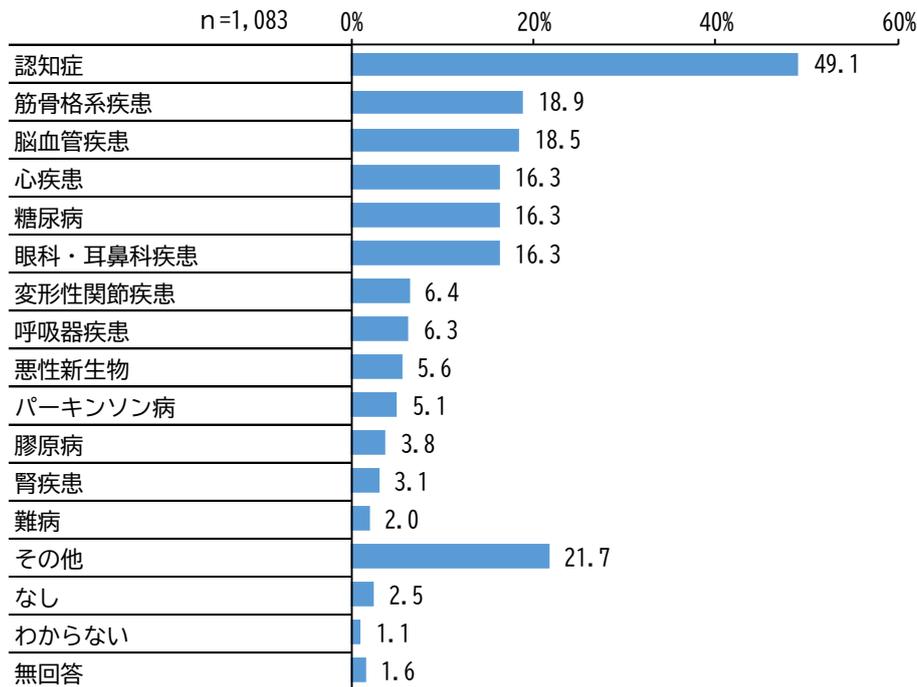
		件数	い 検入 討所 し・ て入 い居 なは	検入 討所 し・ て入 い居 るを	を入す し居で て申に いし入 る込所 み・	無 回 答
全 体		1,083 100.0	616 56.9	216 19.9	220 20.3	31 2.9
家 族 構 成	単身世帯	150 100.0	75 50.0	28 18.7	43 28.7	4 2.7
	夫婦のみ世帯	262 100.0	156 59.5	48 18.3	52 19.8	6 2.3
	その他	654 100.0	378 57.8	140 21.4	125 19.1	11 1.7
要 介 護 度	要介護1	367 100.0	227 61.9	84 22.9	41 11.2	15 4.1
	要介護2	276 100.0	173 62.7	60 21.7	37 13.4	6 2.2
	要介護3	137 100.0	62 45.3	26 19.0	45 32.8	4 2.9
	要介護4	174 100.0	83 47.7	30 17.2	59 33.9	2 1.1
	要介護5	113 100.0	61 54.0	14 12.4	35 31.0	3 2.7

2-5 現在抱えている傷病

問5 ご本人が現在抱えている傷病について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

「認知症」(49.1%)が最も高く、次いで「筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)」(18.9%)、「脳血管疾患(脳卒中)」(18.5%)、「心疾患」「糖尿病」「眼科・耳鼻科疾患」(いずれも16.3%)となっています。また、「その他」は21.7%で、具体的な内訳は“高血圧”“骨折”が多くなっています。

要介護度別でみると、いずれの要介護度においても「認知症」が最も高くなっています。「認知症」は要介護1(61.9%)で、「脳血管疾患」は要介護5(32.7%)でそれぞれ割合が高くなっています。



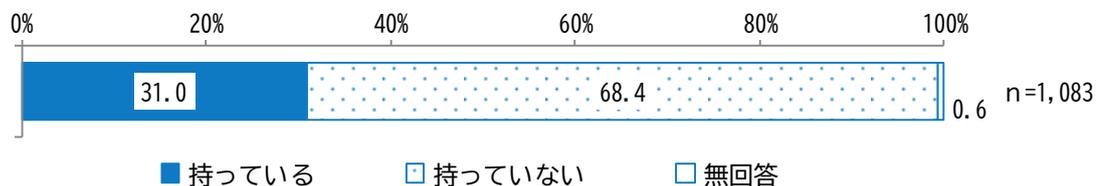
	件数	認知症	筋骨格系疾患	脳血管疾患	眼科・耳鼻科疾患	心疾患	糖尿病	変形性関節疾患	呼吸器疾患	悪性新生物	パーキンソン病	膠原病	腎疾患	難病	その他	なし	わからない	無回答	
全体	1,083	532	205	200	177	176	176	69	68	61	55	41	34	22	235	27	12	17	
要介護度	要介護1	367	227	78	35	69	47	48	22	15	21	5	9	5	2	69	14	4	6
		100.0	61.9	21.3	9.5	18.8	12.8	13.1	6.0	4.1	5.7	1.4	2.5	1.4	0.5	18.8	3.8	1.1	1.6
	要介護2	276	108	54	61	49	59	51	16	21	18	15	18	19	5	64	5	2	5
		100.0	39.1	19.6	22.1	17.8	21.4	18.5	5.8	7.6	6.5	5.4	6.5	6.9	1.8	23.2	1.8	0.7	1.8
	要介護3	137	57	28	36	23	25	29	13	9	7	8	9	1	1	32	2	1	1
	100.0	41.6	20.4	26.3	16.8	18.2	21.2	9.5	6.6	5.1	5.8	6.6	0.7	0.7	23.4	1.5	0.7	0.7	
要介護4	174	86	31	28	19	21	25	11	11	9	18	3	6	7	43	5	3	3	
	100.0	49.4	17.8	16.1	10.9	12.1	14.4	6.3	6.3	5.2	10.3	1.7	3.4	4.0	24.7	2.9	1.7	1.7	
要介護5	113	47	13	37	16	20	22	7	11	5	7	2	3	5	25	1	2	2	
	100.0	41.6	11.5	32.7	14.2	17.7	19.5	6.2	9.7	4.4	6.2	1.8	2.7	4.4	22.1	0.9	1.8	1.8	

## Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護者調査

### 2-6 携帯電話等の所持状況

問6 携帯電話やスマートフォンを持っていますか。(○は1つ)

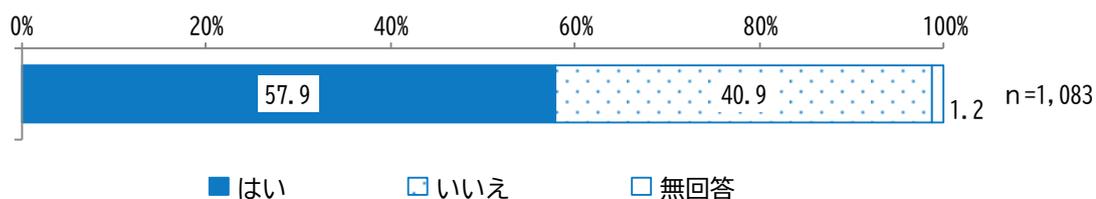
「持っている」は31.0%となっています。



### 2-7 会話等の聞こえの状況

問7 会話やテレビの音などが、うまく聞き取れないと感じますか。(○は1つ)

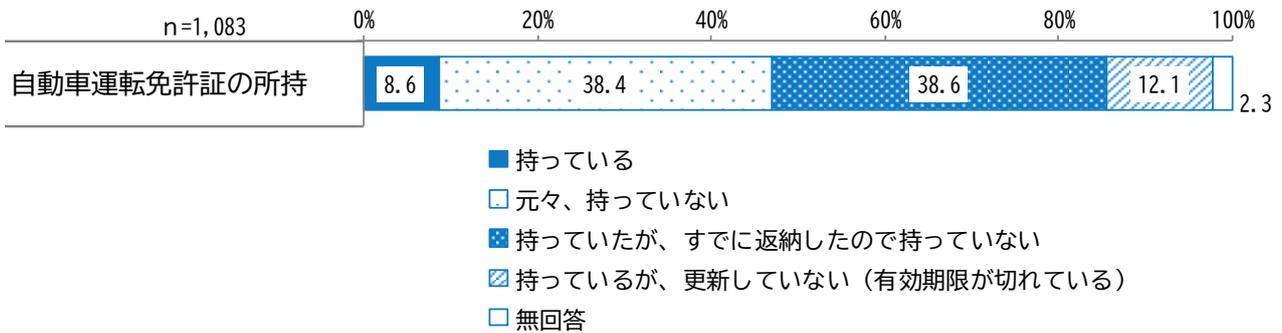
「はい」(うまく聞き取れないと感じる)は57.9%となっています。



2-8 自動車運転免許証の所持状況

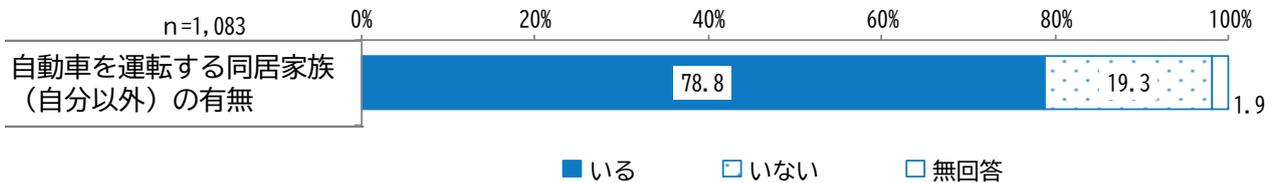
問8 現在、自動車の運転免許証を持っていますか。(○は1つ)

自動車運転免許証の所持については、「持っていたが、すでに返納したので持っていない」(38.6%)及び「元々、持っていない」(38.4%)がほぼ同率で最も高く、これらに次いで「持っているが、更新していない(有効期限が切れている)」(12.1%)となっています。また、「持っている」は8.6%となっています。



問9 ご自身以外で自動車を運転する同居家族はいますか。(○は1つ)

自分以外で自動車を運転する同居家族が「いる」人は78.8%となっています。



2-9 外出の頻度

問10 週に1回以上は外出していますか。(○は1つ)

「週2~4回」(37.9%)が最も高く、次いで「ほとんど外出しない」(34.5%)となっています。



### (3) 介護保険サービス等の利用について

#### 3-1 介護保険サービスの利用状況

問11 令和4年10月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。（○は1つ）

1か月間の介護保険サービス利用の有無については、「利用した」は76.2%、「利用していない」は18.5%となっています。

家族構成別でみると、「利用していない」は夫婦のみ世帯で23.7%と高くなっています。

要介護度別でみると、「利用した」は要介護3・4（ともに81.0%）で最も高くなっています。



		件数	利用した	利用していない	無回答	
全体		1,083	825	200	58	
			100.0	76.2	18.5	5.4
家族構成	単身世帯	150	118	25	7	
		100.0	78.7	16.7	4.7	
	夫婦のみ世帯	262	184	62	16	
	100.0	70.2	23.7	6.1		
	その他	654	515	108	31	
	100.0	78.7	16.5	4.7		
要介護度	要介護1	367	266	82	19	
		100.0	72.5	22.3	5.2	
	要介護2	276	211	49	16	
		100.0	76.4	17.8	5.8	
	要介護3	137	111	23	3	
	100.0	81.0	16.8	2.2		
	要介護4	174	141	25	8	
	100.0	81.0	14.4	4.6		
	要介護5	113	85	19	9	
	100.0	75.2	16.8	8.0		

問11で「1. 利用した」と回答した方

問11-1 以下の介護保険サービスについて、令和4年10月の1か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない（0回、1. 利用していない）」を選択してください。（それぞれ1つに○）

介護保険サービス別の利用状況については、『利用した』（利用回数・日数のある選択肢の回答率の合計）が最も高いのは「通所介護」で64.4%となっています。次いで「ショートステイ」（30.5%）、「訪問看護」（19.9%）、「通所リハビリテーション」（17.4%）となっています。

サービスの利用頻度は、訪問看護・訪問リハビリテーション・夜間対応型訪問介護は「週1回程度」、訪問入浴介護・通所リハビリテーションは「週2回程度」、通所介護は「週3回程度」、訪問介護は「週5回以上」、ショートステイは「月1～7日程度」、居宅療養管理指導は「月1回程度」がそれぞれ最も高くなっています。

	件数	利用していない	利用した	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
訪問介護	825	282	122	32	24	13	10	43	421
	100.0	34.2	14.8	3.9	2.9	1.6	1.2	5.2	51.0
訪問入浴介護	825	307	106	39	41	12	8	6	412
	100.0	37.2	12.9	4.7	5.0	1.5	1.0	0.7	49.9
訪問看護	825	261	165	81	48	15	6	15	399
	100.0	31.6	19.9	9.8	5.8	1.8	0.7	1.8	48.4
訪問リハビリテーション	825	308	114	58	35	9	6	6	403
	100.0	37.3	13.7	7.0	4.2	1.1	0.7	0.7	48.8
通所介護	825	133	531	56	116	165	86	108	161
	100.0	16.1	64.4	6.8	14.1	20.0	10.4	13.1	19.5
通所リハビリテーション	825	296	143	29	50	38	13	13	386
	100.0	35.9	17.4	3.5	6.1	4.6	1.6	1.6	46.8
夜間対応型訪問介護	825	364	16	8	-	-	1	7	445
	100.0	44.1	1.9	1.0	-	-	0.1	0.8	53.9

	件数	利用していない	利用した	無回答
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	825	519	65	241
	100.0	62.9	7.9	29.2
小規模多機能型居宅介護	825	531	28	266
	100.0	64.4	3.4	32.2
看護小規模多機能型居宅介護	825	536	20	269
	100.0	65.0	2.4	32.6

	件数	利用していない	利用した	月1～7日程度	月8～14日程度	月15～21日程度	月22日以上	無回答
ショートステイ	825	451	252	142	68	17	25	122
	100.0	54.7	30.5	17.2	8.2	2.1	3.0	14.8

	件数	利用していない	利用した	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度	無回答
居宅療養管理指導	825	556	88	60	17	4	7	181
	100.0	67.4	10.7	7.3	2.1	0.5	0.8	21.9

Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護者調査

訪問系4サービスの利用状況を要介護度別でみると、いずれのサービスも要介護度が高いほど利用率が概ね高くなっています。

訪問介護	件数	利用していない	利用した	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	825 100.0	282 34.2	122 14.8	32 3.9	24 2.9	13 1.6	10 1.2	43 5.2	421 51.0
要介護1	266 100.0	98 36.8	27 10.3	10 3.8	6 2.3	3 1.1	2 0.8	6 2.3	141 53.0
要介護2	211 100.0	61 28.9	30 14.2	12 5.7	4 1.9	4 1.9	6 2.8	4 1.9	120 56.9
要介護3	111 100.0	40 36.0	13 11.7	3 2.7	2 1.8	1 0.9	-	7 6.3	58 52.3
要介護4	141 100.0	51 36.2	30 21.3	6 4.3	7 5.0	2 1.4	-	15 10.6	60 42.6
要介護5	85 100.0	29 34.1	21 24.8	1 1.2	5 5.9	3 3.5	2 2.4	10 11.8	35 41.2

訪問入浴介護	件数	利用していない	利用した	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	825 100.0	307 37.2	106 12.9	39 4.7	41 5.0	12 1.5	8 1.0	6 0.7	412 49.9
要介護1	266 100.0	111 41.7	18 6.9	8 3.0	6 2.3	2 0.8	1 0.4	1 0.4	137 51.5
要介護2	211 100.0	73 34.6	15 7.1	5 2.4	4 1.9	4 1.9	2 0.9	-	123 58.3
要介護3	111 100.0	35 31.5	18 16.2	6 5.4	9 8.1	1 0.9	2 1.8	-	58 52.3
要介護4	141 100.0	55 39.0	32 22.6	12 8.5	11 7.8	3 2.1	2 1.4	4 2.8	54 38.3
要介護5	85 100.0	29 34.1	22 25.9	7 8.2	11 12.9	2 2.4	1 1.2	1 1.2	34 40.0

訪問看護	件数	利用していない	利用した	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	825 100.0	261 31.6	165 19.9	81 9.8	48 5.8	15 1.8	6 0.7	15 1.8	399 48.4
要介護1	266 100.0	106 39.8	26 9.7	11 4.1	7 2.6	3 1.1	1 0.4	4 1.5	134 50.4
要介護2	211 100.0	63 29.9	26 12.2	15 7.1	7 3.3	2 0.9	2 0.9	-	122 57.8
要介護3	111 100.0	32 28.8	23 20.7	10 9.0	7 6.3	4 3.6	-	2 1.8	56 50.5
要介護4	141 100.0	44 31.2	43 30.4	18 12.8	14 9.9	5 3.5	1 0.7	5 3.5	54 38.3
要介護5	85 100.0	13 15.3	45 53.0	25 29.4	13 15.3	1 1.2	2 2.4	4 4.7	27 31.8

訪問リハビリテーション	件数	利用していない	利用した	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上※	無回答
全体	825 100.0	308 37.3	114 13.7	58 7.0	35 4.2	9 1.1	6 0.7	6 0.7	403 48.8
要介護1	266 100.0	117 44.0	17 6.4	8 3.0	7 2.6	1 0.4	1 0.4	-	132 49.6
要介護2	211 100.0	67 31.8	26 12.4	13 6.2	8 3.8	4 1.9	1 0.5	-	118 55.9
要介護3	111 100.0	36 32.4	18 16.2	11 9.9	6 5.4	1 0.9	-	-	57 51.4
要介護4	141 100.0	55 39.0	33 23.3	16 11.3	11 7.8	1 0.7	2 1.4	3 2.1	53 37.6
要介護5	85 100.0	31 36.5	17 20.0	8 9.4	3 3.5	1 1.2	2 2.4	3 3.5	37 43.5

※利用回数上限は週6回

通所系サービス及び夜間対応型訪問介護の利用状況を要介護度別で見ると、通所介護は要介護度が低いほど利用率が高く、通所リハビリテーションは要介護4で利用率が最も高くなっています。また、夜間対応型訪問介護は要介護4・5の重度者で「週4回程度」「週5回以上」の回答がみられます。

通所介護	件数	利用していない	利用した	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	825 100.0	133 16.1	531 64.4	56 6.8	116 14.1	165 20.0	86 10.4	108 13.1	161 19.5
要介護1	266 100.0	27 10.2	201 75.5	23 8.6	47 17.7	63 23.7	36 13.5	32 12.0	38 14.3
要介護2	211 100.0	28 13.3	135 64.0	18 8.5	27 12.8	40 19.0	23 10.9	27 12.8	48 22.7
要介護3	111 100.0	24 21.6	64 57.6	3 2.7	12 10.8	22 19.8	8 7.2	19 17.1	23 20.7
要介護4	141 100.0	32 22.7	80 56.8	8 5.7	17 12.1	23 16.3	10 7.1	22 15.6	29 20.6
要介護5	85 100.0	21 24.7	44 51.7	4 4.7	10 11.8	16 18.8	7 8.2	7 8.2	20 23.5

通所リハビリテーション	件数	利用していない	利用した	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	825 100.0	296 35.9	143 17.4	29 3.5	50 6.1	38 4.6	13 1.6	13 1.6	386 46.8
要介護1	266 100.0	100 37.6	43 16.2	11 4.1	12 4.5	14 5.3	4 1.5	2 0.8	123 46.2
要介護2	211 100.0	66 31.3	40 18.9	5 2.4	18 8.5	10 4.7	4 1.9	3 1.4	105 49.8
要介護3	111 100.0	36 32.4	17 15.3	4 3.6	4 3.6	4 3.6	2 1.8	3 2.7	58 52.3
要介護4	141 100.0	51 36.2	30 21.3	7 5.0	11 7.8	7 5.0	2 1.4	3 2.1	60 42.6
要介護5	85 100.0	39 45.9	10 11.8	2 2.4	3 3.5	3 3.5	-	2 2.4	36 42.4

夜間対応型訪問介護	件数	利用していない	利用した	週1回程度	週2回程度	週3回程度	週4回程度	週5回以上	無回答
全体	825 100.0	364 44.1	16 1.9	8 1.0	-	-	1 0.1	7 0.8	445 53.9
要介護1	266 100.0	125 47.0	2 0.8	2 0.8	-	-	-	-	139 52.3
要介護2	211 100.0	80 37.9	1 0.5	1 0.5	-	-	-	-	130 61.6
要介護3	111 100.0	46 41.4	2 1.8	2 1.8	-	-	-	-	63 56.8
要介護4	141 100.0	68 48.2	7 4.9	2 1.4	-	-	1 0.7	4 2.8	66 46.8
要介護5	85 100.0	40 47.1	4 4.7	1 1.2	-	-	-	3 3.5	41 48.2

II 調査の結果 2 在宅介護者調査

定期巡回・随時対応型訪問介護看護等の利用状況を要介護度別で見ると、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は要介護5で、小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護は要介護4で、それぞれ利用率が最も高くなっています。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護	件数	利用していない	利用した	無回答
全体	825 100.0	519 62.9	65 7.9	241 29.2
要介護1	266 100.0	168 63.2	12 4.5	86 32.3
要介護2	211 100.0	131 62.1	17 8.1	63 29.9
要介護3	111 100.0	74 66.7	8 7.2	29 26.1
要介護4	141 100.0	93 66.0	10 7.1	38 27.0
要介護5	85 100.0	44 51.8	18 21.2	23 27.1

小規模多機能型居宅介護	件数	利用していない	利用した	無回答
全体	825 100.0	531 64.4	28 3.4	266 32.2
要介護1	266 100.0	166 62.4	9 3.4	91 34.2
要介護2	211 100.0	136 64.5	6 2.8	69 32.7
要介護3	111 100.0	75 67.6	2 1.8	34 30.6
要介護4	141 100.0	94 66.7	7 5.0	40 28.4
要介護5	85 100.0	51 60.0	4 4.7	30 35.3

看護小規模多機能型居宅介護	件数	利用していない	利用した	無回答
全体	825 100.0	536 65.0	20 2.4	269 32.6
要介護1	266 100.0	171 64.3	4 1.5	91 34.2
要介護2	211 100.0	137 64.9	4 1.9	70 33.2
要介護3	111 100.0	73 65.8	3 2.7	35 31.5
要介護4	141 100.0	96 68.1	7 5.0	38 27.0
要介護5	85 100.0	50 58.8	2 2.4	33 38.8

ショートステイと居宅療養管理指導の利用状況を要介護度別で見ると、いずれのサービスも要介護4で利用率が最も高くなっています。

ショートステイ	件数	利用していない	利用した	月1～7日	月8～14日	月15～21日	月22日以上	無回答
				程度	程度	程度		
全体	825	451	252	142	68	17	25	122
	100.0	54.7	30.5	17.2	8.2	2.1	3.0	14.8
要介護1	266	160	59	33	18	4	4	47
	100.0	60.2	22.2	12.4	6.8	1.5	1.5	17.7
要介護2	211	124	53	36	6	5	6	34
	100.0	58.8	25.1	17.1	2.8	2.4	2.8	16.1
要介護3	111	58	39	21	10	5	3	14
	100.0	52.3	35.1	18.9	9.0	4.5	2.7	12.6
要介護4	141	69	60	34	17	1	8	12
	100.0	48.9	42.6	24.1	12.1	0.7	5.7	8.5
要介護5	85	35	36	17	15	1	3	14
	100.0	41.2	42.3	20.0	17.6	1.2	3.5	16.5

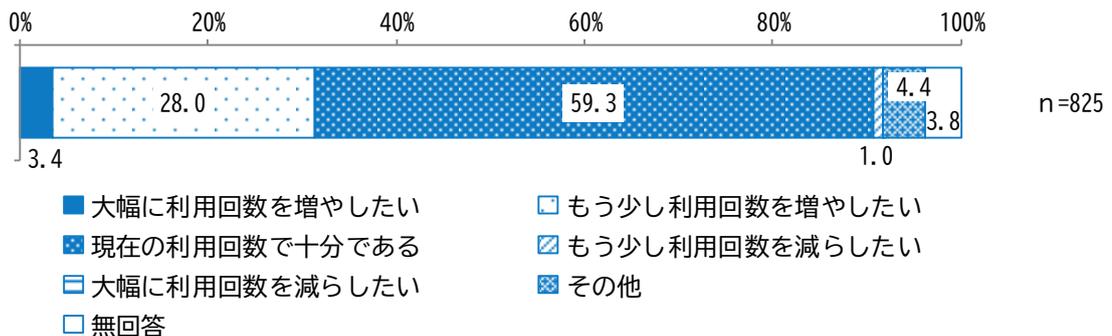
居宅療養管理指導	件数	利用していない	利用した	月1回程度	月2回程度	月3回程度	月4回程度※	無回答
				全体	825	556	88	
	100.0	67.4	10.7	7.3	2.1	0.5	0.8	21.9
要介護1	266	193	17	11	2	1	3	56
	100.0	72.6	6.4	4.1	0.8	0.4	1.1	21.1
要介護2	211	141	25	21	4	-	-	45
	100.0	66.8	11.9	10.0	1.9	-	-	21.3
要介護3	111	76	12	9	1	-	2	23
	100.0	68.5	10.8	8.1	0.9	-	1.8	20.7
要介護4	141	90	22	13	7	2	-	29
	100.0	63.8	15.6	9.2	5.0	1.4	-	20.6
要介護5	85	49	11	5	3	1	2	25
	100.0	57.6	13.0	5.9	3.5	1.2	2.4	29.4

※利用回数上限は月18回

### 3-2 介護保険サービスの利用意向

問11-2 現在利用している介護保険サービスの利用回数について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

「現在の利用回数で十分である」(59.3%)が最も高く、次いで「もう少し利用回数を増やしたい」(28.0%)となっています。



II 調査の結果 2 在宅介護者調査

3-3 介護保険サービスを利用していない理由

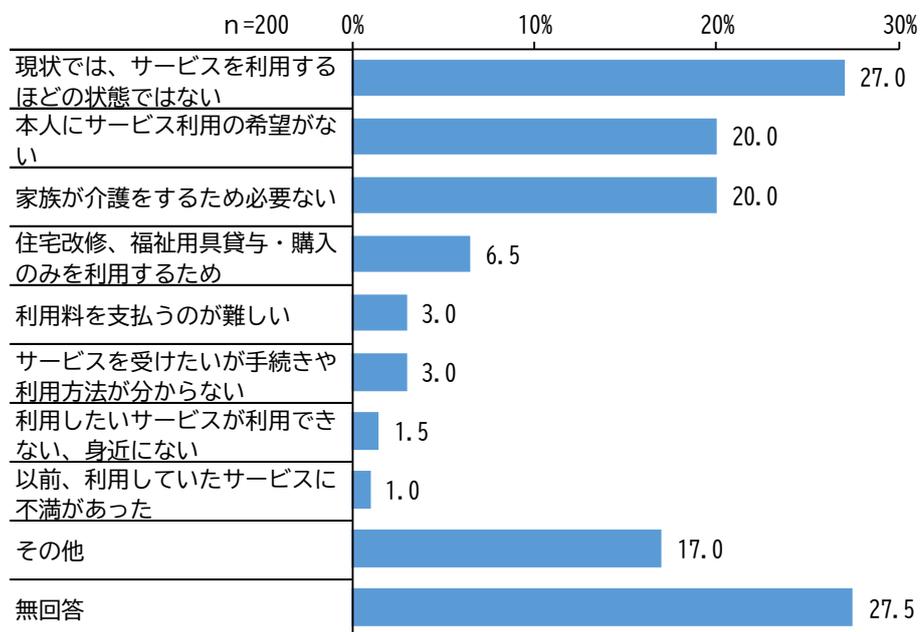
問11で「2. 利用していない」と回答した方

問11-3 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(27.0%)が最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」「家族が介護をするため必要ない」(ともに20.0%)となっています。また、「その他」(17.0%)の内訳は、“(対象月は)入院していた”が多くなっています。

家族構成別でみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」は夫婦のみ世帯で32.3%と高くなっています。

要介護度別でみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」「本人にサービス利用の希望がない」は要介護1で高くなっています。

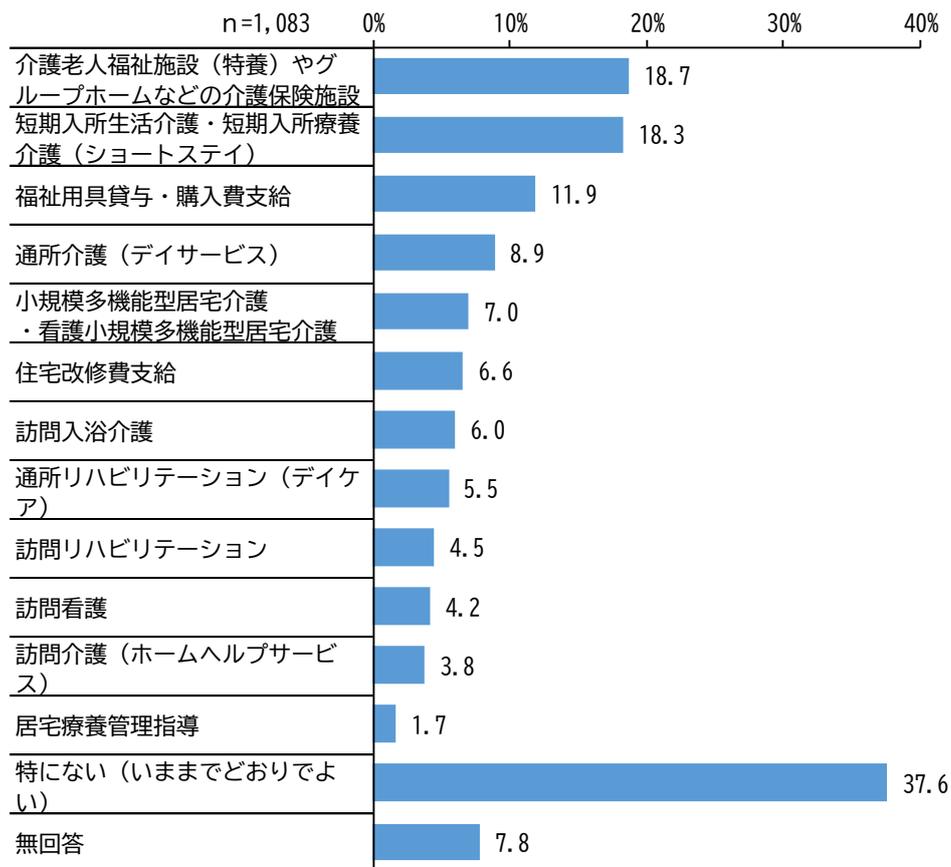


	件数	現状では、サービス利用はするほどではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	利用料を支払うのが難しい	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答
全体	200	54	40	40	13	6	6	3	2	34	55
	100.0	27.0	20.0	20.0	6.5	3.0	3.0	1.5	1.0	17.0	27.5
家族構成											
単身世帯	25	7	3	3	2	1	1	-	-	5	6
	100.0	28.0	12.0	12.0	8.0	4.0	4.0	-	-	20.0	24.0
夫婦のみ世帯	62	20	11	14	-	1	3	2	-	11	19
	100.0	32.3	17.7	22.6	-	1.6	4.8	3.2	-	17.7	30.6
その他	108	25	25	22	11	4	2	1	2	18	29
	100.0	23.1	23.1	20.4	10.2	3.7	1.9	0.9	1.9	16.7	26.9
要介護度											
要介護1	82	34	23	16	4	4	3	-	2	12	14
	100.0	41.5	28.0	19.5	4.9	4.9	3.7	-	2.4	14.6	17.1
要介護2	49	12	7	13	6	1	1	2	-	6	17
	100.0	24.5	14.3	26.5	12.2	2.0	2.0	4.1	-	12.2	34.7
要介護3	23	1	3	3	1	1	-	-	-	6	11
	100.0	4.3	13.0	13.0	4.3	4.3	-	-	-	26.1	47.8
要介護4	25	6	6	3	2	-	1	1	-	3	7
	100.0	24.0	24.0	12.0	8.0	-	4.0	4.0	-	12.0	28.0
要介護5	19	1	-	5	-	-	1	-	-	6	6
	100.0	5.3	-	26.3	-	-	5.3	-	-	31.6	31.6

3-4 新たに利用したい介護保険サービス

問12 今後、新たに利用したいと思う介護保険サービスはありますか。(〇は3つまで)

「特にない (いままでどおりでよい)」(37.6%) が最も高くなっています。利用したいサービスとしては、「介護老人福祉施設(特養)やグループホームなどの介護保険施設」(18.7%) が最も高く、次いで「短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ)」(18.3%)、「福祉用具貸与・購入費支給」(11.9%)、「通所介護(デイサービス)」(8.9%)となっています。



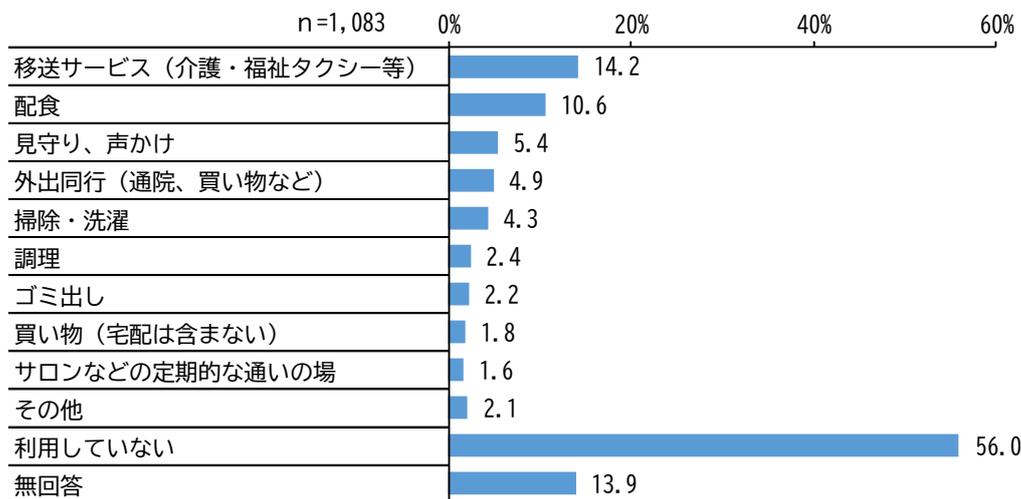
3-5 現在利用している介護保険外サービス

問13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(〇はいくつでも)

「利用していない」(56.0%)が最も高く、全体から「利用していない」と無回答を除いた『介護保険外サービスを利用している』人は30.1%となっています。利用しているサービスとしては、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」(14.2%)が最も高く、次いで「配食」(10.6%)、「見守り、声かけ」(5.4%)、「外出同行(通院、買い物など)」(4.9%)、「掃除・洗濯」(4.3%)となっています。

家族構成別でみると、『介護保険外サービスを利用している』人は単身世帯で42.6%と高くなっており、「移送サービス」「サロンなどの定期的な通いの場」を除くすべてのサービスは単身世帯で高くなっています。

要介護度別でみると、『介護保険外サービスを利用している』人は要介護3で43.1%と高くなっており、「移送サービス」は要介護3・4で高くなっています。



	件数	タ(移ク介送シ護サ一・福ビ社ス)	配食	け見守り、声か	ど院外出、買同行物(な通)	掃除・洗濯	調理	ゴミ出し	は含買い物(宅配)	の定サ口の場定期的な通いの	その他	利用していな	無回答	
全体	1,083	154	115	58	53	47	26	24	20	17	23	606	150	
	100.0	14.2	10.6	5.4	4.9	4.3	2.4	2.2	1.8	1.6	2.1	56.0	13.9	
家族構成	単身世帯	150	21	30	20	13	15	13	12	9	3	5	70	16
		100.0	14.0	20.0	13.3	8.7	10.0	8.7	8.0	6.0	2.0	3.3	46.7	10.7
	夫婦のみ世帯	262	44	23	11	15	9	2	5	3	7	4	136	48
	100.0	16.8	8.8	4.2	5.7	3.4	0.8	1.9	1.1	2.7	1.5	51.9	18.3	
その他	654	88	61	27	25	23	11	7	8	7	14	390	81	
	100.0	13.5	9.3	4.1	3.8	3.5	1.7	1.1	1.2	1.1	2.1	59.6	12.4	
要介護度	要介護1	367	24	40	19	14	14	6	8	3	4	5	224	54
		100.0	6.5	10.9	5.2	3.8	3.8	1.6	2.2	0.8	1.1	1.4	61.0	14.7
	要介護2	276	39	32	18	16	16	8	10	6	10	8	161	30
		100.0	14.1	11.6	6.5	5.8	5.8	2.9	3.6	2.2	3.6	2.9	58.3	10.9
	要介護3	137	30	20	11	11	8	4	2	2	2	3	58	20
	100.0	21.9	14.6	8.0	8.0	5.8	2.9	1.5	1.5	1.5	2.2	42.3	14.6	
要介護4	174	37	14	7	9	5	6	2	5	1	4	96	21	
	100.0	21.3	8.0	4.0	5.2	2.9	3.4	1.1	2.9	0.6	2.3	55.2	12.1	
要介護5	113	20	7	3	3	4	2	2	4	-	2	60	22	
	100.0	17.7	6.2	2.7	2.7	3.5	1.8	1.8	3.5	-	1.8	53.1	19.5	

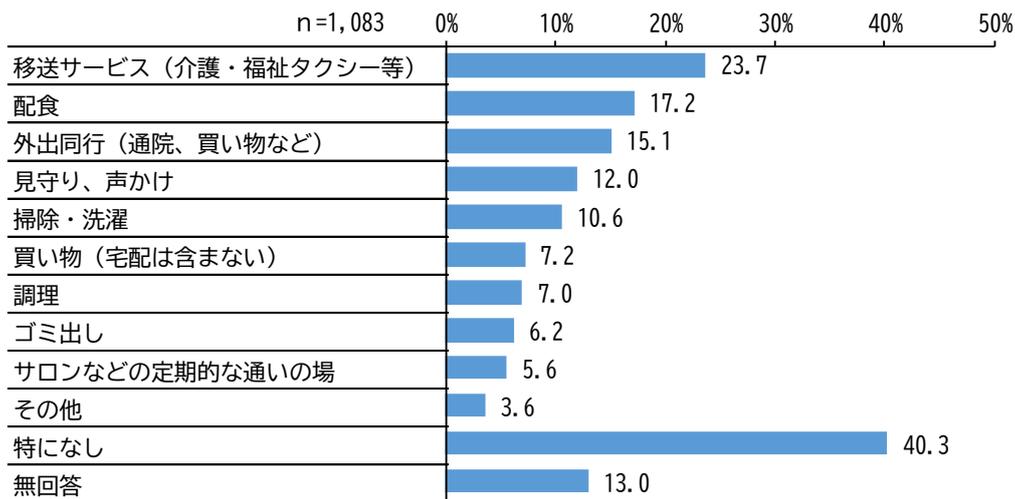
3-6 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

問14 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。  
（〇はいくつでも）

「特になし」（40.3%）が最も高く、全体から「特になし」と無回答を除いた『支援・サービスを必要としている』人は46.7%となっています。必要な支援・サービスとしては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（23.7%）が最も高く、次いで「配食」（17.2%）、「外出同行（通院、買い物など）」（15.1%）、「見守り、声かけ」（12.0%）、「掃除・洗濯」（10.6%）となっています。

家族構成別でみると、『支援・サービスを必要としている』人は単身世帯で55.3%と高くなっており、「移送サービス」「サロンなどの定期的な通いの場」を除くすべてのサービスは単身世帯で高くなっています。

要介護度別でみると、『支援・サービスを必要としている』人は要介護4で36.8%と低くなっています。



	件数	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	配食	外出同行 (通院、買い物など)	見守り、声かけ	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	調理	ゴミ出し	定期的な通いの場	その他	特になし	無回答
全体	1,083	257	186	163	130	115	78	76	67	61	39	436	141
	100.0	23.7	17.2	15.1	12.0	10.6	7.2	7.0	6.2	5.6	3.6	40.3	13.0
家族構成	単身世帯	150	34	37	38	26	33	21	21	7	7	48	19
		100.0	22.7	24.7	25.3	17.3	22.0	14.0	14.0	4.7	4.7	32.0	12.7
	夫婦のみ世帯	262	67	50	41	33	30	23	16	23	14	11	90
	100.0	25.6	19.1	15.6	12.6	11.5	8.8	6.1	8.8	5.3	4.2	34.4	16.8
その他	654	152	98	82	69	51	33	38	22	40	21	291	73
	100.0	23.2	15.0	12.5	10.6	7.8	5.0	5.8	3.4	6.1	3.2	44.5	11.2
要介護度	要介護1	367	77	74	69	57	47	28	35	27	13	140	42
		100.0	21.0	20.2	18.8	15.5	12.8	7.6	9.5	7.4	3.5	38.1	11.4
	要介護2	276	66	53	48	31	32	28	19	23	8	111	32
		100.0	23.9	19.2	17.4	11.2	11.6	10.1	6.9	8.3	2.9	40.2	11.6
	要介護3	137	37	26	19	19	13	7	5	8	5	49	21
	100.0	27.0	19.0	13.9	13.9	9.5	5.1	3.6	5.8	3.6	35.8	15.3	
要介護4	174	42	18	17	11	14	7	11	6	3	6	86	24
	100.0	24.1	10.3	9.8	6.3	8.0	4.0	6.3	3.4	1.7	3.4	49.4	13.8
要介護5	113	30	13	8	11	6	6	5	3	5	5	47	21
	100.0	26.5	11.5	7.1	9.7	5.3	5.3	4.4	2.7	4.4	4.4	41.6	18.6

Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護者調査

3-7 訪問診療の利用の有無

問15 ご本人（本調査対象者）は、現在、訪問診療（医療保険）を利用していますか。  
（○は1つ）

「利用している」は21.7%となっています。

家族構成別でみると、「利用している」は夫婦のみ世帯で26.7%と高くなっています。

要介護度別でみると、「利用している」は要介護度が上がるにつれて割合が高く、要介護4で32.8%、要介護5で52.2%となっています。

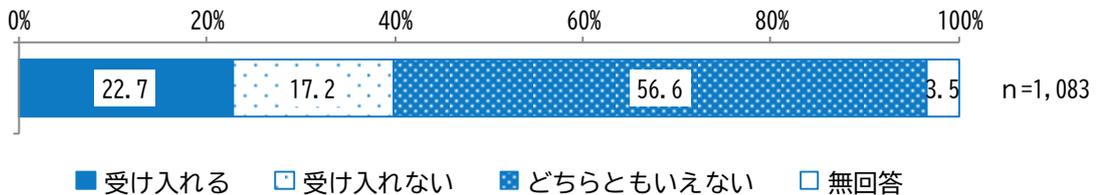


		件数	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全 体		1,083 100.0	235 21.7	798 73.7	50 4.6
家 族 構 成	単身世帯	150 100.0	38 25.3	105 70.0	7 4.7
	夫婦のみ世帯	262 100.0	70 26.7	176 67.2	16 6.1
	その他	654 100.0	124 19.0	508 77.7	22 3.4
要 介 護 度	要介護1	367 100.0	39 10.6	307 83.7	21 5.7
	要介護2	276 100.0	45 16.3	222 80.4	9 3.3
	要介護3	137 100.0	34 24.8	98 71.5	5 3.6
	要介護4	174 100.0	57 32.8	111 63.8	6 3.4
	要介護5	113 100.0	59 52.2	45 39.8	9 8.0

3-8 地域ボランティアによる援助等の受け入れの可否

問16 介護保険や市の福祉サービスに加え、地域のボランティアによる日常の援助等があれば、受け入れますか。(○は1つ)

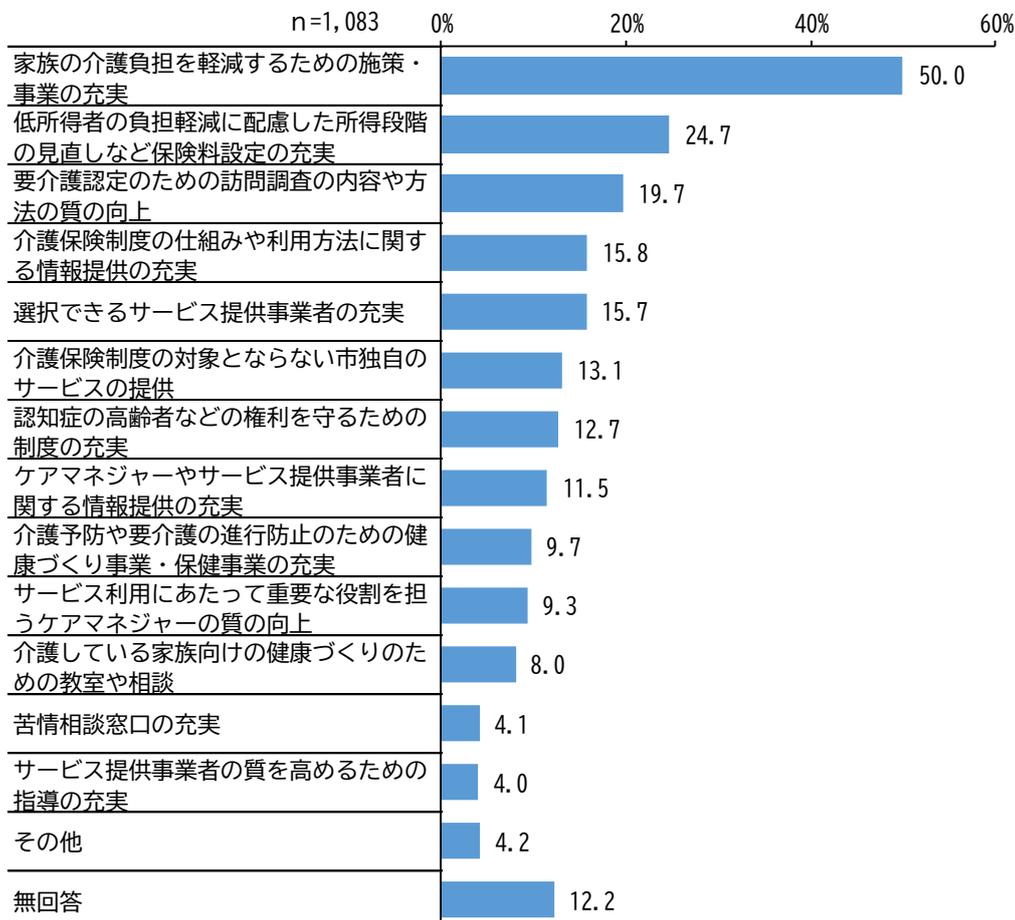
「どちらともいえない」(56.6%)が最も高く、「受け入れる」は22.7%、「受け入れない」は17.2%となっています。



3-9 注力してほしい介護関連施策

問17 介護保険制度をはじめ、介護にかかわるこれからの施策のあり方について、特に力を入れてほしいことは何ですか。(○は3つまで)

「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」(50.0%)が最も高く、次いで「低所得者の負担軽減に配慮した所得段階の見直しなど保険料設定の充実」(24.7%)、「要介護認定のための訪問調査の内容や方法の質の向上」(19.7%)、「介護保険制度の仕組みや利用方法に関する情報提供の充実」(15.8%)、「選択できるサービス提供事業者の充実」(15.7%)となっています。



II 調査の結果 2 在宅介護者調査

家族構成別でみると、「低所得者の負担軽減に配慮した所得段階の見直しなど保険料設定の充実」「要介護認定のための訪問調査の内容や方法の質の向上」「介護保険制度の対象とならない市独自のサービスの提供」は単身世帯でいずれも高くなっています。

要介護度別でみると、「低所得者の負担軽減に配慮した所得段階の見直しなど保険料設定の充実」は要介護5で31.9%と高くなっています。

主な介護者別でみると、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」は子の配偶者で72.6%、子で55.2%とそれぞれ高くなっています。

	件数	実る家族のための介護施策・事業の充実	などした所得者の負担軽減の見直し	低所得者の負担軽減の見直し	向上介護の内容や方法の質の向上	要介護認定の方法の質の向上	利用者の満足度の向上	介護保険制度の充実	事業者のサービス提供	選択できるサービスの提供	のらない市独自のサービスの提供	介護保険制度の対象とならない市独自のサービスの提供	実利を守るための高齢者の制度の充実	認知症の高齢者の制度の充実	報知の充実	ケアマネジャーやサービス提供事業者に関する情報	防止のための健康づくり	介護予防や健康づくりの進行	重要な役割を担うケアマ	や相談利用にあたって	健康づくりの家族向け	介護相談窓口の充実	苦情相談窓口の充実	実を高めるための事業者の質	サービス提供事業者の質	その他	無回答				
全体	1,083 100.0	541 50.0	267 24.7	213 19.7	171 15.8	170 15.7	142 13.1	137 12.7	125 11.5	105 9.7	101 9.3	87 8.0	44 4.1	43 4.0	46 4.2	132 12.2															
家族構成	単身世帯	150 100.0	65 43.3	45 30.0	38 25.3	26 17.3	25 16.7	28 18.7	21 14.0	10 6.7	11 7.3	6 4.0	8 5.3	3 2.0	6 4.0	19 12.7															
	夫婦のみ世帯	262 100.0	115 43.9	64 24.4	52 19.8	42 16.0	29 11.1	23 8.8	27 10.3	34 13.0	27 10.3	32 12.2	32 12.2	12 4.6	11 4.2	14 5.3	38 14.5														
	その他	654 100.0	356 54.4	153 23.4	120 18.3	102 15.6	116 17.7	88 13.5	87 13.3	77 11.8	65 9.9	57 8.7	48 7.3	24 3.7	29 4.4	26 4.0	71 10.9														
要介護度	要介護1	367 100.0	183 49.9	83 22.6	85 23.2	57 15.5	58 15.8	50 13.6	57 15.5	28 7.6	40 10.9	38 10.4	31 8.4	14 3.8	13 3.5	41 11.2															
	要介護2	276 100.0	135 48.9	63 22.8	64 23.2	40 14.5	38 13.8	36 13.0	25 9.1	42 15.2	25 9.1	23 8.3	26 9.4	13 4.7	12 4.3	43 15.6															
	要介護3	137 100.0	72 52.6	35 25.5	25 18.2	28 20.4	20 14.6	14 10.2	23 16.8	17 12.4	13 9.5	16 11.7	8 5.8	4 2.9	3 2.2	11 8.0	12 8.8														
	要介護4	174 100.0	88 50.6	46 26.4	22 12.6	27 15.5	35 20.1	26 14.9	20 11.5	23 13.2	18 10.3	14 8.0	13 7.5	8 4.6	8 4.6	9 5.2	18 10.3														
	要介護5	113 100.0	55 48.7	36 31.9	13 11.5	16 14.2	18 15.9	14 12.4	11 9.7	13 11.5	9 8.0	8 7.1	8 7.1	3 2.7	6 5.3	4 3.5	15 13.3														
主な介護者	配偶者	269 100.0	132 49.1	67 24.9	52 19.3	51 19.0	33 12.3	33 12.3	30 11.2	31 11.5	24 8.9	27 10.0	31 11.5	8 3.0	7 2.6	34 12.6															
	子	395 100.0	218 55.2	104 26.3	80 20.3	60 15.2	78 19.7	58 14.7	59 14.9	44 11.1	36 9.1	36 9.1	27 6.8	19 4.8	20 5.1	33 8.4															
	子の配偶者	113 100.0	82 72.6	18 15.9	22 19.5	18 15.9	24 21.2	19 16.8	14 12.4	22 19.5	14 12.4	11 9.7	8 7.1	4 3.5	4 3.5	5 4.4															
	孫	8 100.0	4 50.0	-	1 12.5	2 25.0	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5	-	-	2 25.0															
	兄弟・姉妹	10 100.0	2 20.0	4 40.0	3 30.0	-	3 30.0	3 30.0	2 20.0	1 10.0	-	1 10.0	-	-	1 10.0	-															
	その他	16 100.0	8 50.0	7 43.8	3 18.8	2 12.5	1 6.3	1 6.3	2 12.5	-	3 18.8	-	1 6.3	-	-	1 6.3															

### (4) 高齢者福祉施策等について

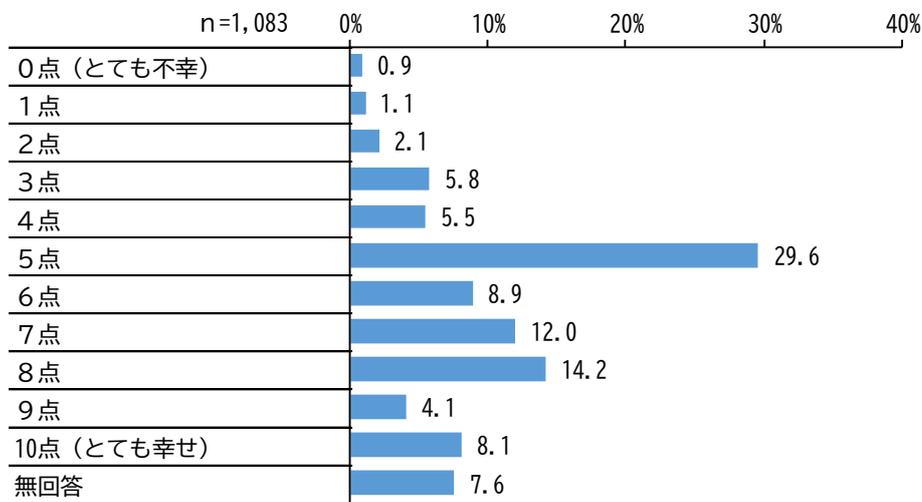
#### 4-1 現在の幸福度

問18 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。（点数に○をつけてください。）

現在の幸福度（0点（とても不幸）から10点（とても幸せ）まで）は、「5点」（29.6%）が最も高く、次いで「8点」（14.2%）、「7点」（12.0%）となっています。「8点」以上と答えた人は合計26.4%で、全体の平均点は6.1点となっています。

家族構成別でみると、平均点は単身世帯で5.8点、夫婦のみ世帯で5.9点、その他で6.2点となっており、世帯人数が少ないほど点数が低くなっています。

要介護度別でみると、平均点は要介護4・5でともに5.9点と低くなっています。



	件数	0点		5点		7点		9点		無回答
		4点	6点	8点	10点	0点	1点	2点	3点	
全体	1,083	168	417	284	132	82				
		100.0	15.5	38.5	26.2	12.2	7.6			
家族構成	単身世帯	150	29	62	33	16	10			
			100.0	19.3	41.3	22.0	10.7	6.7		
	夫婦のみ世帯	262	49	106	60	35	12			
		100.0	18.7	40.5	22.9	13.4	4.6			
その他	654	88	242	189	79	56				
		100.0	13.5	37.0	28.9	12.1	8.6			
要介護度	要介護1	367	54	142	96	44	31			
			100.0	14.7	38.7	26.2	12.0	8.4		
	要介護2	276	39	104	75	43	15			
			100.0	14.1	37.7	27.2	15.6	5.4		
	要介護3	137	18	61	29	19	10			
		100.0	13.1	44.5	21.2	13.9	7.3			
要介護4	174	37	64	48	14	11				
		100.0	21.3	36.8	27.6	8.0	6.3			
要介護5	113	19	38	32	10	14				
		100.0	16.8	33.6	28.3	8.8	12.4			

		件数	平均点
全体		1,001	6.1
家族構成	単身世帯	140	5.8
	夫婦のみ世帯	250	5.9
	その他	598	6.2
要介護度	要介護1	336	6.1
	要介護2	261	6.2
	要介護3	127	6.1
	要介護4	163	5.9
	要介護5	99	5.9

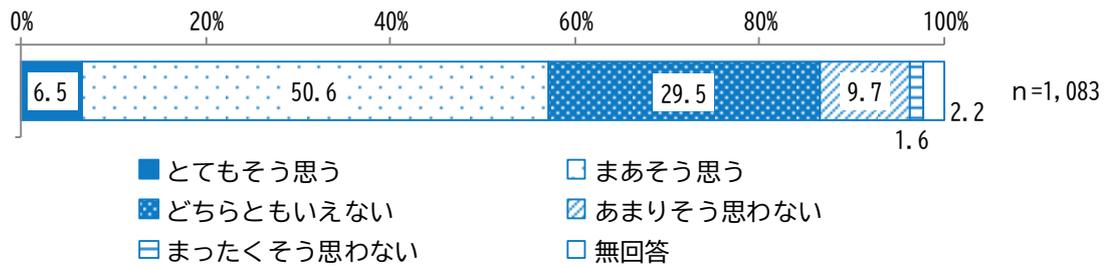
## Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護者調査

### 4-2 高齢者が安心して暮らせるまちかどうかについての自分の地域の評価

問19 あなたの地域は、高齢者が安心して暮らすことのできるまちだと思いますか。

(○は1つ)

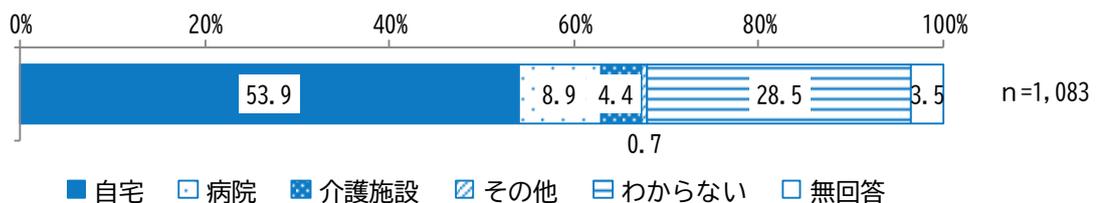
「まあそう思う」(50.6%)が最も高く、『そう思う』(「とてもそう思う」「まあそう思う」の計)は57.1%となっています。一方、『そう思わない』(「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計)は11.3%となっています。



### 4-3 人生の最期を迎えたい場所

問20 あなたは、人生の最期を、どこで迎えたいですか。(○は1つ)

「自宅」(53.9%)が最も高く、次いで「わからない」(28.5%)、「病院」(8.9%)、「介護施設」(4.4%)となっています。



家族構成別でみると、「自宅」は夫婦のみ世帯で 59.5%と高くなっています。

要介護度別でみると、「自宅」は要介護5で 60.2%と高くなっています。

主な介護者別でみると、「自宅」は配偶者で 61.7%と高く、「わからない」は兄弟・姉妹で 70.0%と高くなっています。

	件数	自宅	病院	介護施設	その他	わからない	無回答	
全体	1,083 100.0	584 53.9	96 8.9	48 4.4	8 0.7	309 28.5	38 3.5	
家族構成	単身世帯	150 100.0	71 47.3	15 10.0	9 6.0	- -	47 31.3	8 5.3
	夫婦のみ世帯	262 100.0	156 59.5	26 9.9	12 4.6	3 1.1	59 22.5	6 2.3
	その他	654 100.0	348 53.2	53 8.1	27 4.1	5 0.8	200 30.6	21 3.2
要介護度	要介護1	367 100.0	195 53.1	26 7.1	14 3.8	1 0.3	115 31.3	16 4.4
	要介護2	276 100.0	153 55.4	33 12.0	12 4.3	2 0.7	70 25.4	6 2.2
	要介護3	137 100.0	69 50.4	13 9.5	6 4.4	3 2.2	40 29.2	6 4.4
	要介護4	174 100.0	90 51.7	16 9.2	10 5.7	2 1.1	53 30.5	3 1.7
	要介護5	113 100.0	68 60.2	6 5.3	5 4.4	- -	27 23.9	7 6.2
主な介護者	配偶者	269 100.0	166 61.7	30 11.2	6 2.2	3 1.1	60 22.3	4 1.5
	子	395 100.0	213 53.9	37 9.4	16 4.1	- -	121 30.6	8 2.0
	子の配偶者	113 100.0	59 52.2	3 2.7	4 3.5	3 2.7	42 37.2	2 1.8
	孫	8 100.0	5 62.5	- -	- -	- -	3 37.5	- -
	兄弟・姉妹	10 100.0	3 30.0	- -	- -	- -	7 70.0	- -
	その他	16 100.0	5 31.3	4 25.0	2 12.5	- -	5 31.3	- -

Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護者調査

4-4 看取りについて

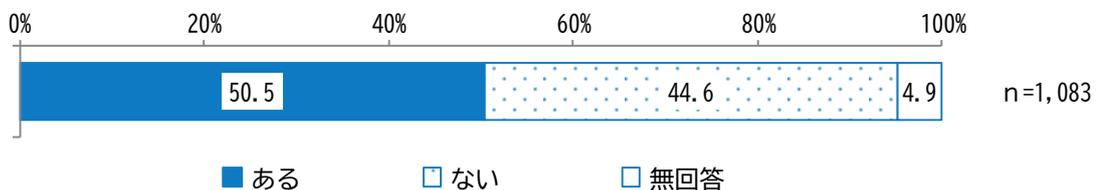
問21 看取りに関することについてお聞きします。（それぞれ○は1つ）  
 (1) あなたは、人生の最終段階における医療・介護について、これまでに考えたことがありますか。

人生の最終段階の医療・介護について考えたことが「ある」人は 50.5%となっています。

家族構成別でみると、「ある」は夫婦のみ世帯で 61.1%と高くなっています。

要介護度別でみると、「ある」は要介護5で 62.8%と高くなっています。

主な介護者別でみると、「ある」は配偶者で 58.7%と高く、「ない」は兄弟・姉妹で 60.0%と高くなっています。



		件数	ある	ない	無回答
全 体		1,083 100.0	547 50.5	483 44.6	53 4.9
家 族 構 成	単身世帯	150 100.0	78 52.0	62 41.3	10 6.7
	夫婦のみ世帯	262 100.0	160 61.1	91 34.7	11 4.2
	その他	654 100.0	301 46.0	324 49.5	29 4.4
要 介 護 度	要介護1	367 100.0	164 44.7	180 49.0	23 6.3
	要介護2	276 100.0	141 51.1	124 44.9	11 4.0
	要介護3	137 100.0	70 51.1	61 44.5	6 4.4
	要介護4	174 100.0	89 51.1	82 47.1	3 1.7
	要介護5	113 100.0	71 62.8	32 28.3	10 8.8
主 な 介 護 者	配偶者	269 100.0	158 58.7	106 39.4	5 1.9
	子	395 100.0	184 46.6	197 49.9	14 3.5
	子の配偶者	113 100.0	48 42.5	60 53.1	5 4.4
	孫	8 100.0	5 62.5	3 37.5	-
	兄弟・姉妹	10 100.0	4 40.0	6 60.0	-
	その他	16 100.0	10 62.5	6 37.5	-

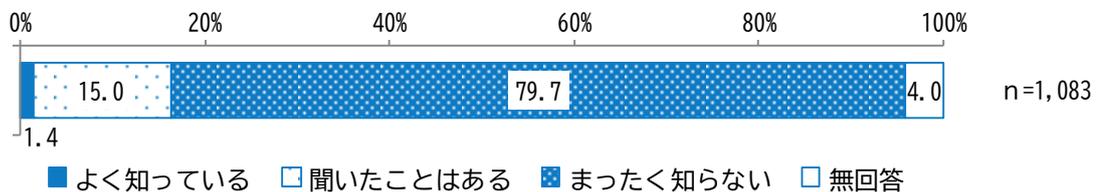
(2) あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、愛称：人生会議）について知っていますか。（○は1つ）

アドバンス・ケア・プランニングの認知度は、「まったく知らない」（79.7%）が最も高く、『言葉は知っている』（「よく知っている」「聞いたことはある」の計）は16.4%となっています。

家族構成別でみると、『言葉は知っている』は夫婦のみ世帯で22.1%と高くなっています。

要介護度別でみると、『言葉は知っている』は要介護5で20.4%と高くなっています。

主な介護者別でみると、『言葉は知っている』は配偶者で22.3%と高く、兄弟・姉妹で0%と低くなっています。



		件数	よく知っている	聞いたことはある	まったく知らない	無回答
全体		1,083	15	162	863	43
		100.0	1.4	15.0	79.7	4.0
家族構成	単身世帯	150	-	17	125	8
		100.0	-	11.3	83.3	5.3
	夫婦のみ世帯	262	5	53	198	6
	100.0	1.9	20.2	75.6	2.3	
	その他	654	10	89	530	25
	100.0	1.5	13.6	81.0	3.8	
要介護度	要介護1	367	4	48	300	15
		100.0	1.1	13.1	81.7	4.1
	要介護2	276	6	49	210	11
		100.0	2.2	17.8	76.1	4.0
	要介護3	137	1	17	114	5
	100.0	0.7	12.4	83.2	3.6	
	要介護4	174	3	23	144	4
	100.0	1.7	13.2	82.8	2.3	
	要介護5	113	1	22	83	7
	100.0	0.9	19.5	73.5	6.2	
主な介護者	配偶者	269	4	56	203	6
		100.0	1.5	20.8	75.5	2.2
	子	395	4	49	335	7
		100.0	1.0	12.4	84.8	1.8
	子の配偶者	113	-	11	99	3
		100.0	-	9.7	87.6	2.7
	孫	8	-	3	5	-
	100.0	-	37.5	62.5	-	
	兄弟・姉妹	10	-	-	10	-
	100.0	-	-	100.0	-	
	その他	16	-	3	13	-
	100.0	-	18.8	81.3	-	

(3) 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療を受けたり療養をするためには、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（アドバンス・ケア・プランニング）が重要とされています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。

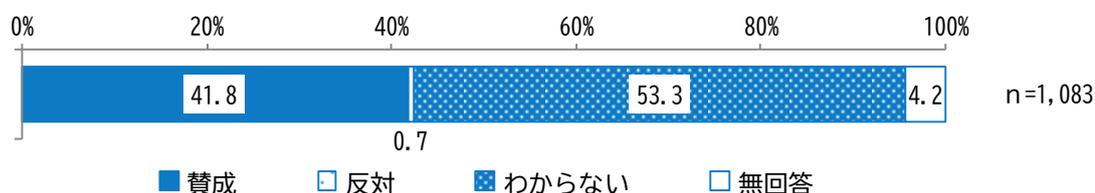
(○は1つ)

アドバンス・ケア・プランニングに対する賛否の考えは、「賛成」が41.8%、「反対」が0.7%、「わからない」が53.3%となっています。

家族構成別で見ると、「賛成」は夫婦のみ世帯で46.6%と高くなっています。

要介護度別で見ると、「賛成」は要介護2で44.9%と高くなっています。

主な介護者別で見ると、「わからない」は兄弟・姉妹で60.0%、子の配偶者で58.4%と、それぞれ高くなっています。



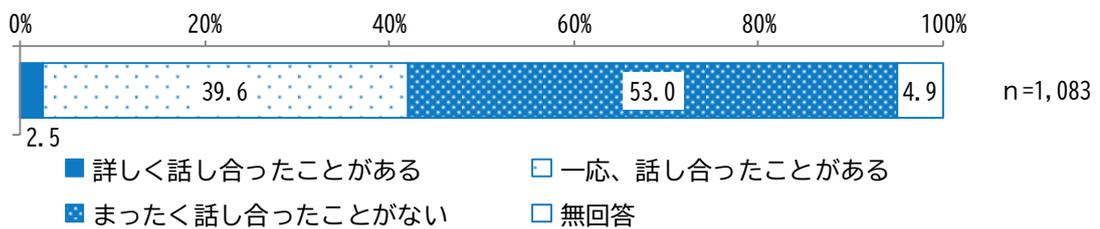
	件数	賛成	反対	わからない	無回答	
全体	1,083	453	8	577	45	
	100.0	41.8	0.7	53.3	4.2	
家族構成	単身世帯	150	64	2	76	8
		100.0	42.7	1.3	50.7	5.3
	夫婦のみ世帯	262	122	3	131	6
	100.0	46.6	1.1	50.0	2.3	
その他	654	259	3	365	27	
	100.0	39.6	0.5	55.8	4.1	
要介護度	要介護1	367	140	3	209	15
		100.0	38.1	0.8	56.9	4.1
	要介護2	276	124	-	141	11
		100.0	44.9	-	51.1	4.0
	要介護3	137	58	2	71	6
	100.0	42.3	1.5	51.8	4.4	
要介護4	174	76	-	92	6	
	100.0	43.7	-	52.9	3.4	
要介護5	113	50	2	55	6	
	100.0	44.2	1.8	48.7	5.3	
主な介護者	配偶者	269	110	2	149	8
		100.0	40.9	0.7	55.4	3.0
	子	395	174	2	212	7
		100.0	44.1	0.5	53.7	1.8
	子の配偶者	113	44	-	66	3
		100.0	38.9	-	58.4	2.7
孫	8	4	-	4	-	
	100.0	50.0	-	50.0	-	
兄弟・姉妹	10	4	-	6	-	
	100.0	40.0	-	60.0	-	
その他	16	6	-	10	-	
	100.0	37.5	-	62.5	-	

(4) 人生の最終段階において、受たい医療・介護、受たくない医療・介護について、ご家族等や医療介護関係者と話し合ったことはありますか。(〇は1つ)

アドバンス・ケア・プランニングの実施の有無は、「まったく話し合ったことがない」(53.0%)が最も高く、『話し合ったことがある』(「詳しく話し合ったことがある」「一応、話し合ったことはある」の計)は42.1%となっています。

要介護度別でみると、『話し合ったことがある』は要介護5で48.6%と高くなっています。

主な介護者別でみると、「まったく話し合ったことがない」は兄弟・姉妹で60.0%、子の配偶者で57.5%と、それぞれ高くなっています。



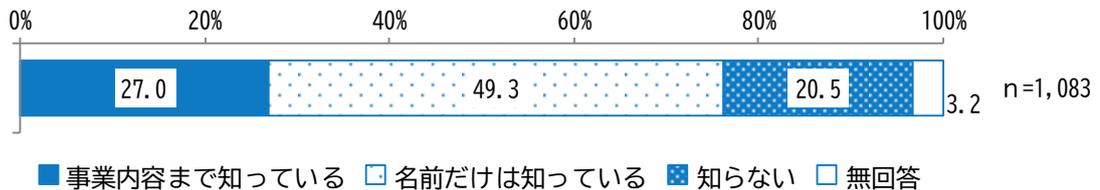
		件数	あ る	あ る	あ る	あ る	無 回 答
			合 計	合 計	合 計	合 計	
			た く こ と が	た く こ と は	た く こ と が	た く こ と が	
			し た か ら	し た か ら	し た か ら	し た か ら	
全	体	1,083	27	429	574	53	
		100.0	2.5	39.6	53.0	4.9	
家 族 構 成	単身世帯	150	5	54	81	10	
		100.0	3.3	36.0	54.0	6.7	
	夫婦のみ世帯	262	8	110	136	8	
	100.0	3.1	42.0	51.9	3.1		
	その他	654	12	261	352	29	
	100.0	1.8	39.9	53.8	4.4		
要 介 護 度	要介護1	367	7	133	211	16	
		100.0	1.9	36.2	57.5	4.4	
	要介護2	276	7	120	136	13	
		100.0	2.5	43.5	49.3	4.7	
	要介護3	137	2	48	82	5	
	100.0	1.5	35.0	59.9	3.6		
	要介護4	174	5	69	94	6	
	100.0	2.9	39.7	54.0	3.4		
	要介護5	113	5	50	46	12	
	100.0	4.4	44.2	40.7	10.6		
主 な 介 護 者	配偶者	269	6	112	144	7	
		100.0	2.2	41.6	53.5	2.6	
	子	395	7	179	200	9	
		100.0	1.8	45.3	50.6	2.3	
	子の配偶者	113	2	42	65	4	
		100.0	1.8	37.2	57.5	3.5	
	孫	8	1	5	2	-	
	100.0	12.5	62.5	25.0	-		
兄弟・姉妹	10	-	4	6	-		
	100.0	-	40.0	60.0	-		
その他	16	-	6	10	-		
	100.0	-	37.5	62.5	-		

Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護者調査

4-5 地域包括支援センターの認知度

問22 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。(○は1つ)

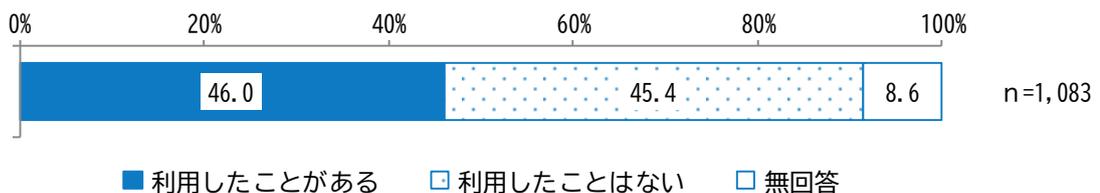
「名前だけは知っている」(49.3%)が最も高く、「事業内容まで知っている」は27.0%、『名前を知っている』(「事業内容まで知っている」「名前だけは知っている」の計)は76.3%となっています。一方、「知らない」は20.5%となっています。



4-6 地域包括支援センターの利用状況

問23 あなたは、地域包括支援センターを利用したことがありますか。(○は1つ)

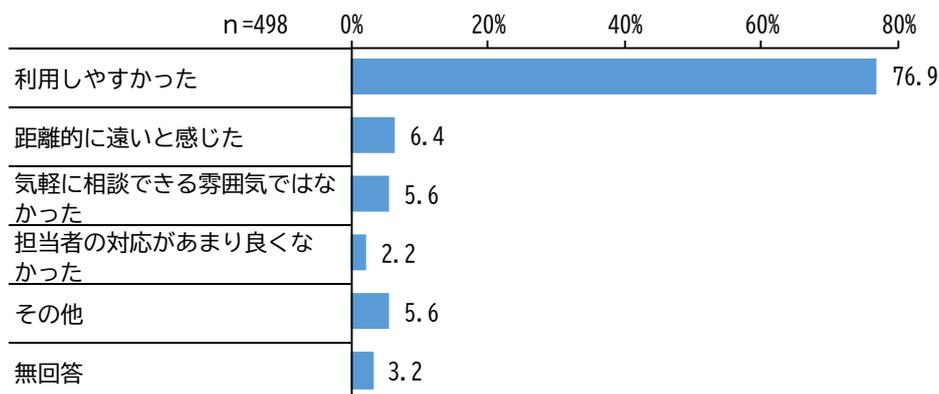
「利用したことがある」は46.0%となっています。



問23で「1. 利用したことがある」とお答えの方

問23-1 地域包括支援センターの印象はいかがでしたか。(○は1つ)

地域包括支援センターを利用した際の印象については、「利用しやすかった」(76.9%)が最も高く、次いで「距離的に遠いと感じた」(6.4%)となっています。

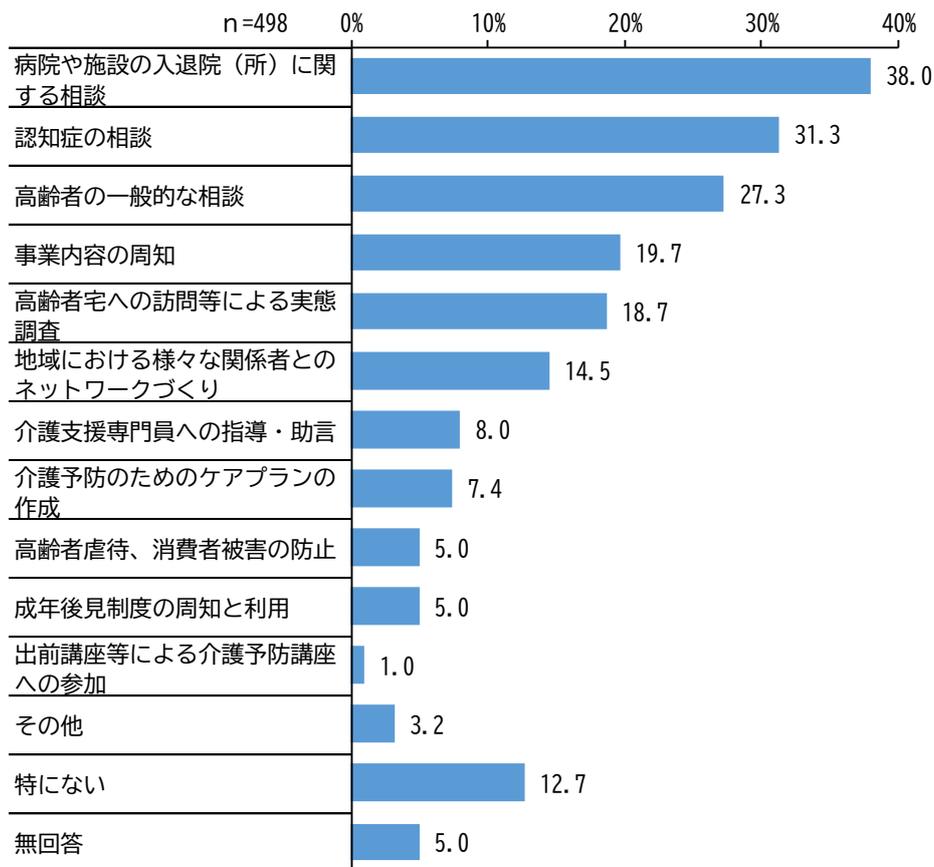


4-7 注力してほしい地域包括支援センターの事業

問23で「1. 利用したことがある」とお答えの方

問23-2 今後、地域包括支援センターに特に力を入れてほしい事業は何ですか。  
(〇は3つまで)

「病院や施設の入退院（所）に関する相談」（38.0%）が最も高く、次いで「認知症の相談」（31.3%）、「高齢者の一般的な相談」（27.3%）、「事業内容の周知」（19.7%）、「高齢者宅への訪問等による実態調査」（18.7%）となっています。また、「特にない」が12.7%となっています。



Ⅱ 調査の結果 2 在宅介護者調査

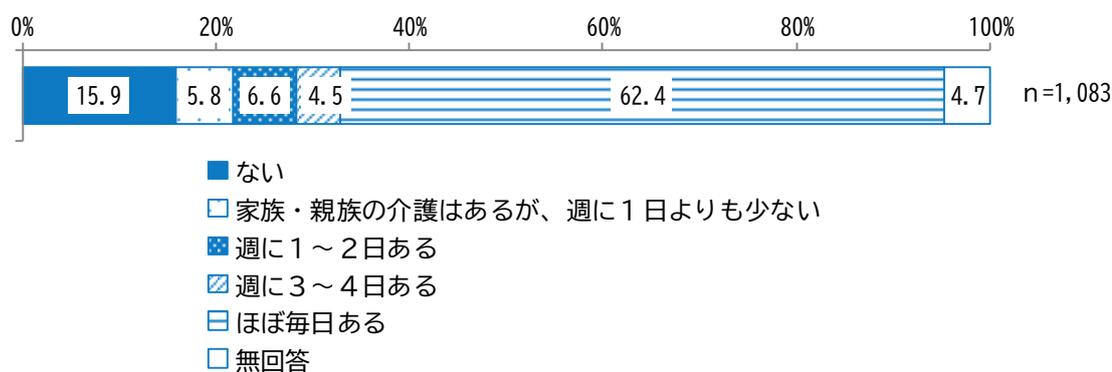
4-8 家族等による介護の頻度

問24 家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○は1つ）

「ほぼ毎日ある」（62.4%）が最も高く、「ない」が 15.9%となっています。全体から「ない」と無回答を除いた『家族介護者あり』は 79.4%となっています。

家族構成別でみると、『家族介護者あり』は単身世帯で 69.4%、夫婦のみ世帯で 70.2%と、それぞれ低くなっています。

要介護度別でみると、『家族介護者あり』は要介護2（82.6%）で最も高くなっています。



	件数	介護の頻度					無回答	
		ない	家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない	週に1~2日ある	週に3~4日ある	ほぼ毎日ある		
全体	1,083	172	63	72	49	676	51	
	100.0	15.9	5.8	6.6	4.5	62.4	4.7	
家族構成	単身世帯	150	35	9	16	12	67	11
		100.0	23.3	6.0	10.7	8.0	44.7	7.3
	夫婦のみ世帯	262	67	22	25	10	127	11
	100.0	25.6	8.4	9.5	3.8	48.5	4.2	
その他	654	70	32	30	25	472	25	
	100.0	10.7	4.9	4.6	3.8	72.2	3.8	
要介護度	要介護1	367	55	22	31	17	224	18
		100.0	15.0	6.0	8.4	4.6	61.0	4.9
	要介護2	276	38	10	20	21	177	10
		100.0	13.8	3.6	7.2	7.6	64.1	3.6
	要介護3	137	22	10	6	4	87	8
	100.0	16.1	7.3	4.4	2.9	63.5	5.8	
要介護4	174	34	14	10	2	108	6	
	100.0	19.5	8.0	5.7	1.1	62.1	3.4	
要介護5	113	21	7	2	4	71	8	
	100.0	18.6	6.2	1.8	3.5	62.8	7.1	

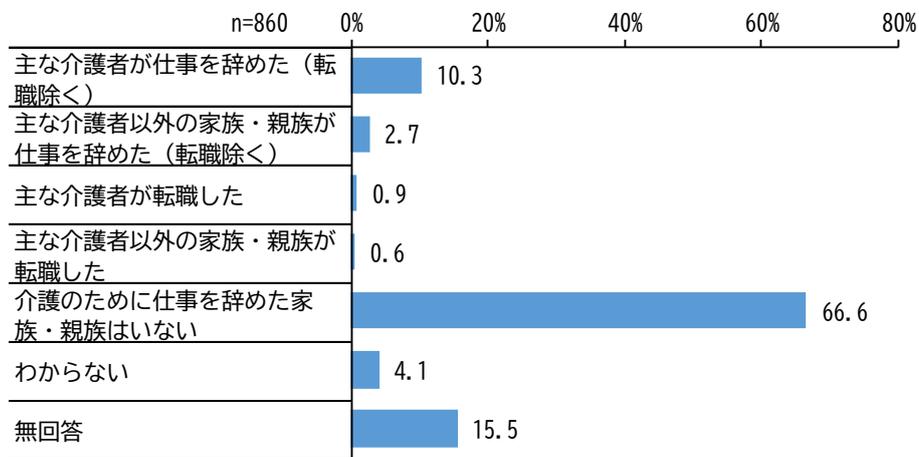
## (5) 主な介護者について

問24で「2」～「5」とお答えの方

### 5-1 介護のための離職の有無

問25 ご家族やご親族の中で、ご本人（本調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。（○はいくつでも）

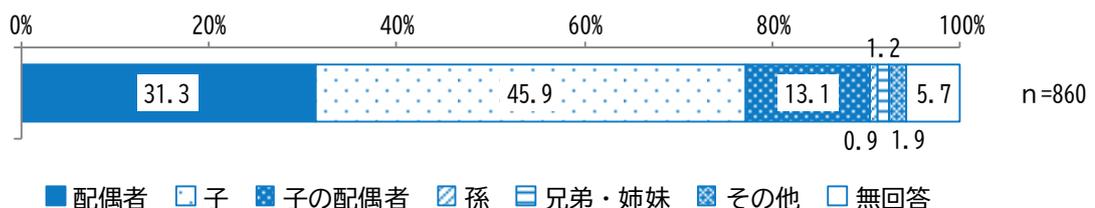
「主な介護者が仕事を辞めた」は10.3%、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は66.6%となっています。全体から「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と「わからない」と無回答を除いた『家族等が介護のために離職した』人は13.8%となっています。



### 5-2 主な介護者の続柄

問26 主な介護者の方は、ご本人（本調査対象者）から見てどなたですか。（○は1つ）

「子」(45.9%) が最も高く、次いで「配偶者」(31.3%)、「子の配偶者」(13.1%) となっています。

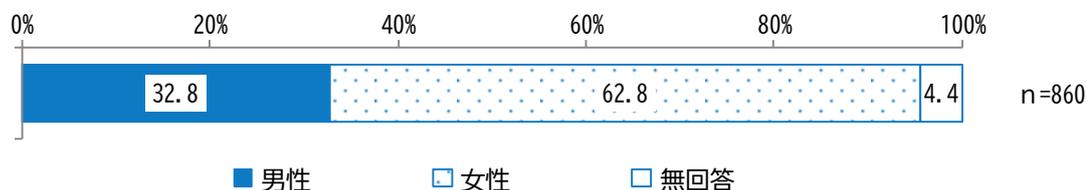


## II 調査の結果 2 在宅介護者調査

### 5-3 主な介護者の性別

問27 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○は1つ）

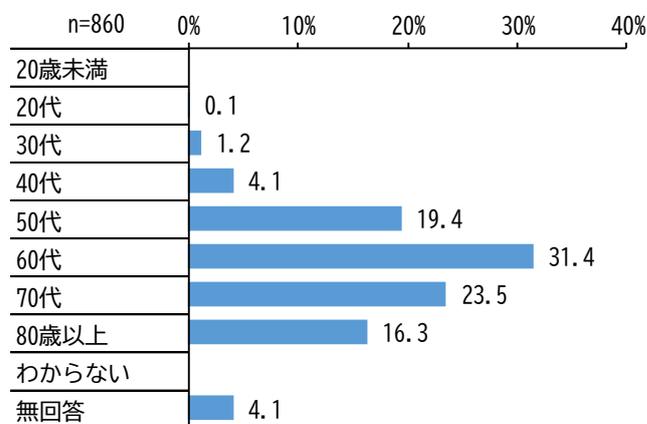
主な介護者の性別は、「男性」が32.8%、「女性」が62.8%となっています。



### 5-4 主な介護者の年齢

問28 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○は1つ）

主な介護者の年齢は、「60代」(31.4%)が最も高く、次いで「70代」(23.5%)、「50代」(19.4%)、「80歳以上」(16.3%)となっており、『70歳以上』(「70代」「80歳以上」の計)は39.8%となっています。



対象者の性別でみると、主な介護者の年齢が『70 歳以上』は、対象者が男性で 57.6%、女性で 29.7%となっており、対象者が男性の方が主な介護者の年齢が高くなっています。

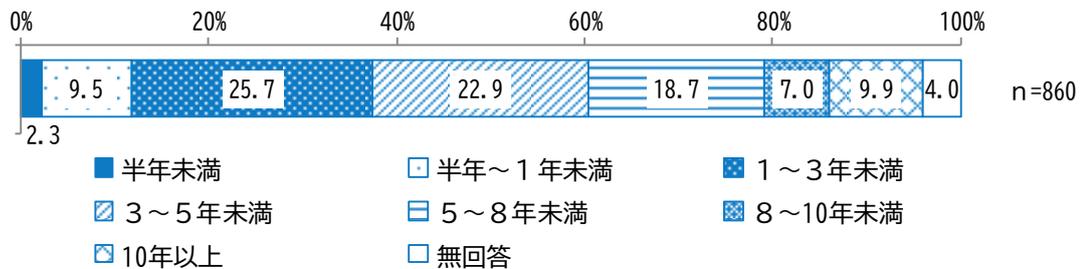
対象者の年齢別でみると、『70 歳以上』は、対象者が 75～79 歳で 63.1%、70～74 歳で 54.1%といずれも高くなっています。

		件数	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	わからない	無回答
全体		860	-	1	10	35	167	270	202	140	-	35
		100.0	-	0.1	1.2	4.1	19.4	31.4	23.5	16.3	-	4.1
性別	男性	295	-	-	2	11	48	53	105	65	-	11
		100.0	-	-	0.7	3.7	16.3	18.0	35.6	22.0	-	3.7
性別	女性	552	-	1	8	24	117	215	92	72	-	23
		100.0	-	0.2	1.4	4.3	21.2	38.9	16.7	13.0	-	4.2
年齢	65～69歳	22	-	-	1	-	1	11	7	-	-	2
		100.0	-	-	4.5	-	4.5	50.0	31.8	-	-	9.1
	70～74歳	61	-	-	3	10	4	8	33	-	-	3
		100.0	-	-	4.9	16.4	6.6	13.1	54.1	-	-	4.9
	75～79歳	114	-	-	-	13	21	2	55	17	-	6
		100.0	-	-	-	11.4	18.4	1.8	48.2	14.9	-	5.3
	80～84歳	173	-	1	3	5	59	16	35	43	-	11
	100.0	-	0.6	1.7	2.9	34.1	9.2	20.2	24.9	-	6.4	
85～89歳	215	-	-	-	4	52	91	8	54	-	6	
	100.0	-	-	-	1.9	24.2	42.3	3.7	25.1	-	2.8	
90歳以上	262	-	-	3	3	28	140	59	23	-	6	
	100.0	-	-	1.1	1.1	10.7	53.4	22.5	8.8	-	2.3	

### 5-5 介護の継続年数

問29 ご本人への介護を、どのくらい続けていますか。(○は1つ)

「1～3年未満」(25.7%)が最も高く、次いで「3～5年未満」(22.9%)、「5～8年未満」(18.7%)、「10年以上」(9.9%)となっています。

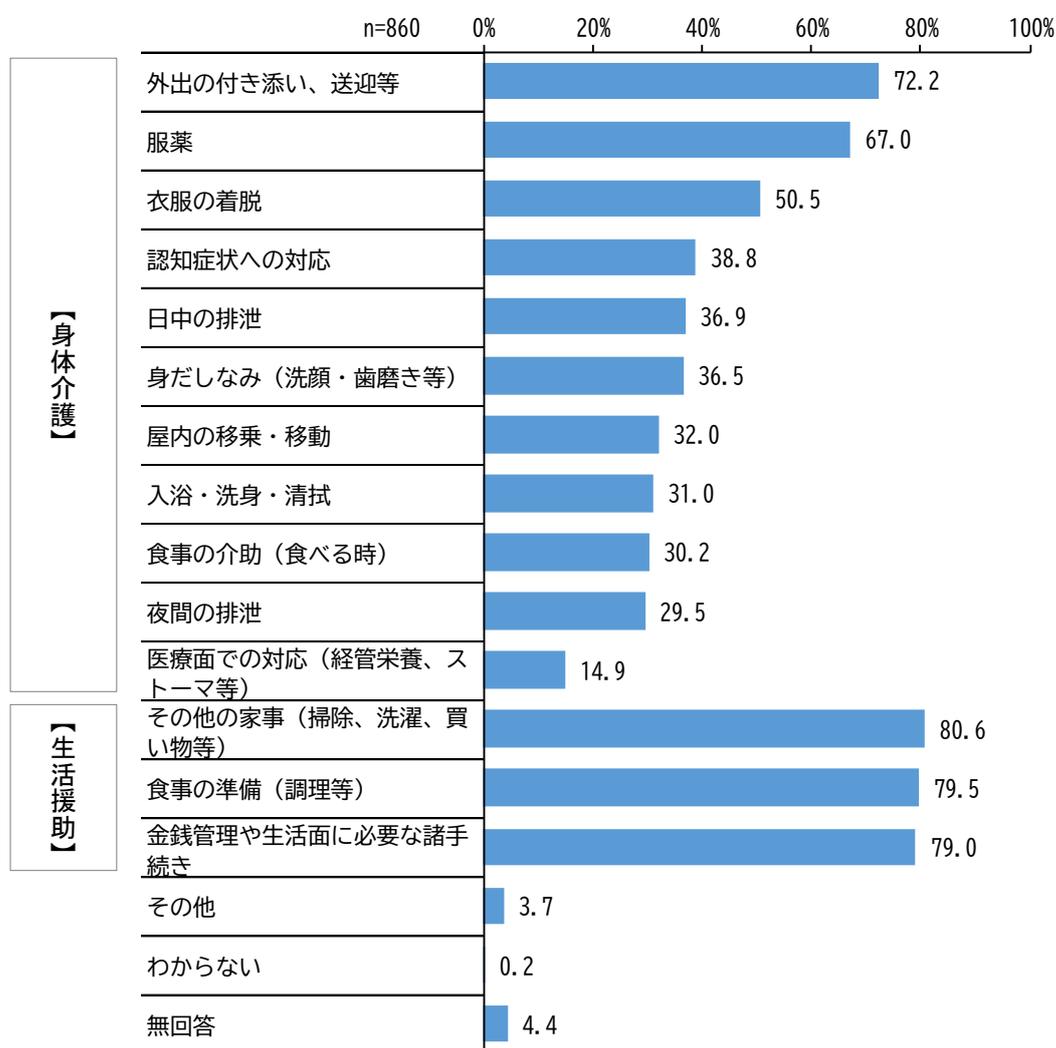


5-6 現在行っている介護

問30 現在、主な介護者の方が行っている介護の内容について、ご回答ください。  
(〇はいくつでも)

【身体介護】では「外出の付き添い、送迎等」(72.2%)が最も高く、次いで「服薬」(67.0%)、「衣服の着脱」(50.5%)、「認知症状への対応」(38.8%)、「日中の排泄」(36.9%)となっています。

一方、【生活援助】では「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(80.6%)が最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」(79.5%)、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(79.0%)と、いずれも約8割の高い割合となっています。



家族構成別でみると、「入浴・洗身・清拭」「夜間の排泄」は夫婦のみ世帯でいずれも4割以上と高くなっています。「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は単身世帯で84.6%と高くなっています。

要介護度別でみると、「衣服の着脱」「日中の排泄」「屋内の移乗・移動」「食事の介助」は要介護3以上で、「身だしなみ」「夜間の排泄」は要介護4以上で、それぞれ高くなっています。また、「認知症状への対応」は要介護1で50.0%と高くなっています。

	件数	い、外、出の送り受け等	服薬	衣服の着脱	認知症状への対応	日中の排泄	顔身だしなみ（洗面・歯磨き等）	屋内の移乗・移動	入浴・洗身・清拭	食事の介助（食べる時）	夜間の排泄	トーマ（医療面での対応）	
全体	860 100.0	621 72.2	576 67.0	434 50.5	334 38.8	317 36.9	314 36.5	275 32.0	267 31.0	260 30.2	254 29.5	128 14.9	
家族構成	単身世帯	104 100.0	71 68.3	54 51.9	46 44.2	34 32.7	24 23.1	26 25.0	21 20.2	26 25.0	16 15.4	8 7.7	
	夫婦のみ世帯	184 100.0	135 73.4	121 65.8	110 59.8	75 40.8	81 44.0	67 36.4	79 42.9	62 33.7	79 42.9	38 20.7	
	その他	559 100.0	411 73.5	396 70.8	274 49.0	224 40.1	212 37.9	204 36.5	178 31.8	164 29.3	170 30.4	158 28.3	81 14.5
要介護度	要介護1	294 100.0	213 72.4	205 69.7	87 29.6	147 50.0	40 13.6	76 25.9	34 11.6	66 22.4	42 14.3	30 10.2	40 13.6
	要介護2	228 100.0	176 77.2	128 56.1	120 52.6	72 31.6	67 29.4	65 28.5	86 37.7	55 24.1	64 28.1	30 13.2	
	要介護3	107 100.0	77 72.0	73 68.2	66 61.7	38 35.5	57 53.3	46 43.0	54 50.5	33 30.8	45 42.1	41 38.3	10 9.3
	要介護4	134 100.0	99 73.9	96 71.6	98 73.1	48 35.8	90 67.2	70 52.2	68 50.7	42 31.3	56 41.8	69 51.5	29 21.6
	要介護5	84 100.0	46 54.8	64 76.2	57 67.9	25 29.8	57 67.9	51 60.7	48 57.1	35 41.7	55 65.5	44 52.4	16 19.0

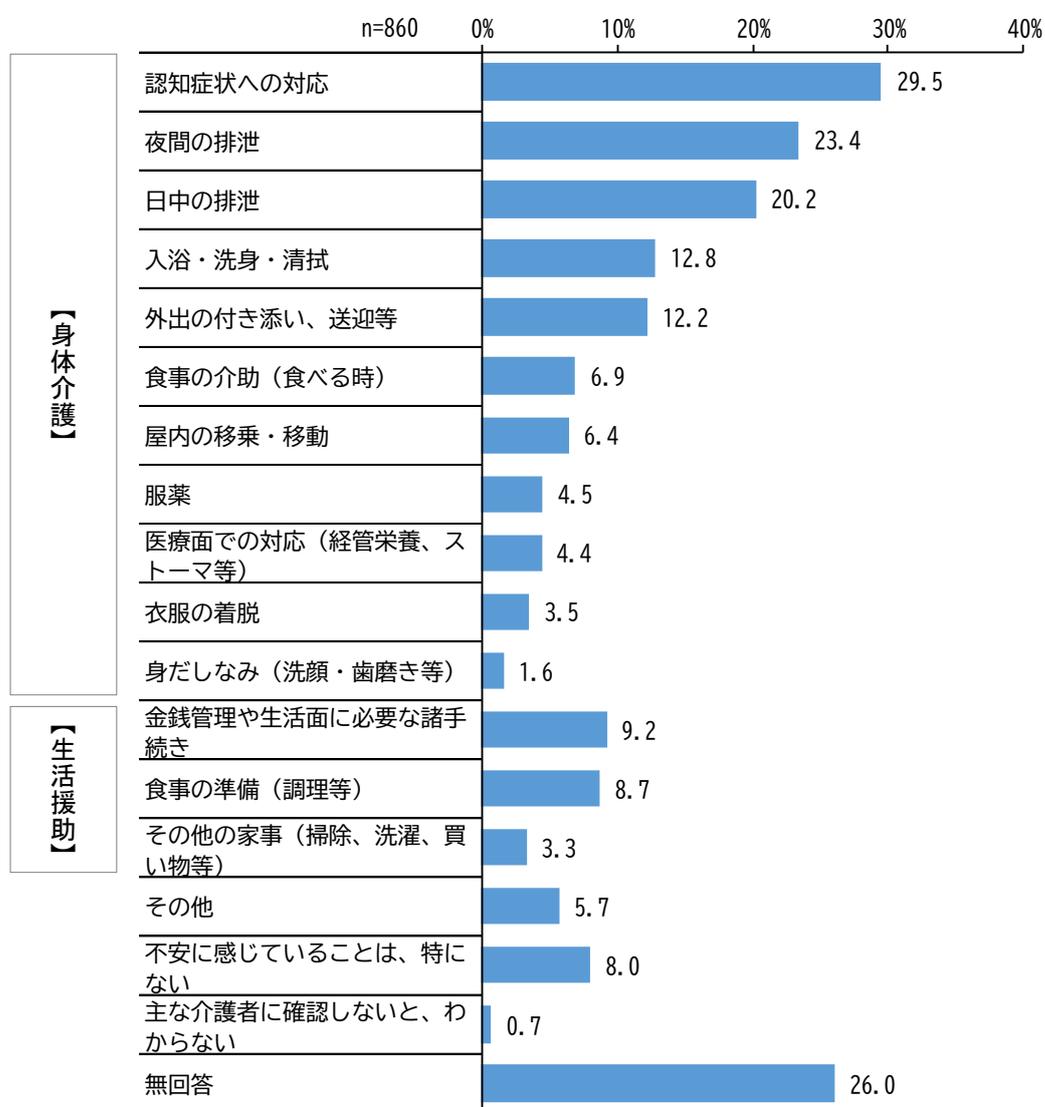
	件数	買（その除、他の洗濯、掃除等）	食事の準備（調理等）	続き	金銭管理や必要な諸生活	その他	わからない	無回答
全体	860 100.0	693 80.6	684 79.5	679 79.0	32 3.7	2 0.2	38 4.4	
家族構成	単身世帯	104 100.0	82 78.8	68 65.4	88 84.6	5 4.8	- -	4 3.8
	夫婦のみ世帯	184 100.0	143 77.7	143 77.7	145 78.8	7 3.8	- -	10 5.4
	その他	559 100.0	460 82.3	464 83.0	440 78.7	20 3.6	2 0.4	22 3.9
要介護度	要介護1	294 100.0	237 80.6	230 78.2	235 79.9	10 3.4	- -	10 3.4
	要介護2	228 100.0	182 79.8	189 82.9	174 76.3	8 3.5	1 0.4	13 5.7
	要介護3	107 100.0	84 78.5	81 75.7	83 77.6	5 4.7	- -	7 6.5
	要介護4	134 100.0	113 84.3	111 82.8	111 82.8	6 4.5	1 0.7	3 2.2
	要介護5	84 100.0	68 81.0	64 76.2	66 78.6	3 3.6	- -	3 3.6

5-7 在宅生活の継続にあたり不安を感じる介護

問31 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護の内容について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。  
 (〇は3つまで)

【身体介護】では「認知症状への対応」(29.5%)が最も高く、次いで「夜間の排泄」(23.4%)、「日中の排泄」(20.2%)、「入浴・洗身・清拭」(12.8%)、「外出の付き添い、送迎等」(12.2%)となっています。

一方、【生活援助】では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(9.2%)が最も高く、次いで「食事の準備(調理等)」(8.7%)、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」(3.3%)と、いずれも【身体介護】の上位5項目より低い割合となっています。



家族構成別でみると、「認知症状への対応」は単身世帯で 36.5%と高くなっています。  
 要介護度別でみると、「不安に感じていることは、特でない」は要介護度が上がるにつれて割合が高くなっています。また、「認知症状への対応」は要介護1で 37.4%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は要介護5で 13.1%と、いずれも高くなっています。

	件数	認知症状への対応	夜間の排泄	日中の排泄	入浴・洗身・清拭	外出の付き添い、送迎等	食事の介助（食べる時）	屋内の移乗・移動	服薬	（経管栄養、ストーマ等）	医療面での対応	衣服の着脱	身だしなみ（洗顔・歯磨き等）
全体	860 100.0	254 29.5	201 23.4	174 20.2	110 12.8	105 12.2	59 6.9	55 6.4	39 4.5	38 4.4	30 3.5	14 1.6	
家族構成	単身世帯	104 100.0	38 36.5	23 22.1	26 25.0	11 10.6	12 11.5	9 8.7	5 4.8	4 3.8	2 1.9	1 1.0	
	夫婦のみ世帯	184 100.0	45 24.5	31 16.8	23 12.5	22 12.0	26 14.1	6 3.3	11 6.0	4 2.2	12 6.5	4 2.2	
	その他	559 100.0	170 30.4	146 26.1	125 22.4	76 13.6	64 11.4	42 7.5	38 6.8	23 4.1	29 5.2	16 2.9	9 1.6
要介護度	要介護1	294 100.0	110 37.4	70 23.8	63 21.4	47 16.0	32 10.9	15 5.1	18 6.1	12 4.1	3 1.0	8 2.7	
	要介護2	228 100.0	67 29.4	56 24.6	42 18.4	32 14.0	34 14.9	13 5.7	8 3.5	8 3.5	12 5.3	3 1.3	
	要介護3	107 100.0	26 24.3	27 25.2	26 24.3	11 10.3	15 14.0	10 9.3	6 5.6	5 4.7	5 4.7	4 3.7	2 1.9
	要介護4	134 100.0	34 25.4	33 24.6	27 20.1	13 9.7	14 10.4	11 8.2	14 10.4	3 2.2	9 6.7	8 6.0	1 0.7
	要介護5	84 100.0	16 19.0	14 16.7	15 17.9	6 7.1	8 9.5	10 11.9	6 7.1	4 4.8	4 4.8	2 2.4	-

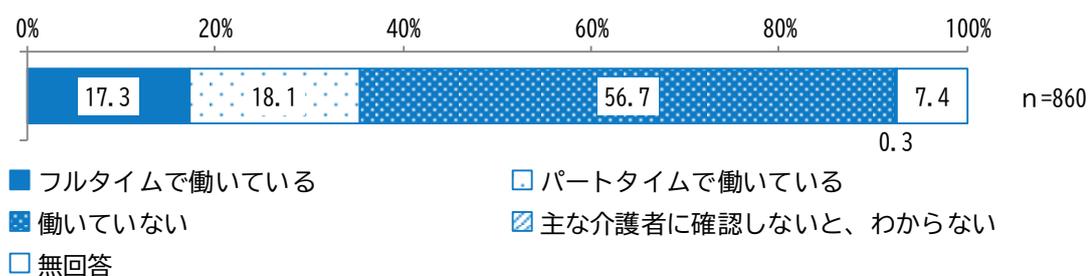
	件数	継続に必要な諸手続き	金銭管理や生活	食事の準備（調理等）	買い物（掃除、洗濯、その他）	その他	不安に感じていることは、特でない	確認できない	主な介護者に確認	無回答
全体	860 100.0	79 9.2	75 8.7	28 3.3	49 5.7	69 8.0	6 0.7	224 26.0		
家族構成	単身世帯	104 100.0	12 11.5	7 6.7	7 6.7	7 6.7	8 7.7	1 1.0	23 22.1	
	夫婦のみ世帯	184 100.0	25 13.6	15 8.2	4 2.2	9 4.9	11 6.0	3 1.6	64 34.8	
	その他	559 100.0	40 7.2	51 9.1	16 2.9	33 5.9	49 8.8	2 0.4	131 23.4	
要介護度	要介護1	294 100.0	28 9.5	26 8.8	16 5.4	15 5.1	13 4.4	3 1.0	78 26.5	
	要介護2	228 100.0	17 7.5	22 9.6	9 3.9	11 4.8	15 6.6	-	66 28.9	
	要介護3	107 100.0	9 8.4	8 7.5	-	4 3.7	7 6.5	1 0.9	33 30.8	
	要介護4	134 100.0	13 9.7	12 9.0	3 2.2	9 6.7	20 14.9	2 1.5	24 17.9	
	要介護5	84 100.0	11 13.1	7 8.3	-	7 8.3	14 16.7	-	17 20.2	

5-8 介護者の勤務形態

問32 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

「働いていない」(56.7%)が最も高く、次いで「パートタイムで働いている」(18.1%)、「フルタイムで働いている」(17.3%)となっています。

家族構成別でみると、「フルタイムで働いている」は単身世帯で31.7%と高く、「働いていない」は夫婦のみ世帯で70.1%と高くなっています。



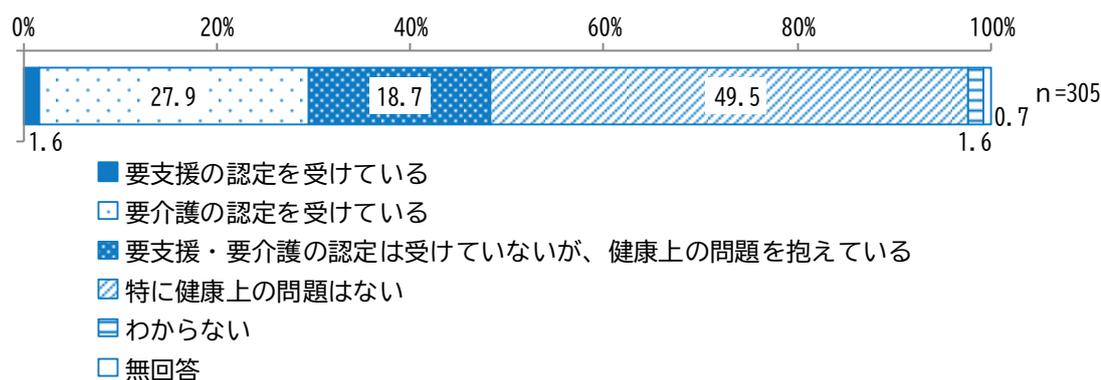
	件数	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	860	149	156	488	3	64
	100.0	17.3	18.1	56.7	0.3	7.4
単身世帯	104	33	27	37	1	6
	100.0	31.7	26.0	35.6	1.0	5.8
夫婦のみ世帯	184	11	23	129	-	21
	100.0	6.0	12.5	70.1	-	11.4
その他	559	105	105	312	2	35
	100.0	18.8	18.8	55.8	0.4	6.3

5-9 介護者の健康状態

問32で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

問33 主に介護している方の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

「特に健康上の問題はない」(49.5%)が最も高く、次いで「要介護の認定を受けている」(27.9%)、「要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている」(18.7%)となっています。

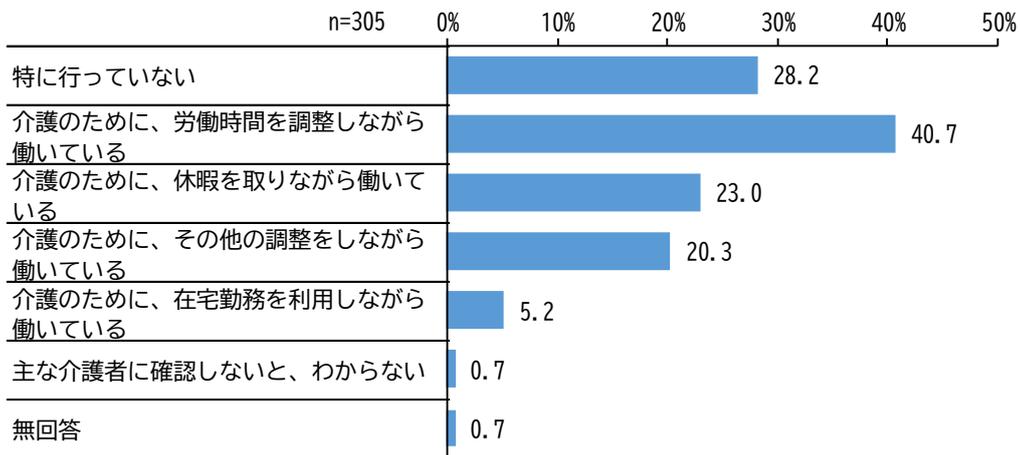


5-10 介護のための働き方の調整の状況

問32で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方  
 問34 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をして  
 いますか。(〇はいくつでも)

全体から「特に行っていない」と「主な介護者に確認しないと、わからない」と無回答を除いた『介護のために働き方を調整している』人は 70.4%となっています。調整方法としては、「介護のために、労働時間を調整しながら働いている」(40.7%)が最も高く、次いで「介護のために、休暇を取りながら働いている」(23.0%)、「介護のために、その他の調整をしながら働いている」(20.3%)、「介護のために、在宅勤務を利用しながら働いている」(5.2%)となっています。

要介護度別でみると、『介護のために働き方を調整している』は要介護度が上がるにつれて割合が高くなっており、要介護4では 79.5%、要介護5では 82.1%となっています。



	件数	特に行っていない	労働時間を調整しながら働いている	休暇を取りながら働いている	その他の調整をしながら働いている	在宅勤務を利用しながら働いている	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
全体	305	86	124	70	62	16	2	2
	100.0	28.2	40.7	23.0	20.3	5.2	0.7	0.7
要介護1	117	41	36	26	21	6	1	-
	100.0	35.0	30.8	22.2	17.9	5.1	0.9	-
要介護2	73	21	31	16	18	3	-	1
	100.0	28.8	42.5	21.9	24.7	4.1	-	1.4
要介護3	46	11	22	13	7	2	1	-
	100.0	23.9	47.8	28.3	15.2	4.3	2.2	-
要介護4	39	8	19	9	8	3	-	-
	100.0	20.5	48.7	23.1	20.5	7.7	-	-
要介護5	28	4	15	6	8	2	-	1
	100.0	14.3	53.6	21.4	28.6	7.1	-	3.6

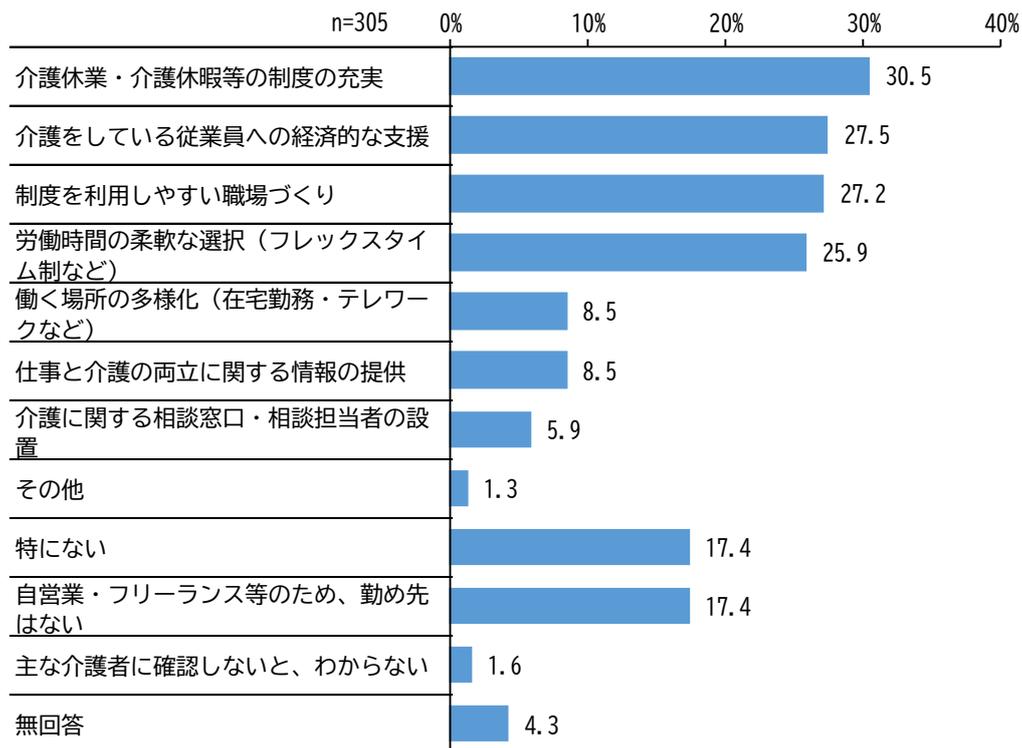
## II 調査の結果 2 在宅介護者調査

### 5-11 仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援

問32で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

問35 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(〇は3つまで)

「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(30.5%)が最も高く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」(27.5%)、「制度を利用しやすい職場づくり」(27.2%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(25.9%)となっています。



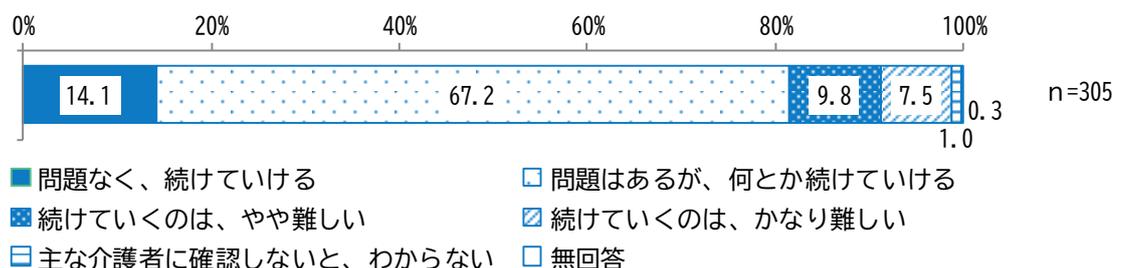
### 5-12 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

問32で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」と回答した方

問36 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

(〇は1つ)

『続けていける』(「問題なく、続けていける」「問題はあるが、何とか続けていける」の計)は81.3%となっています。一方、『続けていくのは難しい』(「続けていくのは、かなり難しい」「続けていくのは、やや難しい」の計)は17.3%となっています。



家族構成別でみると、『続けていける』は夫婦のみ世帯で70.6%と低くなっています。

介護保険サービスの利用の有無別でみると、『続けていける』は利用した人で81.4%、利用していない人で78.0%と、利用した人の方が高くなっています。

要介護度別でみると、『続けていける』は要介護1で88.1%と高く、要介護3で65.2%、要介護5で67.8%と低くなっています。

主な介護者別でみると、『続けていける』は配偶者で71.9%と低くなっています。

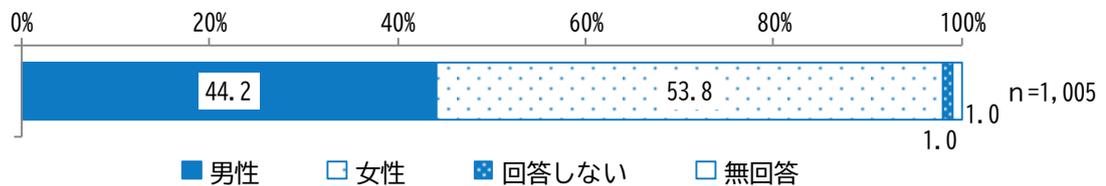
		件数	て問題 けなく、 続け	何 問 る か は 続 け て い 	は 続 、 け や て や い 難 く し の い 	い は 続 、 け か て な い り く 難 し 	か 認 ら し な い と 、 わ 確	主 な 介 護 者 に 確	無 回 答
全 体		305 100.0	43 14.1	205 67.2	30 9.8	23 7.5	3 1.0	1 0.3	
家 族 構 成	単身世帯	60 100.0	9 15.0	41 68.3	6 10.0	3 5.0	-	1 1.7	
	夫婦のみ世帯	34 100.0	4 11.8	20 58.8	3 8.8	7 20.6	-	-	
	その他	210 100.0	30 14.3	143 68.1	21 10.0	13 6.2	3 1.4	-	
ス サ リ 用 ビ	利用した	258 100.0	36 14.0	174 67.4	26 10.1	19 7.4	2 0.8	1 0.4	
	利用していない	41 100.0	6 14.6	26 63.4	4 9.8	4 9.8	1 2.4	-	
要 介 護 度	要介護1	117 100.0	14 12.0	89 76.1	6 5.1	5 4.3	2 1.7	1 0.9	
	要介護2	73 100.0	12 16.4	49 67.1	7 9.6	5 6.8	-	-	
	要介護3	46 100.0	5 10.9	25 54.3	6 13.0	9 19.6	1 2.2	-	
	要介護4	39 100.0	9 23.1	24 61.5	5 12.8	1 2.6	-	-	
	要介護5	28 100.0	3 10.7	16 57.1	6 21.4	3 10.7	-	-	
主 な 介 護 者	配偶者	32 100.0	2 6.3	21 65.6	1 3.1	7 21.9	1 3.1	-	
	子	207 100.0	31 15.0	139 67.1	25 12.1	10 4.8	1 0.5	1 0.5	
	子の配偶者	44 100.0	5 11.4	32 72.7	3 6.8	4 9.1	-	-	
	孫	6 100.0	2 33.3	3 50.0	-	1 16.7	-	-	
	兄弟・姉妹	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	
	その他	6 100.0	1 16.7	4 66.7	1 16.7	-	-	-	

### 3 若年者調査

#### (1) 対象者の属性等

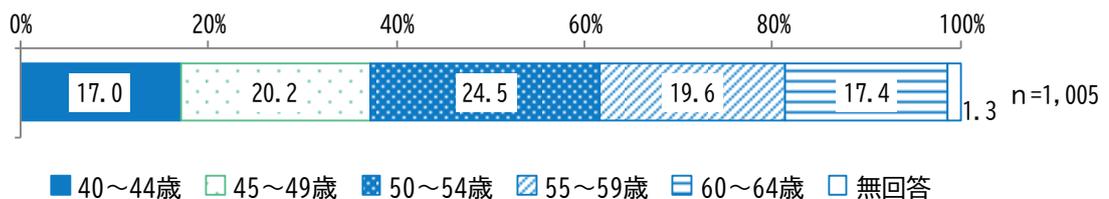
##### 1-1 性別

対象者の性別は、「男性」が44.2%、「女性」が53.8%となっています。



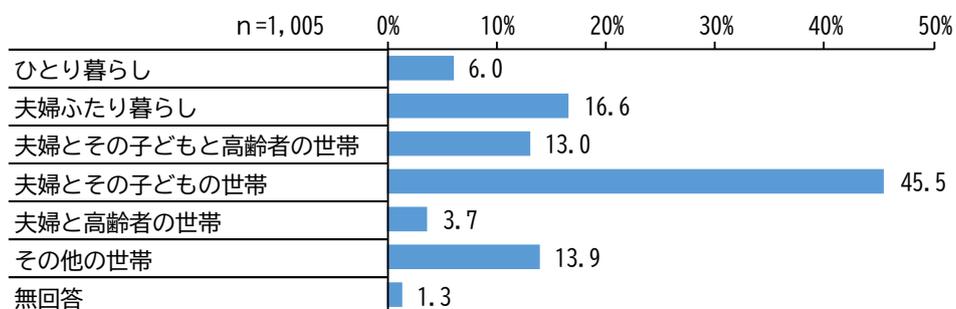
##### 1-2 年齢

「50～54 歳」(24.5%) が最も高く、次いで「45～49 歳」(20.2%)、「55～59 歳」(19.6%) となっています。



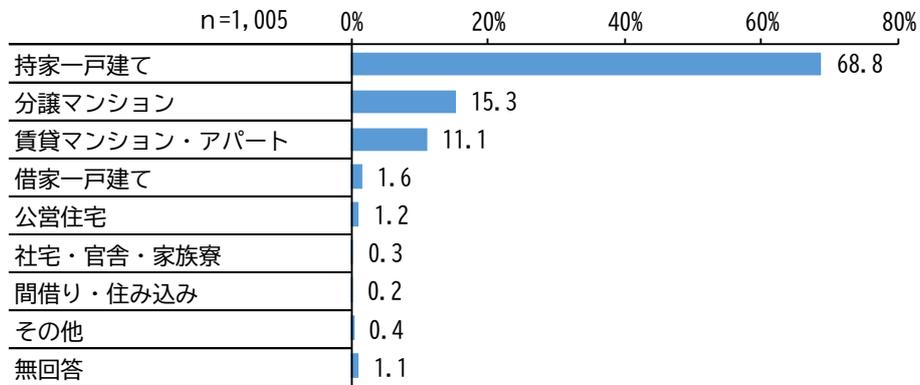
##### 1-3 家族構成

「夫婦とその子どもの世帯」(45.5%) が最も高く、次いで「夫婦ふたり暮らし」(16.6%)、「その他の世帯」(13.9%)、「夫婦とその子どもと高齢者の世帯 (3世代同居)」(13.0%) となっています。



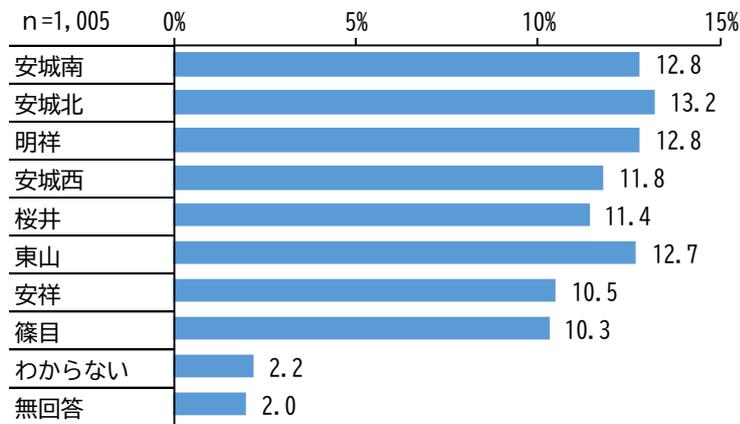
1-4 住居形態

「持家一戸建て」(68.8%)が最も高く、次いで「分譲マンション」(15.3%)となっています。



1-5 中学校区

「安城北」(13.2%)が最も高く、「篠目」(10.3%)が最も低くなっています。

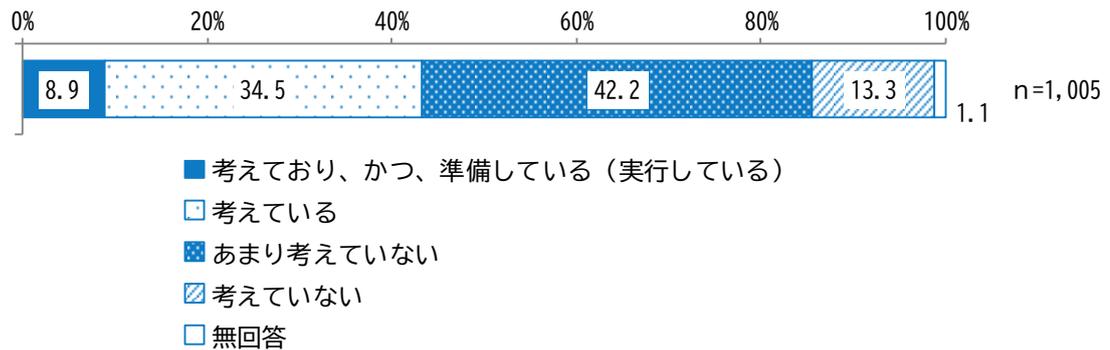


## II 調査の結果 3 若年者調査

### 1-6 高齢者になったときの生きがいについての考え

問2 高齢者（65歳以上）になったときの生きがいについて考えていますか。  
（○印は1つだけ）

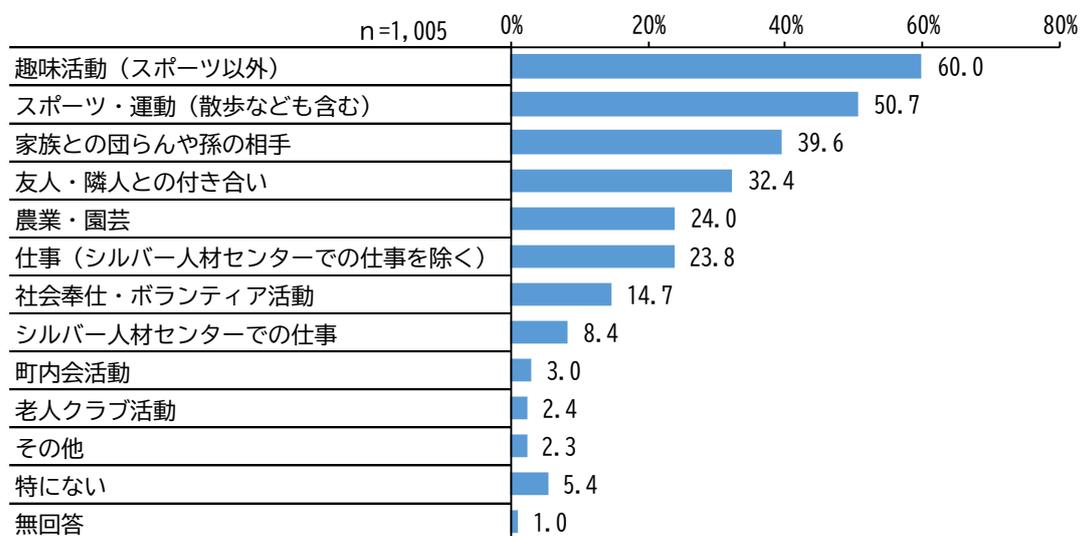
「あまり考えていない」（42.2%）が最も高く、『考えている』（「考えており、かつ、準備している（実行している）」「考えている」の計）は43.4%となっています。一方、『考えていない』（「考えていない」「あまり考えていない」の計）は55.5%となっています。



### 1-7 高齢者になったときに生きがいとしたいこと

問3 あなたが、高齢者（65歳以上）になったとき、どのようなことを生きがいとしたいですか。（○印はいくつでも）

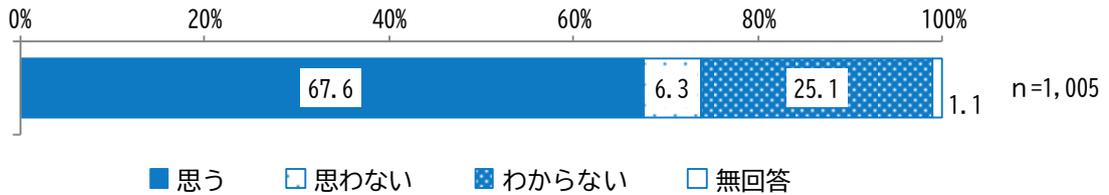
「趣味活動（スポーツ以外）」（60.0%）が最も高く、次いで「スポーツ・運動（散歩なども含む）」（50.7%）、「家族との団らんや孫の相手」（39.6%）、「友人・隣人との付き合い」（32.4%）、「農業・園芸」（24.0%）となっています。



1-8 高齢化地域でのたすけあいの必要性

問4 高齢者が増えていく中、住民同士がお互いに助け合う活動を広げていく必要があると思いますか。(○印は1つだけ)

「思う」は 67.6%、「思わない」は 6.3%、「わからない」は 25.1%となっています。  
 家族構成別でみると、「思う」は夫婦と高齢者の世帯で 73.0%と高くなっています。  
 中学校区別でみると、「思う」は安城北で 73.7%と高く、安祥で 62.3%と低くなっています。



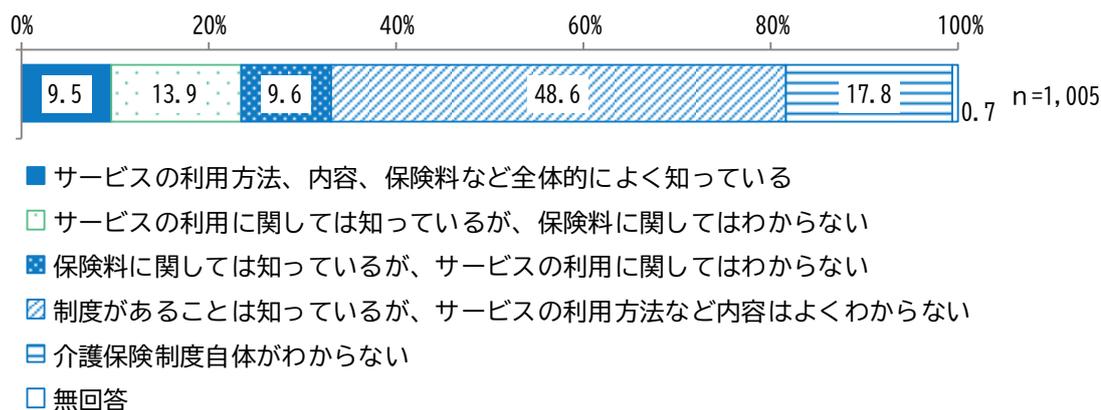
		件数	思う	思わない	わからない	無回答
全体		1,005	679	63	252	11
		100.0	67.6	6.3	25.1	1.1
家族構成	ひとり暮らし	60	38	3	17	2
		100.0	63.3	5.0	28.3	3.3
	夫婦ふたり暮らし	167	108	9	49	1
		100.0	64.7	5.4	29.3	0.6
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯(3世代同居)	131	87	6	38	-
		100.0	66.4	4.6	29.0	-
	夫婦とその子どもの世帯	457	327	31	97	2
	100.0	71.6	6.8	21.2	0.4	
夫婦と高齢者の世帯	37	27	1	9	-	
	100.0	73.0	2.7	24.3	-	
その他の世帯	140	89	12	39	-	
	100.0	63.6	8.6	27.9	-	
中学校区	安城南	129	89	9	31	-
		100.0	69.0	7.0	24.0	-
	安城北	133	98	6	29	-
		100.0	73.7	4.5	21.8	-
	明祥	129	87	7	35	-
		100.0	67.4	5.4	27.1	-
	安城西	119	84	7	28	-
		100.0	70.6	5.9	23.5	-
	桜井	115	78	8	29	-
	100.0	67.8	7.0	25.2	-	
東山	128	90	7	30	1	
	100.0	70.3	5.5	23.4	0.8	
安祥	106	66	7	33	-	
	100.0	62.3	6.6	31.1	-	
篠目	104	72	8	24	-	
	100.0	69.2	7.7	23.1	-	

## (2) 介護保険について

### 2-1 介護保険制度の認知度

問5 介護保険制度についてご存知ですか。(○印は1つだけ)

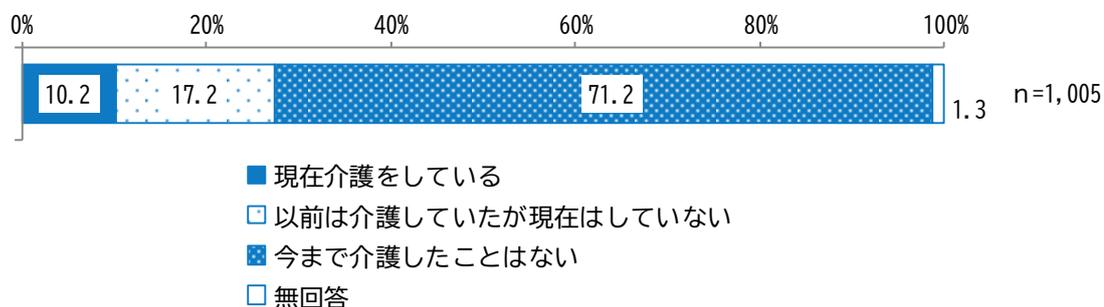
「制度があることは知っているが、サービスの利用方法など内容はよくわからない」(48.6%)が最も高く、次いで「介護保険制度自体がわからない」(17.8%)、「サービスの利用に関しては知っているが、保険料に関してはわからない」(13.9%)となっています。



### 2-2 介護経験の有無

問6 介護をした経験はありますか。(○印は1つだけ)

「今まで介護したことはない」(71.2%)が最も高く、「現在介護をしている」は10.2%、「以前は介護していたが現在はしていない」は17.2%となっています。



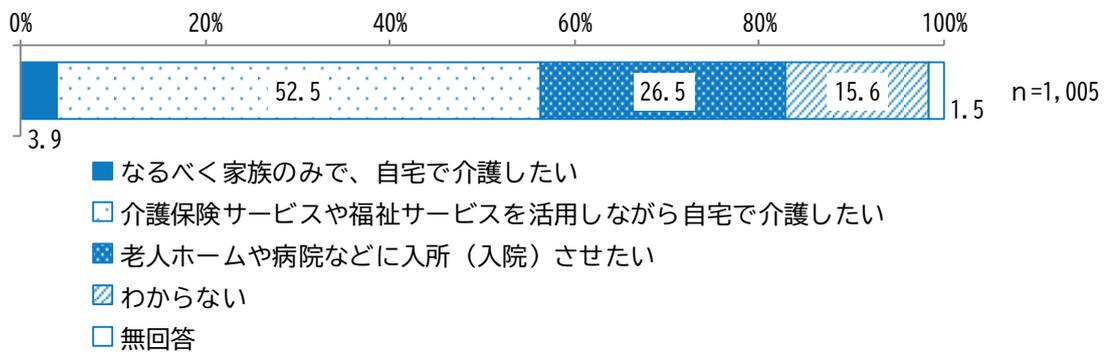
2-3 家族等に受けさせたい介護

問7 家族等に介護が必要となった際、どのようにしたいと思いますか。

(○印は1つだけ)

「介護保険制度のサービス（ホームヘルパー等）や福祉サービスを活用しながら自宅で介護したい」（52.5%）が最も高く、次いで「老人ホームや病院などに入所（入院）させたい」（26.5%）、「なるべく家族のみで、自宅で介護したい」（3.9%）となっています。また、「わからない」は15.6%となっています。

家族構成別でみると、「わからない」はひとり暮らしで26.7%と高く、「介護保険制度のサービスや福祉サービスを活用しながら自宅で介護したい」は夫婦とその子どもと高齢者の世帯（3世代同居）で58.0%と高くなっています。



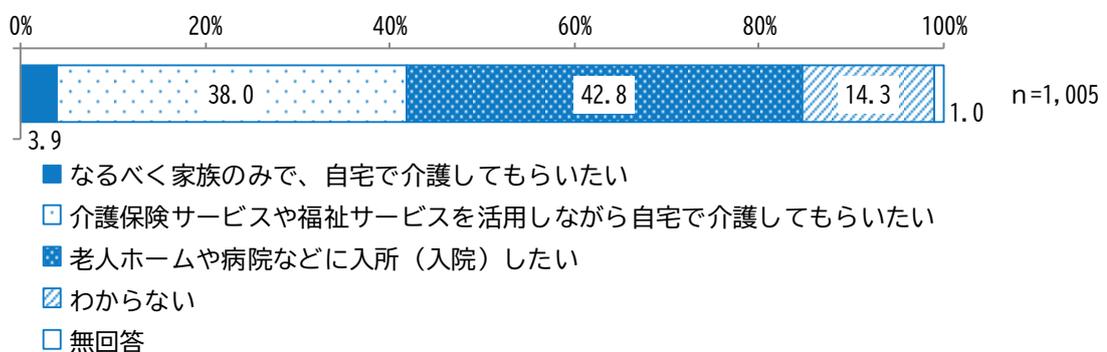
	件数	なるべく家族のみで、自宅で介護したい	介護保険サービスや福祉サービスを活用しながら自宅で介護したい	老人ホームや病院などに入所（入院）させたい	わからない	無回答
全体	1,005	39	528	266	157	15
	100.0	3.9	52.5	26.5	15.6	1.5
ひとり暮らし	60	6	24	14	16	-
	100.0	10.0	40.0	23.3	26.7	-
夫婦ふたり暮らし	167	8	84	50	24	1
	100.0	4.8	50.3	29.9	14.4	0.6
夫婦とその子どもと高齢者の世帯（3世代同居）	131	1	76	39	15	-
	100.0	0.8	58.0	29.8	11.5	-
夫婦とその子どもの世帯	457	19	243	119	71	5
	100.0	4.2	53.2	26.0	15.5	1.1
夫婦と高齢者の世帯	37	-	21	10	5	1
	100.0	-	56.8	27.0	13.5	2.7
その他の世帯	140	5	77	32	24	2
	100.0	3.6	55.0	22.9	17.1	1.4

2-4 自身が受けたい介護

問8 今後、もしあなたご自身が介護を受けることになったら、どのような介護を受けたいと思いますか。(○印は1つだけ)

「老人ホームや病院などに入所(入院)したい」(42.8%)が最も高く、次いで「介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービスを活用しながら自宅で介護してもらいたい」(38.0%)、「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」(3.9%)となっています。

家族構成別でみると、「老人ホームや病院などに入所(入院)したい」はひとり暮らしで48.3%と高くなっています。また、「わからない」は夫婦と高齢者の世帯で21.6%と高くなっています。



	件数	なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい (%)	介護保険サービスや福祉サービスを活用しながら自宅で介護してもらいたい (%)	老人ホームや病院などに入所(入院)したい (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体	1,005	3.9	38.0	42.8	14.3	1.0
ひとり暮らし	60	5.0	30.0	48.3	16.7	-
夫婦ふたり暮らし	167	5.4	38.9	44.9	10.2	0.6
夫婦とその子どもと高齢者の世帯(3世代同居)	131	1.5	40.5	42.0	16.0	-
夫婦とその子どもの世帯	457	3.9	41.1	41.4	12.9	0.7
夫婦と高齢者の世帯	37	8.1	37.8	32.4	21.6	-
その他の世帯	140	2.9	30.7	47.1	19.3	-

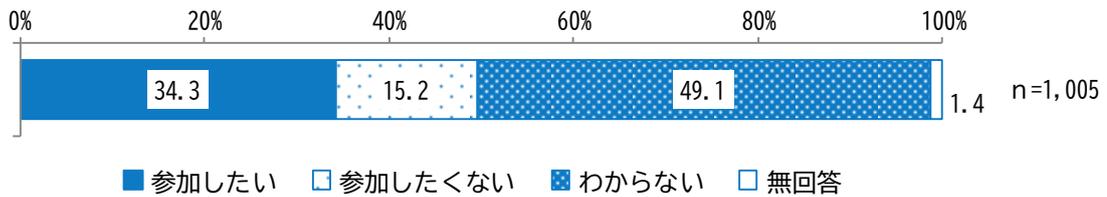
2-5 在宅介護の講習会等への参加意向

問9 あなたは、在宅介護の基本的な知識や技術を習得する研修や講習会があれば、参加したいと思いますか。(○印は1つだけ)

「わからない」(49.1%)が最も高く、「参加したい」は34.3%、「参加したくない」は15.2%となっています。

家族構成別でみると、「参加したくない」は夫婦と高齢者の世帯で24.3%、ひとり暮らしで21.7%といずれも高くなっています。

中学校区別でみると、「参加したい」は安城北で40.6%と高く、「わからない」は安城西で58.0%と高くなっています。



		件数	参加したい	参加したくない	わからない	無回答
全体		1,005 100.0	345 34.3	153 15.2	493 49.1	14 1.4
家族構成	ひとり暮らし	60 100.0	15 25.0	13 21.7	30 50.0	2 3.3
	夫婦ふたり暮らし	167 100.0	58 34.7	22 13.2	85 50.9	2 1.2
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯(3世代同居)	131 100.0	44 33.6	23 17.6	63 48.1	1 0.8
	夫婦とその子どもの世帯	457 100.0	165 36.1	61 13.3	229 50.1	2 0.4
	夫婦と高齢者の世帯	37 100.0	13 35.1	9 24.3	15 40.5	- -
	その他の世帯	140 100.0	50 35.7	24 17.1	65 46.4	1 0.7
	中学校区	安城南	129 100.0	51 39.5	20 15.5	57 44.2
安城北		133 100.0	54 40.6	15 11.3	62 46.6	2 1.5
明祥		129 100.0	41 31.8	24 18.6	63 48.8	1 0.8
安城西		119 100.0	38 31.9	12 10.1	69 58.0	- -
桜井		115 100.0	33 28.7	20 17.4	62 53.9	- -
東山		128 100.0	48 37.5	23 18.0	56 43.8	1 0.8
安祥		106 100.0	38 35.8	19 17.9	49 46.2	- -
篠目		104 100.0	32 30.8	17 16.3	55 52.9	- -

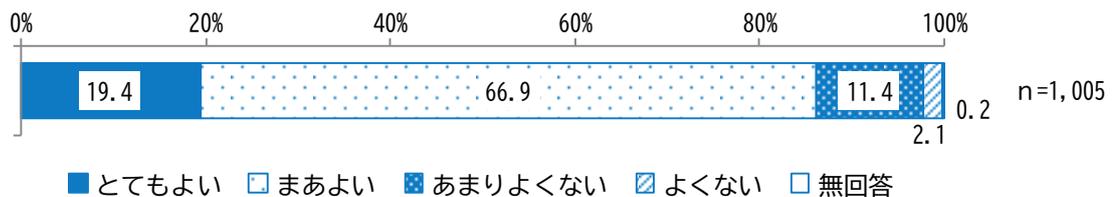
### (3) 健康について

#### 3-1 現在の健康状態

問10 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○印は1つだけ)

「まあよい」(66.9%)が最も高く、『健康状態がよい』(「とてもよい」「まあよい」の計)は86.3%となっています。一方、『健康状態がよくない』(「よくない」「あまりよくない」の計)は13.5%となっています。

年齢別でみると、『健康状態がよい』は40～44歳で92.4%と高くなっています。



	件数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
全体	1,005 100.0	195 19.4	672 66.9	115 11.4	21 2.1	2 0.2
40～44歳	171 100.0	49 28.7	109 63.7	10 5.8	3 1.8	-
45～49歳	203 100.0	48 23.6	133 65.5	17 8.4	5 2.5	-
50～54歳	246 100.0	39 15.9	165 67.1	36 14.6	5 2.0	1 0.4
55～59歳	197 100.0	28 14.2	135 68.5	29 14.7	5 2.5	-
60～64歳	175 100.0	30 17.1	124 70.9	19 10.9	2 1.1	-

3-2 現在の幸福度

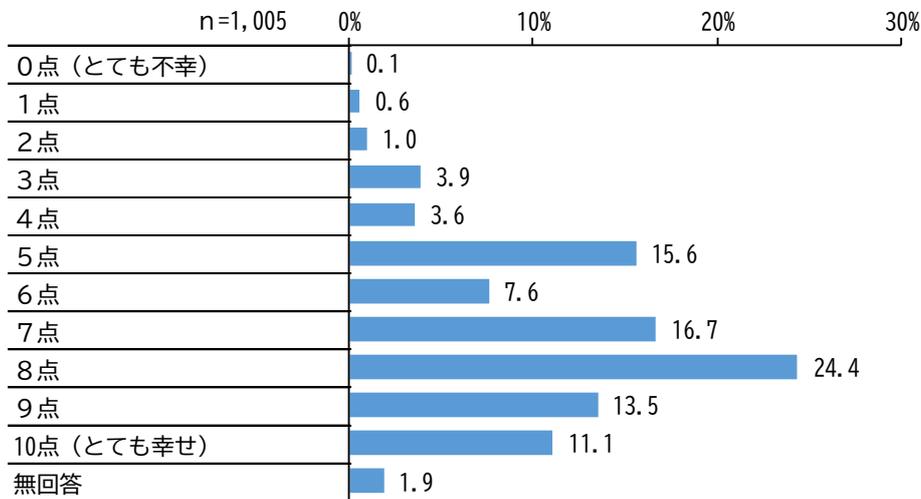
問11 あなたは、現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）。（点数に○をつけてください。）

現在の幸福度（0点（とても不幸）から10点（とても幸せ）まで）は、「8点」（24.4%）が最も高く、次いで「7点」（16.7%）、「5点」（15.6%）、「9点」（13.5%）となっています。「8点」以上と答えた人は合計49.0%で、全体の平均点は7.1点となっています。

性別でみると、「9～10点」は女性の方が高くなっています。

年齢別でみると、「9～10点」は45～49歳で31.0%と高くなっています。

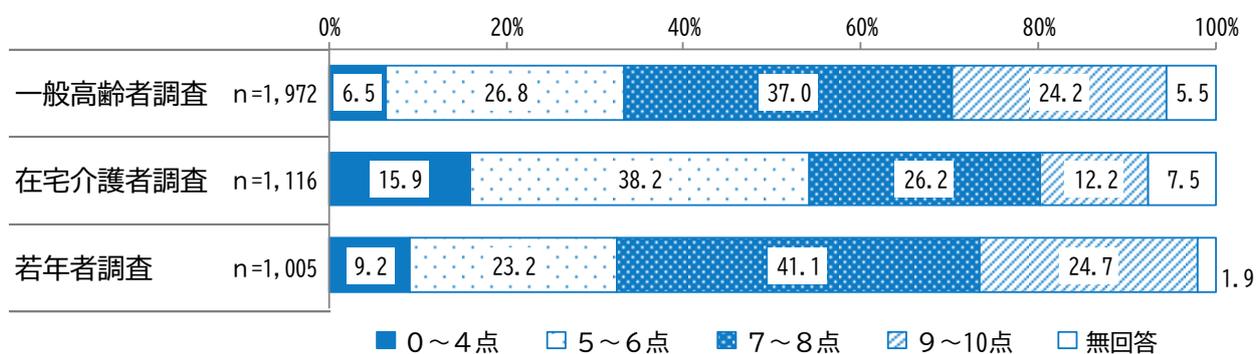
現在の健康状態（問10）別でみると、健康状態がよいほど幸福度が高く、健康状態がとてもよい人では「9～10点」（44.6%）が4割以上と高くなっています。



		件数	0点	5点	7点	9点	無回答
全体		1,005	92	233	413	248	19
		100.0	9.2	23.2	41.1	24.7	1.9
性別	男性	444	42	114	181	100	7
	女性	541	50	114	226	141	10
		100.0	9.2	21.1	41.8	26.1	1.8
年齢	40～44歳	171	13	43	68	46	1
	45～49歳	203	17	35	83	63	5
	50～54歳	246	26	68	95	53	4
	55～59歳	197	23	41	84	45	4
	60～64歳	175	13	43	77	39	3
		100.0	7.4	24.6	44.0	22.3	1.7
現在の健康状態	とてもよい	195	5	19	83	87	1
	まあよい	672	48	174	290	148	12
	あまりよくない	115	30	37	35	11	2
	よくない	21	9	3	5	1	3
		100.0	42.9	14.3	23.8	4.8	14.3

## II 調査の結果 3 若年者調査

現在の幸福度を調査種別で見ると、「9～10点」は一般高齢者調査で24.2%、在宅介護者調査で12.2%、若年者調査で24.7%となっています。



3-3 かかりつけ医等の有無

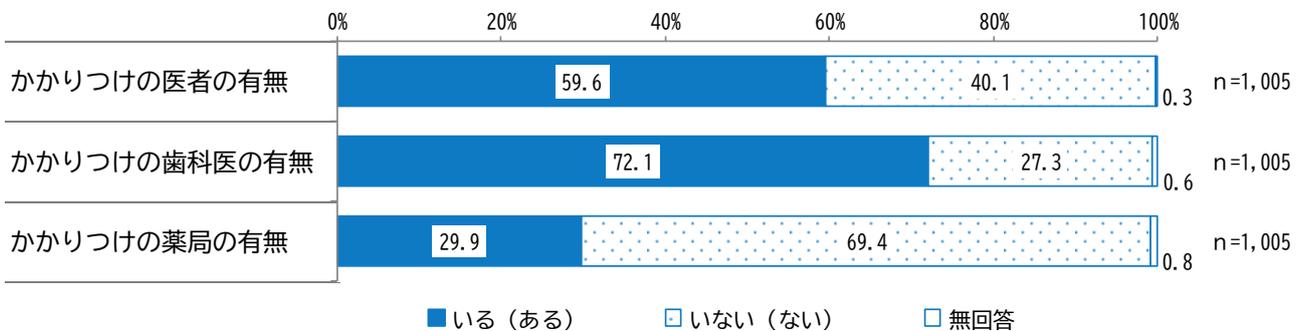
問12 あなたには健康状態や病気のことを相談する身近な「かかりつけの医者、歯科医、薬局」がいますか。(○印はそれぞれ1つだけ)

かかりつけ医が「いる」人は 59.6%、かかりつけ歯科医が「いる」人は 72.1%、かかりつけ薬局が「ある」人は 29.9%となっています。

性別でみると、かかりつけ歯科医の「いない」、かかりつけ薬局の「ない」はいずれも男性で高くなっています。

年齢別でみると、「いる(ある)」は年齢が上がるにつれて割合が概ね高く、いずれも60~64歳で最も高くなっています。

家族構成別でみると、「いる(ある)」は夫婦と高齢者の世帯で高く、「いない(ない)」はひとり暮らしで高くなっています。



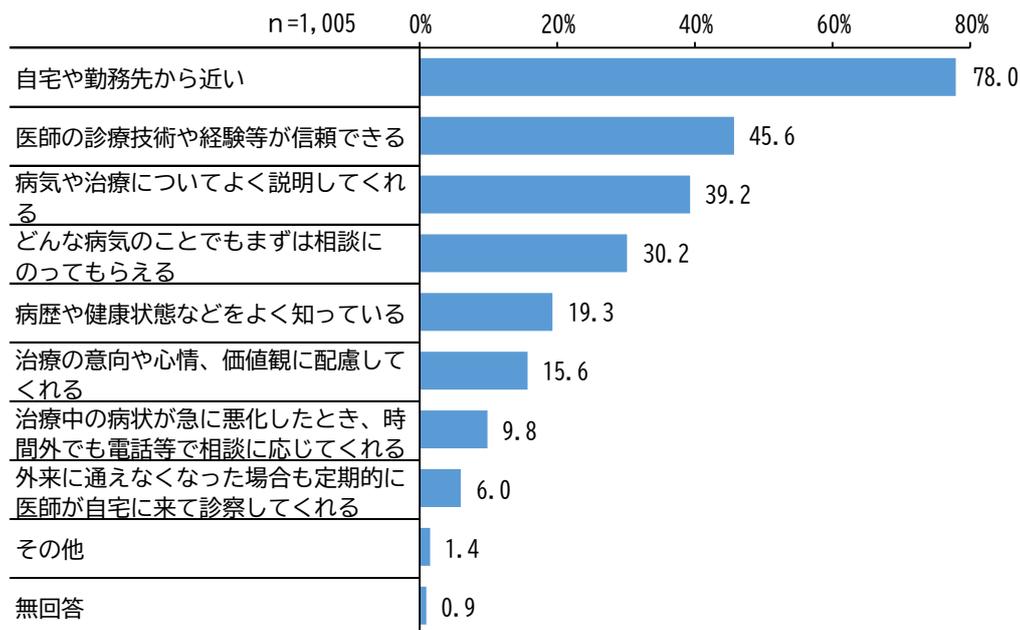
	件数	かかりつけの医者			かかりつけの歯科医			かかりつけの薬局			
		いる	いない	無回答	いる	いない	無回答	ある	ない	無回答	
全体	1,005	599	403	3	725	274	6	300	697	8	
	100.0	59.6	40.1	0.3	72.1	27.3	0.6	29.9	69.4	0.8	
性別	男性	444	257	186	1	297	146	1	110	333	1
		100.0	57.9	41.9	0.2	66.9	32.9	0.2	24.8	75.0	0.2
	女性	541	327	214	-	413	126	2	182	356	3
		100.0	60.4	39.6	-	76.3	23.3	0.4	33.6	65.8	0.6
年齢	40~44歳	171	84	87	-	112	59	-	46	125	-
		100.0	49.1	50.9	-	65.5	34.5	-	26.9	73.1	-
	45~49歳	203	109	93	1	137	65	1	49	151	3
		100.0	53.7	45.8	0.5	67.5	32.0	0.5	24.1	74.4	1.5
	50~54歳	246	136	110	-	178	68	-	62	184	-
	100.0	55.3	44.7	-	72.4	27.6	-	25.2	74.8	-	
	55~59歳	197	129	68	-	152	43	2	63	133	1
		100.0	65.5	34.5	-	77.2	21.8	1.0	32.0	67.5	0.5
	60~64歳	175	131	44	-	136	38	1	73	101	1
		100.0	74.9	25.1	-	77.7	21.7	0.6	41.7	57.7	0.6
家族構成	ひとり暮らし	60	32	28	-	37	22	1	14	46	-
		100.0	53.3	46.7	-	61.7	36.7	1.7	23.3	76.7	-
	夫婦ふたり暮らし	167	98	69	-	124	41	2	47	119	1
		100.0	58.7	41.3	-	74.3	24.6	1.2	28.1	71.3	0.6
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯(3世代同居)	131	82	49	-	94	37	-	35	96	-
		100.0	62.6	37.4	-	71.8	28.2	-	26.7	73.3	-
	夫婦とその子どもの世帯	457	272	185	-	340	117	-	137	317	3
		100.0	59.5	40.5	-	74.4	25.6	-	30.0	69.4	0.7
	夫婦と高齢者の世帯	37	27	10	-	30	7	-	16	21	-
		100.0	73.0	27.0	-	81.1	18.9	-	43.2	56.8	-
	その他の世帯	140	80	59	1	92	47	1	47	92	1
		100.0	57.1	42.1	0.7	65.7	33.6	0.7	33.6	65.7	0.7

## II 調査の結果 3 若年者調査

### 3-4 かかりつけ医等を選ぶ上で重要なこと

問13 かかりつけの医者・歯科医・薬局を選ぶ上で重要なことはどんなことですか。  
(○印は3つまで)

「自宅や勤務先から近い」(78.0%) が最も高く、次いで「医師の診療技術や経験等が信頼できる」(45.6%)、「病気や治療についてよく説明してくれる」(39.2%)、「どんな病気のことでもまずは相談にのってもらえる」(30.2%)、「病歴や健康状態などをよく知っている」(19.3%) となっています。



3-5 福祉に関する地域資源等の認知度

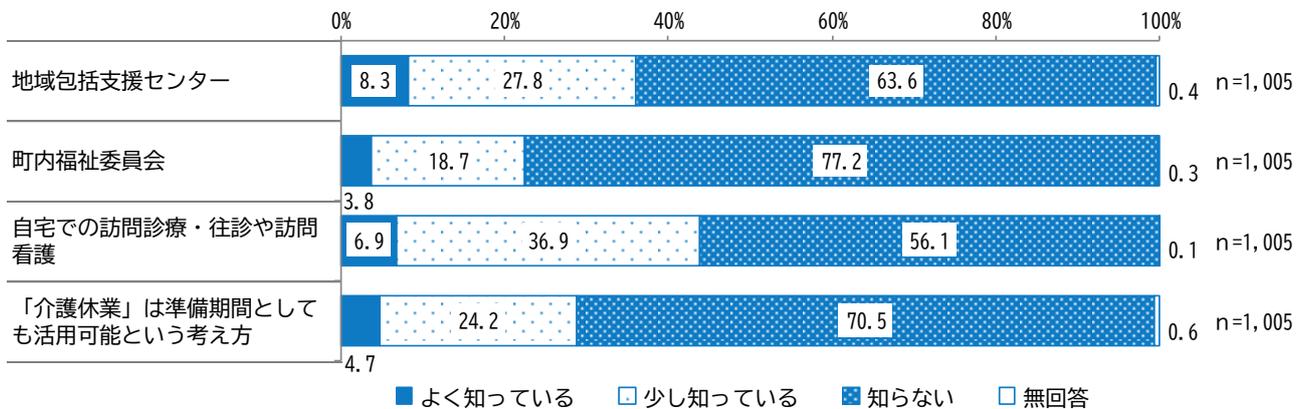
問14 次のことについて、どの程度、ご存知ですか。（○印はそれぞれ1つだけ）

- (1) 地域包括支援センター
- (2) 町内福祉委員会
- (3) 自宅での訪問診療・往診や訪問看護
- (4) “「介護休業」は、要介護者の家族が、今後の仕事と介護の両立に向けた準備期間（介護サービスを受けるまでの準備期間）としても活用できる” という考え方

『知っている』（「よく知っている」「少し知っている」の計）は、地域包括支援センターは36.1%、町内福祉委員会は22.5%、自宅での訪問診療等は43.8%、介護休業が準備期間としても活用可能という考え方は28.9%となっています。「よく知っている」はいずれの項目についても1割未満となっています。

性別でみると、地域包括支援センター及び自宅での訪問診療等については、『知っている』は女性で高くなっています。

年齢別でみると、地域包括支援センターについては『知っている』は60～64歳で51.5%と高く、町内福祉委員会及び自宅での訪問診療等については『知っている』は60～64歳で高くなっています。



	件数	地域包括支援センター				町内福祉委員会				自宅での訪問診療等				「介護休業」の考え方			
		よく知っている	少し知っている	知らない	無回答	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答	よく知っている	少し知っている	知らない	無回答
全体	1,005	83	279	639	4	38	188	776	3	69	371	564	1	47	243	709	6
性別																	
男性	444	20	98	325	1	17	71	355	1	18	139	287	-	15	105	323	1
女性	541	60	178	301	2	21	116	403	1	48	229	264	-	31	133	373	4
年齢																	
40～44歳	171	11	46	114	-	2	30	139	-	11	66	94	-	9	31	130	1
45～49歳	203	14	44	145	-	8	41	154	-	13	77	113	-	8	58	137	-
50～54歳	246	21	52	173	-	9	35	202	-	13	77	156	-	10	59	177	-
55～59歳	197	14	67	114	2	10	38	148	1	12	77	108	-	8	48	138	3
60～64歳	175	22	68	84	1	8	42	124	1	19	71	85	-	11	45	118	1
	100.0	12.6	38.9	48.0	0.6	4.6	24.0	70.9	0.6	10.9	40.6	48.6	-	6.3	25.7	67.4	0.6

II 調査の結果 3 若年者調査

家族構成別でみると、『知っている』は、地域包括支援センターについては夫婦ふたり暮らしで 47.3%と高く、町内福祉委員会については夫婦と高齢者の世帯で 35.1%と高く、自宅での訪問診療等及び介護休業の考え方については夫婦ふたり暮らしでそれぞれ高くなっています。

中学校区別でみると、『知っている』は、町内福祉委員会については桜井で、自宅での訪問診療等については桜井及び東山でそれぞれ高くなっています。

	件数	地域包括支援センター				町内福祉委員会				自宅での訪問診療等				「介護休業」の考え方				
		いよく知っている	い少し知っている	知らない	無回答	いよく知っている	い少し知っている	知らない	無回答	いよく知っている	い少し知っている	知らない	無回答	いよく知っている	い少し知っている	知らない	無回答	
全体	1,005	83	279	639	4	38	188	776	3	69	371	564	1	47	243	709	6	
	100.0	8.3	27.8	63.6	0.4	3.8	18.7	77.2	0.3	6.9	36.9	56.1	0.1	4.7	24.2	70.5	0.6	
家族構成	ひとり暮らし	60	6	16	37	1	2	5	53	-	5	18	37	-	2	14	43	1
		100.0	10.0	26.7	61.7	1.7	3.3	8.3	88.3	-	8.3	30.0	61.7	-	3.3	23.3	71.7	1.7
	夫婦ふたり暮らし	167	20	59	87	1	5	36	126	-	16	69	82	-	15	48	103	1
		100.0	12.0	35.3	52.1	0.6	3.0	21.6	75.4	-	9.6	41.3	49.1	-	9.0	28.7	61.7	0.6
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯（3世代同居）	131	13	37	81	-	8	25	98	-	12	50	69	-	7	26	97	1
		100.0	9.9	28.2	61.8	-	6.1	19.1	74.8	-	9.2	38.2	52.7	-	5.3	19.8	74.0	0.8
	夫婦とその子どもの世帯	457	30	117	310	-	18	90	348	1	20	168	269	-	13	108	334	2
	100.0	6.6	25.6	67.8	-	3.9	19.7	76.1	0.2	4.4	36.8	58.9	-	2.8	23.6	73.1	0.4	
夫婦と高齢者の世帯	37	4	13	20	-	1	12	24	-	3	15	19	-	1	9	27	-	
	100.0	10.8	35.1	54.1	-	2.7	32.4	64.9	-	8.1	40.5	51.4	-	2.7	24.3	73.0	-	
その他の世帯	140	9	35	95	1	4	19	116	1	12	48	80	-	8	35	97	-	
	100.0	6.4	25.0	67.9	0.7	2.9	13.6	82.9	0.7	8.6	34.3	57.1	-	5.7	25.0	69.3	-	
中学校区	安城南	129	15	32	82	-	8	21	100	-	14	38	77	-	6	30	92	1
		100.0	11.6	24.8	63.6	-	6.2	16.3	77.5	-	10.9	29.5	59.7	-	4.7	23.3	71.3	0.8
	安城北	133	11	36	86	-	5	22	106	-	7	46	80	-	6	35	92	-
		100.0	8.3	27.1	64.7	-	3.8	16.5	79.7	-	5.3	34.6	60.2	-	4.5	26.3	69.2	-
	明祥	129	11	38	80	-	5	21	103	-	6	51	72	-	3	29	97	-
		100.0	8.5	29.5	62.0	-	3.9	16.3	79.8	-	4.7	39.5	55.8	-	2.3	22.5	75.2	-
	安城西	119	8	31	79	1	2	27	88	2	7	49	63	-	6	30	83	-
		100.0	6.7	26.1	66.4	0.8	1.7	22.7	73.9	1.7	5.9	41.2	52.9	-	5.0	25.2	69.7	-
	桜井	115	8	37	70	-	6	31	78	-	8	51	56	-	7	31	77	-
		100.0	7.0	32.2	60.9	-	5.2	27.0	67.8	-	7.0	44.3	48.7	-	6.1	27.0	67.0	-
東山	128	12	38	77	1	5	24	99	-	9	56	63	-	8	30	90	-	
	100.0	9.4	29.7	60.2	0.8	3.9	18.8	77.3	-	7.0	43.8	49.2	-	6.3	23.4	70.3	-	
安祥	106	7	35	64	-	7	21	78	-	6	37	63	-	4	30	70	2	
	100.0	6.6	33.0	60.4	-	6.6	19.8	73.6	-	5.7	34.9	59.4	-	3.8	28.3	66.0	1.9	
篠目	104	9	25	70	-	-	12	92	-	9	31	64	-	6	18	80	-	
	100.0	8.7	24.0	67.3	-	-	11.5	88.5	-	8.7	29.8	61.5	-	5.8	17.3	76.9	-	

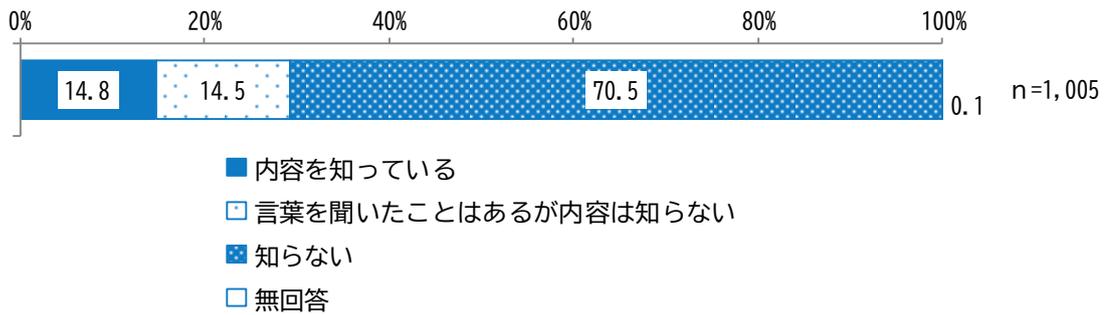
3-6 「フレイル」の認知度

問15 あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか。(○印は1つだけ)

「知らない」(70.5%)が最も高く、「内容を知っている」は14.8%、『名前を知っている』(「内容を知っている」「言葉を聞いたことはあるが内容は知らない」の計)は29.3%となっています。

性別でみると、『名前を知っている』は女性で36.4%と高くなっています。

年齢別でみると、『名前を知っている』は年齢が下がるにつれて割合が低く、40~44歳では22.8%と低くなっています。



		件数	内容を知っている	はと知は言知らない	知らない	無回答
			内容を	知らあ葉を	ない	
			知っている	るある聞		
			い	いが内た		
			こ			
全体		1,005	149	146	709	1
		100.0	14.8	14.5	70.5	0.1
性別	男性	444	44	51	349	-
		100.0	9.9	11.5	78.6	-
性別	女性	541	103	94	344	-
		100.0	19.0	17.4	63.6	-
年齢	40~44歳	171	21	18	132	-
		100.0	12.3	10.5	77.2	-
	45~49歳	203	37	23	143	-
		100.0	18.2	11.3	70.4	-
	50~54歳	246	34	40	172	-
	100.0	13.8	16.3	69.9	-	
年齢	55~59歳	197	33	30	134	-
		100.0	16.8	15.2	68.0	-
	60~64歳	175	23	35	117	-
	100.0	13.1	20.0	66.9	-	

II 調査の結果 3 若年者調査

家族構成別でみると、『名前を知っている』は夫婦と高齢者の世帯で45.9%と高くなっています。

中学校区別でみると、『名前を知っている』は明祥で38.0%と高くなっています。

	件数	内容を 知っ てい	はと 言 葉 を 聞 い た こ ろ は あ る が 内 容	知 ら な い	無 回 答	
全 体	1,005 100.0	149 14.8	146 14.5	709 70.5	1 0.1	
家 族 構 成	ひとり暮らし	60 100.0	6 10.0	5 8.3	49 81.7	-
	夫婦ふたり暮らし	167 100.0	32 19.2	25 15.0	110 65.9	-
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯（3世代同居）	131 100.0	17 13.0	23 17.6	91 69.5	-
	夫婦とその子どもの世帯	457 100.0	69 15.1	58 12.7	330 72.2	-
	夫婦と高齢者の世帯	37 100.0	6 16.2	11 29.7	20 54.1	-
	その他の世帯	140 100.0	18 12.9	21 15.0	101 72.1	-
	中 学 校 区	安城南	129 100.0	21 16.3	26 20.2	82 63.6
安城北		133 100.0	20 15.0	16 12.0	97 72.9	-
明祥		129 100.0	23 17.8	26 20.2	80 62.0	-
安城西		119 100.0	16 13.4	10 8.4	93 78.2	-
桜井		115 100.0	9 7.8	17 14.8	89 77.4	-
東山		128 100.0	20 15.6	20 15.6	88 68.8	-
安祥		106 100.0	13 12.3	14 13.2	79 74.5	-
篠目		104 100.0	21 20.2	13 12.5	70 67.3	-

3-7 会話等の聞こえの状況

問16 会話やテレビの音などが、うまく聞き取れないと感じますか。  
(○印は1つだけ)

「はい」(うまく聞き取れないと感じる)は12.7%となっています。

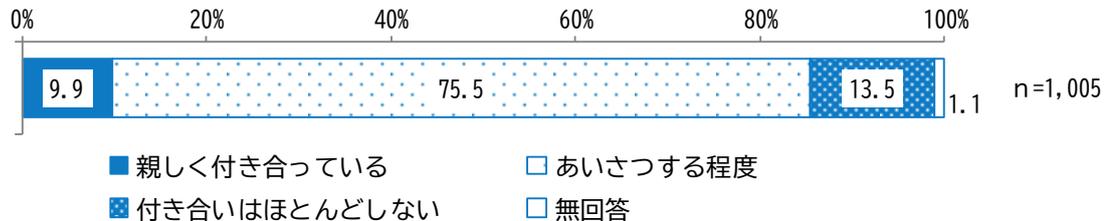


## (4) 生活環境について

### 4-1 近所の人との付き合いの程度

問17 あなたは、ふだん近所の方とはどのように接していますか。(○印は1つだけ)

「あいさつする程度」(75.5%)が最も高く、「親しく付き合っている」は9.9%、「付き合いはほとんどしない」は13.5%となっています。

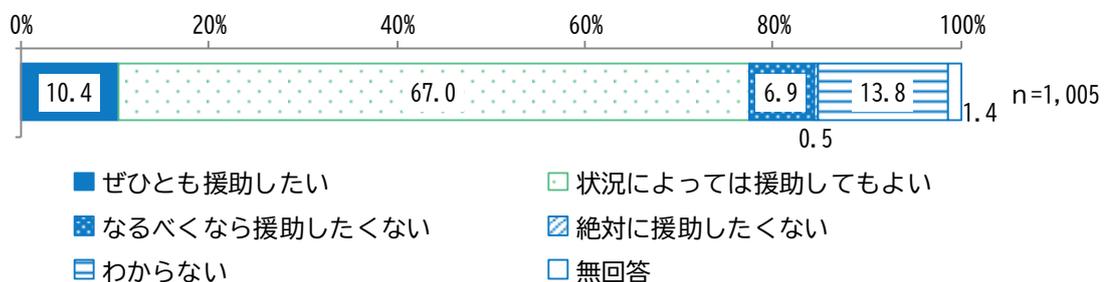


### 4-2 地域の要支援者への援助の意向

問18 体の具合が悪くなったり、寝たきりになったりした時、災害の時には、地域に住んでいる方による助け合いが大切であると言われてしています。近くに住んでいる方に支援が必要となった時に、簡単な援助をすることについてどう思いますか。

(○印は1つだけ)

地域の要支援者への援助の意向は、「状況によっては援助してもよい」(67.0%)が最も高く、『援助したい』(「ぜひとも援助したい」「状況によっては援助してもよい」の計)は77.4%となっています。一方、『援助したくない』(「絶対に援助したくない」「なるべくなら援助したくない」の計)は7.4%となっています。また、「わからない」は13.8%となっています。



II 調査の結果 3 若年者調査

家族構成別でみると、『援助したい』は夫婦とその子どもと高齢者の世帯（3世代同居）で85.5%と高く、ひとり暮らしで66.6%と低くなっています。

中学校区別でみると、『援助したい』は安城北で82.7%と高くなっています。

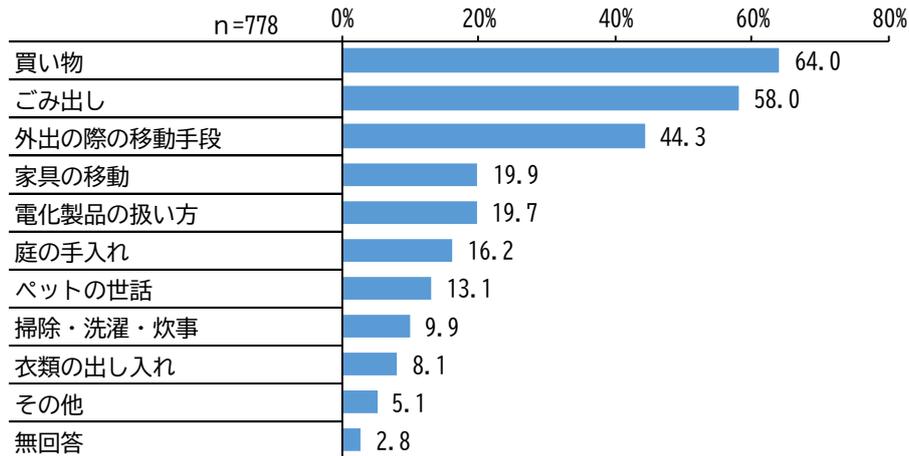
	件数	た い ひ と も 援 助 し	援 助 況 況 し に よ つ よ て い は	助 な る た く な ら な い 援	く 絶 対 に 援 助 し た	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1,005 100.0	105 10.4	673 67.0	69 6.9	5 0.5	139 13.8	14 1.4
家 族 構 成	ひとり暮らし	60 100.0	2 3.3	38 63.3	6 10.0	- 20.0	2 3.3
	夫婦ふたり暮らし	167 100.0	9 5.4	112 67.1	17 10.2	1 0.6	2 1.2
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯（3世代同居）	131 100.0	17 13.0	95 72.5	4 3.1	1 0.8	2 1.5
	夫婦とその子どもの世帯	457 100.0	60 13.1	307 67.2	23 5.0	3 0.7	2 0.4
	夫婦と高齢者の世帯	37 100.0	6 16.2	24 64.9	3 8.1	- 10.8	4 -
	その他の世帯	140 100.0	10 7.1	93 66.4	15 10.7	- 13.6	3 2.1
	中 学 校 区	安城南	129 100.0	14 10.9	85 65.9	11 8.5	- 14.0
安城北		133 100.0	15 11.3	95 71.4	4 3.0	- 12.8	2 1.5
明祥		129 100.0	12 9.3	94 72.9	7 5.4	- 12.4	- -
安城西		119 100.0	14 11.8	76 63.9	8 6.7	- 15.1	3 2.5
桜井		115 100.0	14 12.2	77 67.0	13 11.3	1 0.9	9 7.8
東山		128 100.0	15 11.7	87 68.0	8 6.3	- 13.3	1 0.8
安祥		106 100.0	12 11.3	67 63.2	8 7.5	2 1.9	17 16.0
篠目		104 100.0	6 5.8	76 73.1	6 5.8	2 1.9	14 13.5

問18で「1. ぜひとも援助したい」「2. 状況によっては援助してもよい」とお答えの方

問18-1 その場合、どのようなことであれば援助をすることができますか。

(○印は5つまで)

地域の要支援者にしてあげられる援助は、「買い物」(64.0%)が最も高く、次いで「ごみ出し」(58.0%)、「外出の際の移動手段」(44.3%)、「家具の移動」(19.9%)、「電化製品の扱い方」(19.7%)、「庭の手入れ」(16.2%)、「ペットの世話」(13.1%)となっています。

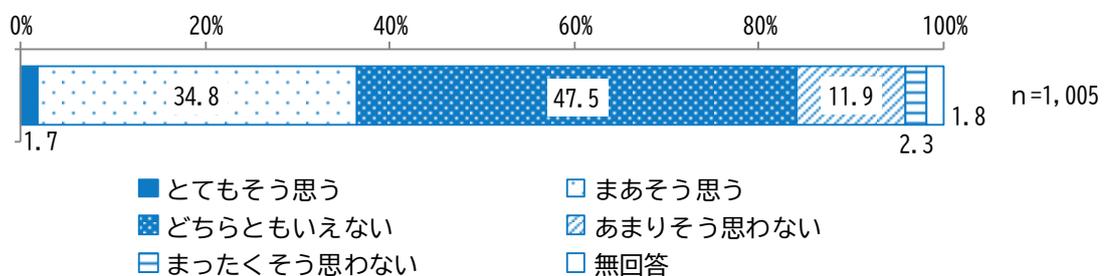


#### 4-3 高齢者が安心して暮らせるまちかどうかについての自分の地域の評価

問19 あなたの地域は、高齢者が安心して暮らすことのできるまちだと思いますか。

(○は1つ)

「どちらともいえない」(47.5%)が最も高く、『そう思う』(「とてもそう思う」「まあそう思う」の計)は36.5%となっています。一方、『そう思わない』(「まったくそう思わない」「あまりそう思わない」の計)は14.2%となっています。



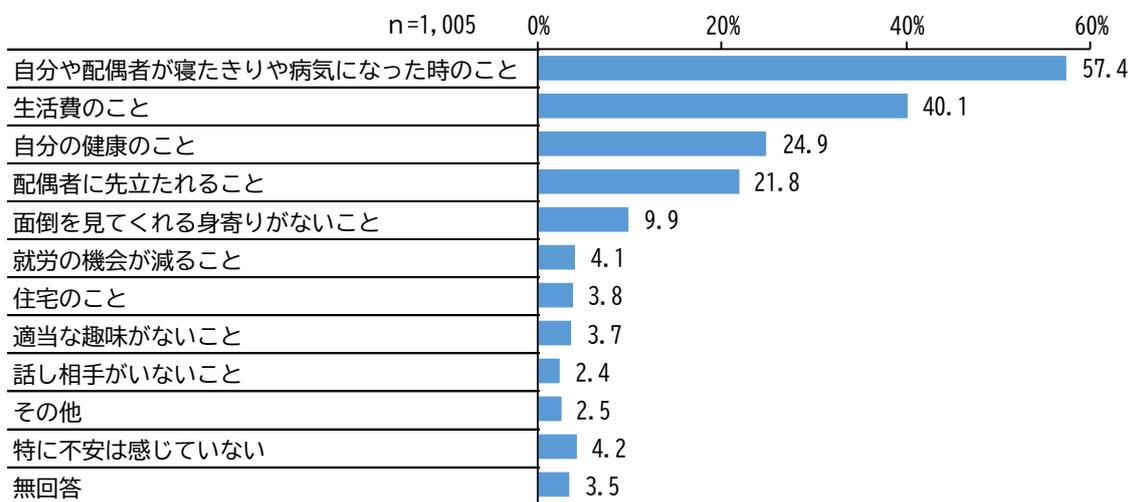
4-4 老後の不安

問20 あなたは、ご自身の老後について、どのような不安を感じていますか。  
(○印は2つまで)

「自分や配偶者が寝たきりや病気になった時のこと」(57.4%)が最も高く、「生活費のこと」(40.1%)、「自分の健康のこと」(24.9%)、「配偶者に先立たれること」(21.8%)となっています。また、「特に不安は感じていない」は4.2%となっています。

年齢別でみると、「生活費のこと」は年齢が上がるにつれて割合が低く、「自分の健康のこと」は年齢が上がるにつれて割合が概ね高くなっています。

家族構成別でみると、「自分や配偶者が寝たきりや病気になった時のこと」「配偶者に先立たれること」は夫婦と高齢者の世帯でいずれも高く、「面倒を見てくれる身寄りがないこと」はひとり暮らしで36.7%と高くなっています。



	件数	自分や配偶者が寝たきりや病気になった時のこと	生活費のこと	自分の健康のこと	配偶者に先立たれること	面倒を見てくれる身寄りがないこと	就労の機会が減ること	住宅のこと	適当な趣味がないこと	話し相手がいないこと	その他	特に不安は感じていない	無回答	
全体	1,005	577	403	250	219	99	41	38	37	24	25	42	35	
	100.0	57.4	40.1	24.9	21.8	9.9	4.1	3.8	3.7	2.4	2.5	4.2	3.5	
年齢	40~44歳	171	98	82	33	44	19	6	5	8	2	5	7	3
		100.0	57.3	48.0	19.3	25.7	11.1	3.5	2.9	4.7	1.2	2.9	4.1	1.8
	45~49歳	203	108	95	42	48	24	7	7	6	6	6	9	3
		100.0	53.2	46.8	20.7	23.6	11.8	3.4	3.4	3.0	3.0	3.0	4.4	1.5
	50~54歳	246	152	96	65	47	21	10	14	11	7	7	7	9
	100.0	61.8	39.0	26.4	19.1	8.5	4.1	5.7	4.5	2.8	2.8	2.8	3.7	
55~59歳	197	113	74	57	39	19	10	8	5	5	3	11	8	
	100.0	57.4	37.6	28.9	19.8	9.6	5.1	4.1	2.5	2.5	1.5	5.6	4.1	
60~64歳	175	101	54	50	38	14	8	4	7	2	4	8	9	
	100.0	57.7	30.9	28.6	21.7	8.0	4.6	2.3	4.0	1.1	2.3	4.6	5.1	
家族構成	ひとり暮らし	60	10	29	19	-	22	6	7	3	2	-	2	7
		100.0	16.7	48.3	31.7	-	36.7	10.0	11.7	5.0	3.3	-	3.3	11.7
	夫婦ふたり暮らし	167	109	46	40	52	20	6	7	4	2	2	8	4
		100.0	65.3	27.5	24.0	31.1	12.0	3.6	4.2	2.4	1.2	1.2	4.8	2.4
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯(3世代同居)	131	81	58	27	27	3	7	3	10	-	5	6	5
		100.0	61.8	44.3	20.6	20.6	2.3	5.3	2.3	7.6	-	3.8	4.6	3.8
夫婦とその子どもの世帯	457	302	189	106	121	14	16	10	17	10	11	18	9	
	100.0	66.1	41.4	23.2	26.5	3.1	3.5	2.2	3.7	2.2	2.4	3.9	2.0	
夫婦と高齢者の世帯	37	29	7	5	16	4	-	-	2	-	-	2	1	
	100.0	78.4	18.9	13.5	43.2	10.8	-	-	5.4	-	-	5.4	2.7	
その他の世帯	140	40	70	49	2	34	6	10	1	9	7	6	6	
	100.0	28.6	50.0	35.0	1.4	24.3	4.3	7.1	0.7	6.4	5.0	4.3	4.3	

## (5) 看取りについて

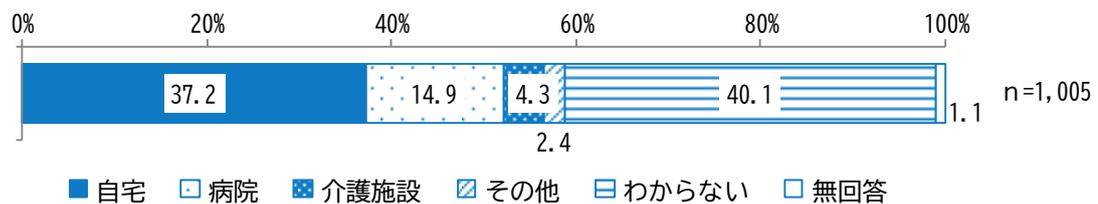
### 5-1 人生の最期を迎えたい場所

問21 あなたは、人生の最期を、どこで迎えたいですか。(○印は1つだけ)

「わからない」(40.1%)が最も高く、次いで「自宅」(37.2%)、「病院」(14.9%)、「介護施設」(4.3%)となっています。

年齢別で見ると、「自宅」は40～44歳で43.9%と高くなっています。

家族構成別で見ると、「自宅」は夫婦とその子どもと高齢者の世帯(3世代同居)で42.7%と高く、「病院」「介護施設」は夫婦と高齢者の世帯でいずれも高くなっています。



		件数	自宅	病院	介護施設	その他	わからない	無回答
全体		1,005 100.0	374 37.2	150 14.9	43 4.3	24 2.4	403 40.1	11 1.1
年齢	40～44歳	171 100.0	75 43.9	16 9.4	11 6.4	3 1.8	66 38.6	-
	45～49歳	203 100.0	79 38.9	23 11.3	4 2.0	10 4.9	85 41.9	2
	50～54歳	246 100.0	79 32.1	46 18.7	6 2.4	6 2.4	107 43.5	2
	55～59歳	197 100.0	78 39.6	35 17.8	11 5.6	1 0.5	70 35.5	2
	60～64歳	175 100.0	59 33.7	26 14.9	11 6.3	4 2.3	73 41.7	2
	65～69歳	100 100.0	37 37.0	23 23.0	10 10.0	5 5.0	25 25.0	5
家族構成	ひとり暮らし	60 100.0	22 36.7	6 10.0	5 8.3	-	27 45.0	-
	夫婦ふたり暮らし	167 100.0	54 32.3	27 16.2	10 6.0	3 1.8	71 42.5	2
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯(3世代同居)	131 100.0	56 42.7	17 13.0	2 1.5	3 2.3	51 38.9	2
	夫婦とその子どもの世帯	457 100.0	182 39.8	64 14.0	16 3.5	12 2.6	182 39.8	1
	夫婦と高齢者の世帯	37 100.0	11 29.7	8 21.6	4 10.8	1 2.7	13 35.1	-
	その他の世帯	140 100.0	47 33.6	25 17.9	5 3.6	5 3.6	55 39.3	3

Ⅱ 調査の結果 3 若年者調査

5-2 看取りについて

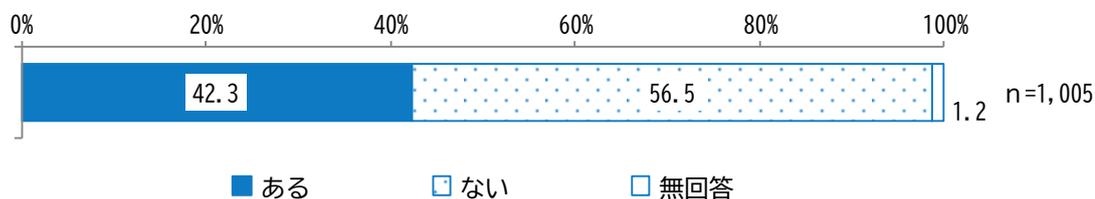
問22 看取りに関することについてお聞きします。(○印はそれぞれ1つだけ)  
 (1) あなたは、人生の最終段階における医療・介護について、これまでに考えたことがありますか。

人生の最終段階の医療・介護について考えたことが「ある」人は 42.3%となっています。

性別でみると、「ある」は女性で 50.6%と高くなっています。

年齢別でみると、「ある」は 60～64 歳で 50.9%と高くなっています。

家族構成別でみると、「ある」は夫婦ふたり暮らしで 52.1%、夫婦と高齢者の世帯で 48.6%といずれも高くなっています。



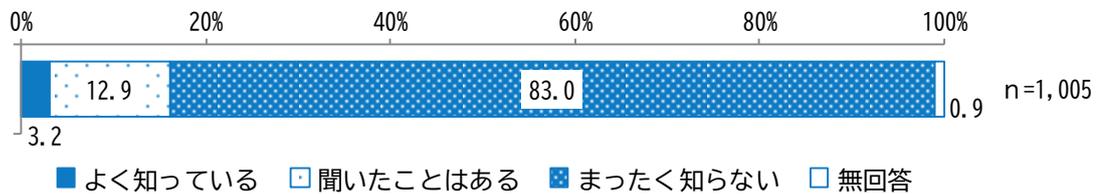
		件数	ある	ない	無回答
全 体		1,005 100.0	425 42.3	568 56.5	12 1.2
性 別	男性	444 100.0	141 31.8	300 67.6	3 0.7
	女性	541 100.0	274 50.6	261 48.2	6 1.1
年 齢	40～44歳	171 100.0	67 39.2	104 60.8	-
	45～49歳	203 100.0	81 39.9	120 59.1	2 1.0
	50～54歳	246 100.0	92 37.4	152 61.8	2 0.8
	55～59歳	197 100.0	90 45.7	105 53.3	2 1.0
	60～64歳	175 100.0	89 50.9	83 47.4	3 1.7
家 族 構 成	ひとり暮らし	60 100.0	24 40.0	35 58.3	1 1.7
	夫婦ふたり暮らし	167 100.0	87 52.1	80 47.9	-
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯(3世代同居)	131 100.0	55 42.0	74 56.5	2 1.5
	夫婦とその子どもの世帯	457 100.0	173 37.9	282 61.7	2 0.4
	夫婦と高齢者の世帯	37 100.0	18 48.6	19 51.4	-
	その他の世帯	140 100.0	63 45.0	73 52.1	4 2.9

(2) あなたは、アドバンス・ケア・プランニング（ACP、愛称：人生会議）について知っていますか。（○は1つ）

アドバンス・ケア・プランニングの認知度は、「まったく知らない」（83.0%）が最も高く、『言葉は知っている』（「よく知っている」「聞いたことはある」の計）は16.1%となっています。

年齢別でみると、『言葉は知っている』は年齢が上がるにつれて割合が高く、60～64歳で19.4%となっています。

家族構成別でみると、『言葉は知っている』は夫婦ふたり暮らしで23.4%と高く、夫婦と高齢者の世帯で5.4%と低くなっています。



		件数	よく知っている (%)	聞いたことはある (%)	まったく知らない (%)	無回答 (%)
全体		1,005	3.2	12.9	83.0	0.9
年齢	40～44歳	171	3.5	9.9	86.5	-
	45～49歳	203	5.4	8.9	85.2	0.5
	50～54歳	246	3.7	11.8	83.7	0.8
	55～59歳	197	1.5	15.7	81.7	1.0
	60～64歳	175	3	17.7	79.4	1.1
	65～69歳	194	1.5	15.4	82.9	0.8
家族構成	ひとり暮らし	60	-	9	50	1
	夫婦ふたり暮らし	167	3.6	19.8	76.6	-
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯（3世代同居）	131	6.1	5.3	87.8	0.8
	夫婦とその子どもの世帯	457	2.8	12.5	84.2	0.4
	夫婦と高齢者の世帯	37	-	5.4	94.6	-
	その他の世帯	140	3.6	12.9	81.4	2.1
	その他	113	3.5	12.4	83.9	0.8

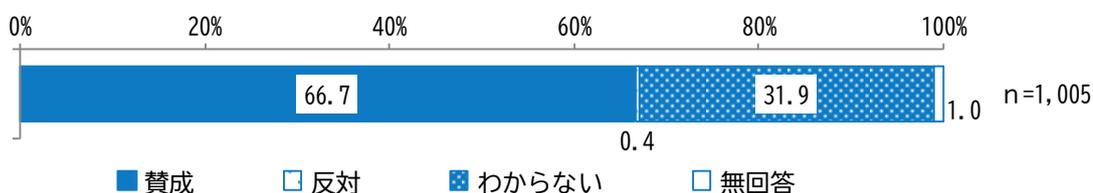
(3) 人生の最終段階の医療・療養について、あなたの意思に沿った医療を受けたり療養をするためには、ご家族等や医療介護関係者等とあらかじめ話し合い、また繰り返し話し合うこと（アドバンス・ケア・プランニング）が重要と言われています。このような話し合いを進めることについて、あなたはどのように思いますか。  
(○は1つ)

アドバンス・ケア・プランニングに対する賛否の考えは、「賛成」が 66.7%、「反対」が 0.4%、「わからない」が 31.9%となっています。

性別でみると、「賛成」は女性で 72.1%と高くなっています。

年齢別でみると、「賛成」は 40～44 歳で 76.0%と高くなっています。

家族構成別でみると、「わからない」はひとり暮らしで 40.0%、夫婦と高齢者の世帯で 37.8%とそれぞれ高くなっています。



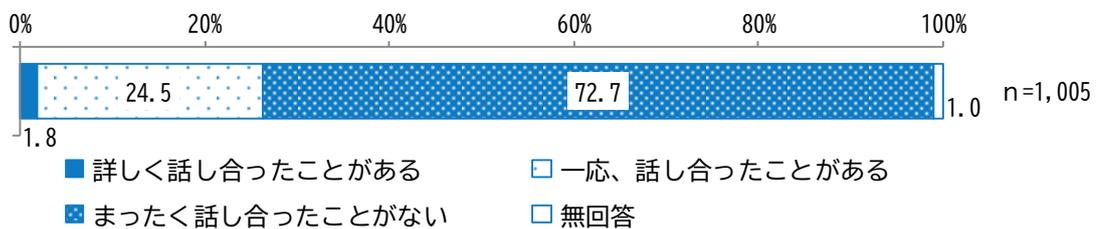
		件数	賛成	反対	わからない	無回答
全体		1,005	670	4	321	10
		100.0	66.7	0.4	31.9	1.0
性別	男性	444	269	3	169	3
		100.0	60.6	0.7	38.1	0.7
性別	女性	541	390	1	145	5
		100.0	72.1	0.2	26.8	0.9
年齢	40～44歳	171	130	1	40	-
		100.0	76.0	0.6	23.4	-
	45～49歳	203	137	3	61	2
		100.0	67.5	1.5	30.0	1.0
	50～54歳	246	152	-	92	2
	100.0	61.8	-	37.4	0.8	
年齢	55～59歳	197	133	-	61	3
		100.0	67.5	-	31.0	1.5
年齢	60～64歳	175	114	-	60	1
		100.0	65.1	-	34.3	0.6
家族構成	ひとり暮らし	60	35	-	24	1
		100.0	58.3	-	40.0	1.7
	夫婦ふたり暮らし	167	112	1	53	1
		100.0	67.1	0.6	31.7	0.6
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯（3世代同居）	131	85	-	45	1
		100.0	64.9	-	34.4	0.8
家族構成	夫婦とその子どもの世帯	457	323	1	131	2
		100.0	70.7	0.2	28.7	0.4
家族構成	夫婦と高齢者の世帯	37	23	-	14	-
		100.0	62.2	-	37.8	-
家族構成	その他の世帯	140	87	2	48	3
		100.0	62.1	1.4	34.3	2.1

(4) 人生の最終段階において、受けた医療・介護、受けたくない医療・介護について、ご家族等や医療介護関係者と話し合ったことはありますか。(〇は1つ)

アドバンス・ケア・プランニングの実施の有無は、「まったく話し合ったことがない」(72.7%)が最も高く、『話し合ったことがある』(「詳しく話し合ったことがある」「一応、話し合ったことはある」の計)は26.3%となっています。

性別でみると、『話し合ったことがある』は男性で20.5%と低くなっています。

家族構成別でみると、『話し合ったことがある』は夫婦ふたり暮らしで38.3%と高く、ひとり暮らしで13.4%と低くなっています。



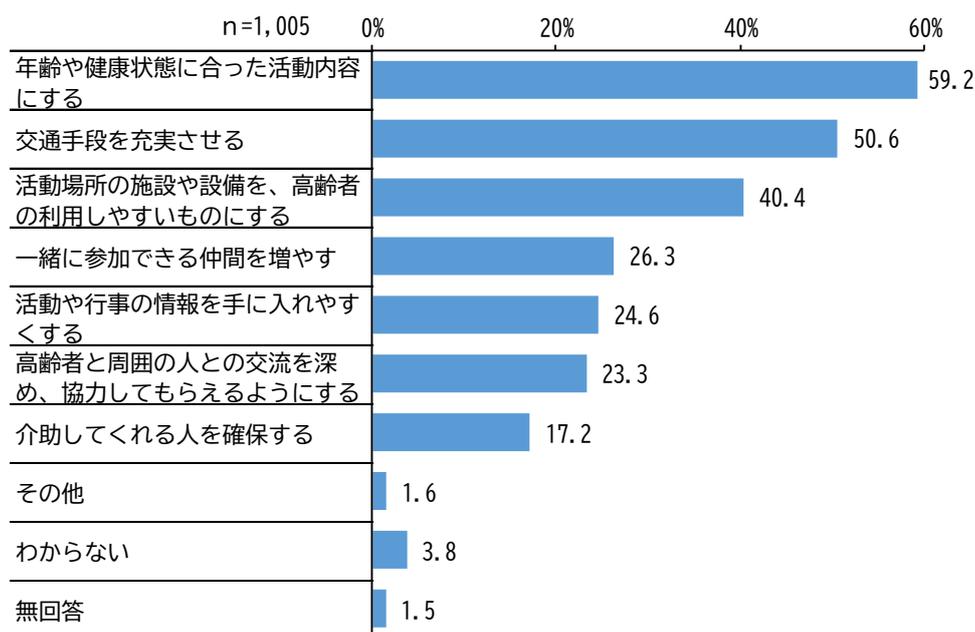
		件数	詳しく話し合った割合 (%)	一応、話し合った割合 (%)	まったく話し合ったことがない (%)	無回答 (%)
全体		1,005	1.8	24.5	72.7	1.0
性別	男性	444	0.9	19.6	78.6	0.9
	女性	541	2.4	28.5	68.4	0.7
家族構成	ひとり暮らし	60	1.7	11.7	83.3	3.3
	夫婦ふたり暮らし	167	3.0	35.3	61.7	-
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯(3世代同居)	131	1.5	22.9	74.8	0.8
	夫婦とその子どもの世帯	457	1.5	22.3	75.7	0.4
	夫婦と高齢者の世帯	37	-	24.3	75.7	-
	その他の世帯	140	0.7	27.1	70.0	2.1

## (6) 生きがい・社会参加について

### 6-1 高齢者の社会参加に必要なこと

問23 高齢者が行事や活動に参加するには、どのようなことが必要と考えますか。  
(○印は3つまで)

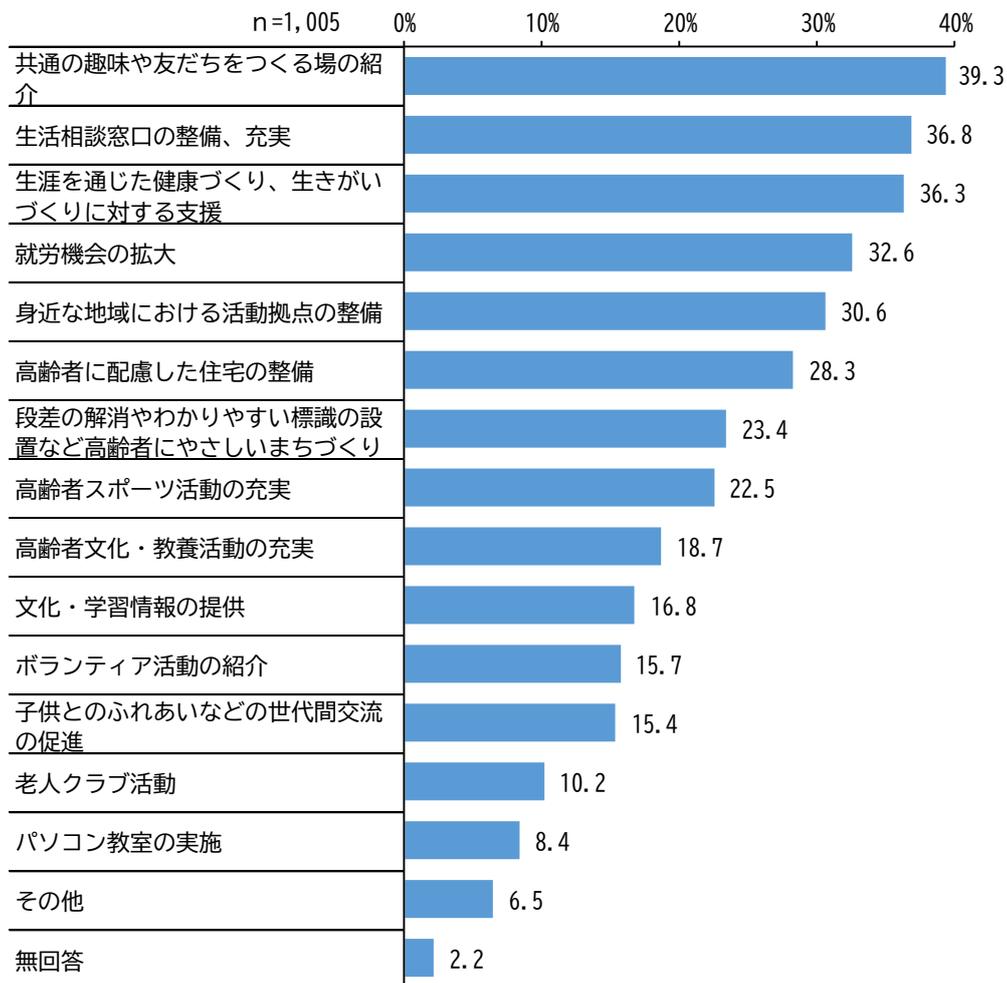
「年齢や健康状態に合った活動内容にする」(59.2%) が最も高く、次いで「交通手段を充実させる」(50.6%)、「活動場所の施設や設備を、高齢者の利用しやすいものにする」(40.4%)、「一緒に参加できる仲間を増やす」(26.3%)、「活動や行事の情報を手に入れやすくする」(24.6%) となっています。



6-2 高齢者の生きがいのある暮らしのために注力すべきこと

問24 高齢者が生きがいをもって快適に暮らすために、今後、市が特に力を入れるべきと思うものをお答えください。（○印は5つまで）

「共通の趣味や友だちをつくる場の紹介」（39.3%）が最も高く、次いで「生活相談窓口の整備、充実」（36.8%）、「生涯を通じた健康づくり、生きがいづくりに対する支援」（36.3%）、「就労機会の拡大」（32.6%）、「身近な地域における活動拠点（集会所、老人憩いの家等）の整備」（30.6%）、「高齢者に配慮した住宅の整備」（28.3%）、「段差の解消やわかりやすい標識の設置など高齢者にやさしいまちづくり」（23.4%）となっています。



II 調査の結果 3 若年者調査

性別でみると、「生活相談窓口の整備、充実」は女性で41.8%と高くなっています。

年齢別でみると、「共通の趣味や友だちをつくる場の紹介」「子供とのふれあいなどの世代間交流の促進」は40～44歳で、「就労機会の拡大」は50～54歳で、「高齢者に配慮した住宅の整備」は55～59歳で、「生涯を通じた健康づくり、生きがいをいづくりに対する支援」「文化・学習情報の提供」は60～64歳でそれぞれ高くなっています。

家族構成別でみると、「生活相談窓口の整備、充実」「高齢者に配慮した住宅の整備」はひとり暮らしで高く、「ボランティア活動の紹介」は夫婦と高齢者の世帯で高くなっています。

中学校区別でみると、「身近な地域における活動拠点の整備」は明祥で42.6%と高くなっています。

	件数	く 共 通 の 趣 味 や 友 だ ち を つ	実 生 活 相 談 窓 口 の 整 備 、 充 実	生 涯 を 通 じ た 健 康 づ く り に 対 する 支 援	就 労 機 会 の 拡 大	身 近 な 地 域 に お け る 活 動 拠 点 の 整 備	高 齢 者 に 配 慮 し た 住 宅 の 整 備	に や さ し い ま ち づ く り	段 差 の 解 消 や わ か り や す い ま ち づ く り	実 高 齢 者 ス ポ ー ツ 活 動 の 充 実	高 齢 者 文 化 ・ 教 養 活 動 の 充 実	文 化 ・ 学 習 情 報 の 提 供	ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 の 紹 介	世 代 間 交 流 の 促 進	子 供 と の ふ れ あ い な ど の 促 進	老 人 ク ラ ブ 活 動	パ ソ コ ン 教 室 の 実 施	そ の 他	無 回 答	
全 体	1,005 100.0	395 39.3	370 36.8	365 36.3	328 32.6	308 30.6	284 28.3	235 23.4	226 22.5	188 18.7	169 16.8	158 15.7	155 15.4	103 10.2	84 8.4	65 6.5	22 2.2			
性 別	男性	444 100.0	192 43.2	137 30.9	145 32.7	145 32.7	140 31.5	107 24.1	89 20.0	120 27.0	64 14.4	75 16.9	74 16.7	70 15.8	58 13.1	44 9.9	32 7.2	10 2.3		
	女性	541 100.0	196 36.2	226 41.8	213 39.4	178 32.9	164 30.3	170 31.4	139 25.7	103 19.0	122 22.6	93 17.2	81 15.0	84 15.5	44 8.1	40 7.4	33 6.1	10 1.8		
年 齢	40～44歳	171 100.0	76 44.4	66 38.6	63 36.8	54 31.6	56 32.7	41 24.0	45 26.3	46 26.9	33 19.3	29 17.0	28 16.4	37 21.6	23 13.5	15 8.8	6 3.5	1 0.6		
	45～49歳	203 100.0	86 42.4	67 33.0	71 35.0	75 36.9	70 34.5	64 31.5	51 25.1	34 16.7	22 10.8	23 11.3	33 16.3	39 19.2	27 13.3	12 5.9	19 9.4	4 2.0		
	50～54歳	246 100.0	89 36.2	99 40.2	82 33.3	93 37.8	62 25.2	76 30.9	57 23.2	55 22.4	48 19.5	36 14.6	28 11.4	35 14.2	19 7.7	21 8.5	22 8.9	7 2.8		
	55～59歳	197 100.0	74 37.6	79 40.1	66 33.5	57 28.9	57 28.9	66 33.5	46 23.4	50 25.4	48 24.4	36 18.3	35 17.8	23 11.7	20 10.2	19 9.6	8 4.1	3 1.5		
	60～64歳	175 100.0	68 38.9	56 32.0	76 43.4	46 26.3	57 32.6	36 20.6	33 18.9	40 22.9	36 20.6	44 25.1	31 17.7	21 12.0	13 7.4	17 9.7	10 5.7	4 2.3		
家 族 構 成	ひとり暮らし	60 100.0	19 31.7	32 53.3	23 38.3	18 30.0	21 35.0	27 45.0	16 26.7	9 15.0	11 18.3	8 13.3	15 25.0	4 6.7	3 5.0	3 3.3	4 6.7	2 3.3		
	夫婦ふたり暮らし	167 100.0	64 38.3	67 40.1	59 35.3	49 29.3	46 27.5	49 29.3	41 24.6	32 19.2	33 19.8	39 23.4	24 14.4	30 18.0	13 7.8	14 8.4	8 4.8	2 1.2		
	夫婦とその子どもと高齢者の世帯(3世代同居)	131 100.0	60 45.8	36 27.5	39 29.8	54 41.2	48 36.6	24 18.3	22 16.8	32 24.4	30 22.9	23 17.6	18 13.7	24 18.3	16 12.2	12 9.2	12 9.2	4 3.1		
	夫婦とその子どもの世帯	457 100.0	196 42.9	155 33.9	167 36.5	154 33.7	146 31.9	124 27.1	108 23.6	122 26.7	88 19.3	70 15.3	69 15.1	71 15.5	49 10.7	40 8.8	25 5.5	8 1.8		
	夫婦と高齢者の世帯	37 100.0	12 32.4	15 40.5	17 45.9	10 27.0	9 24.3	5 13.5	8 21.6	11 29.7	5 13.5	5 13.5	11 29.7	6 16.2	7 18.9	3 8.1	1 2.7	-		
	その他の世帯	140 100.0	42 30.0	60 42.9	53 37.9	39 27.9	33 23.6	53 37.9	39 27.9	18 12.9	20 14.3	22 15.7	19 13.6	20 14.3	13 9.3	13 9.3	14 10.0	3 2.1		
中 学 校 区	安城南	129 100.0	53 41.1	59 45.7	49 38.0	44 34.1	36 27.9	40 31.0	32 24.8	30 23.3	31 24.0	27 20.9	22 17.1	16 12.4	16 12.4	13 10.1	6 4.7	-		
	安城北	133 100.0	62 46.6	44 33.1	53 39.8	49 36.8	42 31.6	36 27.1	29 21.8	31 23.3	25 18.8	28 21.1	22 16.5	13 9.8	11 8.3	5 3.8	1 0.8			
	明祥	129 100.0	46 35.7	39 30.2	42 32.6	37 28.7	55 42.6	32 24.8	27 20.9	30 23.3	24 18.6	17 13.2	22 17.1	23 17.8	18 14.0	10 7.8	12 9.3	3 2.3		
	安城西	119 100.0	45 37.8	53 44.5	32 26.9	37 31.1	40 33.6	31 26.1	34 28.6	27 22.7	21 17.6	17 14.3	12 10.1	24 20.2	6 5.0	12 10.1	8 6.7	3 2.5		
	桜井	115 100.0	52 45.2	36 31.3	39 33.9	34 29.6	34 29.6	33 28.7	28 24.3	28 24.3	24 20.9	20 17.4	13 11.3	18 15.7	14 12.2	9 7.8	3 2.6	3 2.6		
	東山	128 100.0	50 39.1	43 33.6	56 43.8	45 35.2	38 29.7	37 28.9	27 21.1	27 21.1	27 21.1	18 14.1	17 13.3	22 17.2	9 7.0	9 7.0	8 6.3	3 2.3		
	安祥	106 100.0	41 38.7	44 41.5	32 30.2	35 33.0	30 28.3	36 34.0	24 22.6	24 22.6	22 20.8	19 17.9	19 17.9	10 9.4	11 10.4	12 11.3	5 4.7	1 0.9		
	篠目	104 100.0	36 34.6	34 32.7	45 43.3	36 34.6	19 18.3	26 25.0	23 22.1	25 24.0	11 10.6	21 20.2	20 19.2	16 15.4	11 10.6	5 4.8	14 13.5	2 1.9		

## 6-3 高齢者福祉や介護保険についての意見・要望

問25 高齢者福祉や介護保険について、ご意見・要望がありましたらご自由にお書きください。

高齢者福祉や介護保険については、下記のような内容で、196 人から 215 件のご意見・ご要望をいただきました。

	内 容 (例)	件数
1	情報提供、相談、啓発等について	29
2	移動、交通について	23
3	介護保険制度について	19
4	スポーツ、文化活動等について	13
5	施設福祉サービスについて	11
6	地域活動、ボランティア等について	10
7	在宅福祉サービスについて	8
8	生活環境について	8
9	雇用、就業について	5
10	健康、介護予防等について	5
11	福祉行政全般について	48
12	自身の現状、将来の不安等	21
13	アンケートに関すること	6
14	その他	9
	合 計	215

## 4 在宅生活改善調査

### (1) 事業所調査

#### 1-1 ケアマネジャーの人数、利用者数

問1 貴事務所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

所属ケアマネジャーの人数は、21 事業所で合計 78 人となっています。

自宅等に居住する利用者数は、21 事業所で合計 1,836 人となっています。

サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームのいずれかに居住する利用者数は、21 事業所で合計 274 人となっており、利用者数は総計 2,110 人となっています。

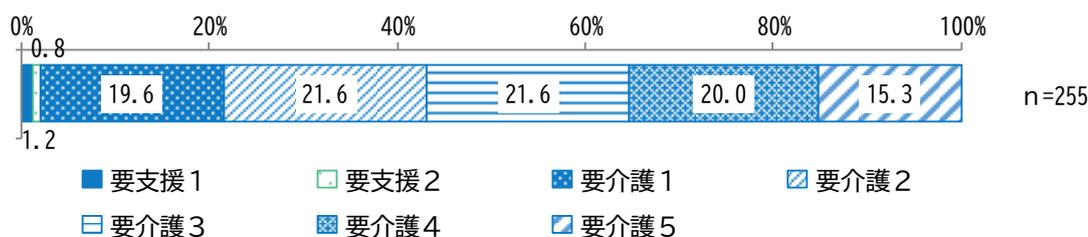
	件数	合計（人）	最小値	最大値
1) 所属ケアマネジャーの人数	21	78	1	8
2) 利用者数／自宅等に居住	21	1,836	3	180
3) 利用者数／サ高住等に居住	21	274	0	130

#### 1-2 居場所を変更した利用者数（要介護度別）

問2 貴事務所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月末日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を要介護度別にご記入ください。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者は、21 事業所で合計 255 人となっています。

要介護度別でみると、要介護2・3（ともに 21.6%）が最も高く、次いで要介護4（20.0%）、要介護1（19.6%）となっています。



1-3 居場所を変更した利用者数（行き先別）

問3 貴事務所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月末日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から居場所を変更した利用者数」を行き先別にご記入ください。

過去1年間に自宅等から居場所を変更した利用者数 241 人<sup>※1</sup> を行先別でみると、市内が195人（80.9%）、市外が43人（17.8%）となっています。市内では「介護老人保健施設」が68人（28.2%）で最も多く、次いで「特別養護老人ホーム」が41人（17.0%）、「サービス付き高齢者向け住宅」が28人（11.6%）、「グループホーム」が15人（6.2%）となっています。市外では「サービス付き高齢者向け住宅」が12人（5.0%）、「兄弟・子ども・親戚等の家」が8人（3.3%）、「介護老人保健施設」が7人（2.9%）となっています。

また、自宅等で死亡した利用者数は合計193人でした。

事業所調査の回収率（21/34=61.8%）から逆算すると、安城市全体で過去1年間に自宅等から居所を変更した利用者数（粗推計<sup>※2</sup>）は390人、安城市全体で過去1年間に自宅等で死亡した利用者数（粗推計）は312人となります。

※1 問2の255人と異なるのは、問2で死亡者を含めて回答した事業所があったため。

※2 「粗推計」は、利用者数に回収率の逆数を乗じて簡易的に算出しています。

行先	市内	市外	合計
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	3 1.2	8 3.3	11 4.6
2) 住宅型有料老人ホーム	13 5.4	5 2.1	18 7.5
3) 軽費老人ホーム	4 1.7	0 0.0	4 1.7
4) サービス付き高齢者向け住宅	28 11.6	12 5.0	40 16.6
5) グループホーム	15 6.2	1 0.4	16 6.6
6) 特定施設	1 0.4	1 0.4	2 0.8
7) 地域密着型特定施設	7 2.9	0 0.0	7 2.9
8) 介護老人保健施設	68 28.2	7 2.9	75 31.1
9) 療養型・介護医療院	1 0.4	3 1.2	4 1.7
10) 特別養護老人ホーム	41 17.0	5 2.1	46 19.1
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	7 2.9	0 0.0	7 2.9
12) その他	7 2.9	1 0.4	8 3.3
13) 行先を把握していない			3 1.2
合計（死亡者数を含まない）	195 80.9	43 17.8	241 100.0

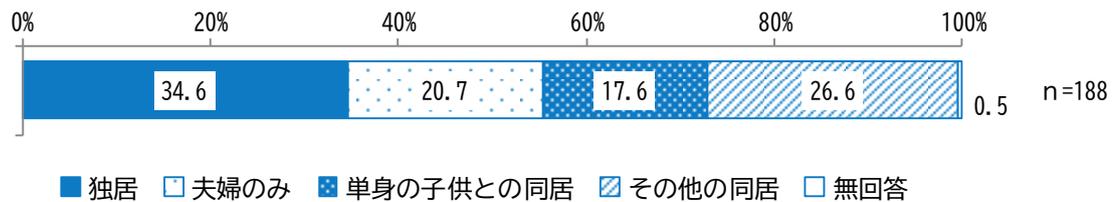
## (2) 利用者調査

### 2-1 現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

問1 対象となる利用者の状況等について、お伺いします。

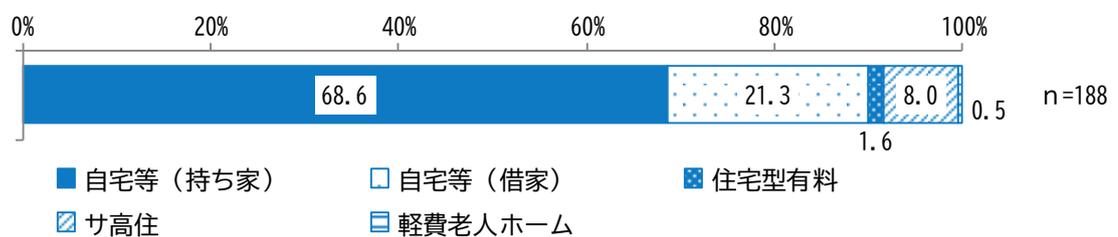
問1-1 世帯類型 (番号1つ選択)

生活の維持が難しくなっている利用者 (188 人) の世帯類型は、「独居」(34.6%) が最も高く、次いで「その他の同居」(26.6%)、「夫婦のみ」(20.7%)、「単身の子供との同居」(17.6%) となっています。



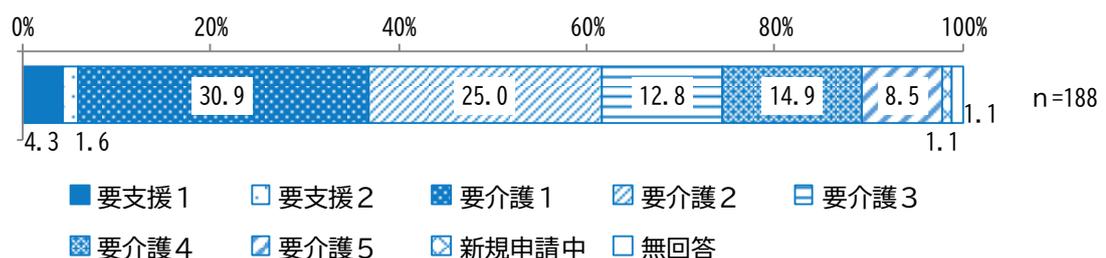
問1-2 現在の居所 (番号1つ選択)

現在の居所は、「自宅等 (持ち家)」(68.6%) が最も高く、次いで「自宅等 (借家)」(21.3%) となっており、自宅等が合計 89.9% となっています。また、サ高住 (サービス付き高齢者向け住宅) 等は合計 10.1% となっています。



問1-3 要支援・要介護度 (番号1つ選択)

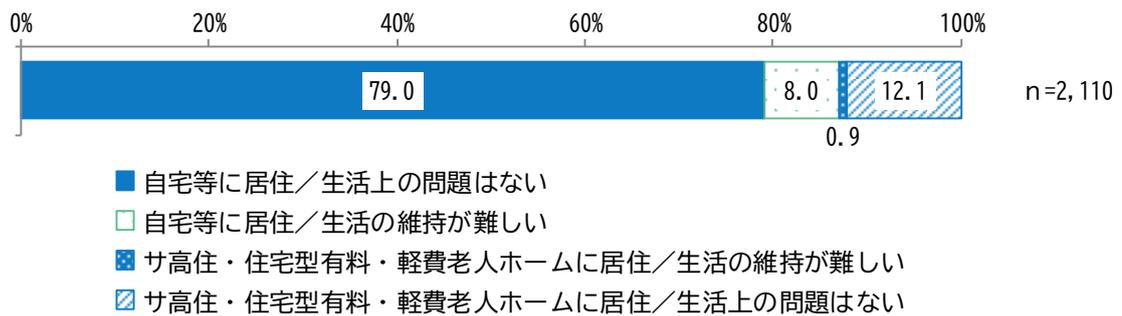
要介護度は、「要介護1」(30.9%) が最も高く、次いで「要介護2」(25.0%)、「要介護4」(14.9%) となっています。『要介護2以下』(要支援1～要介護2) は 61.8%、『要介護3以上』(要介護3～要介護5) は 36.2% となっています。



<現在、在宅での生活が難しくなっている利用者の割合>

生活の維持が難しくなっている利用者（188人）の現在の居所データ（自宅等169人、サ高住等19人）から、事業所調査問1で把握した利用者（2,110人）について、居所のタイプごとに生活の維持が難しくなっている利用者を割り出すと、「自宅等に居住／生活の維持が難しい」利用者は8.0%、「サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームに居住／生活の維持が難しい」利用者は0.9%で、生活の維持が難しくなっている利用者の割合は合計8.9%となっています。

事業所調査の回収率（61.8%）から逆算すると、安城市全体で在宅での生活の維持が難しくなっている利用者数（粗推計）は304人となります。



生活の維持が難しくなっている利用者（188人）を3属性（世帯類型、現在の居所、要支援・要介護度）を組み合わせた類型別でみると、「独居／自宅等（持ち家）／要介護2以下」（15.4%）が最も高く、次いで「その他の同居／自宅等（持ち家）／要介護2以下」（11.2%）となっています。「自宅等（持ち家）／要介護2以下」を含む4類型がいずれも上位に入っています。

順位（上位10類型）	回答数（人）	粗推計（人）	割合（%）	世帯類型	現在の居所	要支援・要介護度
1	29	47	15.4	独居	自宅等（持ち家）	要介護2以下
2	21	34	11.2	その他の同居	自宅等（持ち家）	要介護2以下
3	20	32	10.6	その他の同居	自宅等（持ち家）	要介護3以上
4	17	28	9.0	独居	自宅等（借家）	要介護2以下
4	17	28	9.0	夫婦のみ世帯	自宅等（持ち家）	要介護2以下
4	17	28	9.0	単身の子供との同居	自宅等（持ち家）	要介護2以下
7	10	16	5.3	単身の子供との同居	自宅等（持ち家）	要介護3以上
8	9	15	4.8	夫婦のみ世帯	自宅等（持ち家）	要介護3以上
9	6	10	3.2	独居	サ高住・住宅型有料・軽費	要介護3以上
10	5	8	2.7	夫婦のみ世帯	自宅等（借家）	要介護3以上
上記以外	37	60	19.7			
合計	188	304	100.0			

※「上記以外」には、要支援・要介護度が「新規申請中」の方や属性が不明な方を含めています。

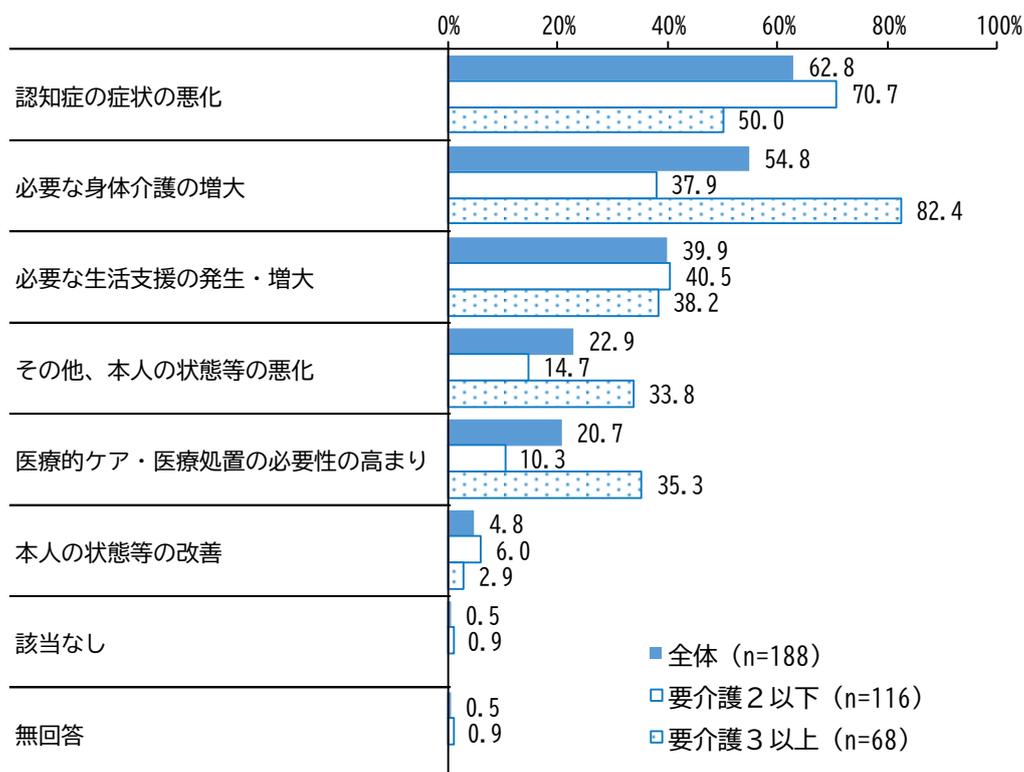
2-4 現在のサービス利用では生活の維持が難しくなっている理由

問2 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。（あてはまる番号すべて選択）

問2-1 本人の状態等に属する理由について、お答えください。

本人の状態等に属する理由としては、「認知症の症状の悪化」(62.8%)が最も高く、次いで「必要な身体介護の増大」(54.8%)、「必要な生活支援の発生・増大」(39.9%)となっています。

要介護度別でみると、要介護2以下では「認知症の症状の悪化」(70.7%)が最も高く、次いで「必要な生活支援の発生・増大」(40.5%)、「必要な身体介護の増大」(37.9%)となっています。一方、要介護3以上では「必要な身体介護の増大」(82.4%)が最も高く、次いで「認知症の症状の悪化」(50.0%)、「必要な生活支援の発生・増大」(38.2%)となっています。

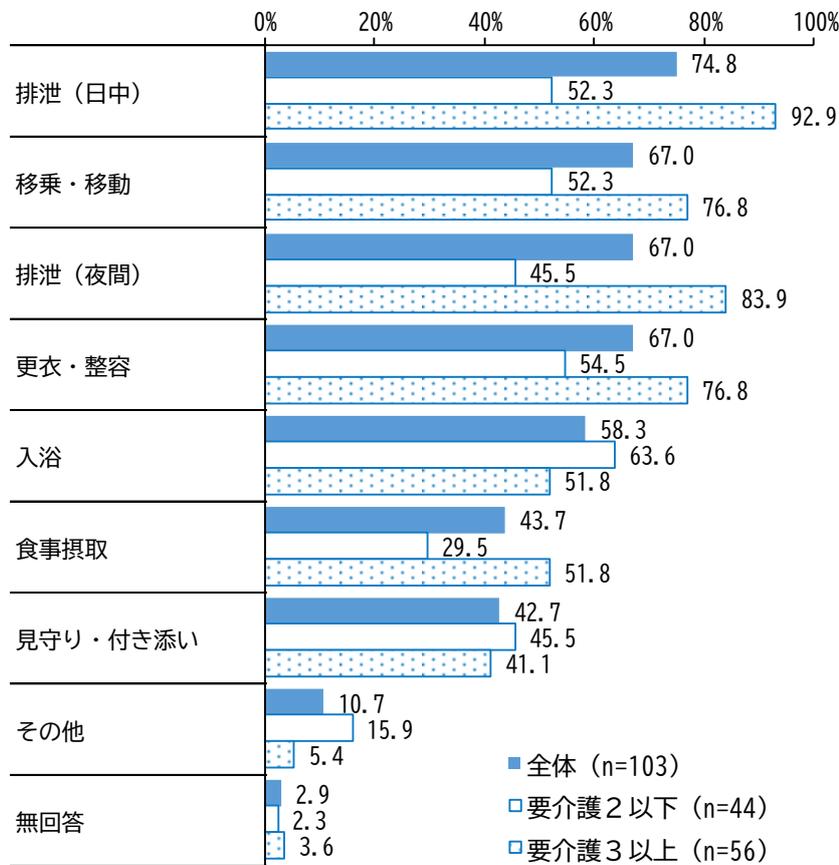


問2-1で「3. 必要な身体介護の増大」を選択の場合

問2-4 理由となる、具体的な「身体介護」をお答えください。

「必要な身体介護の増大」が理由の人の具体的な内容は、「排泄（日中）」（74.8%）が最も高く、次いで「移乗・移動」「排泄（夜間）」「更衣・整容」（いずれも 67.0%）となっています。

要介護度別でみると、要介護2以下では「入浴」（63.6%）が最も高く、次いで「更衣・整容」（54.5%）、「移乗・移動」「排泄（日中）」（ともに 52.3%）となっています。一方、要介護3以上では「排泄（日中）」（92.9%）が最も高く、次いで「排泄（夜間）」（83.9%）、「移乗・移動」「更衣・整容」（ともに 76.8%）となっています。

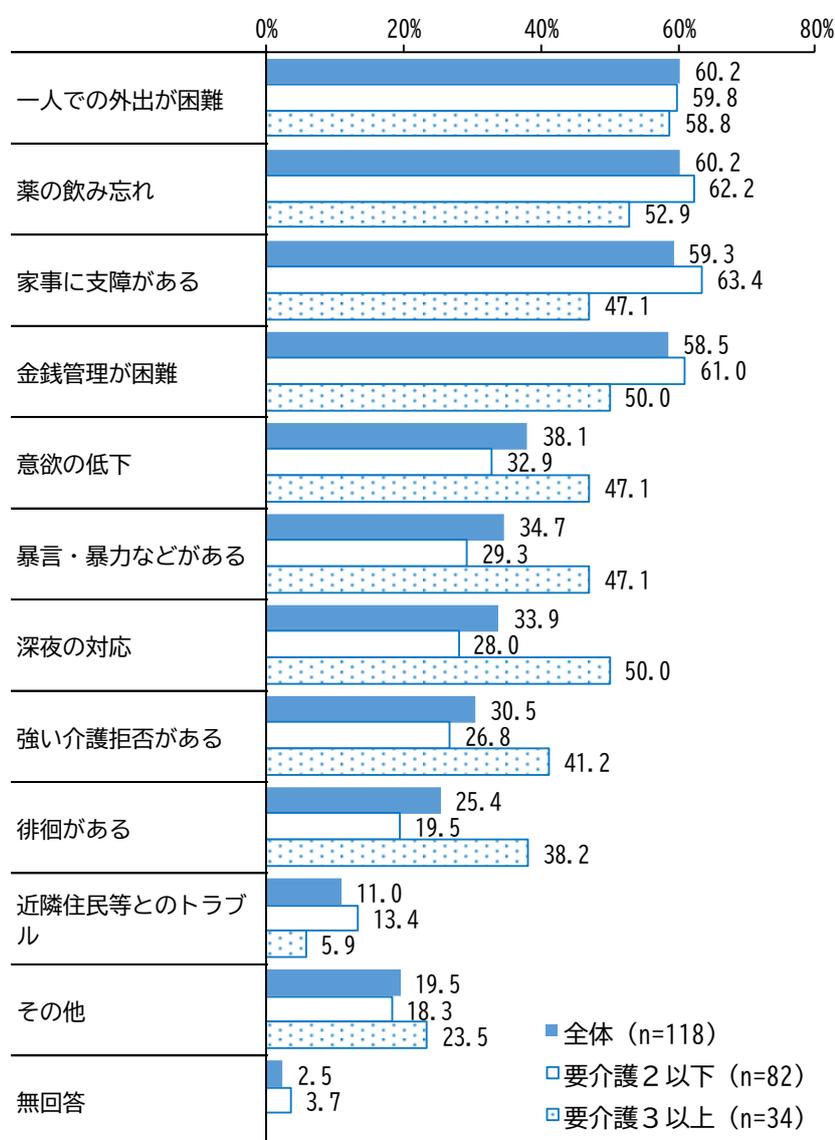


問2-1で「4. 認知症の症状の悪化」を選択の場合

問2-5 理由となる、具体的な「認知症の症状」をお答えください。

「認知症の症状の悪化」が理由の人の具体的な内容は、「一人での外出が困難」「薬の飲み忘れ」（ともに 60.2%）が最も高く、これらに次いで「家事に支障がある」（59.3%）、「金銭管理が困難」（58.5%）となっています。

要介護度別でみると、要介護2以下では「家事に支障がある」（63.4%）が最も高く、次いで「薬の飲み忘れ」（62.2%）、「金銭管理が困難」（61.0%）、「一人での外出が困難」（59.8%）となっています。一方、要介護3以上では「一人での外出が困難」（58.8%）が最も高く、次いで「薬の飲み忘れ」（52.9%）、「金銭管理が困難」「深夜の対応」（ともに 50.0%）となっています。

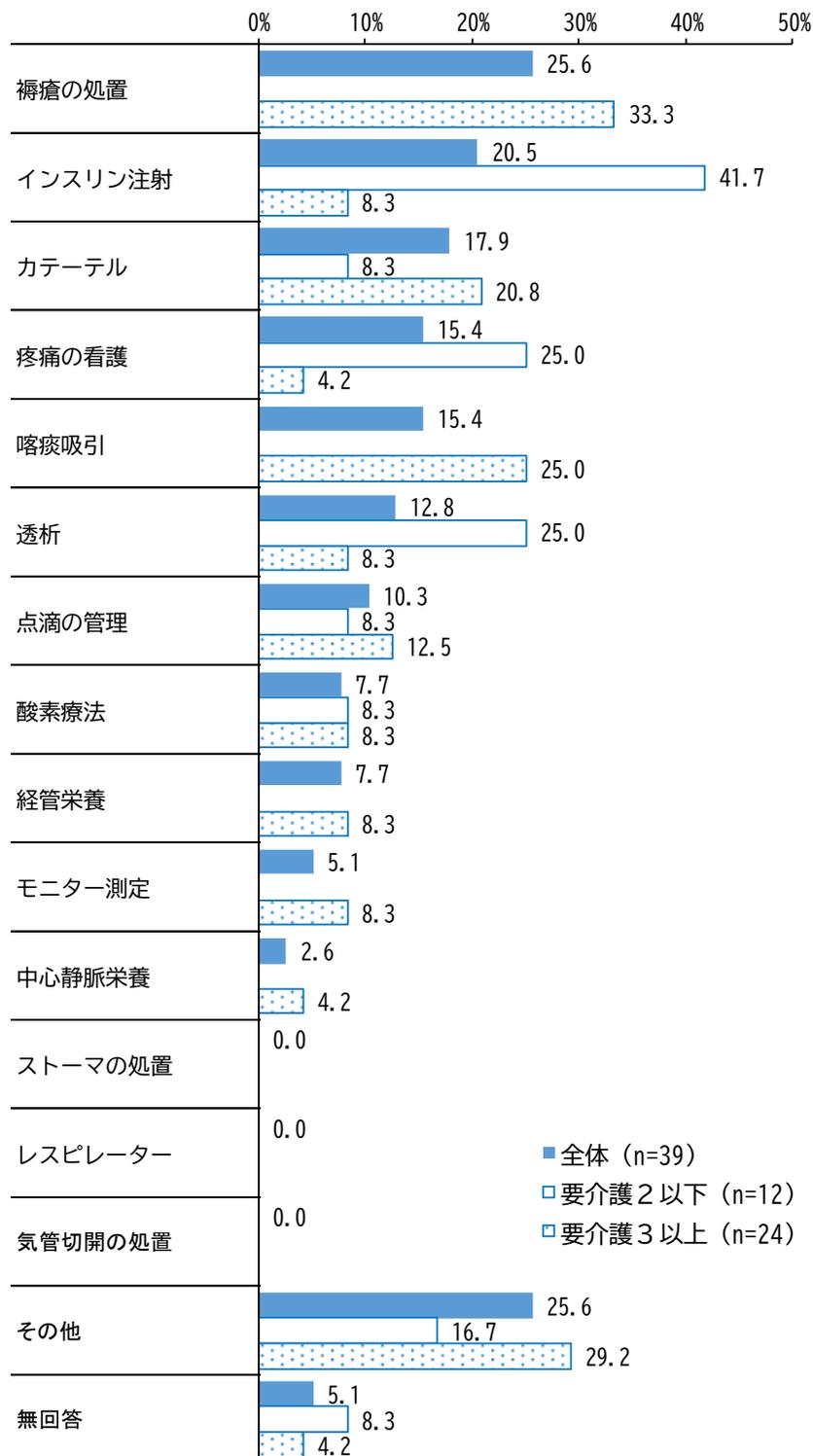


問2-1で「5. 医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」を選択の場合

問2-6 理由となる、具体的な「医療的ケア」「医療処置」をお答えください。

「医療的ケア・医療処置の必要性の高まり」が理由の人の具体的な内容は、「褥瘡の処置」「その他」（ともに 25.6%）が最も高く、これらに次いで「インスリン注射」（20.5%）、「カテーテル」（17.9%）となっています。

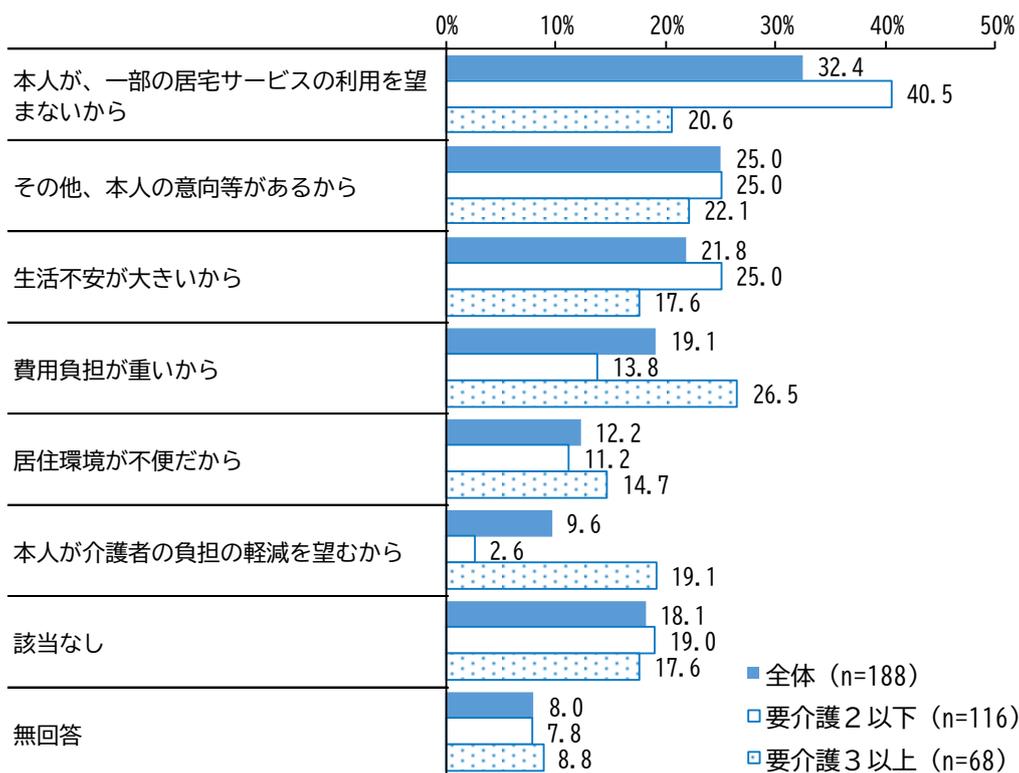
要介護度別でみると、要介護2以下では「インスリン注射」（41.7%）が最も高く、次いで「透析」「疼痛の看護」（ともに 25.0%）、「その他」（16.7%）となっています。一方、要介護3以上では「褥瘡の処置」（33.3%）が最も高く、次いで「その他」（29.2%）、「喀痰吸引」（25.0%）、「カテーテル」（20.8%）となっています。



問2 現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている理由についてお答えください。（あてはまる番号すべて選択）  
 問2-2 主に本人の意向等に属する理由について、お答えください。

本人の意向等に属する理由としては、「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」(32.4%) が最も高く、次いで「その他、本人の意向等があるから」(25.0%)、「生活不安が大きいから」(21.8%) となっています。

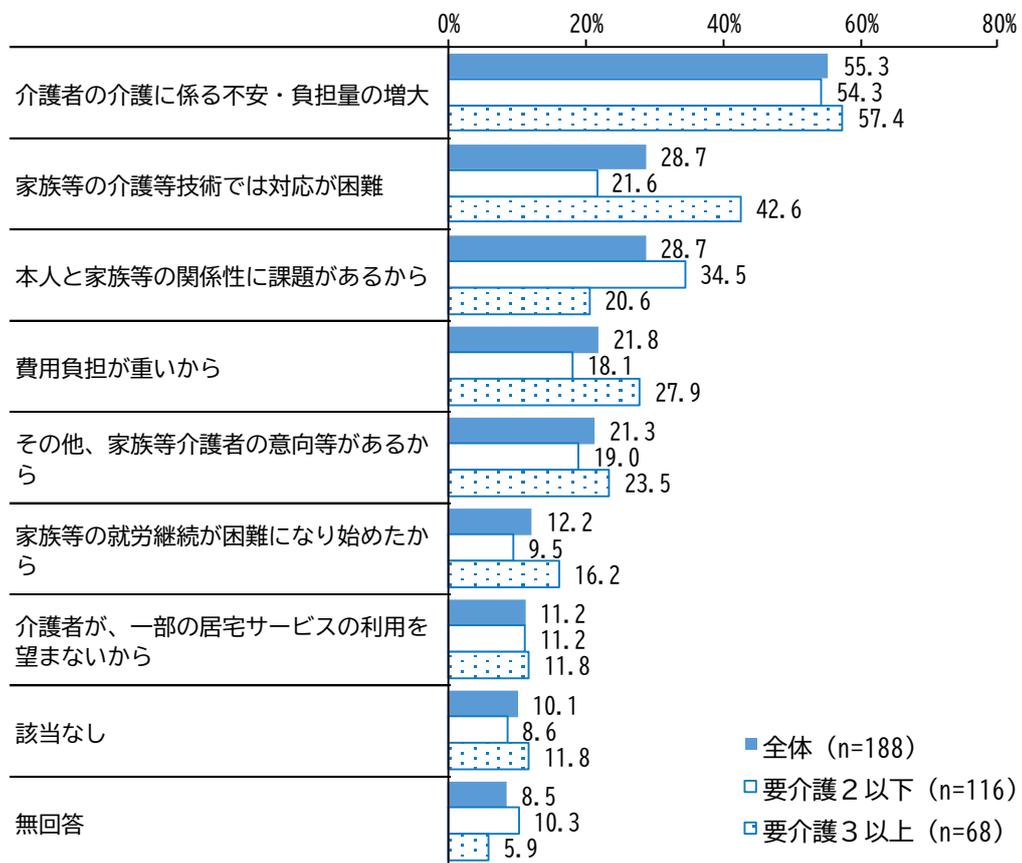
要介護度別でみると、要介護2以下では「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」(40.5%) が最も高く、次いで「生活不安が大きいから」「その他、本人の意向等があるから」(ともに 25.0%) となっています。一方、要介護3以上では「費用負担が重いから」(26.5%) が最も高く、次いで「その他、本人の意向等があるから」(22.1%)、「本人が、一部の居宅サービスの利用を望まないから」(20.6%) となっています。



問2-3 主に家族等介護者の意向・負担等に属する理由について、お答えください。

家族等介護者の意向・負担等に属する理由としては、「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」(55.3%)が最も高く、次いで「家族等の介護等技術では対応が困難」「本人と家族等の関係性に課題があるから」(ともに28.7%)となっています。

要介護度別でみると、要介護2以下では「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」(54.3%)が最も高く、次いで「本人と家族等の関係性に課題があるから」(34.5%)、「家族等の介護等技術では対応が困難」(21.6%)となっています。一方、要介護3以上では「介護者の介護に係る不安・負担量の増大」(57.4%)が最も高く、次いで「家族等の介護等技術では対応が困難」(42.6%)、「費用負担が重いから」(27.9%)となっています。

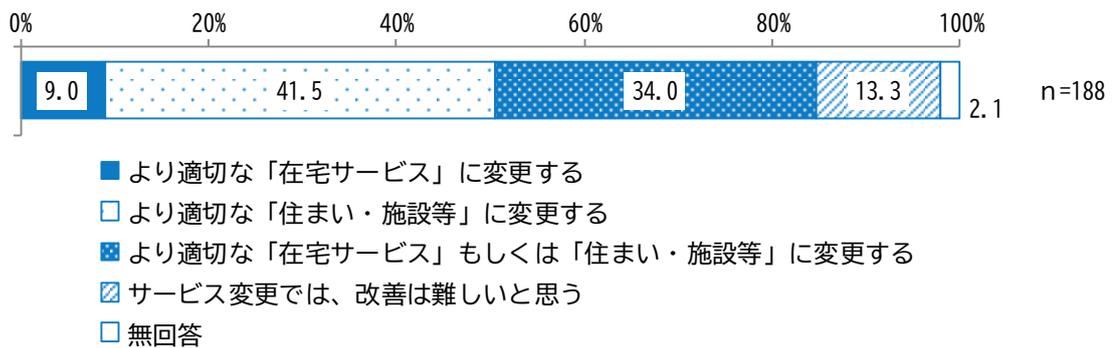


2-5 在宅生活改善のためのサービス利用の変更等の意向

問3 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況を改善するための、サービス利用の変更等について、お伺いします。

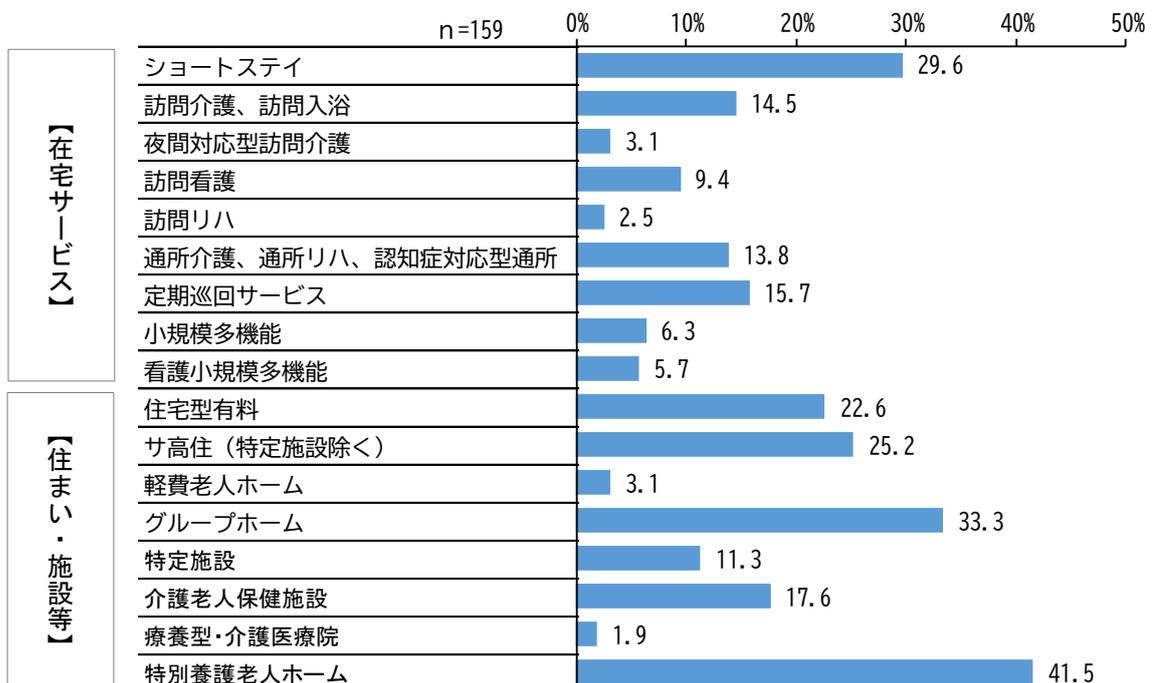
問3-1 「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている」状況に対して、どのようなサービスに変更することで改善できると思いますか。  
(番号1つ選択)

「より適切な「住まい・施設等」に変更する」(41.5%)が最も高く、次いで「より適切な「在宅サービス」もしくは「住まい・施設等」に変更する」(34.0%)となっています。また、「サービス変更では、改善は難しいと思う」は13.3%となっています。



問3-2 問3-1で選択したサービス利用の変更について、本来であればより適切と思われる、具体的なサービスをお答えください。(あてはまる番号すべて選択)

生活の改善に必要な具体的なサービスは、【在宅サービス】では「ショートステイ」(29.6%)が最も高く、次いで「定期巡回サービス」(15.7%)、「訪問介護、訪問入浴」(14.5%)となっています。一方、【住まい・施設等】では「特別養護老人ホーム」(41.5%)が最も高く、次いで「グループホーム」(33.3%)、「サ高住(特定施設除く)」(25.2%)となっています。





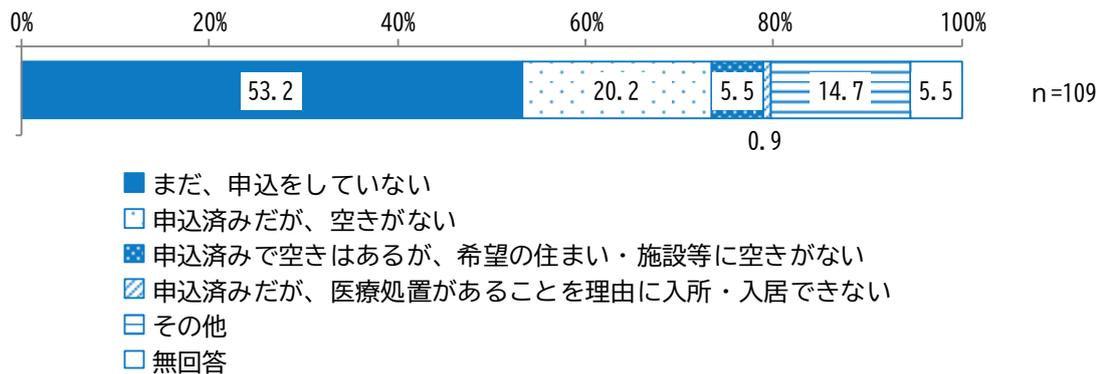
II 調査の結果 4 在宅生活改善調査

問3-2で特養以外の<住まい・施設等>（「10. 住宅型有料」～「16. 療養型・介護医療院」）を選択の場合

問3-4 入所・入居できていない理由をお答えください。（番号1つ選択）

特養以外の住まい・施設等を必要とする利用者のまだ入所・入居できていない理由は、「まだ、申込をしていない」（53.2%）が最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」（20.2%）となっています。

要介護度別でみると、「申込済みだが、空きがない」は要介護3以上（25.0%）で高くなっています。



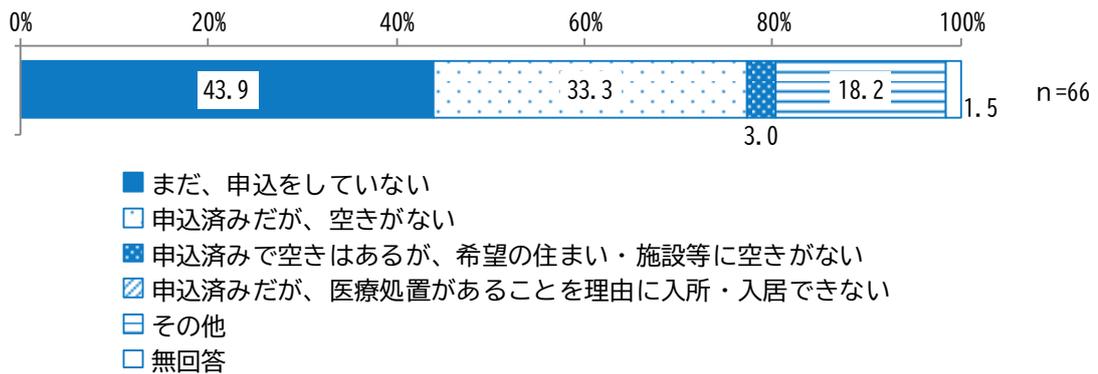
	件数	いまだ、申込をしていない	ない申込済みだが、空きがない	設等に希望の住まい・施設に空きがない	が、申込済みで空きはない	入所・入居できない	置申込済みだが、医療処置があることを理由に	その他	無回答					
全体	109	58	22	6	1	16	6	100.0	53.2	20.2	5.5	0.9	14.7	5.5
要介護2以下	84	48	16	5	-	11	4	100.0	57.1	19.0	6.0	-	13.1	4.8
要介護3以上	24	10	6	1	1	4	2	100.0	41.7	25.0	4.2	4.2	16.7	8.3

問3-2で「17. 特別養護老人ホーム」を選択の場合

問3-5 特養に入所できていない理由をお答えください。(番号1つ選択)

特養への入所を必要とする利用者のまだ入所できていない理由は、「まだ、申込をしていない」(43.9%)が最も高く、次いで「申込済みだが、空きがない」(33.3%)となっています。

要介護度別でみると、「申込済みだが、空きがない」は要介護3以上(42.9%)で高くなっています。



	件数	まだ、申込をしていない	申込済みだが、空きがない	申込済みで希望の施設に空きがない	申込済みだが、医療処置があることを理由に入所・入居できない	その他	無回答
全体	66	29	22	2	-	12	1
	100.0	43.9	33.3	3.0	-	18.2	1.5
要介護2以下	22	10	3	-	-	9	-
	100.0	45.5	13.6	-	-	40.9	-
要介護3以上	42	18	18	2	-	3	1
	100.0	42.9	42.9	4.8	-	7.1	2.4

## 5 居所変更実態調査

### (1) 施設等の概要

#### 1-1 サービス種別

問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。(1つに○)

回答施設等(27施設)のサービス種別(施設等)は、「グループホーム」が11施設、「サービス付き高齢者向け住宅」が4施設、「住宅型有料老人ホーム」「特別養護老人ホーム」がともに3施設、「介護老人保健施設」「地域密着型特別養護老人ホーム」がともに2施設、「軽費老人ホーム」「地域密着型特定施設」がともに1施設となっています。

「特定施設」と「介護療養型医療施設・介護医療院」については、回答がありませんでした。

	件数
住宅型有料	3
軽費老人ホーム	1
サ高住	4
グループホーム	11
特定施設	0
地域密着型特定施設	1
介護老人保健施設	2
療養型・介護医療院	0
特別養護老人ホーム	3
地域密着型特養	2
合計	27

1-2 施設等の概要

問2 貴施設等の概要について、以下にご記入ください。

- 2) 定員数など [人・戸・室]
- 3) 入所・入居者数
- 4) (貴施設等の) 待機者数
- 5) 特別養護老人ホームの待機者数(申込者数) ※特養・地域密着型特養は回答不要

定員数は合計 1,173 人(戸・室)、入所・入居者数は合計 1,095 人で、施設等別で見ると下表のようになっています。

入所・入居率(定員数に占める入所・入居者数の割合)は、住宅型有料老人ホーム(80.6%)及び介護老人保健施設(86.5%)では8割台で、その他の施設等ではいずれも9割以上となっています。

	件数	定員数(人・戸・室)		入所・入居者数(人)		入所・入居率(%)
		合計	平均	合計	平均	
住宅型有料	3	144	48.0	116	38.7	80.6
軽費老人ホーム	1	50	50.0	50	50.0	100.0
サ高住	4	165	41.3	153	38.3	92.7
グループホーム	11	207	18.8	205	18.6	99.0
地域密着型特定施設	1	29	29.0	28	28.0	96.6
介護老人保健施設	2	200	100.0	173	86.5	86.5
特別養護老人ホーム	3	320	106.7	312	104.0	97.5
地域密着型特養	2	58	29.0	58	29.0	100.0
合計	27	1,173	43.4	1,095	40.6	93.4

調査回答施設等への待機者数は合計 984 人、特別養護老人ホーム以外の施設等から特別養護老人ホームへの住み替え待機者数(申込者数)は合計 50 人となっています。

施設等別で見ると、待機者数は特別養護老人ホーム(平均 190.7 人)で最も多く、次いで地域密着型特別養護老人ホームで平均 81.5 人、軽費老人ホームで平均 34 人となっています。また、特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)は、介護老人保健施設で平均 18 人となっています。

	件数	待機者数(人)		特養の待機(申込)者数(人)	
		合計	平均	合計	平均
住宅型有料	3	5	1.7	2	0.7
軽費老人ホーム	1	34	34.0	0	0.0
サ高住	4	16	4.0	2	0.5
グループホーム	11	181	16.5	7	0.6
地域密着型特定施設	1	10	10.0	3	3.0
介護老人保健施設	2	3	1.5	36	18.0
特別養護老人ホーム	3	572	190.7		
地域密着型特養	2	163	81.5		
合計	27	984	36.4	50	1.9

Ⅱ 調査の結果 5 居所変更実態調査

1-3 要介護度別の入所・入居者数

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度について、ご記入ください。

現在の入所・入居者の要介護度を施設等別でみると、住宅型有料老人ホーム及び介護保険施設（介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、地域密着型特別養護老人ホーム）では「要介護4」、地域密着型特定施設では「要介護2」、サービス付き高齢者向け住宅及びグループホームでは「要介護1」、軽費老人ホームでは「自立」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

上段：実数（人） 下段：割合（％）

	件数	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明
住宅型有料	3	116 100.0	0 0.0	4 3.4	5 4.3	16 13.8	26 22.4	11 9.5	27 23.3	26 22.4	1 0.9
軽費老人ホーム	1	50 100.0	27 54.0	13 26.0	4 8.0	3 6.0	1 2.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 4.0
サ高住	4	153 100.0	13 8.5	9 5.9	8 5.2	41 26.8	29 19.0	15 9.8	23 15.0	13 8.5	2 1.3
グループホーム	11	205 100.0			2 1.0	84 41.0	55 26.8	24 11.7	21 10.2	17 8.3	2 1.0
地域密着型特定施設	1	28 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 17.9	9 32.1	6 21.4	5 17.9	3 10.7	0 0.0
介護老人保健施設	2	173 100.0				30 17.3	35 20.2	28 16.2	54 31.2	26 15.0	0 0.0
特別養護老人ホーム	3	312 100.0				3 1.0	1 0.3	102 32.7	135 43.3	71 22.8	0 0.0
地域密着型特養	2	58 100.0				0 0.0	0 0.0	17 29.3	28 48.3	13 22.4	0 0.0
合計	27	1,095 100.0	40 3.7	26 2.4	19 1.7	182 16.6	156 14.2	203 18.5	293 26.8	169 15.4	7 0.6

1-4 医療処置の実施状況

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。

医療処置の実施状況は、全体では「喀痰吸引」の割合が最も高く、次いで「経管栄養」「カテーテル」「褥瘡の処置」「酸素療法」「点滴の管理」が高くなっています。

施設等別でみると、医療処置を受けている利用者は特別養護老人ホーム、住宅型有料老人ホーム、介護老人保健施設が多く、特別養護老人ホームでは「喀痰吸引」、住宅型有料老人ホーム、介護老人保健施設では「経管栄養」、サービス付き高齢者向け住宅では「カテーテル」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

	件数	合計	上段：実数（人） 下段：割合（％）											
			点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン注射
住宅型有料	3	49	3	0	2	2	4	0	12	0	5	7	7	7
		100.0	6.1	0.0	4.1	4.1	8.2	0.0	24.5	0.0	10.2	14.3	14.3	14.3
軽費老人ホーム	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
サ高住	4	16	1	1	2	1	2	0	1	0	1	4	3	0
		100.0	6.3	6.3	12.5	6.3	12.5	0.0	6.3	0.0	6.3	25.0	18.8	0.0
グループホーム	11	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
		100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
地域密着型特定施設	1	5	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	1
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0
介護老人保健施設	2	32	1	0	0	2	3	0	12	0	2	2	10	0
		100.0	3.1	0.0	0.0	6.3	9.4	0.0	37.5	0.0	6.3	6.3	31.3	0.0
特別養護老人ホーム	3	82	9	0	1	2	7	2	14	1	7	9	28	2
		100.0	11.0	0.0	1.2	2.4	8.5	2.4	17.1	1.2	8.5	11.0	34.1	2.4
地域密着型特養	2	7	0	0	0	2	1	0	0	0	3	1	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	42.9	14.3	0.0	0.0
合計	27	196	15	1	5	9	17	4	39	1	19	24	50	12
		100.0	7.7	0.5	2.6	4.6	8.7	2.0	19.9	0.5	9.7	12.2	25.5	6.1

※「合計」は重複処置者を含んでおり、医療処置を受けている利用者の実人数とは異なります。

## (2) 過去1年間の新規の入所・入居者について

### 2-1 過去1年間の新規の入所・入居者数

問5 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月末日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

過去1年間の新規の入所・入居者数は、合計486人、1施設あたり平均18人となっています。

施設等別で見ると、介護老人保健施設で1施設あたり平均83人、特別養護老人ホームで平均38人、住宅型有料老人ホームで平均約19人、サービス付き高齢者向け住宅で平均約18人となっています。

	件数	新規の入所・入居者数（人）	
		合計	平均
住宅型有料	3	56	18.7
軽費老人ホーム	1	4	4.0
サ高住	4	73	18.3
グループホーム	11	42	3.8
地域密着型特定施設	1	13	13.0
介護老人保健施設	2	166	83.0
特別養護老人ホーム	3	114	38.0
地域密着型特養	2	18	9.0
合計	27	486	18.0

2-2 入所・入居前の居場所の状況

問6 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご記入ください。

入所・入居前の居場所は、全体では市内「自宅」の割合が最も高く、次いで市内「その他」、市内「介護老人保健施設」、市外「自宅」が高くなっています。

現在の施設等別でみると、地域密着型特定施設では市内「介護老人保健施設」の割合が最も高く、それ以外の施設等では市内「自宅」の割合が最も高くなっています。

	件数	合計	上段：実数(人) 下段：割合(%)																		把握していない	
			自宅		住宅型有料老人ホーム		高齢者向け住宅		グループホーム		特定施設		介護老人保健施設		療養型・介護医療院		特別養護老人ホーム		その他			
			市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外		
住宅型有料	3	56	26	15	1	3	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	2	0	5
		100.0	46.4	26.8	1.8	5.4	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	8.9
軽費老人ホーム	1	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
		100.0	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
サ高住	4	73	24	6	2	0	0	1	2	1	0	1	15	1	0	0	1	1	8	10	0	0
		100.0	32.9	8.2	2.7	0.0	0.0	1.4	2.7	1.4	0.0	1.4	20.5	1.4	0.0	0.0	1.4	1.4	11.0	13.7	0.0	0.0
グループホーム	11	42	24	0	0	0	1	0	0	1	0	0	6	0	0	0	1	0	6	2	1	1
		100.0	57.1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	14.3	4.8	2.4	2.4
地域密着型特定施設	1	13	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	4	0	0	0	0	0	0	0
		100.0	23.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	46.2	0.0	30.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	2	166	85	6	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	59	12	0	0
		100.0	51.2	3.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.6	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	35.5	7.2	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	3	114	30	27	1	1	3	0	5	0	0	0	26	2	0	0	0	0	17	2	0	0
		100.0	26.3	23.7	0.9	0.9	2.6	0.0	4.4	0.0	0.0	0.0	22.8	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	14.9	1.8	0.0	0.0
地域密着型特養	2	18	6	0	0	0	3	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0
		100.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0
合計	27	486	201	54	5	4	8	1	8	2	0	2	61	3	4	0	3	1	96	27	6	6
		100.0	41.4	11.1	1.0	0.8	1.6	0.2	1.6	0.4	0.0	0.4	12.6	0.6	0.8	0.0	0.6	0.2	19.8	5.6	1.2	1.2

※入所・入居前の居場所の「軽費老人ホーム」「地域密着型特定施設」、「地域密着型特別養護老人ホーム」は、回答なしのため表示していません。

### (3) 過去1年間の退去者について

#### 3-1 過去1年間の退去者数

問7 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月末日）に、貴施設等を退去した人の人数をご記入ください。

過去1年間の退去者数（死亡・搬送先での死亡を含む）は、合計 582 人、1施設あたり平均 21.6 人となっています。

施設等別で見ると、介護老人保健施設で1施設あたり平均 131 人、特別養護老人ホームで平均約 38 人、住宅型有料老人ホームで平均約 20 人、サービス付き高齢者向け住宅で平均約 18 人となっています。

過去1年間の新規の入所・入居者数（問5）と比較すると、グループホームを除くすべての施設等で退去者数は入所・入居者以上となっています。

	件数	退去者数（人）		入所・入居者数 -退去者数（人）
		合計	平均	
住宅型有料	3	61	20.3	-5
軽費老人ホーム	1	4	4.0	0
サ高住	4	73	18.3	0
グループホーム	11	35	3.2	7
地域密着型特定施設	1	13	13.0	0
介護老人保健施設	2	262	131.0	-96
特別養護老人ホーム	3	115	38.3	-1
地域密着型特養	2	19	9.5	-1
合計	27	582	21.6	-96

3-2 退去者の要介護度

問8 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご記入ください。

退去者の要介護度は、全体では「死亡」の割合が最も高く、次いで「要介護4」「要介護5」「要介護3」の割合が高くなっています。

施設等別でみると、死亡を除いて、特別養護老人ホームでは「要介護5」、地域密着型特別養護老人ホームでは「要介護4」「要介護5」、住宅型有料老人ホーム、グループホーム、介護老人保健施設では「要介護4」、サービス付き高齢者向け住宅では「要介護1」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

現在の入所・入居者数に占める退去者数の割合をみると、全体では「要介護5」で52.7%、「要介護4」で41.6%となっています。

施設等別でみると、サービス付き高齢者向け住宅、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、地域密着型特別養護老人ホームでは「要介護5」、住宅型有料老人ホームでは「要介護3」、軽費老人ホームでは「要介護1」、グループホームでは「要支援2」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

上段：実数（人） 下段：割合（%）

	件数	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	新規申請中	死亡
住宅型有料	3	61 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0	3 4.9	7 11.5	4 6.6	0 0.0	46 75.4
軽費老人ホーム	1	4 100.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0
サ高住	4	73 100.0	1 1.4	2 2.7	2 2.7	14 19.2	5 6.8	4 5.5	4 5.5	8 11.0	0 0.0	33 45.2
グループホーム	11	35 100.0			1 2.9	5 14.3	3 8.6	4 11.4	10 28.6	4 11.4	0 0.0	8 22.9
地域密着型特定施設	1	13 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	13 100.0
介護老人保健施設	2	262 100.0				21 8.0	48 18.3	36 13.7	69 26.3	38 14.5	0 0.0	50 19.1
特別養護老人ホーム	3	115 100.0				0 0.0	0 0.0	17 14.8	24 20.9	27 23.5	0 0.0	47 40.9
地域密着型特養	2	19 100.0				0 0.0	0 0.0	3 15.8	8 42.1	8 42.1	0 0.0	0 0.0
合計	27	582 100.0	1 0.2	2 0.3	4 0.7	42 7.2	56 9.6	67 11.5	122 21.0	89 15.3	0 0.0	199 34.2

【参考】現在の入所・入居者数（問3）に占める退去者数（問8）の割合

(%)

	件数	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
住宅型有料	3	52.6	-	0.0	0.0	6.3	0.0	27.3	25.9	15.4
軽費老人ホーム	1	8.0	0.0	0.0	25.0	33.3	0.0	-	-	-
サ高住	4	47.7	7.7	22.2	25.0	34.1	17.2	26.7	17.4	61.5
グループホーム	11	17.1			50.0	6.0	5.5	16.7	47.6	23.5
地域密着型特定施設	1	46.4	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
介護老人保健施設	2	151.4				70.0	137.1	128.6	127.8	146.2
特別養護老人ホーム	3	36.9				0.0	0.0	16.7	17.8	38.0
地域密着型特養	2	32.8				-	-	17.6	28.6	61.5
合計	27	53.2	2.5	7.7	21.1	23.1	35.9	33.0	41.6	52.7

3-3 退去後の居場所の状況

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

退去者についての退去先は、全体では、死亡を除いて、市内「自宅」の割合が最も高く、次いで市内「病院・診療所」、市内「特別養護老人ホーム」、市内「介護老人保健施設」、市外「病院・診療所」が高くなっています。また、退去者に占める死亡の割合は44.7%となっています。

施設等別でみると、死亡を除いて、介護老人保健施設では市内「自宅」、サービス付き高齢者向け住宅では市内「介護老人保健施設」、グループホームでは市内「特別養護老人ホーム」、特別養護老人ホームでは市内「病院・診療所」の割合がそれぞれ最も高くなっています。また、退去者に占める死亡の割合は、地域密着型特定施設で100%、地域密着型特別養護老人ホームで84.2%、特別養護老人ホームで77.4%、住宅型有料老人ホームで75.4%となっています。

施設等別	件数	合計	自宅		住宅型有料老人ホーム		サービス付き高齢者向け住宅		グループホーム		特定施設		地域密着型特定施設		介護老人保健施設		療養型・介護医療院		病院・診療所		特別養護老人ホーム		地域密着型特別養護老人ホーム		その他	把握していない	死亡		
			市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外					
			割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合					
住宅型有料	3	61	100.0	1.6	4.9	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	3.3	4.9	0.0	3.3	2	46	
軽費老人ホーム	1	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	2	
サ高住	4	73	100.0	6.8	1.4	0.0	2.7	4.1	0.0	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	17.8	0.0	0.0	0.0	4.1	5.5	6.8	1.4	0.0	1.4	0.0	1	33	
グループホーム	11	35	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	11.4	5.7	2.9	0.0	0.0	0.0	8.6	2.9	25.7	0.0	2.9	0.0	2.9	0.0	1	11
地域密着型特定施設	1	13	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	13	
介護老人保健施設	2	262	100.0	47.7	4.6	0.0	0.4	0.8	0.0	1.1	0.4	0.0	0.0	0.4	0.0	0.8	0.4	0.0	0.0	11.5	2.3	8.0	1.9	0.0	0.8	0.0	0	50	
特別養護老人ホーム	3	115	100.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4	0.0	0.0	3	9	6	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0	89	
地域密着型特養	2	19	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	16	
合計	27	582	100.0	22.5	2.7	0.2	1.0	1.2	0.2	0.7	0.2	0.2	0.3	1.0	0.3	3.4	0.2	0.5	0.5	7.9	2.9	6.2	1.4	0.7	0.5	0.5	3	260	

※退去後の居場所の「軽費老人ホーム」は、回答なしのため表示していません。  
 ※問8の集計結果と死亡者数が大きく異なりますが、これは問8において死亡した退去者についても要介護度を回答した（「死亡」欄に人数を計上しなかった）施設が複数あったことが原因です。したがって、退去者のうちの死亡者数については、問8の結果より問9の結果の方が実情に近いと考えられます。

3-4 退去する理由

問10 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んでください。

入居・入所者が退去する理由は、全体では「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」の割合が最も高く、次いで「その他」「入所・入居者の状態等が改善したから」「費用負担が重くなったから」の割合が高くなっています。

施設等別でみると、住宅型有料老人ホーム、介護老人保健施設以外のすべての施設等で「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」の割合が最も高くなっています。

	件数	上段：実数（人） 下段：割合（%）								
		増大した生活から必要なたから	増大した身体介護が発生	認知症の症状が悪化した	医療的ケアが高まったから	その他の状態像が悪化した	改善した入居者の状態等が	入所者から利用を望ま	入所者が、必要	費用負担が重くなったか
住宅型有料	3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7	1 33.3	1 33.3	2 66.7
軽費老人ホーム	1	0 0.0	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
サ高住	4	0 0.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	3 75.0	3 75.0
グループホーム	11	1 9.1	4 36.4	2 18.2	10 90.9	3 27.3	0 0.0	0 0.0	5 45.5	5 45.5
地域密着型特定施設	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
介護老人保健施設	2	0 0.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
特別養護老人ホーム	3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	2 66.7
地域密着型特養	2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
合計	27	1 3.7	7 25.9	5 18.5	22 81.5	3 11.1	9 33.3	1 3.7	9 33.3	15 55.6

※「その他」には「死亡」が含まれていると推測されます。

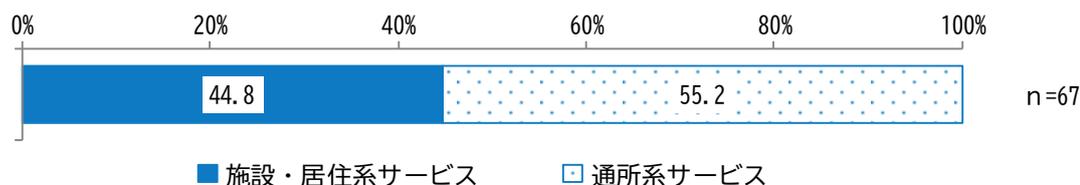
## 6 介護人材実態調査

### (1) 施設系・通所系事業所調査

#### 1-1 サービス種別

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

回答事業所（67件）のサービス種別は、「施設・居住系サービス」が44.8%、「通所系サービス」が55.2%となっています。

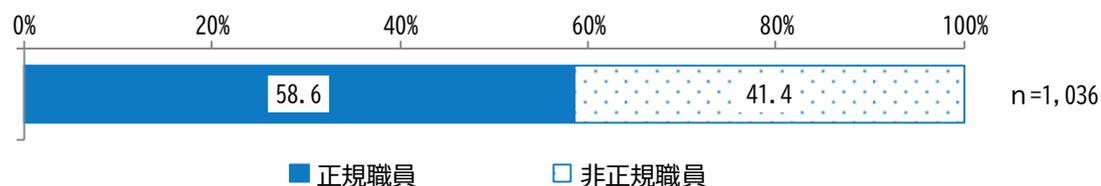


#### 1-2 介護職員数と雇用形態

問2 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について、お伺いします。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

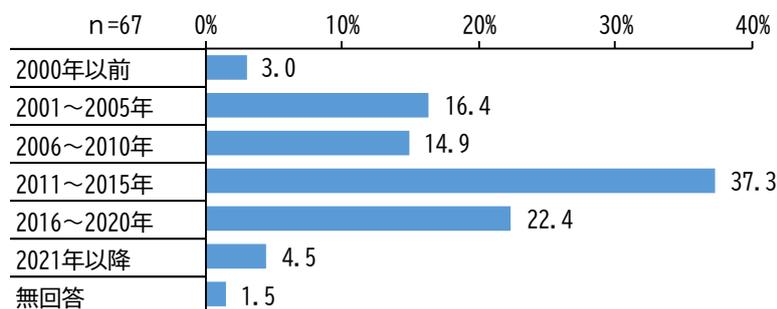
所属する介護職員の総数は1,036人で、正規職員は58.6%（607人）、非正規職員は41.4%（429人）となっています。



#### 1-3 施設等の開設時期

問2-2 貴施設等の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

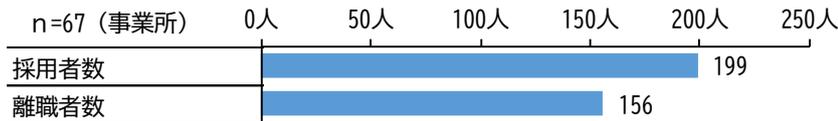
開設時期は、「2011～2015年」（37.3%）が最も高く、次いで「2016～2020年」（22.4%）となっています。



1-4 過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数

問2-3 令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月末日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

過去1年間の介護職員の採用者数は199人（施設等当たり平均3.0人）、離職者数は156人（施設等当たり平均2.3人）となっています。



1-5 正規・非正規別及び年齢別の採用者数と離職者数

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

採用者を正規・非正規の別で見ると、正規職員が61.3%（122人）、非正規職員が38.7%（77人）となっています。

年齢別で見ると、正規職員としては20～29歳の採用が最も多く、非正規職員としては40～49歳の採用が最も多くなっています。

離職者を正規・非正規の別で見ると、正規職員が55.8%（87人）、非正規職員が44.2%（69人）となっています。

年齢別で見ると、正規職員・非正規職員のいずれとしても40～49歳の離職が最も多くなっています。

年齢	採用者数 (人)		
	正規職員	非正規職員	合計
20歳未満	13	4	17
20～29歳	44	11	55
30～39歳	14	18	32
40～49歳	27	21	48
50～59歳	10	14	24
60～69歳	10	5	15
70～79歳	1	1	2
年齢不明	3	3	6
合計 (人)	122	77	199
割合 (%)	61.3	38.7	100.0

年齢	離職者数 (人)		
	正規職員	非正規職員	合計
20歳未満	2	3	5
20～29歳	25	8	33
30～39歳	11	10	21
40～49歳	28	21	49
50～59歳	10	13	23
60～69歳	7	12	19
70～79歳	2	1	3
年齢不明	2	1	3
合計 (人)	87	69	156
割合 (%)	55.8	44.2	100.0

## II 調査の結果 6 介護人材実態調査

サービス系統別でみると、施設・居住系では離職者数に占める正規職員の割合（62.0%）が高く、通所系では離職者数に占める非正規職員の割合（65.7%）が高くなっています。

昨年比でみると、施設・居住系では正規・非正規職員数ともに増加していますが、通所系では正規職員数は増加し、非正規職員数は減少しています。

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数(人)			採用者数(人)			離職者数(人)			昨年比※		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
全 体 (n=67)	607 58.6	429 41.4	1,036 100.0	122 61.3	77 38.7	199 100.0	87 55.8	69 44.2	156 100.0	106.1%	101.9%	104.3%
施設・居住系 (n=30)	434 62.7	258 37.3	692 100.0	93 60.4	61 39.6	154 100.0	75 62.0	46 38.0	121 100.0	104.3%	106.2%	105.0%
通所系 (n=37)	173 50.3	171 49.7	344 100.0	29 64.4	16 35.6	45 100.0	12 34.3	23 65.7	35 100.0	110.9%	96.1%	103.0%

※昨年比は、「職員総数÷(職員総数-採用者数+離職者数)」で算出しています。

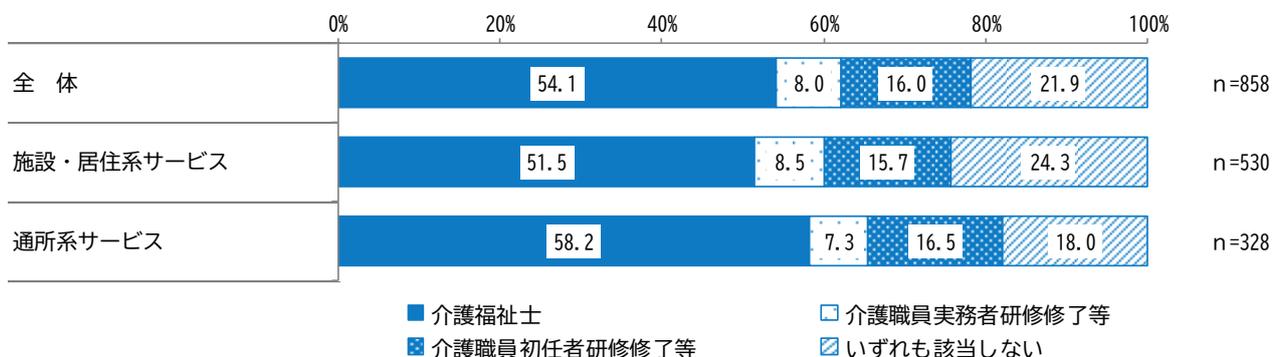
### 1-6 介護職員の資格保有の状況

問3 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

(1) 資格の取得、研修の修了の状況（番号1つ記載）

問3で回答のあった介護職員（858人）の資格保有の状況は、「介護福祉士」（54.1%）が最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了または（旧）ヘルパー2級」（16.0%）、「介護職員実務者研修修了または（旧）介護職員基礎研修修了または（旧）ヘルパー1級」（8.0%）となっています。また、「上記のいずれも該当しない」は21.9%となっています。

サービス系統別でみると、通所系で「介護福祉士」（58.2%）が高くなっています。

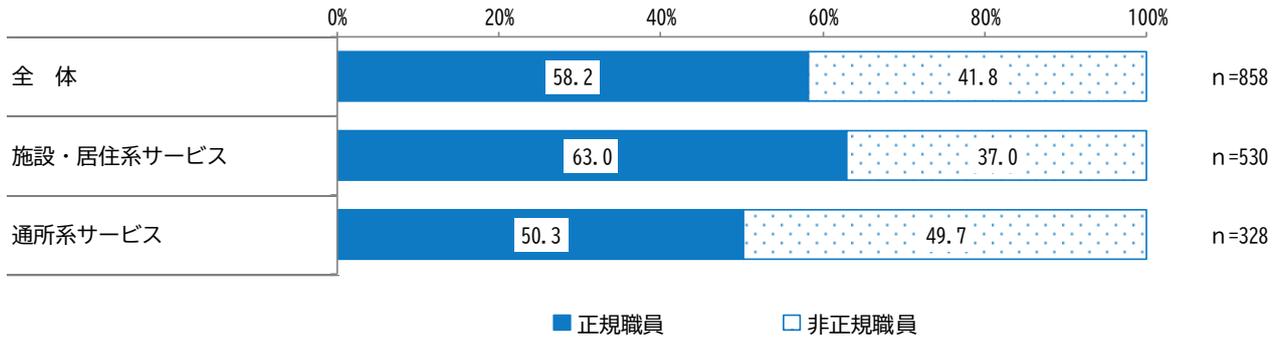


1-7 介護職員の雇用形態

(2) 雇用形態 (番号1つ記載)

問3で回答のあった介護職員の雇用形態は、「正規職員」が 58.2%、「非正規職員」が 41.8%となっています。

サービス系統別で見ると、施設・居住系で「正規職員」(63.0%)、通所系で「非正規職員」(49.7%) がそれぞれ高くなっています。

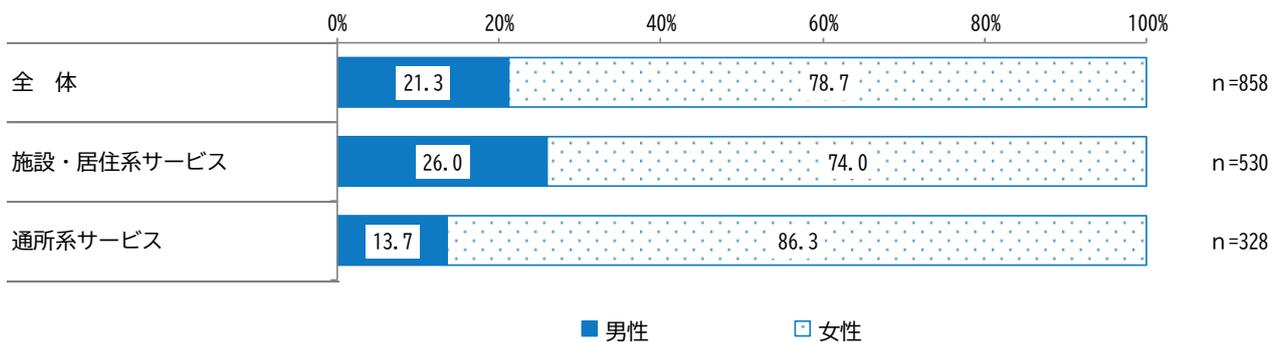


1-8 介護職員の性別・年齢

(3) 性別 (番号1つ記載)

問3で回答のあった介護職員の性別は、「男性」が 21.3%、「女性」が 78.7%となっています。

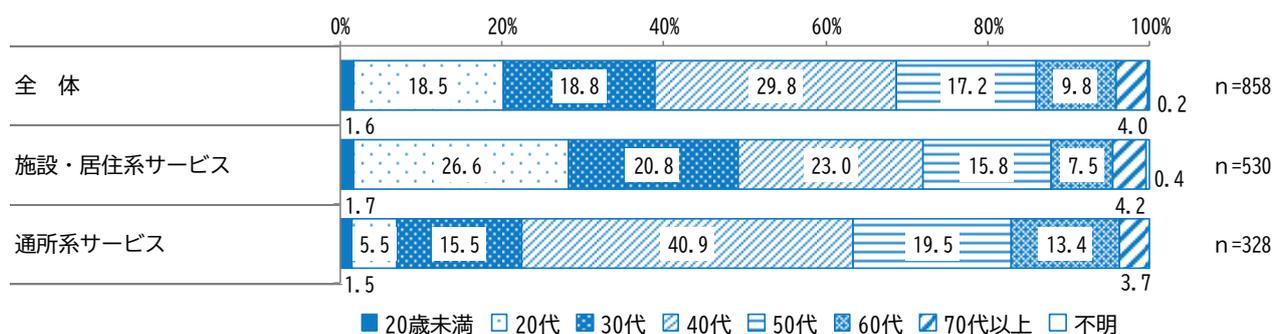
サービス系統別で見ると、通所系で「女性」(86.3%) が高くなっています。



(4) 年齢（番号1つ記載）

問3で回答のあった介護職員の年齢は、「40代」（29.8%）が最も高く、次いで「30代」（18.8%）、「20代」（18.5%）となっています。

サービス系統別で見ると、施設・居住系では「20代」（26.6%）が最も高く、通所系では「40代」（40.9%）が最も高くなっています。



1-9 介護職員1人当たりの1週間の勤務時間

(5) 過去1週間の勤務時間（数値を記入）

問3で回答のあった介護職員1人当たりの1週間の勤務時間は、全体で30.0時間、正規職員で35.3時間、非正規職員で22.4時間となっています。

サービス系統別で見ると、施設・居住系では全体で30.7時間、正規職員で34.8時間、非正規職員で23.7時間、通所系では全体で28.7時間、正規職員で36.3時間、非正規職員で20.7時間となっています。

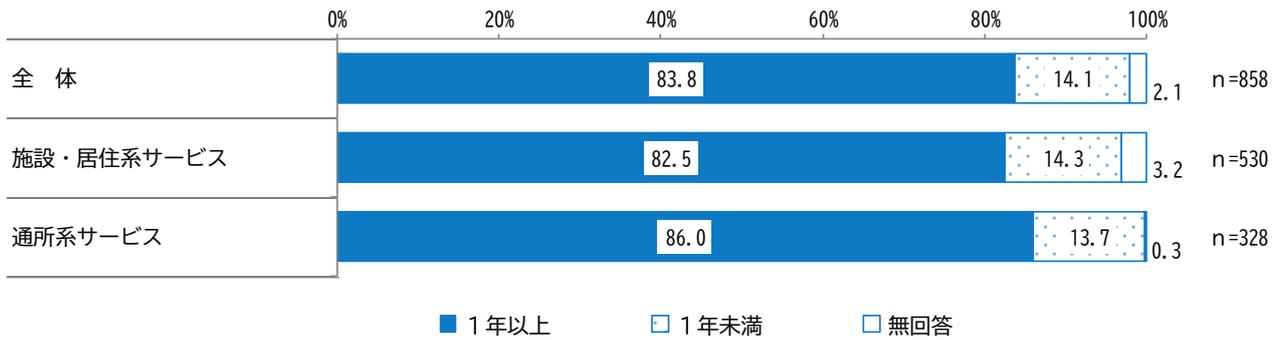
	(時間)		
	全体	正規職員	非正規職員
全体	30.0	35.3	22.4
施設・居住系サービス	30.7	34.8	23.7
通所系サービス	28.7	36.3	20.7

1-10 介護職員の現在の施設等での勤務年数

(6) 現在の施設等での勤務年数（番号1つ記載）

問3で回答のあった介護職員の現在の施設等での勤務年数は、「1年以上」が83.8%、「1年未満」が14.1%となっています。

サービス系統別でみると、「1年以上」は施設・居住系で82.5%、通所系で86.0%となっています。

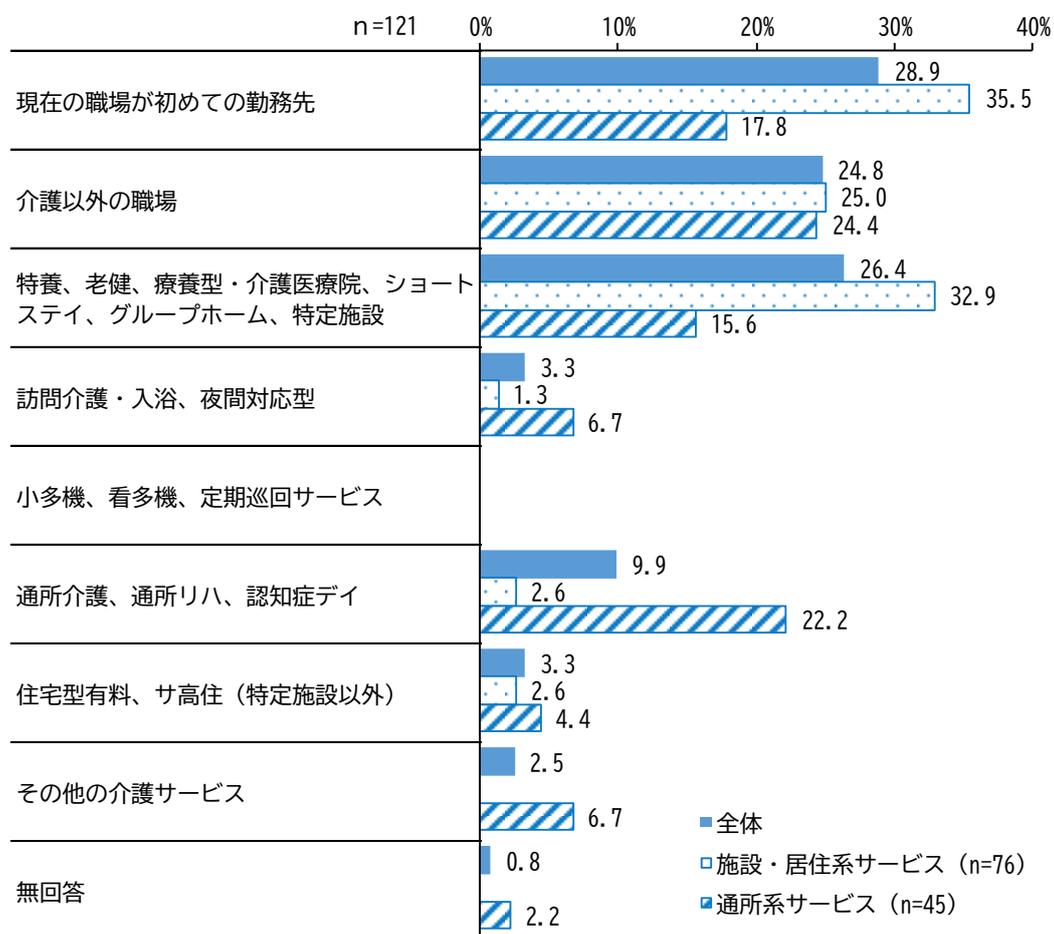


1-11 介護職員の現在の施設等に勤務する直前の職場

(7) 現在の施設等に勤務する直前の職場 (番号1つ記載)

1-10 で現在の施設等での勤務年数が1年未満と回答した人の直前の職場は、「現在の職場が初めての勤務先」(28.9%)が最も高く、次いで「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」(26.4%)、「介護以外の職場」(24.8%)となっています。

サービス系統別で見ると、施設・居住系では「現在の職場が初めての勤務先」(35.5%)が最も高く、通所系では「介護以外の職場」(24.4%)が最も高く、次いで「通所介護、通所リハ、認知症デイ」(22.2%)となっています。

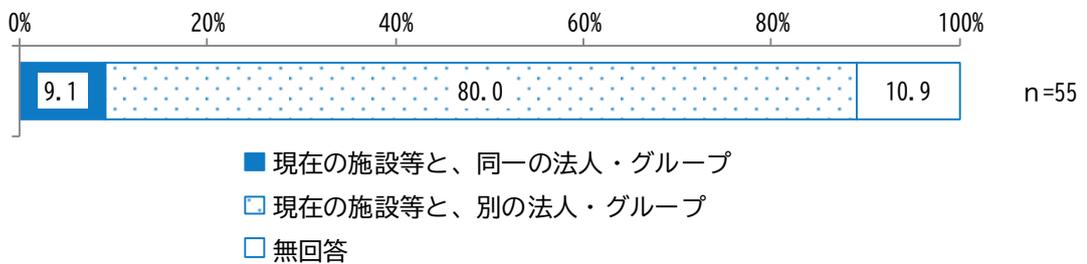
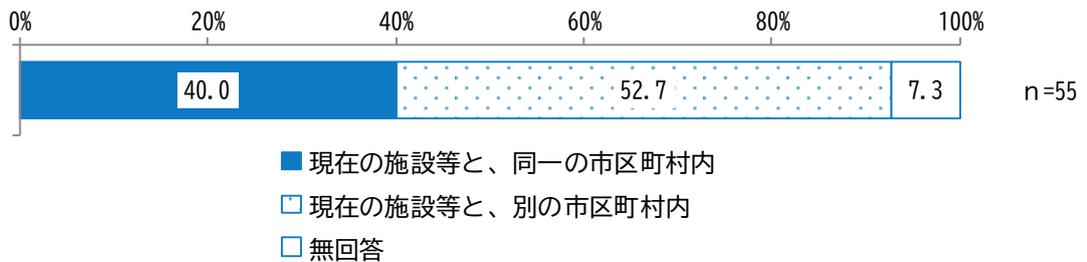


(8) 直前の職場について (番号1つ記載)

(場所) (法人)

直前の職場の場所は、「現在の施設等と、同一の市区町村内」が 40.0%、「現在の施設等と、別の市区町村内」が 52.7%となっています。

直前の職場の法人は、「現在の施設等と、同一の法人・グループ」が 9.1%、「現在の施設等と、別の法人・グループ」が 80.0%となっています。

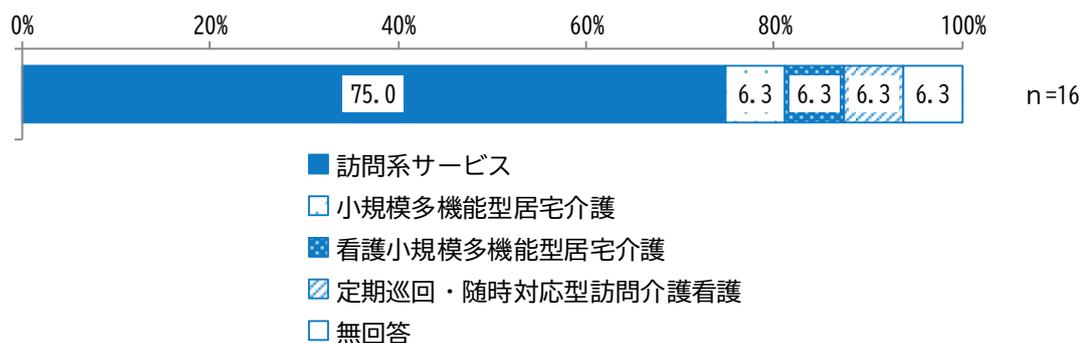


## (2) 訪問系事業所調査【事業所票】

### 2-1 サービス種別

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

回答事業所（16件）のサービス種別は、「訪問系サービス」が75.0%、「小規模多機能型居宅介護」「看護小規模多機能型居宅介護」「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」がいずれも6.3%（各1件）となっています。

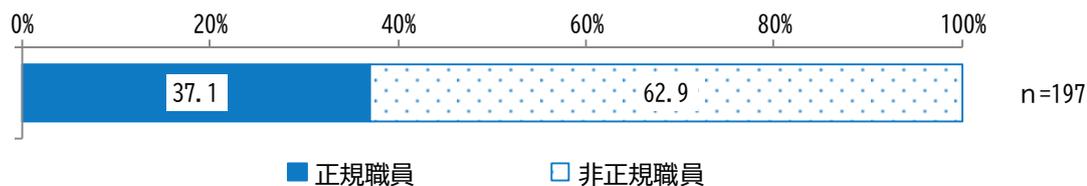


### 2-2 介護職員数と雇用形態

問2 貴施設等（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）

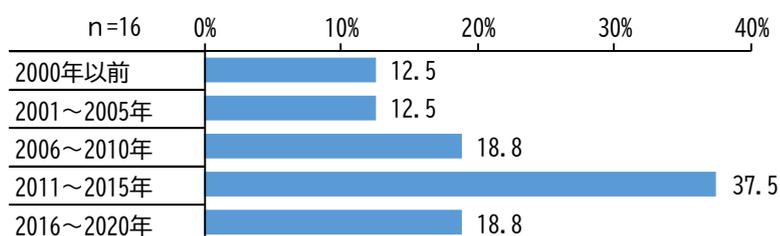
所属する介護職員の総数は197人で、正規職員は37.1%（73人）、非正規職員は62.9%（124人）となっています。



### 2-3 施設等の開設時期

問2-2 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。（数値を記入）

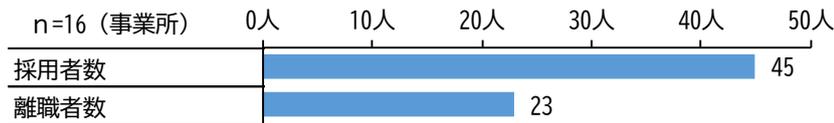
開設時期は、「2011～2015年」（37.5%）が最も高くなっています。



2-4 過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数

問2-3 令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月末日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

過去1年間の介護職員の採用者数は45人（事業所当たり平均2.8人）、離職者数は23人（事業所当たり平均1.4人）となっています。



2-5 正規・非正規別及び年齢別の採用者数と離職者数

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別をご記入ください。（数値を記入）

採用者を正規・非正規の別で見ると、正規職員が37.8%（17人）、非正規職員が62.2%（28人）となっています。

年齢別で見ると、正規職員としては40～49歳の採用が最も多く、非正規職員としては70～79歳の採用が最も多くなっています。

離職者を正規・非正規の別で見ると、正規職員が56.5%（13人）、非正規職員が43.5%（10人）となっています。

年齢別で見ると、正規職員・非正規職員のいずれとしても40～49歳の離職が最も多くなっています。

年齢	採用者数（人）		
	正規職員	非正規職員	合計
20歳未満	1	0	1
20～29歳	0	2	2
30～39歳	3	4	7
40～49歳	8	4	12
50～59歳	1	4	5
60～69歳	1	3	4
70～79歳	0	9	9
年齢不明	3	2	5
合計（人）	17	28	45
割合（％）	37.8	62.2	100.0

年齢	離職者数（人）		
	正規職員	非正規職員	合計
20歳未満	0	0	0
20～29歳	3	0	3
30～39歳	2	0	2
40～49歳	4	6	10
50～59歳	0	2	2
60～69歳	3	1	4
70～79歳	0	1	1
年齢不明	1	0	1
合計（人）	13	10	23
割合（％）	56.5	43.5	100.0

昨年比でみると、訪問系では正規・非正規職員数ともに増加しており、特に非正規職員数の伸び率が大きくなっています。

サービス系統 (該当事業所数)	職員総数 (人)			採用者数 (人)			離職者数 (人)			昨年比※		
	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計	正規職員	非正規職員	小計
訪問系 (n=16)	73 37.1	124 62.9	197 100.0	17 37.8	28 62.2	45 100.0	13 56.5	10 43.5	23 100.0	105.8%	117.0%	112.6%

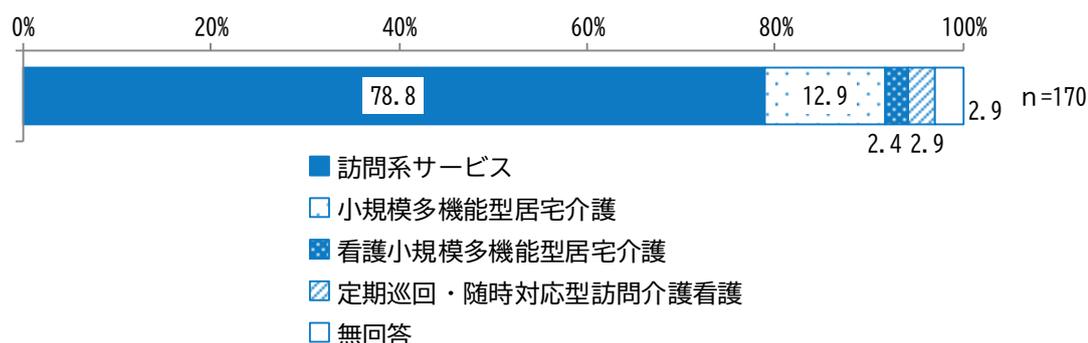
※昨年比は、「職員総数÷(職員総数-採用者数+離職者数)」で算出しています。

### (3) 訪問系事業所調査【職員票／介護職員】

#### 3-1 サービス種別

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つに○）

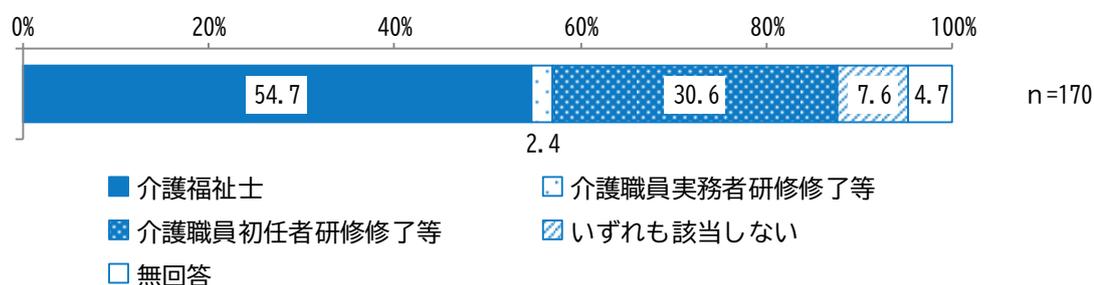
回答した介護職員（170人）の事業所のサービス種別は、「訪問系サービス」が78.6%、「小規模多機能型居宅介護」が12.9%、「看護小規模多機能型居宅介護」が2.4%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が2.9%となっています。



#### 3-2 介護職員の資格保有の状況

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（1つに○）

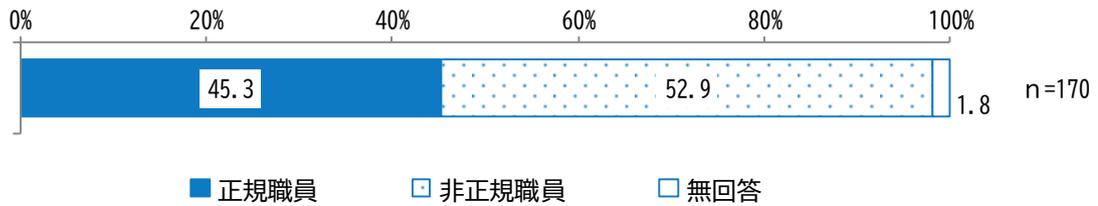
介護職員の資格保有の状況は、「介護福祉士」(54.7%)が最も高く、次いで「介護職員初任者研修修了または(旧)ヘルパー2級」(30.6%)、「介護職員実務者研修修了または(旧)介護職員基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級」(2.4%)となっています。また、「上記のいずれも該当しない」は7.6%となっています。



### 3-3 介護職員の雇用形態

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。  
1) 雇用形態 (1つに○)

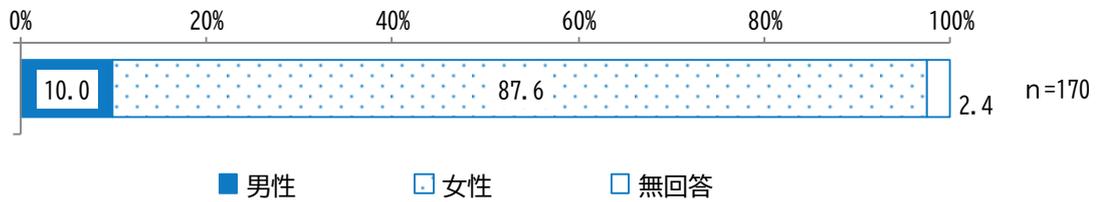
介護職員の雇用形態は、「正規職員」が 45.3%、「非正規職員」が 52.9%となっています。



### 3-4 介護職員の性別・年齢

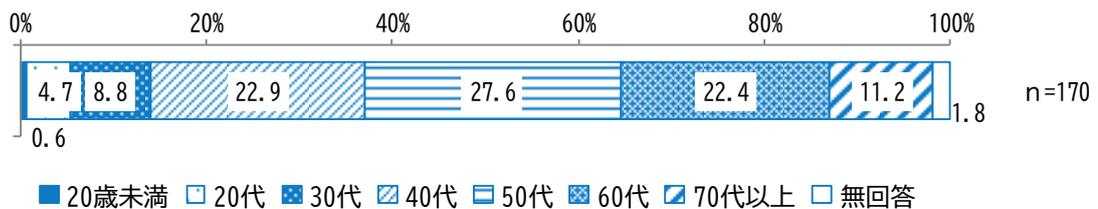
2) 性別 (1つに○)

介護職員の性別は、「男性」が 10.0%、「女性」が 87.6%となっています。



3) 年齢 (数値を記入)

介護職員の年齢は、「50代」(27.6%)が最も高く、次いで「40代」(22.9%)、「60代」(22.4%)となっています。



3-5 介護職員1人当たりの1週間の勤務時間

4) 過去1週間の勤務時間（数値を記入）

介護職員1人当たりの1週間の勤務時間は、全体で22.2時間、正規職員で29.4時間、非正規職員で16.3時間となっています。

サービス種別でみると、訪問系では全体で20.1時間、正規職員で27.7時間、非正規職員で14.1時間、小規模多機能型居宅介護では全体で33.2時間、正規職員で40.0時間、非正規職員で28.0時間、看護小規模多機能型居宅介護では全体で25.0時間、正規職員で40.0時間、非正規職員で20.0時間となっています。

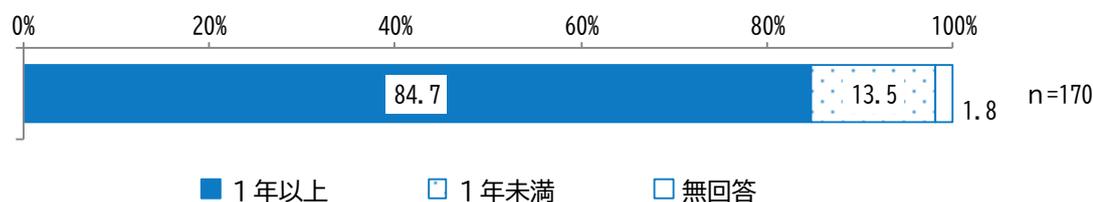
	(時間)		
	全 体	正 規 職 員	非 正 規 職 員
全 体	22.2	29.4	16.3
訪問系サービス	20.1	27.7	14.1
小規模多機能型居宅介護	33.2	40.0	28.0
看護小規模多機能型居宅介護	25.0	40.0	20.0

※定期巡回・随時対応型訪問介護看護の職員からの回答はありませんでした。

3-6 介護職員の現在の施設等での勤務年数

5) 現在の事業所での勤務年数（1つに○）

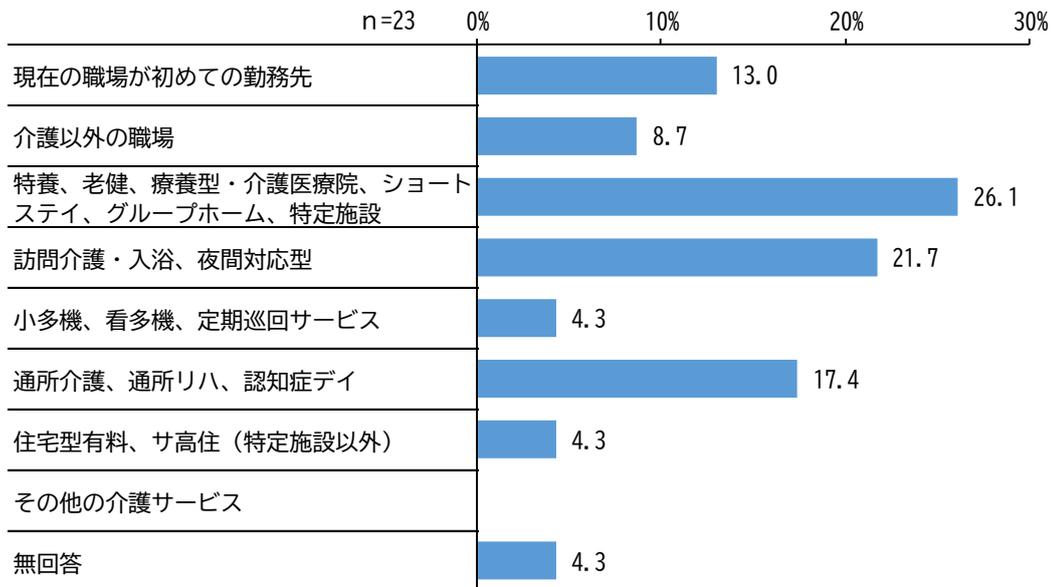
介護職員の現在の事業所での勤務年数は、「1年以上」が84.7%、「1年未満」が13.5%となっています。



3-7 介護職員の現在の事業所に勤務する直前の職場

問4 問3の 5) で「2. 1年未満」と回答された方に、お伺いします。現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。(1つに○)

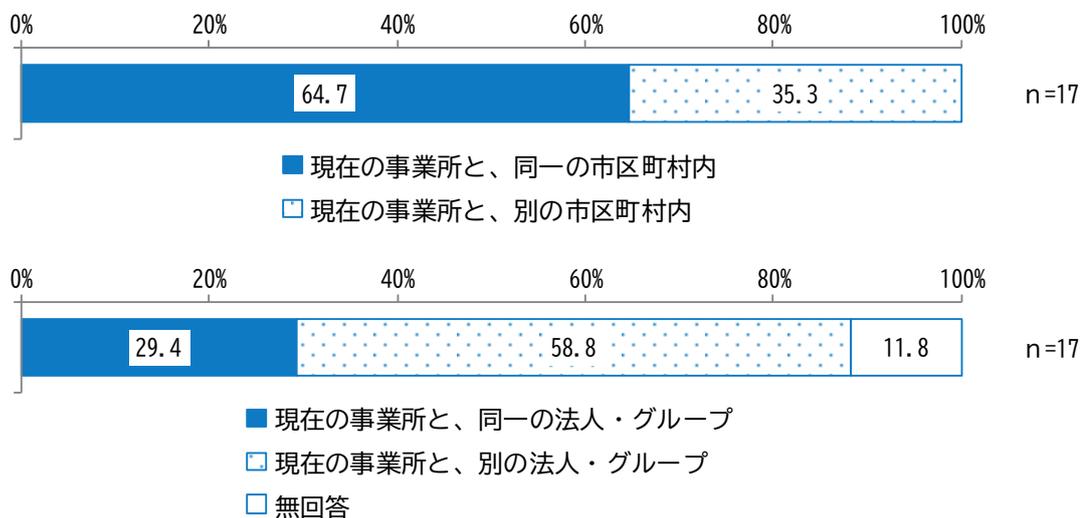
直前の職場は、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」(26.1%)が最も高く、次いで「訪問介護・入浴、夜間対応型」(21.7%)、「通所介護、通所リハ、認知症デイ」(17.4%)となっています。



問5 問4で「3.」～「8.」と回答された方に、お伺いします。ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

直前の職場の場所は、「現在の事業所と、同一の市区町村内」が 64.7%、「現在の事業所と、別の市区町村内」が 35.3%となっています。

直前の職場の法人は、「現在の事業所と、同一の法人・グループ」が 29.4%、「現在の事業所と、別の法人・グループ」が 58.8%となっています。



### (4) 訪問系事業所調査【職員票／訪問介護員】

#### 4-1 介護給付による身体介護・生活援助の提供時間

「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

問3で回答した過去1週間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。

#### ■介護給付による訪問について

介護給付による訪問における身体介護・生活援助の提供時間について、1週間の合計をみると、総提供時間は64,045分で、内訳は身体介護が82.4%、生活援助／買い物が2.2%、生活援助／調理・配膳が3.2%、その他の生活援助が12.3%となっています。

	合計 (分)	身体 介護	買 い 物	調 理 ・ 配 膳	活 そ 援 の 助 他 の 生
月	11,380	9,205	345	305	1,525
火	10,255	8,685	100	355	1,115
水	10,175	8,200	160	425	1,390
木	11,020	9,550	225	245	1,000
金	11,450	9,235	335	390	1,490
土	6,460	5,430	130	210	690
日	3,305	2,490	85	90	640
週の合計	64,045 100.0	52,795 82.4	1,380 2.2	2,020 3.2	7,850 12.3

## 4-2 介護予防給付・総合事業による身体介護・生活援助の提供時間

問3で回答した過去1週間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を記入してください。

■介護予防給付・総合事業による訪問について

介護予防給付・総合事業による訪問における身体介護・生活援助の提供時間について、1週間の合計をみると、総提供時間は11,985分で、内訳は身体介護が60.2%、生活援助／買い物が1.9%、生活援助／調理・配膳が4.2%、その他の生活援助が33.7%となっています。

	合計 (分)	身体 介護	買 い 物	調 理 ・ 配 膳	活 そ 援 の 他 の 生
月	2,195	1,430	90	40	635
火	2,280	1,380	30	120	750
水	1,620	825	0	150	645
木	2,265	1,285	60	145	775
金	2,695	1,580	50	30	1,035
土	630	480	0	15	135
日	300	240	0	0	60
週の合計	11,985 100.0	7,220 60.2	230 1.9	500 4.2	4,035 33.7

# III 資料 (調査票)

## 【一般高齢者調査】

- 個人情報保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。  
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。
- ・本調査で得られた情報につきましては、安城市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定とその推進目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、安城市で適切に管理いたします。
- ・計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

はじめに、あなたご自身のことについてお教えください。(○は1つずつ)

性別は？	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
年齢は？	1. 65～69歳	2. 70～74歳	3. 75～79歳
	4. 80～84歳	5. 85～89歳	6. 90歳以上
居住地区(中学校区)は？	1. 栗山	2. 安城北	3. 篠目
	5. 安城南	6. 安城西	4. 安祥
	9. わからない(町名)	7. 明祥	8. 桜井
要介護認定を受けていますか？	1. 受けていない	2. 要支援1	3. 要支援2

### あなたのご家族や生活状況について

- 問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(○は1つ)
1. 本人    2. 家族    3. その他( )
- 問2 家族構成をお教えください。(○は1つ)
1. 一人暮らし    2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)    4. 息子・娘との2世帯
5. その他( )
- 問3 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(○は1つ)
1. 介護・介助は必要ない → 問4へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む) → 問3-1、問3-2へ

介護予防・日常生活支援総合事業

## 安城市 高齢者介護に関する調査

### ～ 調査ご協力をお願いします ～

市民のみならずには、日頃より市政にご協力いただき、ありがとうございます。  
安城市では、令和5年度に高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを予定しています。この調査は、その計画を策定するために、みなさまのご意見やご要望をお聞きするための大切な調査です。

調査にあたり、安城市にお住まいで、令和4年10月末現在で65歳以上の要介護認定を受けていない方、要支援認定を受けている方から無作為に選ばせていただきます。

お答えいただいた内容は、安城市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定とその推進目的以外には利用いたしません。個人情報保護には最大の注意を払っておりますので、実情に基づいてご回答いただきますよう、ご協力をお願いいたします。

令和4年12月

安城市長 神谷 学

### <ご記入にあたっての注意事項>

- 1 この調査は、令和4年10月末日現在、本市に居住の65歳以上の方で要介護認定を受けていない方、要支援認定を受けている方の中から無作為に抽出した2,700名を対象にお願いしています。
- 2 宛名の方ご本人のことで代理で記入していただいても構いません。本人の他、ご家族の方が代理で記入していただいても構いません。
- 3 選択肢がある場合は、あてはまる番号を○印で囲んでください。「その他」の場合は、なるべく具体的内容を記述してください。
- 4 この調査は、株式会社サーベイリサーチセンターに委託して実施しておりますので、返信用封筒の宛先は同社になります。
- 5 アンケート用紙は、ご記入の上、同封しました返信用封筒に入れ、**令和4年12月19日(月)まで**に投函してください(切手不要)。

★右のQRコードから、同じ内容のWebアンケート  
にお答えいただけます。

Webでお答えいただいた場合は、このアンケート  
用紙を返送していただく必要はありません。



【調査票への記入方法やWebアンケートの回答方法などの問い合わせ先】

株式会社サーベイリサーチセンター 名古屋事務所 企画課 担当：山村・中村  
TEL：052-561-1246 (平日9時～12時、13時～17時)

【調査内容に関する問い合わせ先】

安城市 福祉部 高齢福祉課 介護保険係 TEL：0566-71-2290

問3で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」とお答えの方にお聞きします。

問3-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか。(〇はいくつでも)

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 2. 心臓病                 |
| 3. がん (悪性新生物)     | 4. 呼吸器の病気 (肺炎、肺気腫、肺炎等) |
| 5. 関節の病気 (リウマチ等)  | 6. 認知症 (アルツハイマー病等)     |
| 7. パーキンソン病        | 8. 糖尿病                 |
| 9. 腎疾患 (透析)       | 10. 視覚・聴覚障害            |
| 11. 骨折・転倒         | 12. 脊椎損傷               |
| 13. 高齢による衰弱       | 14. その他 ( )            |
| 15. 不明            |                        |

問3-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(〇はいくつでも)

- |                |            |          |
|----------------|------------|----------|
| 1. 配偶者 (夫・妻)   | 2. 息子      | 3. 娘     |
| 4. 子の配偶者       | 5. 孫       | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他 ( ) |          |

問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(〇は1つ)

- |             |             |        |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい    | 2. やや苦しい    | 3. ふうう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある |        |

からだを動かすことについて

問5 階段をすすりや壁をつたわずに昇っていますか。(〇は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問6 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(〇は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問7 15分くらい続けて歩いていますか。(〇は1つ)

- |              |               |         |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

問8 過去1年間に転んだ経験がありますか。(〇は1つ)

- |          |         |       |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

問9 転倒に対する不安は大きいですか。(〇は1つ)

- |             |            |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない   |

問10 週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)

- |              |        |          |          |
|--------------|--------|----------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 | 3. 週2~4回 | 4. 週5回以上 |
|--------------|--------|----------|----------|

問11 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(〇は1つ)

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている  | 2. 減っている  |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

問12 外出を控えていますか。(〇は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問12で「1. はい」とお答えの方にお聞きします。

問12-1 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1. 病気              | 2. 障害 (脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み         | 4. トイレの心配 (失禁など)  |
| 5. 目の障害 (閉こえの問題など) | 6. 目の障害           |
| 7. 外での楽しみがない       | 8. 経済的に出られない      |
| 9. 交通手段がない         | 10. その他 ( )       |

問13 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                |                   |                |
|----------------|-------------------|----------------|
| 1. 徒歩          | 2. 自転車            | 3. バイク         |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) |                |
| 6. 電車          | 7. 路線バス           | 8. 病院や施設のバス    |
| 9. 車いす         | 10. 電動車いす (カート)   | 11. 歩行器・シルバーカー |
| 12. タクシー       | 13. その他 ( )       |                |

問14 現在、自動車の運転免許証を持っていますか。(〇は1つ)

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 持っている                       |
| 2. 元々、持っていない                   |
| 3. 持っていたが、すでに返納したので持っていない      |
| 4. 持っているが、更新していない (有効期限が切れている) |

問15 ご自身以外で自動車を運転する同居家族はいますか。(〇は1つ)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

食べることについて

問16 身長と体重をお書きください。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 身長 ( ) cm | 体重 ( ) kg |
|-----------|-----------|

問17 半年前に比べて歯の痛みが食べにくくなりましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問18 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。(○は1つ)

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用  
 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし  
 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用  
 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問19 どなたかと食事をとにもする機会はありますか。(○は1つ)

1. 毎日ある  
 2. 週に何度かある  
 3. 月に何度かある  
 4. 年に何度かある  
 5. ほとんどない

毎日の生活について

問20 物忘れが多いと感じますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問21 バスや電車を使って一人で外出していますか(自家用車でも可)。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

問22 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

問23 自分で食事の用意をしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

問24 自分で請求書の支払いをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

問25 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていません 3. できない

問26 携帯電話やスマートフォンを持っているですか。(○は1つ)

1. 持っている 2. 持っていない

問27 会話やテレビの音などが、うまく聞き取れないと感じますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問28 あなたは介護予防のためにどのようなことに取り組みたいですか。(○は3つまで)

1. 筋力を維持・向上すること 2. 腰や膝の痛みが改善すること  
 3. 食事・栄養を改善すること  
 4. 噛む、飲み込むなど口腔機能が改善すること  
 5. 認知症の予防 6. うつや閉じこもりの予防  
 7. その他 ( ) 8. 特になし

地域での活動について

問29 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか。

※(1)～(9)それぞれに回答してください。

頻 月	頻 週	頻 月	頻 年	頻 回数	頻 回数	頻 回数
1	2	3	4	5	6	7
(1) ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
(3) 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
(4) 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
(5) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
(6) 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
(7) 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
(8) 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
(9) 特技や経験を他者に伝える活動	1	2	3	4	5	6

問30 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行っている、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思えますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい  
 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問31 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行っている、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思えますか。(○は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい  
 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問32 ボランティア活動についておうかがいします。

(1) ボランティア活動を始めた(または始めようと思う)きっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

- |            |           |               |
|------------|-----------|---------------|
| 1. 社会貢献    | 2. 友人等の紹介 | 3. 経験・能力の有効活用 |
| 4. 余暇の充実   | 5. 地域付き合い | 6. 自身の健康保持    |
| 7. その他 ( ) | 8. わからない  |               |

(2) 介護施設等でのボランティア活動に対して、ポイントが付与され、ポイントに応じて換金又は寄付できるなどの制度があった場合、参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

- |       |        |          |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

(3) ボランティア活動に対する報酬の考え方について適当だと思われるのはどれですか。(〇は1つ)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 無報酬             | 2. 実費(交通費・材料代)程度 |
| 3. 実費以上の活動内容に応じた対価 | 5. わからない         |
| 4. その他 ( )         |                  |

問33 あなたの住んでいる地域についておうかがいします。

(1) あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか。(〇は1つ)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. とても信用できる   | 2. まあ信用できる   |
| 3. どちらともいえない  | 4. あまり信用できない |
| 5. まったく信用できない |              |

(2) あなたの地域の人々は、多くの場合、他の人の役に立ちとうとずすると思いますか。(〇は1つ)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. とてもそう思う    | 2. まあそう思う    |
| 3. どちらともいえない  | 4. あまりそう思わない |
| 5. まったくそう思わない |              |

(3) あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか。(〇は1つ)

- |              |             |
|--------------|-------------|
| 1. とても愛着がある  | 2. まあ愛着がある  |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり愛着がない |
| 5. まったく愛着がない |             |

(4) あなたの地域は、高齢者が安心して暮らすことのできるまちだと思いますか。(〇は1つ)

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. とてもそう思う    | 2. まあそう思う    |
| 3. どちらともいえない  | 4. あまりそう思わない |
| 5. まったくそう思わない |              |

たすけあいについて

問34 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまる人すべてに〇をつけてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に〇をつけてください。

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人(〇はいくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他 ( )     | 8. そのような人はいない |           |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人(〇はいくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他 ( )     | 8. そのような人はいない |           |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(〇はいくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他 ( )     | 8. そのような人はいない |           |

(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人(〇はいくつでも)

- |                |               |           |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者         | 2. 同居の子ども     | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣         | 6. 友人     |
| 7. その他 ( )     | 8. そのような人はいない |           |

問35 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。(〇はいくつでも)

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ  | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー        | 4. 医師・歯科医師・看護師  |
| 5. 地域包括支援センター・市役所 |                 |
| 6. その他 ( )        | 7. そのような人はいない   |

問36 友人関係についておうかがいします。

(1) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つ)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある    | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない  |            |

(2) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(○はいくつでも)

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 1. 近所・同じ地域の人  | 2. 幼なじみ           |
| 3. 学生時代の友人    | 4. 仕事での同僚・元同僚     |
| 5. 趣味や関心が同じ友人 | 6. ボランティア等の活動での友人 |
| 7. その他 ( )    | 8. いない            |

問37 地域でのたすけあい活動やボランティア活動として、手伝ってもらったら助かるところはありますか。(○は3つまで)

- |                 |             |               |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 外出の際の送迎      | 2. 財産やお金の管理 | 3. 買い物        |
| 4. ゴミ出し         | 5. 家具の移動    | 6. 庭の手入れ      |
| 7. 掃除・洗濯        | 8. 調理       | 9. 衣類の出し入れ    |
| 10. 家電製品の扱い     | 11. ペットの世話  | 12. 通院などの付き添い |
| 13. 急病など緊急時の手助け | 14. 通院時の手助け |               |
| 15. 見守り、声かけ     | 16. その他 ( ) |               |
| 17. 特になし        |             |               |

健康について

問38 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

問39 あなたは、現在の程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)。(点数に○をつけてください。)

とても不幸  
 0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点  
 とても  
 幸せ

問40 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問41 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問42 タバコは吸っていますか。(○は1つ)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている   |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. ちもと吸っていない |

問43 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

- |                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ない                | 2. 高血圧                   |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)    | 4. 心臓病                   |
| 5. 糖尿病               | 6. 高脂血症 (脂質異常)           |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気          |
| 9. 腎臓・前立腺の病気         | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等)      | 12. がん (悪性新生物)           |
| 13. 血液・免疫の病気         | 14. うつ病                  |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等)  | 16. パーキンソン病              |
| 17. 目の病気             | 18. 耳の病気                 |
| 19. その他 ( )          |                          |

認知症について

問44 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

問45 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

介護保険制度および高齢者福祉施策について

問46 あなたは、地域包括支援センターを知っていますか。(○は1つ)

1. 事業内容まで知っている 2. 名前だけは知っている 3. 知らない

問47 介護保険制度や高齢者に対するサービスなどに関する情報をどこから得ていますか。(○はいくつでも)

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 市の窓口            | 2. 地域包括支援センター    |
| 3. ケアマネジャー         | 4. 介護サービス提供事業者   |
| 5. 主治医、医療機関        | 6. 民生委員          |
| 7. 家族、親戚、友人、知人     | 8. 市のパンフレット、広報など |
| 9. 新聞、テレビ、ラジオ、雑誌など | 10. インターネット      |
| 11. その他 ( )        |                  |

問48 あなたには健康状態や病気のことを相談する身近な「かかりつけ医」がいますか。(○は1つ)

1. かかりつけ医がいる 2. 特に、かかりつけ医はない



【在宅介護者調査】

【調査票への記入方法やWebアンケートの回答方法などの問い合わせ先】  
株式会社サーベイリサーチセンター 名古屋事務所 企画課 担当：山村・中村  
TEL：052-561-1246（平日9時～12時、13時～17時）

【調査内容に関する問い合わせ先】  
安城市 福祉部 高齢福祉課 介護保険係 TEL：0566-71-2290

たての暮らし調査

## 安城市 高齢者介護に関する調査

～ 調査ご協力のお願い ～

市民のみならず、日頃より市政にご協力いただき、ありがとうございます。  
安城市では、令和5年度に高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを予定  
しています。この調査は、その計画を策定するために、みなさまのご意見やご要望  
をお聞きするための大切な調査です。  
調査にあたり、安城市にお住まいの65歳以上の方のうち、令和4年10月末現在  
で要介護認定を受けている方から無作為に選ばせていただきました。  
お答えいただいた内容は、安城市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画の制  
定とその推進目的以外には利用いたしません。個人情報保護には最大の注意を払  
っておりますので、実情に基づいてご回答いただきますよう、ご協力をお願いいた  
します。

令和4年12月

安城市長 神谷 学

＜ご記入にあたっての注意事項＞

- 1 この調査は、令和4年10月末日現在、本市に居住の要介護認定を受け、在  
宅で暮らしている方の中から抽出した1,800名を対象にお願いしています。
- 2 宛名の方ご本人のことについて、調査票に回答してください。調査票はご本  
人の他、ご家族の方が記入していただいても構いません。
- 3 選択肢がある場合は、あてはまる番号を○印で囲んでください。
- 4 「その他」の場合は、( ) があればなるべく具体的内容を記述してください。  
この調査は、株式会社サーベイリサーチセンターに委託して実施しておりま  
すので、返信用封筒の宛先は同社になります。
- 5 アンケート用紙は、ご記入の上、同封の返信用封筒に入れ、  
**令和4年12月19日（月）まで**に投函してください（切手不要）。

★右のQRコードから、同じ内容のWebアンケート  
にお答えいただけます。  
Webでお答えいただいた場合は、このアンケート  
用紙を返送していただく必要はありません。



- 個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。  
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせ  
ていただきます。
- ・ 本調査で得られた情報につきましては、安城市における高齢者等支援施策の基  
礎資料として活用すること以外の目的には使用いたしません。また、当該情報  
については、安城市で適切に管理いたします。
- ・ この調査の分析にあたっては、認定調査にかかると要介護認定データ及び給付テ  
ータを活用させていただきます。

調査票対象者様ご本人について、お伺いします

問1 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

- 1. 調査対象者本人
- 2. 主な介護者となつている家族・親族
- 3. 主な介護者以外の家族・親族
- 4. その他 ( )

問2 家族構成について、ご回答ください。(〇は1つ)

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ世帯
- 3. その他

問3 お住まいの形態について、ご回答ください。(〇は1つ)

- 1. 持家一戸建て
- 2. 借家一戸建て
- 3. 分譲マンション
- 4. 公営住宅
- 5. 賃貸マンション・アパート
- 6. 社宅・営舎・家族寮
- 7. 間借り・住み込み
- 8. その他 ( )

問4 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。(〇は1つ)

- 1. 入所・入居を検討していない
- 2. 入所・入居を検討している
- 3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別介護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護老人保健施設、介護老人ホーム、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別介護老人ホームを指します。

問5 ご本人が現在抱えている傷病について、ご回答ください。(〇はいくつでも)

- 1. 脳血管疾患 (脳卒中)
- 2. 心疾患 (心臓病)
- 3. 悪性新生物 (がん)
- 4. 呼吸器疾患
- 5. 腎疾患 (透析)
- 6. 筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、背柱管狭窄症等)
- 7. 膠原病 (関節リウマチ含む)
- 8. 変形性関節疾患
- 9. 認知症
- 10. パーキンソン病
- 11. 難病 (パーキンソン病を除く)
- 12. 糖尿病
- 13. 眼科・耳鼻科疾患 (視覚・聴覚障害を伴うもの)
- 14. その他 ( )
- 15. なし
- 16. わからない

問6 携帯電話やスマートフォンを持っているかどうか。(〇は1つ)

- 1. 持っている
- 2. 持っていない

問7 会話やテレビの音などが、うまく聞き取れないと感じますか。(〇は1つ)

- 1. はい
- 2. いいえ

問8 現在、自動車の運転免許証を持っていますか。(〇は1つ)

- 1. 持っている
- 2. 元々、持っていない
- 3. 持っていたが、すでに返納したので持っていない
- 4. 持っているが、更新していない (有効期限が切れている)

問9 ご自身以外で自動車運転する同居家族はいますか。(〇は1つ)

- 1. いる
- 2. いない

問10 週に1回以上は外出していますか。(〇は1つ)

- 1. ほとんど外出しない
- 2. 週1回
- 3. 週2～4回
- 4. 週5回以上

問11 令和4年10月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(〇は1つ)

- 1. 利用した → 問 11-1 ～ 問 11-2 へ
- 2. 利用していない → 問 11-3 へ

問12 「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。

問12-1 以下の介護保険サービスについて、令和4年10月の1か月の間の利用状況をご回答ください。対象の介護保険サービスをご利用になっていない場合は、「利用していない(0回、1. 利用していない)」を選択してください。(それぞれ1つに〇)

項目	1. 利用していない(0回)					2. 利用している(1回以上)				
	0回	1回	2回	3回	4回以上	0回	1回	2回	3回	4回以上
A. 訪問介護(ホームヘルプサービス)	0回	1回	2回	3回	4回以上	0回	1回	2回	3回	4回以上
B. 訪問入浴介護	0回	1回	2回	3回	4回以上	0回	1回	2回	3回	4回以上
C. 訪問看護	0回	1回	2回	3回	4回以上	0回	1回	2回	3回	4回以上
D. 訪問リハビリテーション	0回	1回	2回	3回	4回以上	0回	1回	2回	3回	4回以上
E. 通所介護(デイサービス)	0回	1回	2回	3回	4回以上	0回	1回	2回	3回	4回以上
F. 通所リハビリテーション(デイケア)	0回	1回	2回	3回	4回以上	0回	1回	2回	3回	4回以上
G. 夜間対応型訪問介護(※訪問のあった回数を回答)	0回	1回	2回	3回	4回以上	0回	1回	2回	3回	4回以上

日	利用の有無	回数
H. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない	2. 利用した
I. 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した
J. 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない	2. 利用した

日	1か月おりの利用回数	1つに○
K. ショートステイ	1-7日 8-14日 15-21日 22日以上	0回 1回 2回 3回 4回

日	1か月おりの利用回数	1つに○
L. 居宅療養管理指導	利用していない	1回 2回 3回 4回

問11-2 現在利用している介護保険サービスの利用回数について、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 大幅に利用回数を増やしたい
2. もう少し利用回数を増やしたい
3. 現在の利用回数で十分である
4. もう少し利用回数を減らしたい
5. 大幅に利用回数を減らしたい
6. その他 ( )

問11-3 「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。

- 問11-3 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)
1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
  2. 本人にサービス利用の希望がない
  3. 家族が介護をするため必要がない
  4. 以前、利用していたサービスに不満があった
  5. 利用料を支払うのが難しい
  6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
  7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
  8. サービスを受けたいが手続さや利用方法が分からない
  9. その他 ( )

問12 ここから再び、すべての方にお伺いします。

問12 今後、新たに利用したいと思う介護保険サービスはありますか。(○は3つまで)

1. 訪問介護 (ホームヘルプサービス)
2. 訪問入浴介護
3. 訪問リハビリテーション
4. 訪問看護
5. 居宅療養管理指導
6. 通所介護 (デイサービス)
7. 通所リハビリテーション (デイケア)
8. 短期入所生活介護・短期入所療養介護 (ショートステイ)
9. 小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護 (訪問・デイ・ショートステイの複合サービス)
10. 福祉用具貸与・購入費支給
11. 住宅改修費支給
12. 介護老人福祉施設 (特養) やグループホームなどの介護保険施設
13. 特にない (いままでどおりでよい)

問13 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(○はいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物 (宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行 (通院、買い物など)
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 ( )
11. 利用していない

※総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

問14 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) について、ご回答ください。(○はいくつでも)

1. 配食
2. 調理
3. 掃除・洗濯
4. 買い物 (宅配は含まない)
5. ゴミ出し
6. 外出同行 (通院、買い物など)
7. 移送サービス (介護・福祉タクシー等)
8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場
10. その他 ( )
11. 特になし

※介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

問15 ご本人 (本調査対象者) は、現在、訪問診療 (医療保険) を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等 (介護保険) は含みません。

問16 介護保険や市の福祉サービスに加え、地域のボランティアによる日常の援助等があれば、受け入れますか。(○は1つ)

1. 受け入れる
2. 受け入れない
3. どちらともいえない



問 23-2 今後、地域包括支援センターに特に力を入れてほしい事業は何ですか。(〇は3つまで)

1. 事業内容の周知
2. 高齢者宅への訪問等による実態調査
3. 高齢者の一般的な相談
4. 認知症の相談
5. 病院や施設の入退院(所)に関する相談
6. 出前講座等による介護予防講座への参加
7. 介護予防のためのケアプランの作成
8. 高齢者虐待、消費者被害の防止
9. 成年後見制度の周知と利用
10. 介護支援専門員への指導・助言
11. 地域における様々な関係者とのネットワークづくり
12. その他( )
13. 特になし

**ここから再び、すべての方にお伺いします。**

問24 家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)。(〇は1つ)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1~2日ある
4. 週に3~4日ある
5. ほぼ毎日ある

↑ 調査は終了です

↑ 問 25へ

- 問24で「2」~「5」を選択された場合は、「主な介護者」の方に問25以降のご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様(本調査対象者様)にご回答・ご記入をお願いします(ご本人様のご回答・ご記入が難しい場合は、無回答で結構です)。

**主な介護者の方に、お伺いします**

問25 ご家族やご親族の中で、ご本人(本調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)。(〇はいくつでも)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

問26 主な介護者の方は、ご本人(本調査対象者)から見てとなっていますか。(〇は1つ)

1. 配偶者
2. 子
3. 子の配偶者
4. 孫
5. 兄弟・姉妹
6. その他( )

問27 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(〇は1つ)

1. 男性
2. 女性

問28 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(〇は1つ)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問29 ご本人への介護を、どのくらい続けていますか。(〇は1つ)

1. 半年未満
2. 半年~1年未満
3. 1~3年未満
4. 3~5年未満
5. 5~8年未満
6. 8~10年未満
7. 10年以上

問30 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。  
(○はいくつでも)

- 【身体介護】
1. 日中の排泄
  2. 夜間の排泄
  3. 食事の介助 (食べる時)
  4. 入浴・洗身・清拭
  5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)
  6. 衣服の着脱
  7. 屋内の移乗・移動
  8. 外出の付き添い、送迎等
  9. 服薬
  10. 認知症状への対応
  11. 医療面での対応 (経営栄養、ストーマ等)
- 【生活援助】
12. 食事の準備 (調理等)
  13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
  14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 【その他】
15. その他 ( )
  16. わからない

問31 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください (現状で行っているか否かは問いません)。  
(○は3つまで)

- 【身体介護】
1. 日中の排泄
  2. 夜間の排泄
  3. 食事の介助 (食べる時)
  4. 入浴・洗身・清拭
  5. 身だしなみ (洗顔・歯磨き等)
  6. 衣服の着脱
  7. 屋内の移乗・移動
  8. 外出の付き添い、送迎等
  9. 服薬
  10. 認知症状への対応
  11. 医療面での対応 (経営栄養、ストーマ等)
- 【生活援助】
12. 食事の準備 (調理等)
  13. その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)
  14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 【その他】
15. その他 ( )
  16. 不安に感じていることは、特になし
  17. 主な介護者に確認しないと、わからない

問32 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○は1つ)

1. フルタイムで働いている
  2. パートタイムで働いている
  3. 働いていない
  4. 主な介護者に確認しないと、わからない
- ➡ 問 33 ~ 問 36 へ  
➡ 調査は終了です

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します(いわゆる「フルバイト」、「職託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」、「パートタイム」のいずれれかを選択してください。

ここから先は、問32で「1.フルタイムで働いている」「2.パートタイムで働いている」と回答した方にお伺いします。

問33 主に介護している方の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. 要支援の認定を受けている
2. 要介護の認定を受けている
3. 要支援・要介護の認定は受けていないが、健康上の問題を抱えている
4. 特に健康上の問題はない
5. わからない

問34 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(○はいくつでも)

1. 特に行っていません
2. 介護のために、「労働時間を調整 (残業免除、短時間勤務、退出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇 (年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、「2」～「4」以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問35 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択 (フレックスタイム制など)
5. 働く場所の多様化 (在宅勤務・テレワークなど)
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的な支援
9. その他 ( )
10. 特になし
11. 主な介護者に確認しないと、わからない

問36 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。(○は1つ)

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

ご協力ありがとうございました。

【若年者調査】

あなた自身のことについて

問1 あてはまるものの番号に○印をつけてください。

あなたの性別は？	1. 男性	2. 女性	3. 回答しない
あなたの年齢は？	1. 40～44歳	2. 45～49歳	3. 50～54歳
	4. 55～59歳	5. 60～64歳	
家族構成は？	1. ひとり暮らし 2. 夫婦ふたり暮らし 3. 夫婦とその子どもと高齢者(65歳以上)の世帯(3世代同居) 4. 夫婦とその子ども世帯 5. 夫婦と高齢者(65歳以上)の世帯 6. その他の世帯		
住居形態は？	1. 借家一戸建て 2. 借家一戸建て 3. 分譲マンション 4. 公営住宅 5. 賃貸マンション・アパート 6. 社宅・官舎・家族寮 7. 間借り・住み込み 8. その他(具体的に )		
居住地区(中学校区)は？	1. 東山 2. 安城北 3. 藤目 4. 安祥 5. 安城南 6. 安城西 7. 頭祥 8. 桜井 9. わからない(町名: )		

問2 高齢者(65歳以上)になったときの生きがいについて考えていますか。(○印は1つだけ)

1. 考えており、かつ、準備している(実行している)	2. 考えている
3. あまり考えていない	4. 考えていない

問3 あなたが、高齢者(65歳以上)になったとき、どのようなことを生きがいとしたいですか。(○印はいくつでも)

1. スポーツ・運動(散歩なども含む)	2. 趣味活動(スポーツ以外)
3. 農業・園芸	4. 友人・隣人との付き合い
5. 家族との団らんや孫の相手	6. 社会奉仕・ボランティア活動
7. 町内会活動	8. 老人クラブ活動
9. 仕事(シルバー人材センターでの仕事を除く)	
10. シルバー人材センターでの仕事	
11. その他( )	
12. 特になし	

福祉・介護についてのアンケート調査

市民のみならずには、日頃より市政にご協力いただき、ありがとうございます。  
本市では、令和2年度に高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を策定し、総合的な高齢者福祉サービスの推進、並びに介護保険サービスの充実と質の向上を図るための取組みに努めております。

令和5年度は、3年ごとに行う見直しの年度に当たり、次期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の策定を予定しております。

今回の調査は、皆さまのご意見をお聞きし、事業計画がより実態に即したものとなるように役立てる資料とさせていただきます。

調査にあたり、安城市にお住まいの40歳から64歳の方から無作為に選ばせていただきました。

調査は無記名で行います。質問の中で答えたくない場合には、無理にお答えいただく必要はありません。また、ご記入いただいた内容につきましては、本事業の目的以外では使用しませんので、果敢にご意見をお聞かせください。

ご多用のところ、お手数をかけたいと思いますが、調査の目的と趣旨をご理解のうえ、ご協力いただきますようお願いいたします。

令和4年12月

安城市長 神谷 学

＜ご記入にあたっての注意事項＞

- 1 この調査は、令和4年12月1日現在の状況でお答えください。
- 2 回答は、対象者ご本人がご記入ください。なお、ご本人おひとりの記入が必ず正しい場合は、ご家族の方がお手伝いのうえ、ご回答ください。
- 3 選択肢がある場合は、あてはまる番号を○印で囲んでください。「その他」の場合は、( ) があればなるべく具体的内容を記述してください。
- 4 この調査は、株式会社サービスセンターに委託して実施しておりますので、返信用封筒は同社になります。
- 5 アンケート用紙は、ご記入の上、同封しました返信用封筒に入れ、**令和4年12月19日(月)まで**に投函してください(切手不要)。

★右のQRコードから、同じ内容のWebアンケートにお答えいただけます。  
Webでお答えいただいた場合は、このアンケート用紙を返送していただく必要はありません。



【調査票への記入方法やWebアンケートの回答方法などの問い合わせ先】

株式会社サービスセンター 名古屋事務所 企画課 担当：山村・中村  
TEL：052-501-1246（平日9時～17時、13時～17時）

【調査内容に関する問い合わせ先】

安城市 福祉部 高齢福祉課 介護保険係 TEL：0560-71-2290

問4 高齢者が増えていく中、住民同士が互いに助け合う活動を広げていく必要があると思いますか。(〇印は1つだけ)

1. 思う                      2. 思わない                      3. わからない

介護保険について

問5 介護保険制度についてご存知ですか。(〇印は1つだけ)

1. サービスの利用方法、サービス内容、保険料など全体的によく知っている
2. サービスの利用に関しては知っていますが、保険料に関してはわからない
3. 保険料に関しては知っていますが、サービスの利用に関してはわからない
4. 制度があることは知っているが、サービスの利用方法など内容はよくわからない
5. 介護保険制度自体がわからない

問6 介護をした経験はありますか。(〇印は1つだけ)

1. 現在介護をしている                      2. 以前は介護していたが現在はしていない
3. 今まで介護したことはない

問7 家族等に介護が必要となった際、どのようにしたいと思えますか。(〇印は1つだけ)

1. なるべく家族のみで、自宅で介護したい
2. 介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービスを活用しながら自宅で介護したい
3. 老人ホームや病院などに入所(入院)させたい
4. わからない

問8 今後、もしあなたご自身が介護を受けることになったら、どのような介護を受けたと思いますか。(〇印は1つだけ)

1. なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい
2. 介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービスを活用しながら自宅で介護してもらいたい
3. 老人ホームや病院などに入所(入院)したい
4. わからない

問9 あなたは、在宅介護の基本的な知識や技術を習得する研修や講習会があれば、参加したいと思いますか。(〇印は1つだけ)

1. 参加したい                      2. 参加したくない
3. わからない

健康について

問10 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(〇印は1つだけ)

1. とてもよい
2. まあよい
3. あまりよくない
4. よくない

問11 あなたは、現在どの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)。(点数に〇をつけてください。)



問12 あなたには健康状態や病気のことを相談する身近な「かかりつけの医者、歯科医、薬局」がいますか。(〇印はそれぞれ1つだけ)

- (1) かかりつけの医者
1. いる
  2. いない

- (2) かかりつけの歯科医
1. いる
  2. いない

- (3) かかりつけの薬局
1. ある
  2. ない

問13 かかりつけの医者・歯科医・薬局を選ぶ上で重要なことはどんなことですか。(〇印は3つまで)

1. 自宅や勤務先から近い
2. 医師の診療技術や経験等が信頼できる
3. どんな病状のことでもまずは相談にのってもらえる
4. 病状や治療についてよく説明してくれる
5. 病歴や健康状態などをよく知っている
6. 治療の意向や心情、価値観に配慮してくれる
7. 外来に通えなくなってきた場合も定期的に医師が自宅に来て診察してくれる
8. 治療中の病状が急に悪化したとき、時間外でも電話等で相談に応じてくれる
9. その他( )

問 14 次のことについて、どの程度、ご存知ですか。(○印はそれぞれ1つだけ)

(1) 地域包括支援センター

1. よく知っている    2. 少し知っている    3. 知らない

(2) 町内福祉委員会

1. よく知っている    2. 少し知っている    3. 知らない

(3) 自宅での訪問診療・往診や訪問看護

1. よく知っている    2. 少し知っている    3. 知らない

(4) 「介護休業」は、要介護者の家族が、今後の仕事と介護の両立に向けた準備期間（介護サービスを受けるまでの準備期間）としても活用できる」という考え方

1. よく知っている    2. 少し知っている    3. 知らない

問 15 あなたは、「フレイル」という言葉を知っていますか。(○印は1つだけ)

1. 内容を知っている    2. 言葉を知ったことはあるが内容は知らない    3. 知らない

フレイルとは

年をとって自身の活力（筋力、認知機能、社会とのつながりなど）が低下した状態を「フレイル」と言います。フレイルは「健康」を意味する英語「Fragility」を語源として作られた言葉です。多くの人が健康な状態からこのフレイルの段階を経て、要介護状態に陥ると考えられています。

問 16 会話やテレビの音などが、うまく聞き取れないと感じますか。(○印は1つだけ)

1. はい    2. いいえ

生活困窮について

問 17 あなたは、ふだん近所の方とはどのように接していますか。(○印は1つだけ)

1. 親しく付き合っている    2. あいさつする程度    3. 付き合いはほとんどしない

問 18 体の具合が悪くなったり、寝たきりになったりした時、災害の時には、地域に住んでいる方による助け合いが大切であると思われる。近くに住んでいる方に支援が必要となった時に、簡単な援助をすることについてどう思いますか。(○印は1つだけ)

1. ぜひとも援助したい    2. 状況によっては援助してもよい  
3. なるべくなら援助したくない    4. 絶対に援助したくない  
5. わからない

(問 18 で「1. ぜひとも～」または「2. 状況によっては～」とお答えの方に)

問 18-1 その場合、どのようなことであれば援助をすることができますか。(○印は5つまで)

1. 外出の際の移動手段    2. 買い物    3. こみ出し  
4. 家具の移動    5. 庭の手入れ    6. 掃除・洗濯・炊事  
7. 衣類の出し入れ    8. 薬化製品の扱い方    9. ペットの世話  
10. その他 (具体的に: )

問 19 あなたの地域は、高齢者が安心して暮らすことのできるまちだと思いますか。(○印は1つだけ)

1. とても思う    2. まあそう思う    3. どちらともいえない  
4. あまりそう思わない    5. まったくそう思わない

問 20 あなたは、ご自身の老後について、どのような不安を感じていますか。(○印は2つまで)

1. 配偶者に先立たれること  
2. 自分や配偶者が寝たきりや病気になること  
3. 面倒を見てくれる身寄りがないこと  
4. 生活費のこと  
5. 自分の健康のこと  
6. 話し相手がないこと  
7. 住宅のこと  
8. 趣味の機会が減ること  
9. 適当な趣味がないこと  
10. その他 (具体的に: )  
11. 特に不安は感じていない



【在宅生活改善調査】

在宅生活改善調査  
～ご協力のお願い～

みなさまには、日頃から介護保険事業にご理解とご協力をお願いし、厚くお礼申し上げます。また、各事業所においては、介護保険制度を支えていただいておりますことに深く感謝いたします。

このアンケートは、事業所及び所属するケアマネジャーの方に事業所と利用者の状況などをお聞きし、地域で不足している介護サービスを検討し、介護保険事業計画及び高齢者福祉計画の策定に係る基礎資料とさせていただきますためのものです。

調査において、ご記入いただいた内容につきましては、回答されませんが特定されないように集計処理し、本業務の目的以外では使用しませんので、率直なご意見を聞かせください。

大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

令和4年12月

安城市長 神谷 学

調査票のご記入に当たってのお願い

1 ご回答にあたって  
本調査票は、安城市内の全ての居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護事業所、看護小規模多機能型居宅介護事業所を対象に送付しております。  
ご回答いただいた内容を、貴事業所の許可なしに、貴事業所が特定される形で公表することはありません。

2 本調査の回答者  
「事業所票」については、管理者の方にご回答をお願いしております。  
「利用者票」については、貴事業所に所属する全てのケアマネジャーの方にご回答をお願いしております（非強制の方も含みます）。

3 調査票のご回答方法  
この度お送りしたアンケート調査では、以下の2種類の調査票が同封されています。  
【事業所票（※A4）】（※1枚のみ同封されています）  
○ 各事業所の、管理者の方を対象とした調査票です。管理者の方はご回答をお願いします。

【利用者票（※A3）】（※複数枚同封されています）  
○ ケアマネジャーのご担当の利用者のうち、「[自宅等にお住まいの方]」現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」についての調査票です。  
○ 発パージのフローにしたがって対象者を抽出し、対象となる利用者の方について「利用者票」にご回答をお願いします。本調査票は、ケアマネジャーの方がご回答ください。

4 調査票の提出方法  
この調査票は、株式会社サービスイノベーションセンターに委託して実施しておりますので、通信利用の郵送は同社になります。  
- 管理者の方は、回答済みの調査票すべてを、望みの返信時期にまとめて封入していただきます。  
- 令和4年12月19日（月）までにポストにご投入ください。お願ひ申し上げます。

★右のQRコードから、同じ内容のWebアンケートにお答えいただけます。  
Wまわりでお答えいただいた場合は、このアンケート用紙を返送していただく必要はありません。



5 お問い合わせ先  
【調査票への記入方法やWebアンケートの回答方法などの問い合わせ先】  
株式会社サービスイノベーションセンター 名古屋事務所 企画課 担当：山村・中村  
TEL：052-561-1246（平日9時～12時、13時～17時）  
【調査内容に関する問い合わせ先】  
安城市 福祉部 高齢福祉課 介護保険係 電話：0566-71-2290

6 「利用者票」の対象者の抽出方法

「利用者票」は、ケアマネジャーの視点からみた「(自宅等にお住まいの方で)現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の実態を把握し、地域に不足する介護サービスを検討することを目的としています。

各ケアマネジャーの方は、ご担当の利用者のうち、調査への回答の対象となる利用者(以下のフローにしたがって抽出し、「利用者票」の巻頭欄にご回答ください)。

<回答の対象となる要支援者・要介護者の抽出方法>

**本調査は、地域に不足する介護サービスを検討することを目的としています。**

**ステップ1**

ご担当の利用者のうち、

- ① 自宅
- ② サービス付き高齢者向け住宅
- ③ 住宅型有料老人ホーム
- ④ 経費老人ホーム

のいずれかにお住まいの要支援者・要介護者の方を選んでください

**ステップ2**

さらに、その中から、

「現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」

を、ケアマネジャーとしての判断に基づいて選んでください。

例えば、

- ADLの低下に伴い、頻回な身体介護が必要となったため、現在の訪問介護の利用では対応が困難であり、定時巡回・随時対応型訪問介護利用の利用がより適切と見られる利用者
- 認知症に伴う周辺状況の悪化により、介護者の負担が重くなったため、グループホームへの入居がより適切と見られる利用者

などのケースが該当します。

**ステップ3**

選ばれた利用者全員について、調査票の各設問にご回答ください。

**在宅生活改善調査 事業所票**

※ 令和4年12月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご記入ください。

1) 所属するケアマネジャーの人数	[     ] 人
2) 「自宅等（3）を除く）」にお住まいの利用者数	[     ] 人
3) 「サ高住」、「住宅型有料」、「経費老人ホーム」にお住まいの利用者数	[     ] 人

問2 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月末日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・経費老人ホームを除く）」から、居場所を変更した利用者数を要介護種別にご記入ください。

※ 一時的に入居して自宅に戻ったが、現在入居中の方は含めないでください。

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
[     ]人	[     ]人★						

問3 貴事業所において、過去1年の間（令和3年12月1日～令和4年11月末日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・経費老人ホームを除く）」から居場所を変更した利用者数（※）を先別にご記入ください。

※ 一時的に入居して自宅等以外の居場所に移った場合は遷移後の居場所をご記入ください。

※ 「1～13」の合計と「14」の合計人数（★欄）が一覧することを確認ください。

	市内	市外
1) 兄弟・子ども・親戚等の養	[     ] 人	[     ] 人
2) 住宅型有料老人ホーム	[     ] 人	[     ] 人
3) 経費老人ホーム（特定施設除く）	[     ] 人	[     ] 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	[     ] 人	[     ] 人
5) グループホーム	[     ] 人	[     ] 人
6) 特定施設	[     ] 人	[     ] 人
7) 地域密着型特定施設	[     ] 人	[     ] 人
8) 介護老人保健施設	[     ] 人	[     ] 人
9) 療養型・介護医療院	[     ] 人	[     ] 人
10) 特別養護老人ホーム	[     ] 人	[     ] 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	[     ] 人	[     ] 人
12) その他	[     ] 人	[     ] 人
13) 行先を把握していない	[     ] 人	[     ] 人
14) 死亡（※ 搬送先での死亡を含む）	[     ] 人	[     ] 人



【居所変更実態調査】

ここからは、過去1年間の新規の入所・入居者についてお伺いします。

問5. 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月末日）に、具申等に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

※ 費施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で費施設等に変わった方は含まないでください。

新規の入所・入居者数（合計）

[     ] 人 ★

問6. 問5でご記入いただいた過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の施設別の人数をご記入ください。

※ (1)合計と、問5「新規の入所・入居者数」(合計)は(★欄)が一致することをご確認ください。

※ 一旦入所し、退院後に費施設等に入所・入居した場合は入所前・入居した場合は入所前の施設所をご記入ください。

	市内		市外
	[     ] 人	[     ] 人	
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の含む）	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
2) 住宅型有料老人ホーム	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
3) 特養老人ホーム（特定施設除く）	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
5) グループホーム	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
6) 特定施設	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
7) 地域密着型特定施設	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
8) 介護老人保健施設	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
9) 診療所・介護医療院	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
10) 特別養護老人ホーム	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
12) その他	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
13) 入居・入所する前の居場所を把握していない	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人
14) 合計	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人 ★

B票 居所変更実態調査

※ 令和4年12月1日現在の状況について、ご回答ください。

★右のQRコードから、同じ内容のWebアンケートにお答えいただけます。Webでお答えいただいた場合は、このアンケート用紙を返送していただく必要はありません。



問1 該当するサービス種別を、ご回答ください。[1]つに○) ※ 未申では、以下のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

- 1. 住宅型有料老人ホーム
- 2. 軽費老人ホーム（特定施設除く）
- 3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）
- 4. グループホーム
- 5. 特定施設
- 6. 地域密着型特定施設
- 7. 介護老人保健施設
- 8. 介護療養型医療施設・介護医療院
- 9. 特別養護老人ホーム
- 10. 地域密着型特別養護老人ホーム

問2 真施設等の概要について、以下にご記入ください。

- 1) 施設等の名称 [     ]
- 2) 定員数など [     ] [ 人・戸・室 ] ※ 該当する単位に○
- 3) 入所・入居者数 [     ] 人
- 4) (真施設等の) 待機者数 [     ] 人
- 5) 特別養護老人ホームの待機者数 (申込者数) [     ] 人 ※ 特養・地域密着型特養は回答不要

※ (2) 定員数などは、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※ 4)と5)は、該当がない場合は「0」を、不明の場合は「？」を記載してください。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護について、ご記入ください。(数値を記入)

※ ここにご記入いただいた合計人数と、問2でご記入いただいた「1)入所・入居者数」が一致することをご確認ください。

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護中・要相
[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人	[     ] 人

問4 以下の医療処置を受けている人数について、ご記入ください。(数値を記入)

1) 点滴の管理	[     ] 人	2) 中心静脈栄養	[     ] 人
3) 透析	[     ] 人	4) ストーマの処置	[     ] 人
5) 酸素療法	[     ] 人	6) レスビレーター	[     ] 人
7) 気管切開の処置	[     ] 人	8) 褥瘡の処置	[     ] 人
9) 経管栄養	[     ] 人	10) モニター測定	[     ] 人
11) 褥瘡の処置	[     ] 人	12) カテーテル	[     ] 人
13) 褥瘡原因	[     ] 人	14) インスリン注射	[     ] 人

III 資料 (調査票)

ここからは、**過去1年間の退去者**についてお伺いします。

問7 過去1年間(令和3年12月1日～令和4年11月末日)に、介護施設等を退去した人の人数をご記入ください。

※なお、一時的な入居等で介護施設等に就いた方、現在一時的に入居中の方(介護施設等との契約が継続している方)は含めなくてください。

退去者数(合計)(※死亡・搬送先での死亡を含む)	[ ]	人	☆		
問7 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、要介護別の人数を下記に入ってください。 ※死亡(搬送先での死亡を含む)した人については、「死亡」欄にその人数をご記入ください。 ※合計人数と、問7の「退去者数(合計)」(注欄)が一致することを、確認ください。					
退去者					
自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3
[ ]人	[ ]人	[ ]人	[ ]人	[ ]人	[ ]人
要介護4	要介護5	新規申請中	死亡	合計	
[ ]人	[ ]人	[ ]人	[ ]人	[ ]人	[ ]人

問9 問7でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご記入ください。

※「16」合計上、問7の「退去者数(合計)」(注欄)が一致することを、ご確認ください。

※一時的に入居して介護施設以外の原居先に移った場合は、退院後の原居先をご記入ください。

	市内	市外
1) 自宅(※兄弟・子ども・親戚等の含む)	[ ]人	[ ]人
2) 在宅型有料老人ホーム	[ ]人	[ ]人
3) 軽費老人ホーム(特定施設除く)	[ ]人	[ ]人
4) サービス付き高齢者向け住宅(特定施設除く)	[ ]人	[ ]人
5) グループホーム	[ ]人	[ ]人
6) 特定施設	[ ]人	[ ]人
7) 地域密着型特定施設	[ ]人	[ ]人
8) 介護老人保健施設	[ ]人	[ ]人
9) 療養型・介護型病院	[ ]人	[ ]人
10) 「9」を除く病院・診療所(一時的な入院を除く)	[ ]人	[ ]人
11) 特別養護老人ホーム	[ ]人	[ ]人
12) 地域密着型特別養護老人ホーム	[ ]人	[ ]人
13) その他	[ ]人	[ ]人
14) 行先を把握していない	[ ]人	[ ]人
15) 死亡(※搬送先での死亡を含む)	[ ]人	[ ]人
16) 合計	[ ]人	[ ]人

問10 貴施設等の入所・入居者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位3つまで選んで、該当する口に「✓」を付けてください。

	退去理由(上位3つ)に✓		
	第1位	第2位	第3位
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3) 認知症の症状が顕化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6) 入所・入居者の状態像が悪化したから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8) 費用負担が高くなったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9) その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

～アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。～

【介護人材実態調査】

安城市介護保険サービス等事業所調査

～ご協力をお願いします～

みなさまには、日頃から介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、各事業所においては、介護保険制度を支えていただいておりますことに深く感謝いたします。このアンケートは、事業所の皆さまのご意見を伺い、介護保険事業計画及び高齢者福祉計画がより実態に即したものであるよう、参考にさせていただきます。回答された法人が特定されないよう、調査において、ご記入いただいた内容につきましては、回答された法人が特定されないよう、集計処理し、本業務の目的以外では使用しませんので、率直なご意見をお聞かせください。大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年12月

安城市長 神谷 学

◎調査票は2種類あり、事業所のサービス種別により調査対象となる調査票を送付してあります。

調査票名	対象事業所サービス種別
A票 介護人材実態調査	特別介護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、認知症対応型通所介護、ショートステイ、訪問介護、小規模多機能型居宅介護
B票 箇所変更未開調査	特別介護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、グループホーム、特定施設、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム

※特別介護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、グループホーム及び特定施設は、A票・B票の2種類の調査をお願いたします。  
※サービス種別にご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 令和4年12月1日現在の状況についてご記入ください。
- 2 調査票は基本的に各事業所の管理者・施設長の方がご記入ください。
- 3 複数のサービスを提供する事業所については、それぞれの事業所に調査票をお送りしておりますので、サービスの種類ごとにご回答ください。
- 4 当てはまる項目の番号を○で囲むか、指定する欄に教団・番号をご記入ください。
- 5 この調査は、株式会社サベイレササーチセンターに委託して実施しておりますので、返信用封筒の宛先は同社になります。
- 6 ご記入いただいた調査票は、**令和4年12月19日（月）**までに同封の返信用封筒にてご返送ください。なお、封筒には差出事業所名の記入は不要です。そのままご投函ください。

★右のQRコードから、同じ内容のWebアンケートにお答えいただけます。  
Webでお答えいただいた場合は、このアンケート用紙を返送していただく必要はありません。



【調査票への記入方法やWebアンケートの回答方法などの問い合わせ先】  
株式会社サベイレササーチセンター 名古屋事務所 企画課 担当：山村・中村  
TEL：052-561-1246（平日9時～12時、13時～17時）  
【調査内容に関する問い合わせ先】  
安城市 福祉部 高齢福祉課 介護保険係 TEL：0566-71-2290

A票 介護人材実態調査票（事業所票）

※ 令和4年12月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。

※ 本調査票の送付先（郵便の宛先）とされている施設まで送付するサービスについて、ご回答ください（□に○印）

1. 施設・居住系サービス  
 (特別介護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、認知症・介護型施設、グループホーム、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム)  
 2. 通所系サービス  
 (通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所サービス（総合事業）)

問2 養護施設等（問1で○をつけたサービス種別の施設等）に所属する介護職員について、お伺いします  
 ※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）  
 ※ また、「正規職員」とは、期間の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期間の定めのある有期雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。（数値を記入）  
 正規職員 ( ) 人、非正規職員 ( ) 人

問2-2 貴施設等の開設時間について、ご記入ください。（数値を記入）  
 開設時期 西暦 ( ) 年 ( ) 月

問2-3 令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している施設等にお伺いします。  
 過去1年間（令和3年12月1日～令和4年11月末日）の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

採用者数 ( ) 人、離職者数 ( ) 人

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正規・非正規の別・年齢別の別・年次別をご記入ください。（数値を記入）

年齢 (採用、離職同時)	採用者数		離職者数	
	正規職員	非正規職員	正規職員	非正規職員
20歳未満	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
20～29歳	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
30～39歳	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
40～49歳	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
50～59歳	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
60～69歳	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
70～79歳	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
年齢不明	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人

Ⅲ 資料（調査票）

問3 施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

回答方法	※ 番号1つ記載				※ 数値を記入		※ 番号1つ記載			
	(1)資格の取得、研修の修了の状況	(2)雇用形態	(3)性別	(4)年齢	(5)過去1箇月の勤務時間	(6)現在の施設等での勤務年数	(7)現在の施設等に勤務する目的の職場 ※地域密着型を含む	(8)直前の職場について		
選択肢	1.介護福祉士 (法定介護福祉士含む) 2.介護職員実務者研修修了 または (旧)介護職員基礎研修修了 または (旧)ヘルパー3級 3.介護職員初任者研修修了 または (旧)ヘルパー2級 4.上記のいずれも該当しない	1.正規職員 (※期限の定めのない契約) 2.非正規職員 (※期限の定めのある契約)	1.男性 2.女性	1.20歳未満 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代以上 E.不明	※ 勤務時間を含む。休憩時間は除く。	1.1年以上 ※【回答終了】 2.1年未満 ※【?/△】	1.現在の職場が初めての勤務先-【回答終了】 2.介護以外の職場-【回答終了】 3.特養、老健、療養型・介護保険施設、D、E、F、グループホーム、特定施設 4.訪問介護・入浴、夜間対応型 5.小多機、看多機、定期巡回・随時対応型 6.通所介護、通所リハ、認知症ケア 7.住宅型有料、サ高住（特定施設以外） 8.その他の介護サービス ※【「C.」～「E.」の場合は(8)へ】	1.現在の施設等と、同一の市区町村内 2.現在の施設等と、別の市区町村内	1.現在の施設等と、同一の法人・グループ 2.現在の施設等と、別の法人・グループ	
<b>記入例</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>40</b>	<b>時間</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>2</b>
01						時間				
02						時間				
03						時間				
04						時間				
05						時間				
06						時間				
07						時間				
08						時間				
09						時間				
10						時間				
11						時間				
12						時間				
13						時間				
14						時間				
15						時間				
16						時間				
17						時間				
18						時間				
19						時間				
20						時間				
21						時間				
22						時間				
23						時間				
24						時間				
25						時間				
26						時間				
27						時間				
28						時間				
29						時間				
30						時間				
31						時間				
32						時間				
33						時間				
34						時間				
35						時間				
36						時間				
37						時間				
38						時間				
39						時間				
40						時間				
41						時間				
42						時間				
43						時間				
44						時間				
45						時間				
46						時間				
47						時間				
48						時間				
49						時間				
50						時間				

## 安城市介護保険サービス等事業所調査

～ご協力をお願い～

みなさまには、日頃から介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、各事業所においては、介護保険制度を支えていただいておりますことに深く感謝いたします。このアンケートは、事業所の皆さまのご意見をお聞きし、介護保険事業計画及び高齢者福祉計画により実現したくなるものとなるよう、参考にさせていただきますためのものです。

調査において、ご記入いただいた内容につきましては、回答された法人が特定されないよう集計処理し、本業務の目的以外では使用いたしませんので、率直なご意見をお聞かせください。大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年12月

安城市長 神谷 学

『調査票のご記入に当たってのお願い』

◎調査票は2種類あり、事業所のサービス種別により調査対象となる調査票を送付してあります。

調査票名	対象事業所サービス種別
A票 介護人材実態調査	特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、介護老人保健施設、グループホーム、特定施設、通所介護(地域密着型含む)、認知症対応型通所介護、ショートステイ、訪問介護、小規模多機能型居宅介護
B票 府庁受更施設調査	特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、介護老人保健施設、グループホーム及び特定施設は、A票・B票の2種類の調査をお願いいたします。

※特別養護老人ホーム(地域密着型含む)、介護老人保健施設、グループホーム及び特定施設は、A票・B票の2種類の調査をお願いいたします。  
※サービス種別にご回答いただきますようお願いいたします。

- 1 令和4年12月1日現在の状況についてご記入ください。
- 2 調査票は【A票(事業所票)】は各事業所の管理者・施設長の方が、【A票(職員票)】は訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方が、それぞれご記入ください。
- 3 複数のサービスを提供する事業所については、それぞれの事業所に調査票を送付し、お送りしますので、サービスの種類ごとに回答ください。
- 4 当てはまる項目の番号を○で囲むか、指定する欄に数値・番号をご記入ください。
- 5 この調査は、株式会社サービスイリサーチセンターに委託して実施しておりますので、返信用封筒の宛先は同社になります。
- 6 ご記入いただいた調査票は、令和4年12月19日(月)までに同封の返信用封筒にてご返送ください。なお、封筒には差出事業所名の記入は不要です。そのままご投函ください。

★右のQRコードから、同じ内容のWebアンケートにお答えいただけます。  
Webでお答えいただいた場合は、このアンケート用紙を返送していただく必要はありません。



【調査票への記入方法やWebアンケートの回答方法などの問い合わせ先】

株式会社サービスイリサーチセンター 名古屋事務所 企画課 担当：山村・中村

TEL：052-561-1244 (平日9時～12時、13時～17時)

【調査内容に関する問い合わせ先】

安城市 福祉部 高齢福祉課 介護保険課 TEL：0565-71-2290

## A票 介護人材実態調査票(事業所票)

※ 令和4年12月1日現在の状況について、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別(介護予防を含む)を、ご回答ください。

※ 本調査票の送付先(郵便の宛先となっている事業所)で行きサービスについて、ご回答ください。(口250)

1. 訪問サービス (訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問サービス (総合事業))
2. 小規模多機能型居宅介護
3. 看護小規模多機能型居宅介護
4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 貴事業所(問1でつづを つけたサービス種別の事業所)に所属する介護職員について、お伺いします。

※ ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。(ボランティアの方は含みません。)

※ また、「正規職員」とは、期間の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期間の定めのある期間雇用契約による職員を指します。

問2-1 介護職員の総数を、ご記入ください。(数値を記入)

正規職員	〔 〕人	非正規職員	〔 〕人
------	------	-------	------

問2-2 貴事業所の開設時期について、ご記入ください。(数値を記入)

開設時期	西暦 〔 〕年 〔 〕月
------	--------------

問2-3 令和4年12月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間(令和3年12月1日～令和4年11月末日)の介護職員の採用者数と離職者数をご記入ください。

採用者数	〔 〕人	離職者数	〔 〕人
------	------	------	------

問2-4 問2-3の採用者・離職者について、正職・非正規の別・年齢別をご記入ください。(数値を記入)

年齢 (性別、標準当分)	採用者数		離職者数	
	正職職員	非正規職員	正職職員	非正規職員
20歳未満	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
20～29歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
30～39歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
40～49歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
50～59歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
60～69歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
70～79歳	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人
年齢不明	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人	〔 〕人

Ⅲ 資料（調査票）

【再掲】問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（番号1つ記載）  
 ※本調査票の添付表「職歴の経歴となっている施設等」で行うサービスについて、ご回答ください。

業務種別	1.施設・居住サービス 2.通所サービス
担当者	

問3 調査票等に所属している介護職員全員（非常勤含む、ボランティアの方を除く）について、ご回答ください。

回答方法	※ 番号1つ記載				※ 数値を記入		※ 番号1つ記載				
	(1)業務の終了状況 （認定介護福祉士含む） 1.介護職員 2.介護職員 3.介護職員 4.介護職員 5.介護職員 6.介護職員 7.介護職員 8.介護職員 9.介護職員 10.介護職員 11.介護職員 12.介護職員 13.介護職員 14.介護職員 15.介護職員 16.介護職員 17.介護職員 18.介護職員 19.介護職員 20.介護職員 21.介護職員 22.介護職員 23.介護職員 24.介護職員 25.介護職員 26.介護職員 27.介護職員 28.介護職員 29.介護職員 30.介護職員 31.介護職員 32.介護職員 33.介護職員 34.介護職員 35.介護職員 36.介護職員 37.介護職員 38.介護職員 39.介護職員 40.介護職員 41.介護職員 42.介護職員 43.介護職員 44.介護職員 45.介護職員 46.介護職員 47.介護職員 48.介護職員 49.介護職員 50.介護職員	(2)雇用形態	(3)性別	(4)年齢	(5)過去1週間の勤務時間	(6)現在の勤務年数	(7)現在の業務に勤務する直前の標準労働時間を含む 1.現在の勤務形態としての勤務先（1.施設・居住サービス、2.通所サービス） 2.介護以外の職業（※「例示あり」） 3.特養、老健、療養型・介護付有料老人ホーム、ショートステイ、グループホーム、特養型 4.訪問介護・入浴、夜間対応型 5.小多機、多機能、定期巡回サービス 6.通所介護、通所介護、認知症サービス 7.住宅型有料、介護付（特定施設）	(8)現在の職場について	(9)現在の職場について	(10)現在の職場について	(11)現在の職場について
記入例	1	1	1	3	40	2	2	1	2		
01											
02											
03											
04											
05											
06											
07											
08											
09											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35											
36											
37											
38											
39											
40											
41											
42											
43											
44											
45											
46											
47											
48											
49											
50											

**A票 介護人材実態調査票 (職員票)**

※ この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方(非営利法人、ボランティア等)が対象です。  
 ※ 令和4年12月1日現在の状況について、ご回答ください。



★右のQRコードから、同じ内容のWebアンケートに  
 回答いただけます。写真よりお読みいただいた場合は、  
 このアンケート用紙を返送していただく必要はありません。

問1 あなたが、本調査票を要け取った事業所で提供されるサービス種別(介護予防を含む)について、ご回答  
 ください。(1つに○)

- 1. 訪問サービス (訪問介護、訪問入浴、要介護型訪問介護、訪問サービス (総合事業))
- 2. 小規模多機能型居宅介護
- 3. 看護小規模多機能型居宅介護
- 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。(1つに○)

- 1. 介護福祉士 (認定介護福祉士含む)
- 2. 介護職員実務者研修修了、または(旧)介護職員基礎研修修了、または(旧)ヘルパー1級
- 3. 介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級
- 4. 「1」～「3」のいずれにも該当しない

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、年齢(過去1週間の勤務時間)について、ご回答ください。

1) 雇用形態 (1つに○)

2) 性別 (1つに○) 1. 男性 2. 女性

3) 年齢 (数値を記入) [ ] 歳

4) 過去1週間の勤務時間 (数値を記入) [ ] 時間 ★  
※ 問1で回答した勤務先における時間 ※ 残業時間を含む。休日は除く。

5) 現在の事業所での勤務年数 (数値を記入) 1. 1年以上 ⇒ 問4と裏面に回答  
 2. 1年未満 ⇒ 問4と裏面に回答

問4 問3の5で「1.」と回答された方に、お伺いします。現在の事業所に勤務する直前の職場について、  
 以下にご回答ください。(1つに○)

- 1. 現在の職場が初めての勤務先 ⇒ 【裏面に回答】
  - 2. 介護以外の職場 ⇒ 【裏面に回答】
  - 3. 特養、老健、療養型・介護型高齢者施設、グループホーム、特定施設
  - 4. 訪問介護・入浴、要介護対応型
  - 5. 小多機能、看護小規模多機能型居宅介護
  - 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ
  - 7. 住宅型有料、介護付有料、その他(特定施設以外)
  - 8. その他の介護サービス
- ⇒ 【3.1】～【8.1】の場合は問5へ

問5 問4で「3.1」～「8.1」と回答された方に、お伺いします。ご回答いただいた直前の職場について、以  
 下にご回答ください。

- 1) 法人 (1つに○) 1. 現在の事業所と、同一の市区町村内  
 2. 現在の事業所と、別の市区町村内
- 2) 法人 (1つに○) 1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ  
 2. 現在の事業所と、別の法人・グループ

※ 裏面もご回答ください

**A票 職員票 (訪問介護員向け)**

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問サービス (総合事業)」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方に右向きします。

- ※ 表裏の両面「4」過去1週間の勤務時間(★欄)で測定した7日間の勤務時間について、  
 身体介護・生活援助を担った時間(分)を記入してください。
- ※ 「休」休日を指します。休日は「開始日」から「終了日」までの7日間の勤務時間を含んでください。
- ※ 訪問サービスは含みませんが、「買い物」は、訪問での買い物に要する標準的な時間及び  
 利用者の自宅における訪問介護に要する標準的な時間の合計となります(移動時間を含みません)。
- ※ 訪問サービスの提供は除いてください。
- ※ 介護施設内による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて記入してください。
- ※ 記入する時間は「5分単位」とします。(例)32分⇒30分と記入。

■ 介護給付による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護	生活援助		
		買い物 (1時間以内)	調理・配膳	その他の 生活援助
記入例	30分	20分	45分	20分
月	分	分	分	分
火	分	分	分	分
水	分	分	分	分
木	分	分	分	分
金	分	分	分	分
土	分	分	分	分
日	分	分	分	分
週の合計	分	分	分	分

■ 介護予防給付・総合事業による訪問について右詰めで記入

曜日	身体介護	生活援助		
		買い物 (1時間以内)	調理・配膳	その他の 生活援助
月	分	分	分	分
火	分	分	分	分
水	分	分	分	分
木	分	分	分	分
金	分	分	分	分
土	分	分	分	分
日	分	分	分	分
週の合計	分	分	分	分

※ 自立生活支援・重症化防止のための居宅サービス(自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から  
 安全を確保しつつ長時間でも対応を行うサービス)は、身体介護に含む

「週の合計」を足し合わせた時間が、表裏の★欄の時間よりも小さくなる場合はご了承ください

安城市 高齢者介護に関するアンケート調査 調査結果報告書

発行年月 令和5年3月

編集・発行 安城市福祉部高齢福祉課

〒446-8501

愛知県安城市桜町18番23号

電話 0566-76-1111（代表）

0566-71-2290（直通）

e-mail : koufuku@city.anjo.lg.jp